

取扱書

よくお読みになってご使用ください。
取扱書は車の中に保管しましょう。

COROLLA AXIO HYBRID



イラスト目次

イラストから検索

1 安全・安心のために

お客様に**必ず**お読みいただきたいこと

2 メーターの見方

メーター・警告灯／表示灯の種類・見方など

3 各部の操作

ドア・ドアガラスの開閉や、運転操作前の調整など

4 運転

運転に必要な操作やアドバイス

5 室内装備・機能

室内装備の使い方など

6 お手入れのしかた

車のお手入れ・メンテナンスの方法

7 万ーの場合には

故障したときや、緊急時などの対処

8 車両情報

車の仕様やお好みに合わせて選べる機能の情報など

さくいん

症状から検索

音から検索

アルファベットで検索

五十音で検索

知っておいていただきたいこと	6
本書の見方	10
検索のしかた	11
イラスト目次	12

1 安全・安心のために

1-1. 安全にお使いいただくために	
運転する前に	22
安全なドライブのために	24
シートベルト	26
SRS エアバッグ	30
お子さまの安全のために	38
子供専用シート	39
チャイルドシートの取り付け ..	47
排気ガスに対する注意	53
1-2. ハイブリッドシステム	
ハイブリッドシステムの特徴 ..	54
ハイブリッドシステムの注意 ..	58
1-3. 盗難防止装置	
イモビライザーシステム	63

2 メーターの見方

2. 計器の見方	
警告灯／表示灯	66
計器類	69
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	72

3 各部の操作

3-1. キー	
キー	92
3-2. ドアの開閉、ロックのしかた	
スマートエントリー&	
スタートシステム	95
ワイヤレスリモコン	105
ドア	108
トランク	111
3-3. シートの調整	
フロントシート	114
ヘッドレスト	116
3-4. ハンドル位置・ミラー	
ハンドル	118
インナーミラー	120
ドアミラー	122
3-5. ドアガラスの開閉	
パワーウィンドウ	125

4 運転

4-1. 運転にあたって

運転にあたって	130
荷物を積むときの注意	137

4-2. 運転のしかた

エンジン (イグニッション) スイッチ (スマートエントリー& スタートシステム非装着車)	138
---	-----

パワー (イグニッション) スイッチ (スマートエントリー& スタートシステム装着車)	142
---	-----

EV ドライブモード	148
------------------	-----

トランスミッション	150
-----------------	-----

方向指示レバー	152
---------------	-----

パーキングブレーキ	153
-----------------	-----

ホーン (警音器)	154
-----------------	-----

4-3. ランプのつけ方・ ワイパーの使い方

ランプスイッチ	155
---------------	-----

オートマチックハイビーム	158
--------------------	-----

ワイパー&ウォッシャー (フロント)	162
-----------------------------	-----

ワイパー&ウォッシャー (リヤ)	165
---------------------------	-----

4-4. 給油のしかた

給油口の開け方	167
---------------	-----

4-5. 運転支援装置について

運転を補助する装置	171
-----------------	-----

4-6. 運転のアドバイス

ハイブリッド車 運転のアドバイス	177
---------------------------	-----

寒冷時の運転	179
--------------	-----

5 室内装備・機能

5-1. エアコンとデフォグガーの 使い方

オートエアコン	184
---------------	-----

リヤウインドウデフォグガー (曇り取り)	192
-------------------------------	-----

フロントワイパーデアイサー	193
---------------------	-----

5-2. オーディオの使い方

オーディオの種類	194
----------------	-----

ラジオの使い方	196
---------------	-----

CD プレーヤーの使い方	198
--------------------	-----

MP3 / WMA ディスクの聞き方	203
-----------------------------	-----

快適に聞くために	209
----------------	-----

ステアリングスイッチでの操作	211
-------------------------	-----

5-3. 室内灯のつけ方

室内灯一覧	214
-------------	-----

・パーソナルランプ	215
-----------------	-----

・ルームランプ	215
---------------	-----

5-4. 収納装備

収納装備一覧	217
--------------	-----

・グローブボックス	218
-----------------	-----

・助手席アッパーボックス	218
--------------------	-----

・コンソールボックス	219
------------------	-----

・カップホルダー	221
----------------	-----

・ボトルホルダー	222
----------------	-----

・引き出し式 コインホルダー	223
-------------------------	-----

5-5. その他の室内装備の使い方

サンバイザー／ バニティミラー	224
時計	225
アクセサリーソケット	226
シートヒーター (フロントシート)	227
リヤアームレスト	229
アシストグリップ	230

6 お手入れのしかた

6-1. お手入れのしかた

外装の手入れ	232
内装の手入れ	235

6-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット	238
ガレージジャッキ	241
ウォッシュ液の補給	243
タイヤについて	244
キーの電池交換	247
ヒューズの点検・交換	250
電球 (バルブ) の交換	257
エアコンフィルターの交換	268

7 万一の場合には

7-1. まず初めに

故障したときは	272
非常点滅灯 (ハザードランプ)	273
発炎筒	274
車両を緊急停止するには	276

7-2. 緊急時の対処法

けん引について	278
警告灯がついたときは	285
警告メッセージが 表示されたときは	289
パンクしたときは (応急用タイヤ装着車)	303
パンクしたときは (タイヤパンク応急 修理キット装着車)	313
ハイブリッドシステムが 始動しないときは	326
シフトレバーが シフトできないときは	328
電子キーが正常に働かないときは (スマートエントリー&スタート システム装着車)	329
補機バッテリーが あがったときは	331
オーバーヒートしたときは	336
スタックしたときは	340

8 車両情報

8-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ
(指定燃料・オイル量など).....344

8-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ
機能一覧.....349

さくいん

こんなときは
(症状別さくいん)..... 352
車から音が鳴ったときは
(音さくいん)..... 356
アルファベット順さくいん..... 357
五十音順さくいん 358

1

2

3

4

5

6

7

8

知っておいていただきたいこと

本書の内容について

本書はオプションを含むすべての装備の説明をしています。

そのため、お客様の車にはない装備の説明が記載されている場合があります。また、車の仕様変更により、内容がお車と一致しない場合がありますのでご了承ください。

トヨタ販売店で取り付けられた装備（販売店オプション）の取り扱いについては、その商品に付属の取扱説明書をお読みください。

イラストは、記載している仕様などの違いにより、お客様の車の装備と一致しない場合があります。

不正改造について

- トヨタが国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、不正改造になることがあります。
- 車高を下げたり、ワイドタイヤを装着するなど、車の性能や機能に適合しない部品を装着すると、故障の原因となったり、事故を起こし、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハンドルの改造は絶対にしないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されているため、不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 次の場合はトヨタ販売店にご相談ください。
 - ・ タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットの交換
異なる種類や指定以外のものを使用すると、走行に悪影響をおよぼしたり、不正改造になることがあります。
 - ・ 電装品・無線機の取り付け・取りはずし
電子機器部品に悪影響をおよぼしたり、故障や車両火災など事故につながるおそれがあり危険です。
- フロントウィンドウガラス、および運転席・助手席のドアガラスに着色フィルム（含む透明フィルム）などを貼り付けしないでください。視界をさまたげるばかりでなく、不正改造につながるおそれがあります。

車両データの記録について

お車には、車両の制御や操作に関するデータなどを記録するコンピューターが複数装備されており、主に次のようなデータを記録します。

- ・ エンジン回転数
- ・ 電気モーター回転数
- ・ アクセルの操作状況
- ・ ブレーキの操作状況
- ・ 車速
- ・ シフトポジション
- ・ 駆動用電池の状態

グレード・オプション装備により記録されるデータ項目は異なります。なお、コンピューターは会話などの音声や映像は記録しません。

● データの取り扱いについて

トヨタはコンピューターに記録されたデータを車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。

なお、次の場合を除き、トヨタは取得したデータを第三者へ開示または提供することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ 統計的な処理を行う目的で、使用者や車両が特定されないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

イベントデータレコーダー

お車には、イベントデータレコーダー（EDR）が装備されています。EDRは、一定の衝突や衝突に近い状態（SRSエアバッグの作動および路上障害物との接触など）が発生した時に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。EDRは車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように作られています。

EDRは次のようなデータを記録します。

- ・ 車両の各システムの作動状況
- ・ アクセルペダルおよびブレーキペダルの操作状況
- ・ 車速

これらのデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

注意：EDRは衝突が発生したときにデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報（例：氏名・性別・年齢・衝突場所）は記録されません。ただし、事故調査の際に法執行機関などの第三者が、通常の手続きとして収集した個人を特定できる種類のデータとEDRデータを組み合わせて使用することがあります。EDRで記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両またはEDRへ接続する必要があります。トヨタにくわえ、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両またはEDRに接続した場合でも情報を読み出すことができます。

● EDRデータの情報開示

次の場合を除き、トヨタはEDRで記録されたデータを第三者へ開示することはありません。

- ・ お車の使用者の同意（リース車は借主の同意）がある場合
- ・ 警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・ トヨタが訴訟で使用する場合

ただし、トヨタは

- ・ データを車両安全性能の研究に使用することがあります。
- ・ 使用者・車両が特定されないデータを調査目的で第三者に開示することがあります。

保証および点検について

保証および点検整備については、別冊「メンテナンスノート」に記載していますので、併せてお読みください。

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施してください。（法律で義務付けられています）

ハイブリッドシステムについて

カローラアクシオハイブリッドは電気モーターとガソリンエンジンを組み合わせたハイブリッドシステムを採用しています。

カローラアクシオハイブリッドを安全・快適にお使いいただくために本書をしっかりとお読みください。

本書の見方



警告

お守りいただかないと、お客様自身と周囲の人々が死亡、または重大な傷害につながるおそれがあることを説明しています。



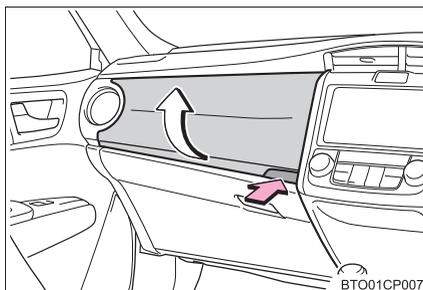
注意

お守りいただかないと、車や装備品の故障や破損につながるおそれがあることを説明しています。

1**2****3**... 操作・作業の手順を示しています。番号の順に従ってください。

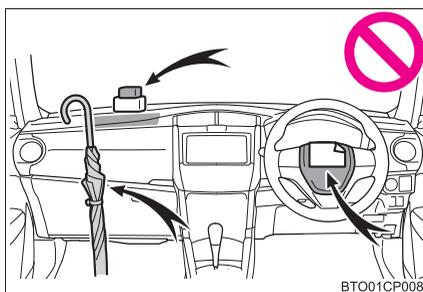
➡ 押す・まわすなど、していただきたい操作を示しています。

⇨ フタが開くなど、操作後の作動を示しています。



➡ 説明の対象となるもの・場所を示しています。

⊘ “してはいけません” “このようにしないでください” “このようなことを起こさないでください” という意味です。



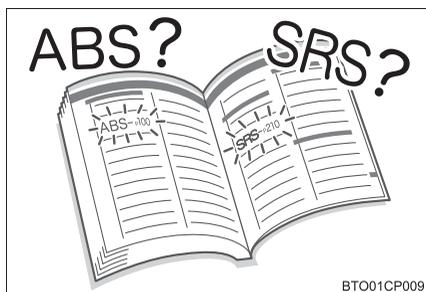
知識

機能や操作方法の説明以外で知っておいていただきたい、知っておくと便利なことを説明しています。

検索のしかた

■ 名称から探す

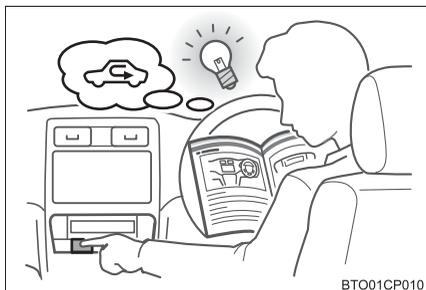
- ・ 五十音順さくいん358
- ・ アルファベット順
さくいん357



BTO01CP009

■ 取り付け位置から探す

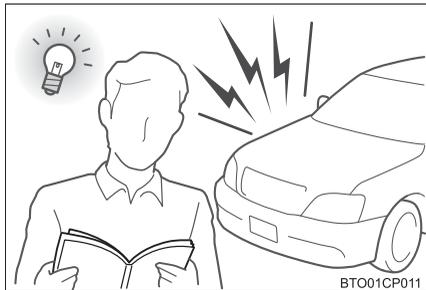
- ・ イラスト目次12



BTO01CP010

■ 症状や音から探す

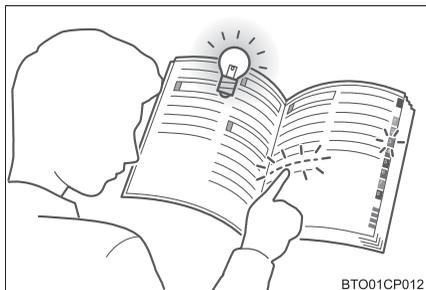
- ・ こんなときは
(症状別さくいん)352
- ・ 車から音が鳴ったときは
(音さくいん)356



BTO01CP011

■ タイトルから探す

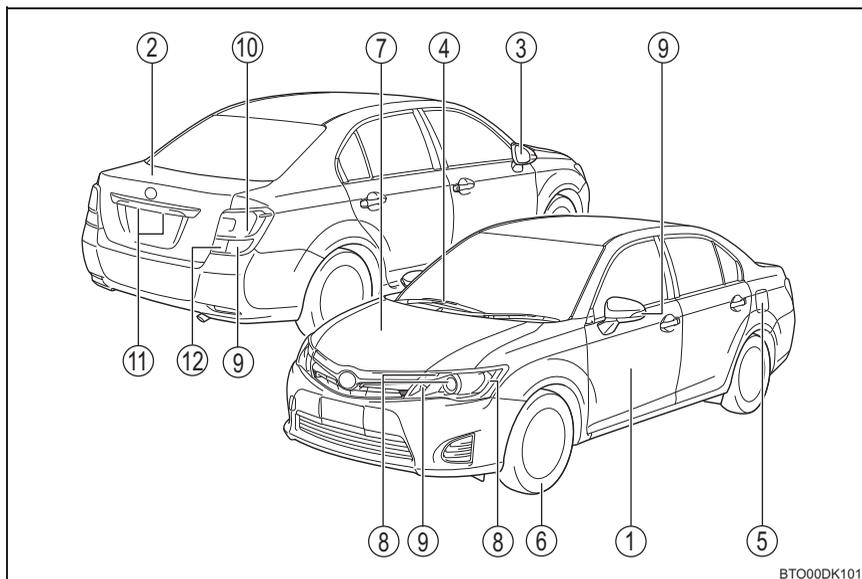
- ・ 目次2



BTO01CP012

イラスト目次

■ 外観



BTO00DK101

ヘッドランプの形状は、グレードなどで異なります。(→P. 257)

- | | | |
|---|------------------------------|---------------|
| ① | ドア | P. 108 |
| | 施錠／解錠 | P. 96, 105 |
| | ドアガラスの開閉 | P. 125 |
| | メカニカルキーでの施錠／解錠★ | P. 329 |
| | 警告メッセージ | P. 292 |
| ② | トランク | P. 111 |
| | 車内から開ける | P. 111 |
| | 車外から開ける | P. 96, 105 |
| | キーで開ける★ | P. 111 |
| | 警告メッセージ | P. 292 |
| ③ | ドアミラー | P. 122 |
| | 鏡面の角度調整 | P. 122 |
| | ミラーの格納 | P. 122 |
| | 曇りを取る (ミラーヒーター) ★ | P. 192 |
| ④ | ワイパー | |
| | 冬季の注意 | P. 179 |
| | 凍結防止 (フロントワイパーデアイサー) ★ | P. 193 |

★：仕様により異なる装備やオプション装備

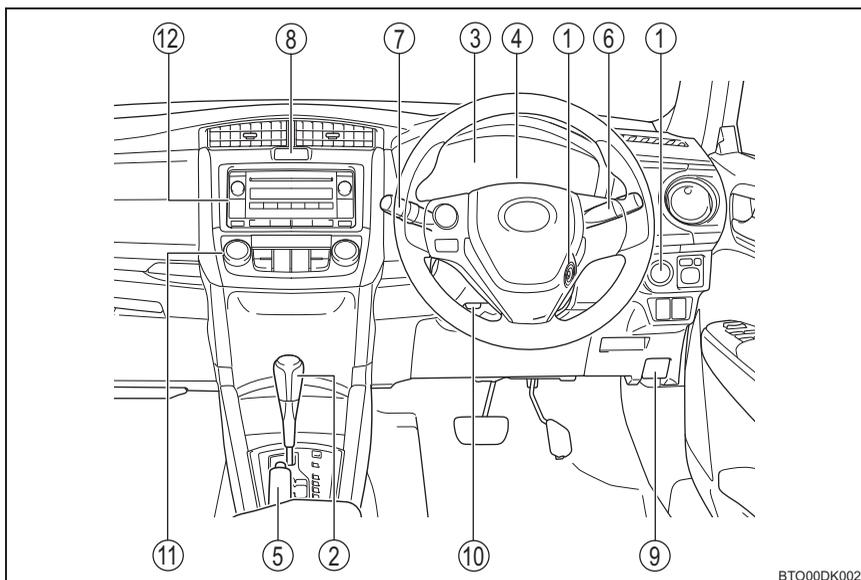
- ⑤ 給油口.....P. 167
 - 給油方法.....P. 169
 - 燃料の種類・燃料タンク容量.....P. 344
- ⑥ タイヤ.....P. 244
 - サイズ・空気圧.....P. 347
 - 冬用タイヤ・タイヤチェーン.....P. 179
 - 点検・ローテーション.....P. 244
 - パンク時の対処.....P. 303, 313
- ⑦ ボンネット
 - 開け方.....P. 238
 - エンジンオイル.....P. 344
 - オーバーヒート時の対処.....P. 336

走行に関わる外装のランプバルブ

(交換要領：P. 257, ワット数：P. 347)

- ⑧ ヘッドランプ・車幅灯.....P. 155
- ⑨ 方向指示灯.....P. 152
- ⑩ 尾灯.....P. 155
- ⑪ 番号灯.....P. 155
- ⑫ 後退灯
 - シフトポジションを R にする.....P. 150

■ インストルメントパネル



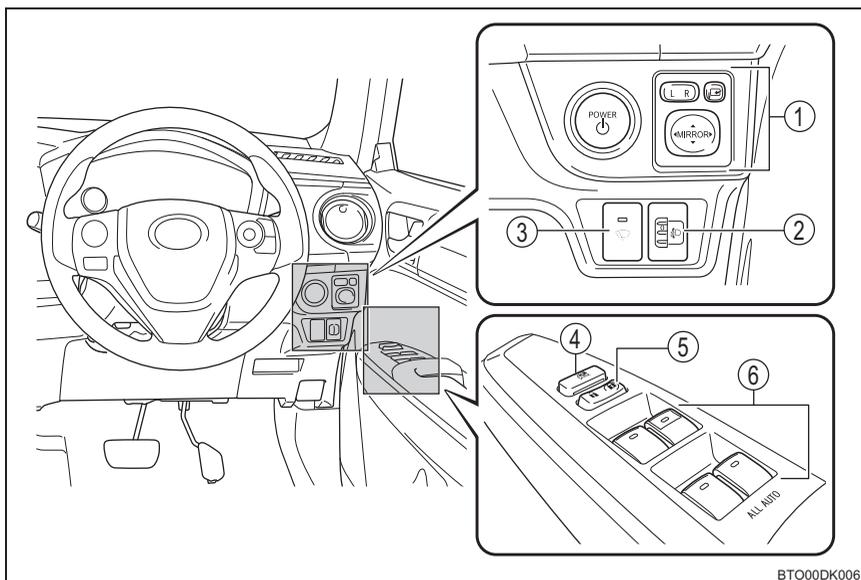
BTO00DK002

- ① エンジンスイッチ★／パワースイッチ★ P. 138, 142
 ハイブリッドシステムの始動・モード切りかえ P. 138, 142
 ハイブリッドシステムの緊急停止 P. 276
 ハイブリッドシステムが始動できないときの対処 P. 326
 警告メッセージ P. 297
- ② シフトレバー P. 150
 シフトポジションの切りかえ P. 150
 けん引時の注意 P. 278
 シフトレバーが動かないときの対処 P. 328
- ③ メーター P. 69
 明るさの調整 P. 85
 計器類 P. 69
 警告灯／表示灯 P. 66
 警告灯点灯時の対処 P. 285
- ④ マルチインフォメーションディスプレイ P. 72
 表示内容 P. 72
 警告メッセージ P. 289

★：仕様により異なる装備やオプション装備

- ⑤ **パーキングブレーキ**P. 153
 - かける・解除するP. 153
 - 冬季の注意P. 180
 - 警告ブザー・警告メッセージP. 292
- ⑥ **方向指示レバー**P. 152
 - ランプスイッチP. 155
 - ヘッドランプ・車幅灯・尾灯P. 155
- ⑦ **ワイパー&ウォッシャースイッチ**P. 162
 - 使い方P. 162
 - ウォッシャー液の補充P. 243
- ⑧ **非常点滅灯スイッチ**P. 273
- ⑨ **ボンネット解除レバー**P. 238
- ⑩ **ハンドル位置調整レバー**P. 118
- ⑪ **オートエアコン**P. 184
 - 操作方法P. 184
 - リヤウインドウの曇り取り（リヤウインドウデフォグガー）...P. 192
- ⑫ **オーディオ★**P. 194
 - 音楽を聞くP. 194

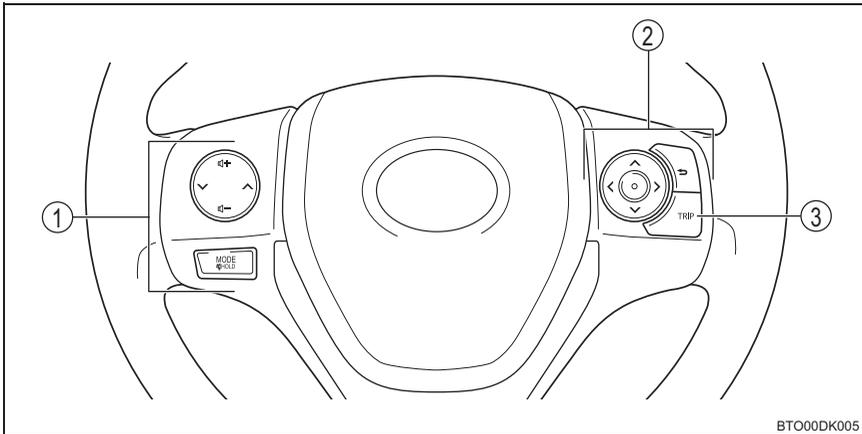
■スイッチ類



BTO00DK006

- ① ドアミラースイッチP. 122
- ② 手動光軸調整ダイヤル★P. 156
- ③ フロントワイパーデアイサースイッチ★P. 193
- ④ ウィンドウロックスイッチP. 125
- ⑤ ドアロックスイッチP. 108
- ⑥ パワーウィンドウスイッチP. 125

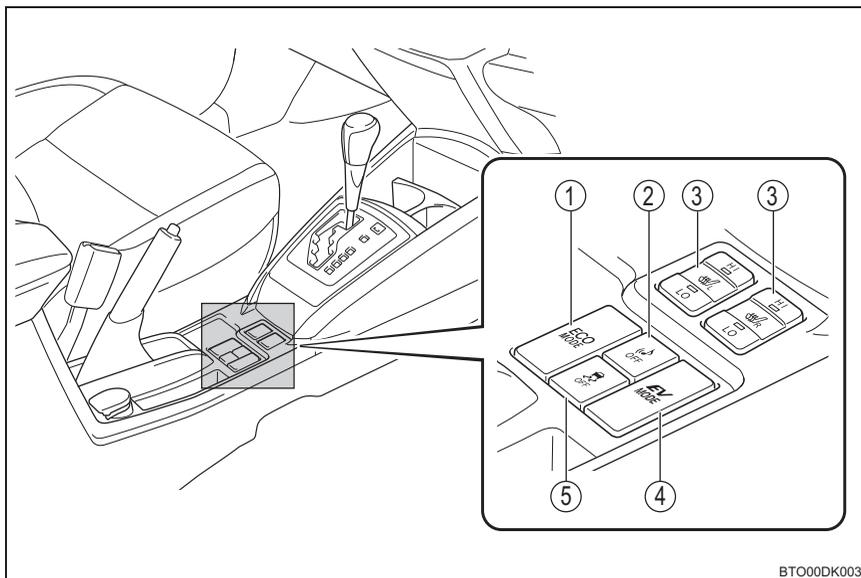
★：仕様により異なる装備やオプション装備



BTO00DK005

- ① オーディオ操作スイッチ★ P. 211
- ② メーター操作スイッチ P. 72
- ③ TRIP スイッチ P. 70

★ : 仕様により異なる装備やオプション装備

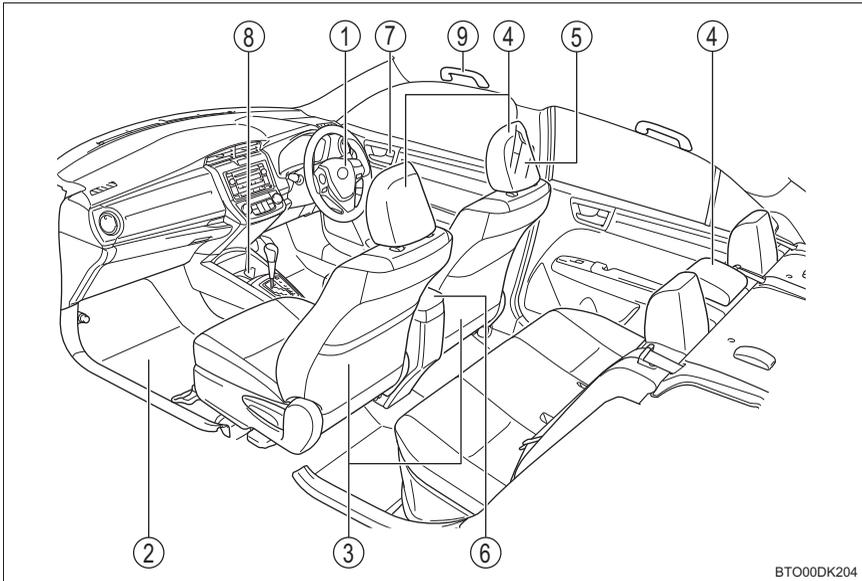


BTO00DK003

- ① エコモードスイッチP. 151
- ② 車両接近通報装置 OFF スイッチ P. 55
- ③ シートヒータースイッチ★P. 227
- ④ EV ドライブモードスイッチP. 148
- ⑤ VSC OFF スイッチP. 172

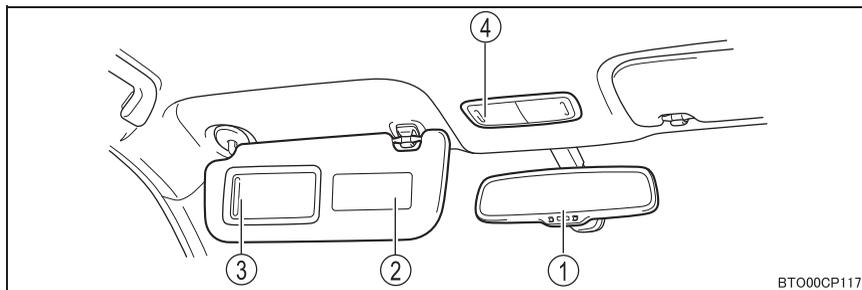
★：仕様により異なる装備やオプション装備

■ 室内



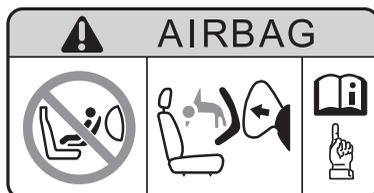
BTO00DK204

- | | | |
|-------------|-------|--------|
| ① SRS エアバッグ | | P. 30 |
| ② フロアマット | | P. 22 |
| ③ フロントシート | | P. 114 |
| ④ ヘッドレスト | | P. 116 |
| ⑤ シートベルト | | P. 26 |
| ⑥ コンソールボックス | | P. 219 |
| ⑦ ロックレバー | | P. 109 |
| ⑧ カップホルダー | | P. 221 |
| ⑨ アシストグリップ | | P. 230 |



- ① インナーミラーP. 120
- ② サンバイザー※P. 224
- ③ バニティミラー★P. 224
- ④ パーソナルランプP. 215

※：やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろの向きに取り付けしないでください。重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。(→ P. 52)



★：仕様により異なる装備やオプション装備

安全・安心のために

～必ずお読みください～

1

- 1-1. 安全にお使いいただくために
 - 運転する前に.....22
 - 安全なドライブのために24
 - シートベルト.....26
 - SRS エアバッグ.....30
 - お子さまの安全のために38
 - 子供専用シート.....39
 - チャイルドシートの取り付け ..47
 - 排気ガスに対する注意53
- 1-2. ハイブリッドシステム
 - ハイブリッドシステムの特徴 ..54
 - ハイブリッドシステムの注意 ..58
- 1-3. 盗難防止装置
 - イモビライザーシステム63

運転する前に

点検整備

日常点検整備や定期点検整備は、お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。適切な時期に点検整備を実施し、お車に異常がないことを確認してください。

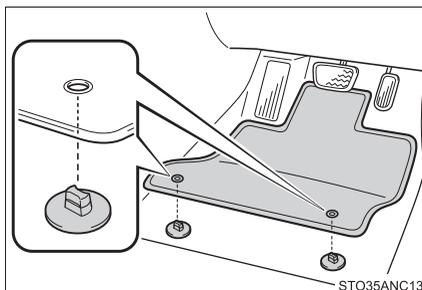
日常点検整備や点検項目などの詳細については、別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

異常が見つかった場合は、トヨタ販売店で必ず点検整備を受けてください。

フロアマット

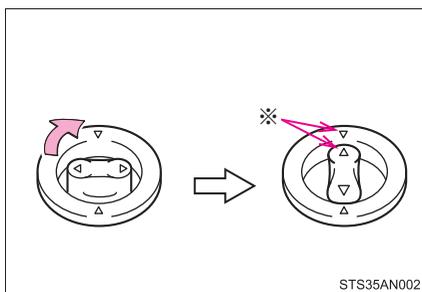
専用のフロアマットを、フロアカーペットの上にしっかりと固定してお使いください。

- 1 固定フック（クリップ）にフロアマット取り付け穴をはめ込む



- 2 固定フック（クリップ）上部のレバーをまわして、フロアマットを固定する

※ △マークを必ず合わせてください。



固定フック（クリップ）の形状はイラストと異なる場合があります。

警告

次のことを必ずお守りください。

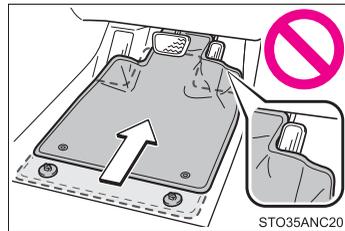
お守りいただかないと、フロアマットがずれて運転中に各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たり車を停止しにくくなるなど、重大な事故につながるおそれがあります。

■運転席にフロアマットを敷くとき

- トヨタ純正品であっても、他車種および異なる年式のフロアマットは使用しない
- 運転席専用のフロアマットを使用する
- 固定フック（クリップ）を使って、常にしっかりと固定する
- 他のフロアマット類と重ねて使用しない
- フロアマットを前後逆さまにしたり、裏返して使用しない

■運転する前に

- フロアマットがすべての固定フック（クリップ）で正しい位置にしっかりと固定されていることを定期的を確認し、特に洗車後は必ず確認を行う
- ハイブリッドシステム停止およびシフトレバーが P の状態で、各ペダルを奥まで踏み込み、フロアマットと干渉しないことを確認する

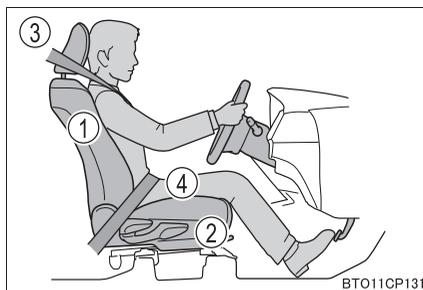


安全なドライブのために

安全に運転するために、走行前にシートやミラーなどを適切に調整してください。

正しい運転姿勢

- ① まっすぐ座り、運転操作時に背もたれから離れないよう、背もたれの角度を調整する（→P. 114）
- ② ペダルをしっかりと踏み込め、ハンドルを握ったときにひじが少し曲がるようなシート位置にする（→P. 114）
- ③ ヘッドレストの中央が耳のいちばん上のあたりになるようにする（→P. 116）
- ④ シートベルトを正しく着用する（→P. 26）



シートベルトの正しい着用

すべての乗員は、走行前に必ずシートベルトを正しく着用してください。（→P. 26）

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。

ミラーの調整

後方が確実に確認できるように、インナーミラー・ドアミラーを正しく調整してください。（→P. 120, 122）

 **警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

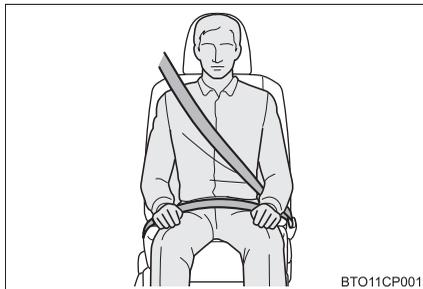
- 走行中は運転席の調整をしないでください。
運転を誤るおそれがあります。
- 背もたれと背のあいだにクッションなどを入れないでください。
正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したとき、シートベルトやヘッドレストなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- フロントシートの下にものを置かないでください。
ものが挟まるとシートが固定されず、思わぬ事故や調整機構の故障の原因になります。
- 他の車や歩行者など、周囲の状況に常に注意を払い、安全運転を心がけてください。
- 飲酒運転は絶対にしないでください。お酒を飲むと注意力と判断力がにぶり、思いがけない事故を引き起こすおそれがあります。また、眠気をもよおす薬を飲んだときも運転を控えてください。
- 運転中に携帯電話を使用したり、装置の調節などをしないでください。周囲の状況などへの注意が不十分になり、大変危険です。ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を運転中に使用することは法律で禁止されています。
- 長距離ドライブの際は、疲れを感じる前に定期的に休憩してください。
また、運転中に疲労感や眠気を感じたときは、無理に運転せず、すみやかに休憩してください。

シートベルト

走行前にすべての乗員は必ずシートベルトを正しく着用してください。

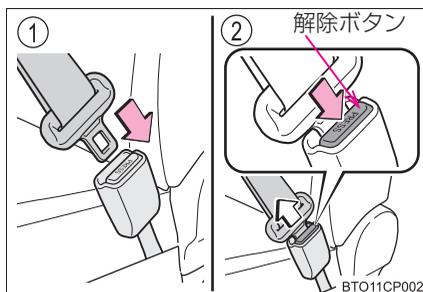
正しく着用する

- 肩部ベルトを肩に十分かける
首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。
- 腰部ベルトを必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させる
- 背もたれを調整し、上体を起こし、深く腰かけて座る
- ねじれがないようにする



着け方・はずし方

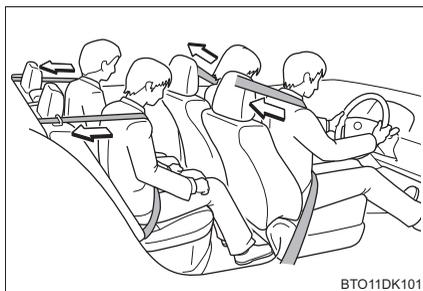
- ① ベルトを固定するには、“カチッ”と音がするまでプレートをバックルに挿し込む
- ② ベルトを解除するには、解除ボタンを押す



シートベルトプリテンショナー（フロント席・リヤ外側席）

前方から強い衝突を受けたとき、シートベルトを引き込むことで適切な乗員拘束効果を確保します。

前方からの衝撃が弱いときや、横やうしろからの衝撃、横転のときは通常は作動しません。



 知識**■ シートベルトロックの解除方法**

急停止や衝撃があったときベルトがロックされます。急に体を前に倒したり、シートベルトをすばやく引き出してもロックする場合があります。一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ゆっくり動かせば、ベルトを引き出すことができます。

■ お子さまのシートベルトの使い方

この車のシートベルトは、シートベルトを装着するのに十分な、大人の体格を持った人用に設計されています。

- シートベルトが正しい位置で着用できない小さなお子さまの場合は、お子さまの体に合ったチャイルドシートを使用してください。(→P. 39)
- シートベルトが正しい位置で着用できるお子さまの場合は、シートベルトの着用のしかたに従ってください。(→P. 26)

■ シートベルトプリテンショナーについて

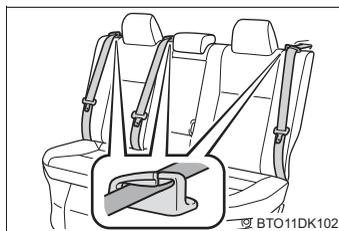
シートベルトプリテンショナーは一度しか作動しません。玉突き衝突などで連続して衝撃を受けた場合でも、一度作動したあとは、その後の衝突では作動しません。

警告

急ブレーキや事故の際のけがを避けるため、次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■シートベルトの着用について

- 全員がシートベルトを着用する
- シートベルトを正しく着用する
- シートベルトは一組につき一人で使用する
お子さまでも一組のベルトを複数の人で使用しない
- お子さまはリヤ席に座らせてシートベルトを着用させる
- 背もたれは必要以上に倒さず、上体を起こし、シートに深く座る
- 肩部ベルトを腕の下に通して着用しない
- 腰部ベルトはできるだけ低い位置に密着させ着用する
- リヤシートベルトを使用するときは、シートベルトが正しくガイドに通っているか、シートベルトがなげじていないかを確認してください。



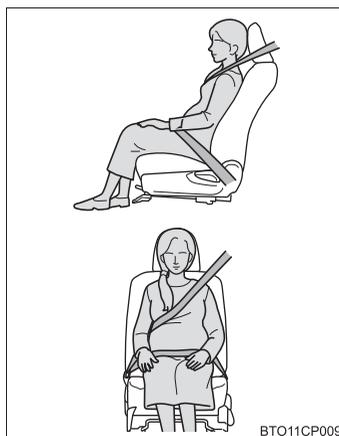
BTO11DK102

■妊娠中の女性の場合

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。(→P. 26)

通常の着用のしかたと同じように、腰部ベルトが腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにお腹のふくらみの下に、肩部ベルトは確実に肩を通し、お腹のふくらみを避けて胸部にかかるように着用してください。

ベルトを正しく着用していないと、衝突したときなどに、母体だけでなく胎児までが重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



BTO11CP009

 **警告****■ 疾患のある方の場合**

医師に注意事項を確認の上、必ず正しく着用してください。

■ お子さまを乗せるとき

お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。

万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。

■ プリテンショナー付きシートベルトについて

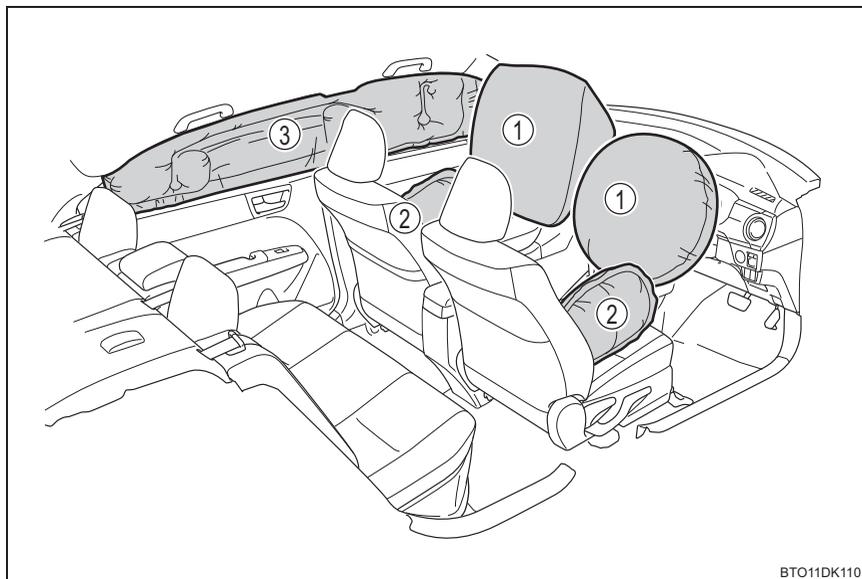
シートベルトプリテンショナーが作動すると、SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯が点灯します。その場合は、シートベルトを再使用することができないため、必ずトヨタ販売店で交換してください。

■ シートベルトの損傷・故障について

- ベルトやプレート・バックルなどは、シートやドアに挟むなどして損傷しないようにしてください。
- シートベルトが損傷したときはシートベルトを修理するまでシートは使用しないでください。
- プレートがバックルに確実に挿し込まれているか、シートベルトがねじれていないかを確認してください。うまく挿し込めない場合はただちにトヨタ販売店に連絡してください。
- もし重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見られない場合でも、シート、シートベルトを交換してください。
- プリテンショナー付きシートベルトの取り付けや取りはずし・分解・廃棄などは、トヨタ販売店以外でしないでください。不適切に扱うと、正常に作動しなくなるおそれがあります。

SRS エアバッグ

SRS エアバッグは乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときにふくらみ、シートベルトが体を拘束する働きと併せて乗員への衝撃を緩和させます。



◆ フロント SRS エアバッグ

- ① 運転席 SRS エアバッグ／助手席 SRS エアバッグ
(運転者と助手席乗員の頭や胸などへの衝撃を緩和)

◆ SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ

- ② SRS フロントサイドエアバッグ
(フロント席乗員の胸などへの衝撃を緩和)
- ③ SRS カーテンシールドエアバッグ
(フロント席とリヤ外側席乗員の主に頭部への衝撃を緩和)

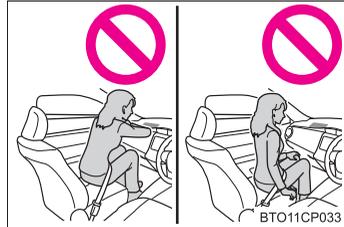
警告

■ SRS エアバッグについて

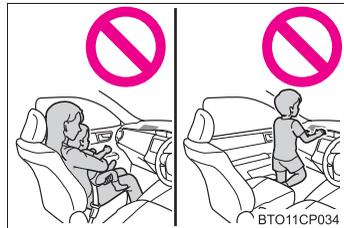
次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 運転者と乗員すべてがシートベルトを正しく着用してください。
SRS エアバッグはシートベルトを補助するためのものです。
- 助手席 SRS エアバッグは強い力でふくらむため、シートの背もたれを調整して、シートをできるだけ SRS エアバッグから離し、まっすぐに座ってください。
- お子さまが小さくてシートベルトを使用できないときは、チャイルドシートでしっかり固定してください。お子さまはリヤ席に乗せ、チャイルドシートまたはシートベルトを着用させることをおすすめします。(→P. 47)
- シートの縁に座ったり、ダッシュボードにもたれかかったりしない



- お子さまを助手席 SRS エアバッグの前に立たせたり、ひざの上に抱いたりしない
- 運転者および助手席乗員は、ひざの上に何も持たない



- ドアやフロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールへ寄りかからない

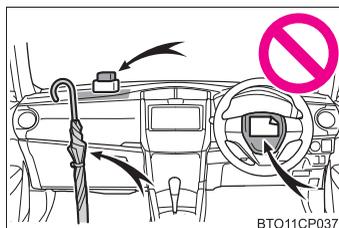


警告**■ SRS エアバッグについて**

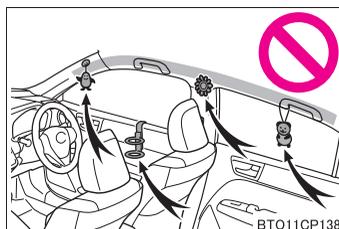
- 助手席では、ドアに向かってひざをついたり、窓から顔や手を出したりしない



- ダッシュボード・ハンドルのパッド部分などには何も取り付けたり、置いたりしない



- ドア・フロントガラス・ドアガラス・フロントピラーおよびリヤピラー・ルーフサイドレール・アシストグリップなどには何も取り付けない（速度制限ラベルを除く →P. 319）



 **警告****■ SRS エアバッグについて**

- SRS サイドエアバッグがふくらむ場所を覆うようなシートアクセサリーを使用しないでください。エアバッグが展開する際、アクセサリーが干渉するおそれがあります。そのようなアクセサリーがエアバッグが正常に作動するのをさまたげ、システムを不能にしたり、またはエアバッグが誤って展開したりするおそれがあります。
- SRS エアバッグシステム構成部品の周辺は、強くたたかなど過度の力を加えないでください。
SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- SRS エアバッグがふくらんだ直後は、構成部品が熱くなっているため、ふれないでください。
- SRS エアバッグがふくらんだあとに、もし呼吸が苦しく感じたら、ドアやドアガラスを開けて空気を入れるか、安全を確認して車外に出てください。皮膚の炎症を防ぐため、残留物はできるだけ早く洗い流してください。
- SRS エアバッグが収納されているパッド部およびフロントピラーガーニッシュ部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、そのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。

 **警告****■ 改造・廃棄について**

トヨタ販売店への相談なしに、次の改造・廃棄をしないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、誤ってふくらむなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- SRS エアバッグの取りはずし・取り付け・分解・修理
- ハンドル・インストルメントパネル・ダッシュボード・シート・シート表皮・フロントピラー・センターピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール周辺の修理・取りはずし・改造
- フロントフェンダー・フロントバンパー・車内側面部の修理・改造
- グリルガード（ブルバー・カンガルーバーなど）・除雪装置・ウインチなどの取り付け
- サスペンションの改造
- CD プレーヤー・無線機などの電化製品の取り付け

 **知識****■ SRS エアバッグが作動すると**

- SRS エアバッグとの接触により、打撲やすり傷などを受けることがあります。
- 作動音と共に白いガスが発生します。
- フロント席・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレールの一部分などだけでなくエアバッグ構成部品（ハンドルのハブ・エアバッグカバー・インフレーター）も数分間熱くなることがあります。エアバッグそのものも熱くなります。
- フロントウインドウガラスが破損することがあります。

■ SRS エアバッグが作動するとき（フロント SRS エアバッグ）

- フロント SRS エアバッグは、衝撃の強さが設定値（移動も変形もしない固定された壁に、車速約 20 ～ 30km/h で正面衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。
ただし、次のような場合はエアバッグが作動する車速は設定値より高くなります。
 - ・ 駐車している車や標識のような衝撃によって移動や変形するものに衝突した場合
 - ・ もぐり込むような衝突の場合（例えば、車両前部がもぐり込む、下に入り込む、トラックの下敷きになるなど）
- 衝突条件によってはシートベルトプリテンショナーのみ作動する場合があります。

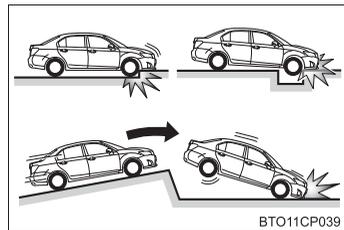
■ SRS エアバッグが作動するとき（SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ）

SRS サイド&カーテンシールドエアバッグは、衝撃の強さが設定値（約 1.5 t の車両が約 20 ～ 30km/h の速度で客室へ直角に衝突した場合の衝撃の強さに相当する値）以上の場合に作動します。

■ 衝突以外で作動するとき

次のような状況で車両下部に強い衝撃を受けたときも、フロント SRS エアバッグが作動する場合があります。

- 縁石や歩道の端など、固いものにぶつかったとき
- 深い穴や溝に落ちたり、乗り越えたとき
- ジャンプして地面にぶつかったり、道路から落下したとき

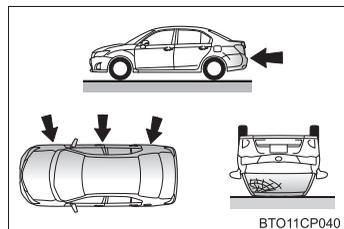


BTO11CP039

■ SRS エアバッグが作動しないとき（フロント SRS エアバッグ）

フロント SRS エアバッグは、側面や後方からの衝撃・横転・または低速での前方からの衝撃では、通常は作動しません。ただし、それらの衝撃が前方への減速を十分に引き起こす場合には、フロント SRS エアバッグが作動することがあります。

- 側面からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転

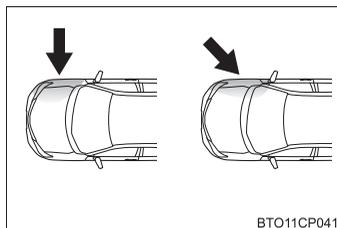


BTO11CP040

■ SRS エアバッグが作動しないとき (SRS サイド&カーテンシールドエアバッグ)

斜めから衝撃を受けた場合や、客室部分以外の側面に衝撃を受けたときには、SRS サイド&カーテンシールドエアバッグが作動しない場合があります。

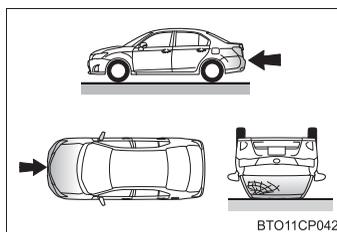
- 客室部分以外の側面への衝撃
- 斜めからの衝撃



BTO11CP041

SRS サイド&カーテンシールドエアバッグは、前方や後方からの衝撃・横転・または低速での側面からの衝撃で作動するようには設計されていません。

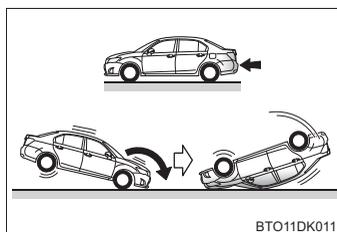
- 前方からの衝突
- 後方からの衝突
- 横転



BTO11CP042

SRS カーテンシールドエアバッグは、後方からの衝撃・縦方向への転覆・または低速での前面や側面からの衝撃では、通常は作動しません。

- 後方からの衝突
- 縦方向への転覆

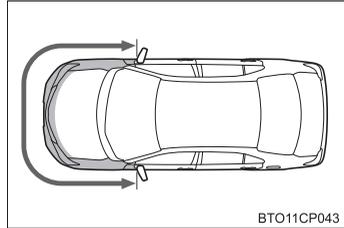


BTO11DK011

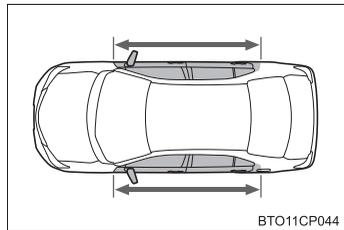
■ トヨタ販売店に連絡が必要な場合

次のような場合には、修理・点検等が必要になります。できるだけ早くトヨタ販売店へご連絡ください。

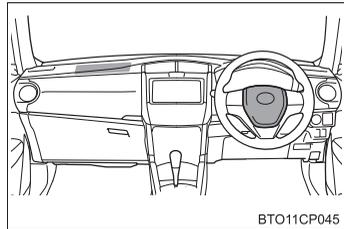
- いずれかの SRS エアバッグがふくらんだとき
- フロント SRS エアバッグはふくらまなかったが、事故で車両の前部を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



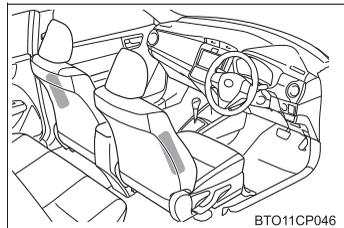
- SRS サイド&カーテンシールドエアバッグはふくらまなかったが、事故でドア部分を衝突したとき、または破損・変形などがあるとき



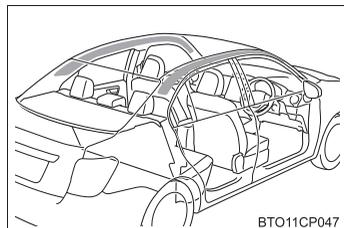
- ハンドルのパッド部分・ダッシュボードの助手席SRSエアバッグ付近が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



- SRS サイドエアバッグが内蔵されているシート表面が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



- SRS カーテンシールドエアバッグが内蔵されているフロントピラー部・リヤピラー部・ルーフサイド部が傷付いたり、ひび割れたり、その他の損傷を受けたとき



お子さまの安全のために

お子さまを乗せるときは、次のことをお守りください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、適切な子供専用シートをご用意ください。(→P. 39)
- 運転装置にふれるのを防ぐため、お子さまはリヤシートに乗せることをおすすめします。
- 走行中にドアを開けたり、パワーウィンドウを誤操作したりしないように、チャイルドプロテクター(→P. 110)・ウィンドウロックスイッチ(→P. 125)をご使用ください。
- 小さなお子さまには、パワーウィンドウ・ボンネット・トランクやシートなど、体を挟まれるおそれがある装備類を操作させないでください。

警告

- お子さまを車の中に残したままにしないでください。車内が高温になって熱射病や脱水症状になり、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
また、お子さまが車内の装置を操作し、ドアガラスなどに挟まれたり、発炎筒などでやけどしたり、運転装置を動かして、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車にお子さまを乗せる場合は、お子さまの安全を確保するための注意事項やチャイルドシートの取り付け方などをまとめた「チャイルドシートの取り付け」を参照してください。(→P. 47)

子供専用シート

子供専用シートの固定機構を使用して、子供専用シートを固定することができます。

知っておいていただきたいこと

- 車の仕様やお子さまの年齢・体格に合わせて、適切な子供専用シートをお選びください。
- 子供専用シートの取り付け方法および取りはずし方は、それぞれの子供専用シートに付属の取り扱い説明書をお読みください。
- この車は2006年10月1日施行の保安基準に適合したISOFIX対応チャイルドシート固定専用バーを標準装備しています。

子供専用シートの適合性一覧表について

■ 質量グループについて

ECE R44 ※の基準に適合する子供専用シートはお子さまの体重により次の5種類に分類されます。

- グループ0: 10kg まで
- グループ0⁺: 13kg まで
- グループI: 9 ~ 18kg
- グループII: 15 ~ 25kg
- グループIII: 22 ~ 36kg

この本では代表的な次の3種類の子供専用シートをシートベルトで固定する方法を紹介します。

※ ECE R44 は、子供専用シートに関する国際法規です。

■ サイズ等級、固定具について

子供専用シートに表示される分類記号と、それともなう取り付け器具の記号になります。

子供専用シートの種類

▶ ベビーシート

ECE R44 基準のグループ 0、
0⁺に相当



▶ チャイルドシート

ECE R44 基準のグループ 0⁺、
Iに相当



▶ ジュニアシート

ECE R44 基準のグループ II、III
に相当



シート位置別子供専用シート適合性一覧表 (シートベルトでの取り付け)

質量グループ	着席位置 (または他の場所)		
	フロントシート	リヤシート	
	助手席	左右席	中央席
0 (10kg まで)	×	U	L1
0 ⁺ (13kg まで)	×	U	L1
I (9 ~ 18kg)	前向き L2	U	L2
	うしろ向き×		
II (15 ~ 25kg)	L3 *	×	L3 *
III (22 ~ 36kg)	L3 *	×	L3 *

● 上記に記入する文字の説明

U： この質量グループでの使用を許可された汎用（ユニバーサル）カテゴリーの子供専用シートに適しています。

L1： この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child ISO baby」、「トヨタ純正 NEO G-Child ISO tether」、「トヨタ純正 NEO G-Child baby」に適しています。

L2： この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child ISO tether」、「トヨタ純正 NEO G-Child baby」に適しています。

L3： この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 ジュニアシート」に適しています。

×： 子供専用シートを取り付けることはできません。

* 子供専用シートを取り付けるときは、ヘッドレストを取りはずしてください。

表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

子供専用シートの装着に際しては子供専用シートの取扱説明書もご確認ください。

シート位置別子供専用シートの適合性一覧表 (ISOFIX 対応トップテザーアンカーでの取り付け)

質量グループ	サイズ等級	固定具	車両 ISOFIX 位置
			リヤシート左右席
キャリコット	F	ISO/L1	×
	G	ISO/L2	×
0 (10kg まで)	E	ISO/R1	IL1
0+ (13kg まで)	E	ISO/R1	IL1
	D	ISO/R2	IL2
	C	ISO/R3	IL2
I (9 ~ 18kg)	D	ISO/R2	×
	C	ISO/R3	×
	B	ISO/F2	IUF, IL2
	B1	ISO/F2X	IUF, IL2
	A	ISO/F3	IUF, IL2
II (15 ~ 25kg)		(1)	×
III (22 ~ 36kg)		(1)	×

● 上記に記入する文字の説明

(1) : サイズ等級表示 (A から G) のない子供専用シートの各シート位置での ISOFIX 対応子供専用シート固定機構の取り扱いについては、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

IUF : この質量グループでの使用を許可された汎用 (ユニバーサル) カテゴリーの ISOFIX 対応の前向き子供専用シートに適しています。

IL1 : この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child ISO baby」、「トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg」に適しています。

IL2 : この質量グループでの使用を許可された「トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg」に適しています。

× : ISOFIX 子供専用シートを取り付けることはできません。

※ リヤシート左右席に子供専用シートを取り付けたときは、リヤ中央席に座らないでください。

表に記載されていない子供専用シートを使用する場合は、子供専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

子供専用シートの装着に際しては子供専用シートの取扱説明書もご確認ください。

ISOFIX 子供専用シートのリスト

質量グループ	サイズ等級	固定具	ISOFIX 子供専用シート	カテゴリー
0 (10kg まで)	E	ISO/R1	トヨタ純正 NEO G-Child ISO baby	準汎用
	E	ISO/R1	トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg	準汎用
0+ (13kg まで)	E	ISO/R1	トヨタ純正 NEO G-Child ISO baby	準汎用
	E	ISO/R1	トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg	準汎用
	D	ISO/R2		
C	ISO/R3			
I (9 ~ 18kg)	B	ISO/F2	トヨタ純正 NEO G-Child ISO leg	準汎用
	B1	ISO/ F2X		
	A	ISO/F3		

 知識

■ ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーについて

この車に標準装備されている ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーは、ECE R44 に適合している子供専用シート取り付け専用です。それ以外のものを使用することはできません。

■ 子供専用シートの選択、使用について

- お子さまに最適な子供専用シートについては、子供専用シート製造業者、または販売業者にご相談ください。
- お子さまが成長し、適切にシートベルトが着用できるようになるまでは、お子さまに合った子供専用シートを使用してください。
- 体が十分大きく、子供専用シートが不必要なお子さまは、リヤシートに乗せて車のシートベルトを使用してください。

■ シートベルトで取り付けるタイプの子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シート適合性一覧表」(→P. 41) を参照し、子供専用シートを取り付け可能な位置と、対応する子供専用シートの種類(記号)をご確認の上、適したものを選択してください。

■ ECE R44 適合の ISOFIX 対応子供専用シートの選択について

「シート位置別子供専用シートの適合性一覧表」(→P. 42)を確認して、適切なシートを選択してください。

1 お子さまの体重から、該当する「質量グループ」を確認する

(例 1) : 体重が 12kg の場合、質量グループは「0⁺」になります。

(例 2) : 体重が 15kg の場合、質量グループは「I」になります。

2 サイズ等級を選択する

手順①で確認した「質量グループ」から該当するサイズ等級を確認します。*

(例 1) : 質量グループが「0⁺」の場合、サイズ等級は「C」・「D」・「E」が該当します。

(例 2) : 質量グループが「I」の場合、サイズ等級は「A」・「B」・「B1」・「C」・「D」が該当します。

* ただし、該当のサイズ等級でも適合性一覧表の「車両 ISOFIX 位置」に「×」と記載されているものは選択できません。

3 子供専用シートに表示されているマーク／ラベルを確認して、基準に適合したシートであることを確認する

汎用(ユニバーサル)子供専用シートには、次に示すマーク・ラベル類が表示されています。

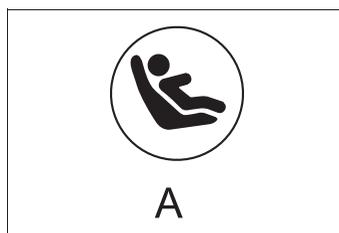
* 表示されている位置・記号などは、商品により異なります。



① ISOFIX 対応子供専用シートであることを示す表示

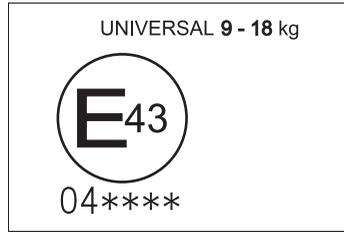
サイズ等級が示されています。(表示される文字は、製品により異なります)

手順②で確認したサイズ等級に適合しているものを選択してください。

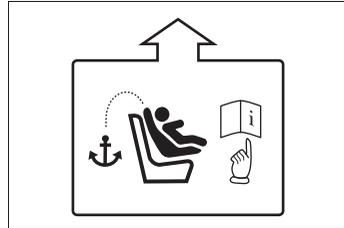


- ② 汎用（ユニバーサル）子供専用シートの認可マーク

UNIVERSAL は汎用品の認可であることを表し、併せて、対象となるお子さまの体重の範囲が記載されています。



- ③ トップテザー（→P. 49）を示すマーク
商品の取り付け装置の位置により、意匠は異なります。



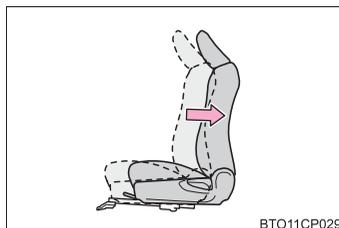
■ ISOFIX 対応子供専用シートの種類（サイズ等級別）

A-ISO/F3	全高前向き幼児用チャイルドシート
B-ISO/F2	低型前向き幼児用チャイルドシート
B1-ISO/F2X	低型前向き幼児用チャイルドシート (B-ISO/F2 と別形状のもの)
C-ISO/R3	大型後向き幼児用チャイルドシート
D-ISO/R2	小型後向き幼児用チャイルドシート
E-ISO/R1	後向き乳児用チャイルドシート
F-ISO/L1	左向き位置用チャイルドシート（キャリコット）
G-ISO/L2	右向き位置用チャイルドシート（キャリコット）

■助手席に子供専用シートを取り付けるとき

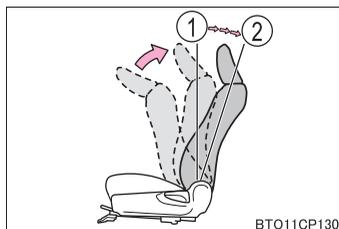
やむを得ず助手席に子供専用シートを取り付ける場合には、助手席シートを次のように調整し、子供専用シートを前向きに取り付けてください。

- シートをいちばんうしろにさげる



- 背もたれをいったん前に倒し、1段目の固定位置まで起こし、4段目の固定位置まで調整する

- ① 1段目
- ② 4段目



■キャリコットについて

キャリコットは横向きに取り付けることのできるベビーシートのことです。詳しくは子供専用シート製造業者または販売業者におたずねください。

▲ 警告

■子供専用シートを使用しない場合

- 子供専用シートを使用しないときであっても、シートに適切にしっかりと取り付けられた状態にしてください。ゆるめた状態で客室内に置くことは避けてください。
- 子供専用シートの取りはずしが必要な場合は、車両からはずして保管するか、トランク内に容易に動かないように収納してください。

チャイルドシートの取り付け

シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。

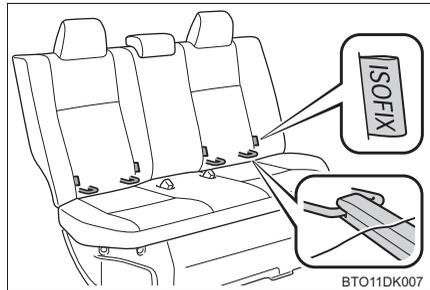
取り付け方法は、商品に付属の取扱説明書に必ず従ってください。

シートベルトによる取り付け
(→P. 48)



ISO FIX 対応チャイルドシート固定専用バー (→P. 49)

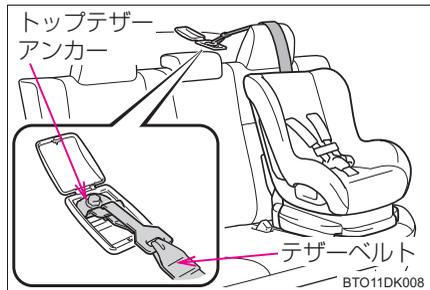
リヤ外側席に装備されています。(固定専用バーが装備されていることを示すタグがシートに付いています)



トップテザーアンカー (→P. 49)

テザーベルトを固定するときに使います。

トップテザーアンカーはリヤ外側席に装備されています。



シートベルトで固定する

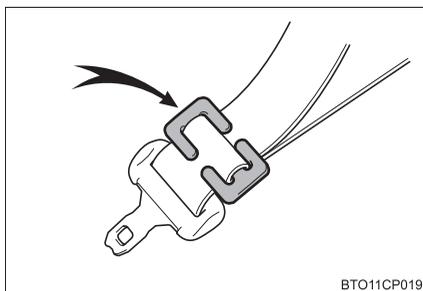
- 1 チャイルドシートにシートベルトを取り付け、プレートバックルに“カチッ”と音がするまで挿し込む。ベルトがねじれていないようにする

チャイルドシートに付属の取扱説明書に従い、シートベルトをチャイルドシートにしっかりと固定させてください。



- 2 チャイルドシートにシートベルトの固定装置が備わっていない場合は、ロックングクリップ（別売）を使用して固定する

ロックングクリップの購入にあたっては、トヨタ販売店にご相談ください。（ロックングクリップ品番：73119-22010）

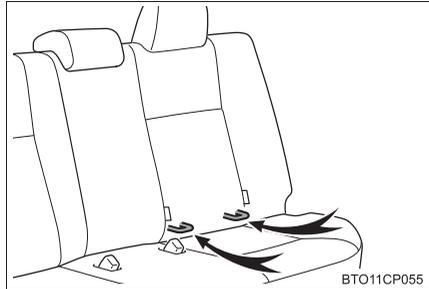


取り付け後はチャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかりと固定されていることを確認してください。

ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バー&トップテザーアンカーで固定する（リヤ外側席）

- 1 ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーの位置を確認する

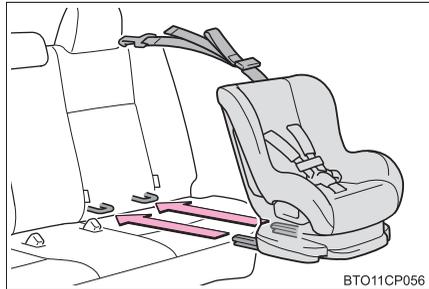
固定専用バーは、シートクッションの奥にあります。



- 2 チャイルドシートをシートに取り付ける

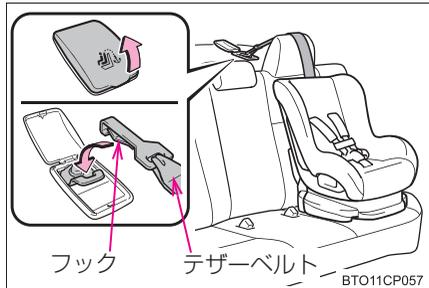
チャイルドシートの取り付け金具をチャイルドシート固定専用バーに取り付けます。

取り付け方法は、それぞれのチャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。



- 3 フタを開けてトップテザーアンカーにフックを固定し、テザーベルトを締める

テザーベルトをピンと張り、フックがしっかり固定されていることを確認します。



- 4 取り付けしたチャイルドシートを前後左右にゆすり、固定されていることを確認する



 **警告****■チャイルドシートについて**

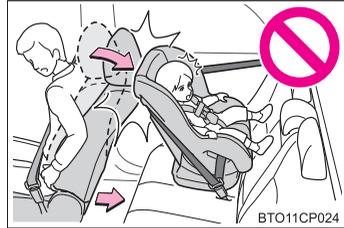
- 事故や急停止の際、効果的にお子さまを保護するために、必ずお子さまの年齢や体の大きさに合ったシートベルトまたはチャイルドシートを使用してください。お子さまを腕の中に抱くのはチャイルドシートのかわりにはなりません。事故の際、お子さまがフロントガラスや乗員、車内の装備にぶつかり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- お子さまの年齢や体の大きさに合ったチャイルドシートを使用して、リヤシートに取り付けてください。
- チャイルドシートに座らせている場合でも、ドア・シート・フロントピラー・リヤピラー・ルーフサイドレール付近にお子さまの頭や体のどの部分ももたれかけないようにしてください。SRSエアバッグがふくらんだ場合、大変危険であり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- チャイルドシートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずチャイルドシートに付属の取扱説明書をよくお読みの上、確実に取り付け、使用方法をお守りください。使用方法を誤ったり、確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■チャイルドシートを取り付けるとき

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。万一ベルトが首に巻き付いた場合、窒息など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
誤ってそのような状態になってしまい、バックルもはずせない場合は、ハサミなどでシートベルトを切断してください。
- シートベルトのプレートとバックルがしっかり固定されて、ベルトがねじれていないか確認してください。
- チャイルドシートを前後左右にゆずって、しっかり固定されているか確認してください。
- チャイルドシートを固定したあとは、シートを調整しないでください。

警告**■チャイルドシートを取り付けるとき**

- 運転席とチャイルドシートが干渉し、チャイルドシートが正しく取り付けられない場合は、助手席側のリヤ席に取り付けてください。
- 助手席シートとチャイルドシートが干渉しないように、助手席シートを調整してください。



- やむを得ず助手席に前向きにチャイルドシートを取り付ける場合には、助手席シートをいちばんうしろにさげて取り付けてください。

助手席SRSエアバッグはかなりの速度と力でふくらむので、お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



警告**■チャイルドシートを取り付けるとき**

- やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付ける場合には、チャイルドシートをうしろ向きに取り付けないでください。
うしろ向きに取り付けていると、事故などで助手席 SRS エアバッグがふくらんだとき、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。助手席側のサンバイザーに、同内容のラベルが貼られています。併せて参照してください。



BT011CP227

- ジュニアシートを使用している場合は、肩部ベルトが常にお子さまの肩の中心にくるようにしてください。ベルトを首から離すと共に肩から落ちないようにしてください。お守りいただかないと、事故や急ブレーキの際に重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ISOFIX 対応チャイルドシート固定専用バーを使用するときは、周辺に障害物がないか、シートベルトが挟まっていないかなどを確認してください。

排気ガスに対する注意

排気ガスには吸引すると人体に有害な物質が含まれています。

警告

排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素（CO）が含まれているため、次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、排気ガスが車内に侵入し、多量の排気ガスが眠気を招き事故の原因となるほか、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行中の留意事項

トランクを閉じてください。

トランクが閉じているのに車内で排気ガス臭がするときは、ドアガラスを開けて空気を入れかえ、すみやかにトヨタ販売店で点検整備を受けてください。

■ 駐車するとき

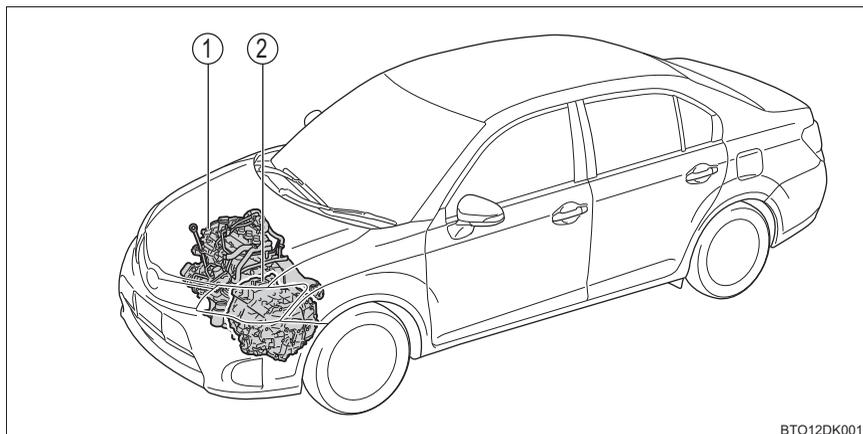
- 車庫内など換気が悪い場所や囲まれた場所では、ハイブリッドシステムを停止してください。
- 長時間ハイブリッドシステムが作動したままにしないでください。
やむを得ないときは、開かれた場所に車を止め、排気ガスが車内に入っていないことを確認してください。
- 降雪時や雪が積もった場所では、ハイブリッドシステムが作動したままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

■ 排気管について

排気管は定期的に点検する必要があります。排気管等の腐食などによる穴や亀裂、および継ぎ手部の損傷、また、排気音の異常などに気付いた場合は、必ずトヨタ販売店で点検を受けてください。

ハイブリッドシステムの特徴

カローラアクシオハイブリッドのハイブリッドシステムは、電気モーターとガソリンエンジンという2つのパワーのシナジー（相乗）効果により、優れた動力性能と低燃費化の両立を高い次元で実現したシステムです。さらに、排出ガスを低減、クリーン化した環境に配慮した技術となっています。



BTO12DK001

イラストは説明のための例であり、実際とは異なります。

- ① ガソリンエンジン
- ② 電気モーター

◆ 停車時・発進時・低速走行時

停車時はガソリンエンジンを停止します。

発進時は電気モーターを使って発進します。

低速走行時や下り坂走行時もガソリンエンジンを停止し、電気モーターを使って走行します。

※ 駆動用電池の充電が必要なときやエンジン暖機中など、ガソリンエンジンが自動停止しないことがあります。（→P. 56）

◆ 通常走行時

主にガソリンエンジンを使用して走行します。

必要に応じて電気モーターを発電機として動かし、駆動用電池へ充電します。

◆ 急加速時

ガソリンエンジンに加え、駆動用電池からも電気モーターに電力を供給し、電気モーターの出力を上げ、力強く加速します。

◆ 減速時・制動時（回生ブレーキ）

車輪が電気モーターを発電機として動かし、駆動用電池へ充電します。

車両接近通報装置

ガソリンエンジンが停止した状態での走行時、車両の接近を周囲の人に知らせるため、車速に応じた音階で音を鳴らします。車速が約 25km/h をこえると消音します。スイッチ操作で消音することもできます。

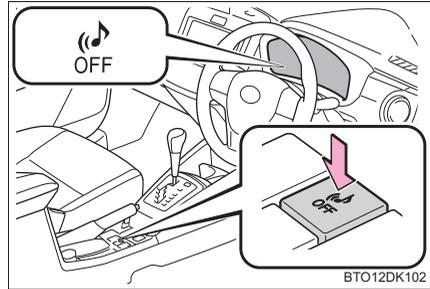
消音するには、エンジンスイッチ★が“ON”またはパワースイッチ★が ON モードのとき、スイッチを押す

メーター内の車両接近通報装置 OFF 表示灯（→P. 68）が点灯します。再度スイッチを押すと車両接近通報装置 OFF 表示灯が消灯します。

車両接近通報装置 OFF 表示灯が点灯しているとき：消音

車両接近通報装置 OFF 表示灯が消灯しているとき：吹鳴

エンジンスイッチ★を“ON”またはパワースイッチ★を ON モードにすると、車両接近通報装置は ON になります。



□ 知識

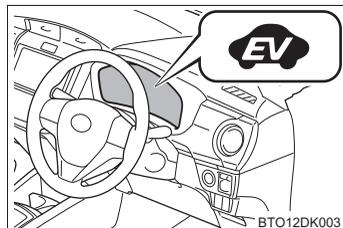
■ 回生ブレーキについて

次の場合、車の運動エネルギーを電気エネルギーに変換し、駆動用電池へ充電すると共に減速力を得ることができます。

- シフトレバーが D または B で走行中に、アクセルペダルから足を離れたとき
- シフトレバーが D または B で走行中に、ブレーキペダルを踏んだとき

■ EV インジケーターについて

ガソリンエンジン停止中や、電気モーターのみで走行しているときに、EV インジケーターが点灯します。



★：仕様により異なる装備やオプション装備

■ ガソリンエンジンの自動停止について

車両状態に応じて、ガソリンエンジンは自動的に始動・停止します。ただし、次の状態では自動停止しないことがあります。

- ガソリンエンジン暖機中
- 駆動用電池の温度が高いとき、または低いとき
- 駆動用電池充電時
- 暖房をかけているとき

■ 駆動用電池の充電について

● ガソリンエンジンの動力による充電や回生ブレーキにより、駆動用電池が充電されるため、車外からの充電は必要ありません。しかし、車両を長時間放置すると、少しずつ放電します。そのため少なくとも、2～3ヶ月に一度、約30分間または16kmほど運転してください。

万一、駆動用電池が完全に放電し、ハイブリッドシステムを始動できないときはトヨタ販売店にご連絡ください。

● シフトレバーがNにあるときは駆動用電池への充電が行われません。車両停止時は必ずPにしてください。また渋滞時などでも、DまたはBで運転してください。

■ 補機バッテリーの充電について

→P. 331

■ 補機バッテリーがあがってしまったり、交換などで取りはずしたとき

ガソリンエンジンの自動停止が行われないことがあります。

自動停止しない状態が2～3日続く場合は、トヨタ販売店へご連絡ください。

■ハイブリッド車特有の音と振動について

ハイブリッド車は、READY インジケーターが点灯し、走行可能な状態でも、通常の車のように、エンジン音や振動がないことがあるため、走行可能な状態であることに気が付かない場合があります。安全のため、駐車時は確実にシフトレバーを P にして、パーキングブレーキをかけてください。

ハイブリッドシステム始動後は、次のような音や振動が発生する場合がありますが、異常ではありません。

- エンジンルームからのモーター音
- ハイブリッドシステム始動時や停止時に聞こえる車両後方および駆動用電池からの音
- トランクを開けたときに聞こえる作動音
- ガソリンエンジンの始動・停止時や低速走行時、およびアイドリング中にトランスミッションから聞こえる“コツコツ”“カタカタ”という音
- 急加速時のエンジン音
- ブレーキペダルを踏んだときに聞こえる回生ブレーキの音
- ブレーキペダルを踏んだときに聞こえる、作動音やモーター音
- ガソリンエンジンの始動・停止による振動や音
- リヤシート下（左側）にある吸入口から聞こえるファンの音

■メンテナンスや修理・廃車について

お車のメンテナンスや修理・廃車の際は必ずトヨタ販売店にご相談ください。特に廃車する場合は、トヨタ販売店を通じて駆動用電池の回収を行っていますので、ご相談ください。

■車両接近通報装置について

次のような場合は、周囲の人に通報音が聞こえにくくなる場合があります。

- 周囲の騒音が大きい場合
- 雨または強風の場合

また、車両接近通報装置は車両前側にあるので、車両前方と比較して、車両後方は聞こえにくくなる場合があります。

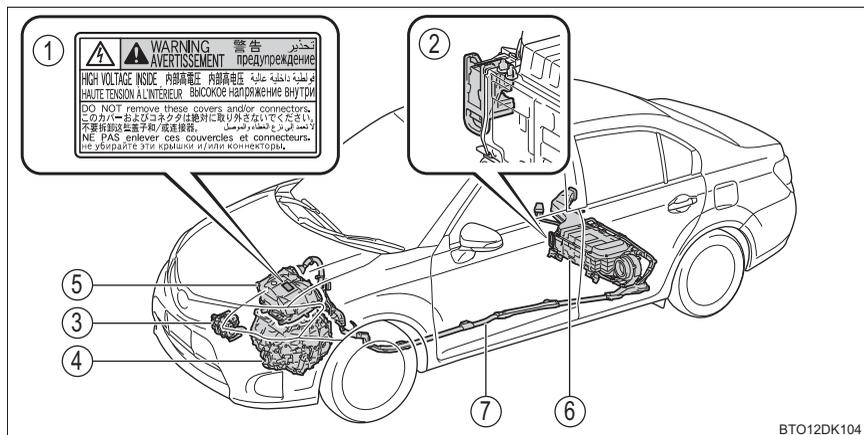
■販売店で設定可能な機能

車両接近通報装置の音量を大きくすることができます。(→P. 350)

ハイブリッドシステムの注意

ハイブリッドシステムには、駆動用電池・パワーコントロールユニット・オレンジ色の高圧ケーブル・電気モーターなどの高電圧部位（最高約520V）や、冷却用ラジエーターなどの高温部位がありますので、ご注意ください。

なお、高電圧部位などには、取り扱い上の注意を記載したラベルが貼付してありますので、ラベルの指示に従って正しい取り扱いをしてください。

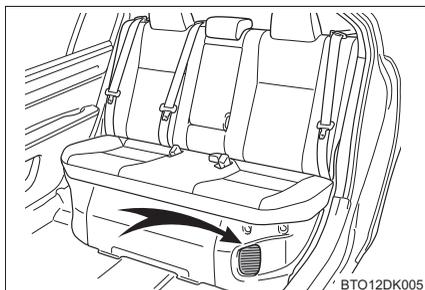


イラストは説明のための例であり、実際とは異なります。

- ① コーションラベル
- ⑤ パワーコントロールユニット・DC/DCコンバーター
- ② サービスプラグ
- ⑥ 駆動用電池
- ③ エアコンコンプレッサー
- ⑦ 高電圧ケーブル（オレンジ色）
- ④ 電気モーター

駆動用電池冷却用吸入口

リヤシート下（左側）部には、駆動用電池冷却用の吸入口があります。吸入口をふさいだりすると、駆動用電池の過熱や出力低下の原因になります。



緊急停止システム

事故により衝撃を受けたときなどには、ハイブリッドシステムを停止して高電圧を遮断します。また、フューエルポンプ制御により燃料供給を停止し、燃料もれを最小限に抑えます。

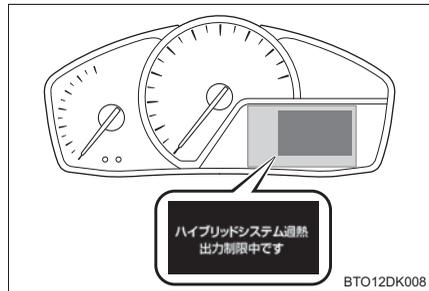
この場合、ハイブリッドシステムを再始動させることができなくなるためトヨタ販売店へご連絡ください。

警告メッセージ

ハイブリッドシステムの異常やお知らせしたい事項が発生すると自動で表示されます。

警告メッセージは、マルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

表示された画面の指示に従ってください。(→P. 289)



知識

■ 警告灯が点灯したときや、警告メッセージが表示されたとき、または補機バッテリーとの接続が断られたとき

ハイブリッドシステムを再始動できないおそれがあります。

もう一度始動操作をしてもREADYインジケーターが点灯しない場合はトヨタ販売店にご連絡ください。

■ ガス欠になったとき

ガス欠でハイブリッドシステムが始動できないときは、燃料残量警告灯(→P. 67)が消灯するまで給油してから再始動してください。少量の給油では始動できない場合があります。(給油量は車両水平状態で約 5L です。車両の傾きによって給油量はかわります)

■電磁波について

- 高電圧部位や高電圧配線は、電磁シールド構造になっています。従来の車や家電製品と比べて、電磁波が多いということはありません。
- アマチュア無線の一部（遠距離通信）において、受信時に雑音が入る場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■駆動用電池について

駆動用電池には寿命があります。寿命は車の使い方、走行条件により異なります。

■適合宣言

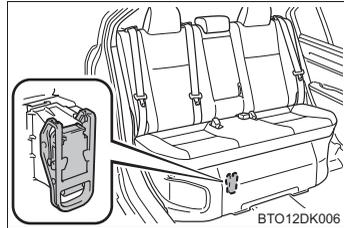
この車両は、ECE100（バッテリー電気車両安全）に基づいた水素排出量に適合しています。

▲警告

■高電圧・高温について

この車は高電圧システムを使用しています。次のことをお守りいただかないと、やけどや感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 高電圧部位・高電圧の配線（オレンジ色）およびそのコネクターの取りはずし・分解などは絶対に行わないでください。
- 走行後はハイブリッドシステムが高温になります。車に貼ってあるラベルの指示に従い、常に高電圧・高温部位に注意してください。
- サービスプラグが駆動用電池に設置してあります。サービスプラグはトヨタ販売店にて車両の修理時などに、駆動用電池の高電圧を遮断するためのものです。取り扱いを誤ると感電のおそれがあるため、絶対にさわらないでください。



 **警告****■ 事故が発生したときは**

次のことをお守りいただかないと、感電など重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 続発事故防止のため安全な場所に停車して、シフトレバーを P に入れ、パーキングブレーキをかけ、ハイブリッドシステムを停止する。(→P. 138、143)
- 高電圧部位、高電圧の配線（オレンジ色）などには、絶対にさわらない
露出した高電圧部品や配線などがいないかを確認してください。
- 車室内および車室外に、はみ出している電気配線には絶対さわらない
- 液体の付着やもれがある場合は絶対にさわらない
駆動用電池の電解液（強アルカリ性）が目や皮膚にふれると失明や皮膚傷害のおそれがあり危険です。万一、目や皮膚に付着した場合はただちに多量の水で洗い流し、早急に医師の診察を受けてください
- 万一、車両火災が発生したときは、ABC 消火器を使用して消火する
水をかける場合は、消火栓などから大量にかけてください。
- 前輪が接地した状態でけん引しない
駆動系部品が破損するおそれがあります。(→P. 283)
- 車の下の路面などを確認し、液体のもれ（エアコンの水以外）が見つかった場合、燃料系統が損傷している可能性があります。そのままハイブリッドシステムを始動すると燃料に引火するおそれがあり危険ですので、始動しないでください。
この場合は、トヨタ販売店に状況を連絡するときに併せてお伝えください。

■ 駆動用電池について

絶対に転売・譲渡・改造などをしないでください。廃車から取りはずされた駆動用電池は事故防止のため、トヨタ販売店を通じて回収を行っていますので、ご協力ください。

適切に回収されないと、次のようなことがおこり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 不法投棄または放置され、環境汚染となるばかりか、第三者が高電圧部位にふれてしまい、感電事故が発生する
- 装備された車両以外で駆動用電池を使用（改造などを含む）し、感電事故、発熱・発煙・発火・爆発事故、電解液漏出事故などが発生する

特に、転売・譲渡などを行うと、相手にこれらの危険性が認識されず、事故につながるおそれがあります。

 **注意****■ 駆動用電池冷却用の吸入口について**

- 吸入口のまわりに荷物などを置いたりしないでください。
吸入口がふさがれると駆動用電池が過熱したり、故障の原因になります。
- 吸入口は、目詰まりしないよう定期的に清掃してください。
- 吸入口に水や異物を入れないでください。
駆動用電池を損傷するおそれがあります。
- 駆動用電池周辺に多量の水をこぼさないよう注意してください。
誤ってこぼしてしまったときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

イモビライザーシステム★

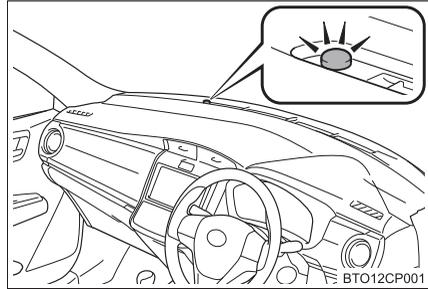
キーに信号発信機が内蔵してあり、あらかじめ登録されたキー以外ではハイブリッドシステムを始動できません。

車両から離れる場合は、車内にキーを残さないでください。

このシステムは車両盗難の防止に寄与する機能であり、すべての車両盗難に対する完全なセキュリティを保証するものではありません。

パワースイッチをOFFにすると、システムの作動を知らせるためにインジケーターが点滅します。

登録されたキーを携帯し、パワースイッチをアクセサリモードまたはONモードにするとシステムが解除され、インジケーターが消灯します。



知識

■ メンテナンスについて

イモビライザーシステムのメンテナンスは不要です。

■ システムが正常に作動しないとき

- キーが金属製のものに接したり、覆われているとき
- キーが他の車両のセキュリティシステム用キー（信号発信機内蔵キー）と重なっているときや接近しているとき

注意

■ イモビライザーシステムを正常に作動させるために

システムの改造や取りはずしをしないでください。
システムが正常に作動しないおそれがあります。

メーターの見方

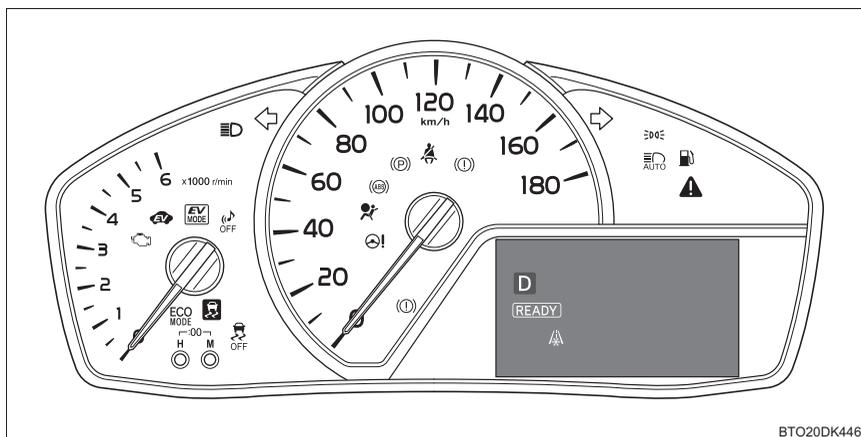
2

2. 計器の見方	
警告灯／表示灯.....	66
計器類.....	69
マルチインフォメーション ディスプレイ.....	72

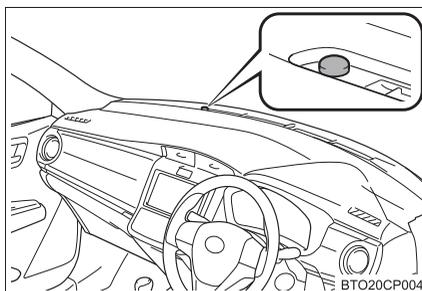
警告灯／表示灯

メーター内の警告灯／表示灯でお車の状況をお知らせします。
次のイラストは、説明のためすべての警告灯／表示灯を示しています。

◆ メーター



◆ ダッシュボード (イモビライザーシステム装着車)



警告灯

システム異常などを警告します。



電子制御ブレーキ警告灯
(→P. 286)

(黄色)



パーキングブレーキ
未解除警告灯
(→P. 287)



ブレーキ警告灯
(→P. 285)

(赤色)



スリップ表示灯
(→P. 286)

(点灯)



エンジン警告灯
(→P. 286)



燃料残量警告灯
(→P. 287)



SRSエアバッグ/
プリテンショナー警告灯
(→P. 286)



シートベルト非着用警告灯
(→P. 287)



ABS & ブレーキアシスト
警告灯 (→P. 286)



マスターウォーニング
(→P. 287)



パワーステアリング警告灯
(→P. 286)

※ 作動確認のためにエンジンスイッチ★を“ON”または パワースイッチ★を ON モードにすると点灯し、数秒後またはハイブリッドシステムを始動すると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

表示灯

システムの作動状況を表示します。

	方向指示表示灯 (→P. 152)		EV ドライブモード表示灯 (→P. 148)
	尾灯表示灯 (→P. 155)		車両接近通報装置 OFF 表示灯 (→P. 55)
	ハイビーム表示灯 (→P. 155)		ECO MODE 表示灯 (→P. 151)
	オートマチックハイビーム 表示灯★ (→P. 158)		EV インジケーター (→P. 55)
	VSC OFF 表示灯 (→P. 173)		スリップ表示灯 (→P. 172) (点滅)
	低温表示 (→P. 69)		READY インジケーター (→P. 138、142)
	シフトポジション表示 (→P. 150)		イモビライザー システム表示灯★ (→P. 63)

※ 作動確認のためにエンジンスイッチ★を“ON”または パワースイッチ★を ON モードにすると点灯し、数秒後またはハイブリッドシステムを始動すると消灯します。点灯しない場合や点灯したままのときはシステム異常のおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

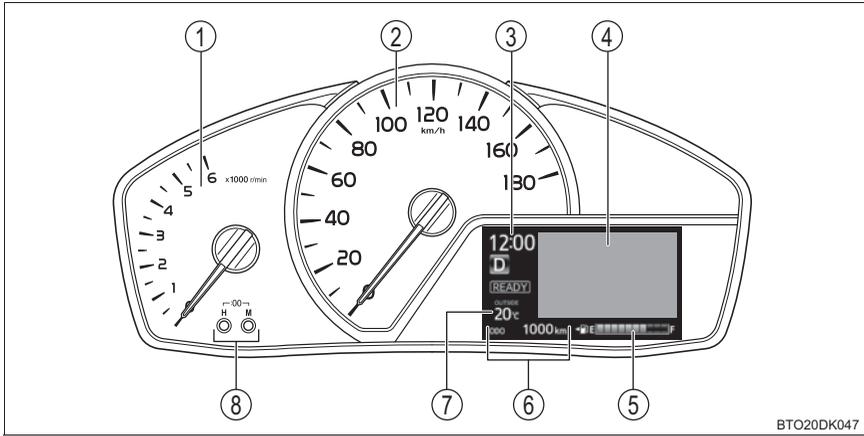
⚠ 警告

■安全装置の警告灯が点灯しないとき

ABS や SRS エアバッグなど安全装置の警告灯がエンジンスイッチ★を“ON”または パワースイッチ★を ON モードにしても点灯しない場合や点灯したままの場合は、事故にあったときに正しく作動せず、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

計器類

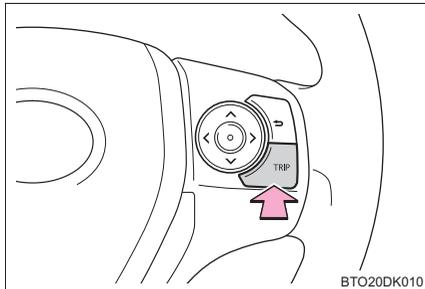


BTO20DK047

- ① タコメーター
毎分のガソリンエンジンの回転数を示します。
 - ② スピードメーター
車両の走行速度を示します。
 - ③ 時計表示※
時刻を表示します。(→P. 225)
 - ④ マルチインフォメーションディスプレイ
→P. 72
 - ⑤ 燃料計※
燃料残量を示します。
 - ⑥ トリップインフォメーション
オドメーター・トリップメーターを表示します。(→P. 70)
 - ⑦ 外気温表示※
外気温度を -40°C ~ 50°C の間で表示します。外気温が約 3°C 以下のときは、低温表示(→P. 68)が点灯します。
 - ⑧ クロックセットボタン
→P. 225
- ※ : シンプル画面を選択しているときは表示が移動します。(→P. 75)

表示を切りかえるには

ディスプレイに表示される項目を切りかえるには、TRIP スイッチを操作します。



BTO20DK010

トリップインフォメーション

TRIP スイッチを押すごとに次のように切りかわります。

① オドメーター

走行した総距離を表示します。

② トリップメーター A ※

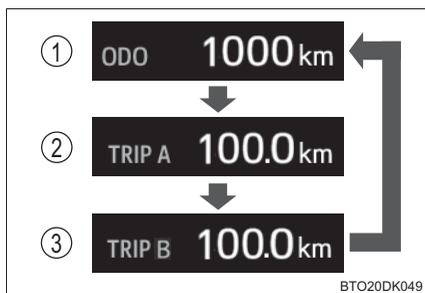
リセットしてからの走行距離を表示します。

リセットするには、トリップメーター A の表示中に TRIP スイッチを押し続けます。

③ トリップメーター B ※

リセットしてからの走行距離を表示します。

リセットするには、トリップメーター B の表示中に TRIP スイッチを押し続けます。



BTO20DK049

※ : 区間距離は、トリップ A、トリップ B の 2 種類で使い分けることができます。

 知識

■ 外気温表示について

次の場合は、正しい外気温が表示されなかったり、温度表示の更新が遅くなったりすることがありますが、故障ではありません。

- 停車しているときや、低速走行（約 20km/h 以下）のとき
- 外気温が急激に変化したとき（車庫・トンネルの出入り口付近など）

■ 外気温表示にーが表示されたときは

システム異常の可能性があります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 液晶ディスプレイについて

→P. 88

 注意

■ ハイブリッドシステムや構成部品への損傷を防ぐために

この車両には、水温計のかわりにマルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージ（→P. 289）が表示されます。「エンジン冷却水高温」または、「ハイブリッドシステム過熱 出力制限中です」と警告メッセージが表示されたときは、オーバーヒートのおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してください。（→ P. 336）

マルチインフォメーションディスプレイ

マルチインフォメーションディスプレイは、外気温や走行に関するさまざまな情報を表示します。

- ドライブインフォメーション (→P. 73)

走行に関するさまざまな情報を表示します。

- エコ (→P. 74)

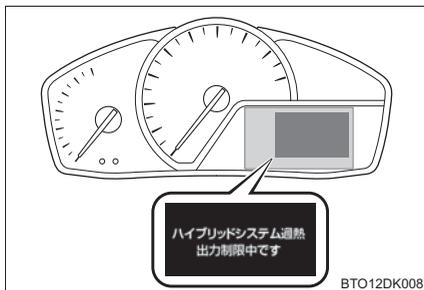
燃費の情報などを表示します。

- 画面の設定 (→P. 74)

日付の修正や、画面の設定・変更を行います。

- 警告メッセージ (→P. 289)

各システムに異常が発生すると、自動で表示されます。



表示を切りかえるには

ディスプレイに表示される項目を切りかえるには、ハンドルのメーター操作スイッチを操作します。

- ① 選択スイッチ

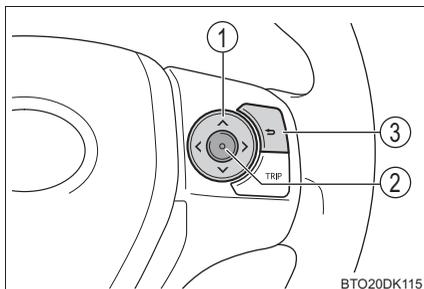
項目や画面を選択／移動します。

- ② 決定スイッチ

決定します。

- ③ もどるスイッチ

ひとつ前の画面にもどります。

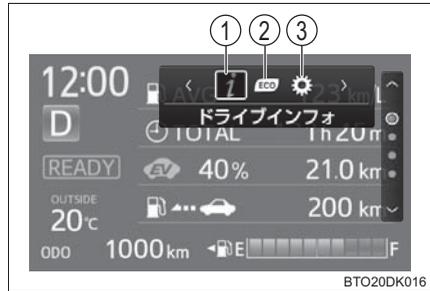


操作方法

選択スイッチの〈または、〉を押して、それぞれの項目へ移動します。

〈または、〉を操作すると画面上部にアイコンが表示され、選択中の項目がタブで囲われます。

- ① ドライブインフォメーション
- ② エコ
- ③ 設定



◆ ドライブインフォメーション

選択スイッチの▲または、▼を押して、次の画面が選択できます。

- ドライブインフォ画面 (→P. 77)
平均燃費／平均车速／走行時間／EV 走行比率・EV 走行距離を表示します。
- エネルギーモニター画面 (→P. 76)
ハイブリッドシステムの作動状況を確認できます。
- デジタルスピードメーター画面 (→P. 75)
デジタルスピードメーターを表示します。
- シンプル画面 (→P. 75)
時計、外気温、燃料計を拡大した画面を表示します。

◆ エコ

選択スイッチの▲または▼を押して、次の画面が選択できます。

- エコジャッジ画面 (→P. 78)
エコ運転の状況を判定し表示します。
- エコウォレット画面 (→P. 79)
ガソリン価格を入力すると、走行距離に応じて消費したガソリンの金額を表示します。また、任意の燃費を入力すると、実際に走行した燃費との差が、お得金額として表示されます。
- エコウォレット履歴画面 (→P. 80)
エコウォレットの履歴を表示します。
- 燃費履歴画面 (→P. 80)
月ごとの平均燃費を表示します。
- 燃費ランキング画面 (→P. 80)
過去の燃費のベスト3と現在の順位を表示します。
- 5分毎燃費画面 (→P. 78)
5分ごとの燃費を表示します。瞬間燃費を同時に表示し、過去の燃費との比較ができます。

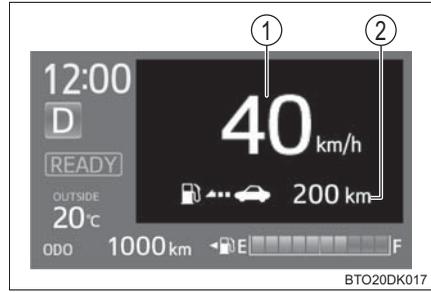
◆ 設定

メーターの表示設定や調整などができます。

→P. 83

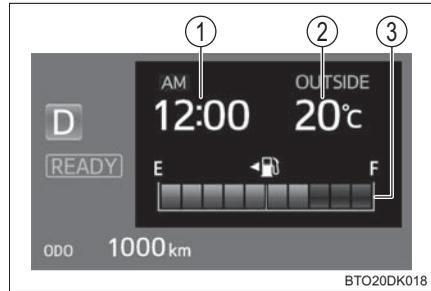
■ デジタルスピードメーター

- ① 車速
- ② 航続可能距離

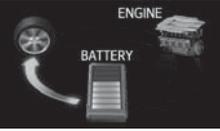
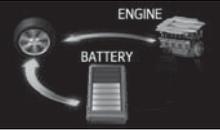
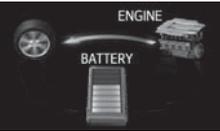
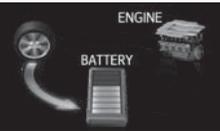
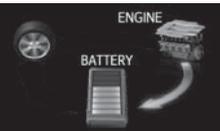
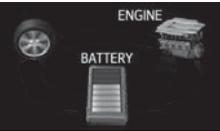


■ シンプル画面

- ① 時計
- ② 外気温
- ③ 燃料計



■ エネルギーモニター

電気のエネルギーで走行しているとき	
ガソリンと電気の両方のエネルギーで走行しているとき	
ガソリンのエネルギーで走行しているとき	
駆動用電池に充電しているとき	
	
エネルギーの流れがないとき	
駆動用電池の残量表示	<p data-bbox="751 1038 938 1066">少ない 多い</p> 

表示画面については実際の状況とわずかに異なる場合があります。

■ ドライブインフォ

平均燃費、平均車速、走行時間、EV 走行比率・EV 走行距離はオドメーターとトリップメーターのどちらかを表示しているかによって、表示内容が異なります。

- オドメーター表示時：ハイブリッドシステムを始動してからの記録を表示します。
- トリップメーター表示時：トリップメーターをリセットしてからの記録を表示します。トリップメーター A・B それぞれの記録を表示します。

トリップメーターをリセットすると、記録もリセットされます。(→P. 70)

① 平均燃費※

平均燃費を表示します。

② 走行時間※

走行時間を表示します。

③ EV 走行比率・EV 走行距離

EV 走行比率と距離（電気モーターのみで走行している割合と距離）を表示します。

④ 航続可能距離

現在の燃料残量で走行できるおよその距離を表示します。

- ・ 表示される距離は過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。
- ・ 燃料給油量が少量の場合、表示が更新されないことがあります。

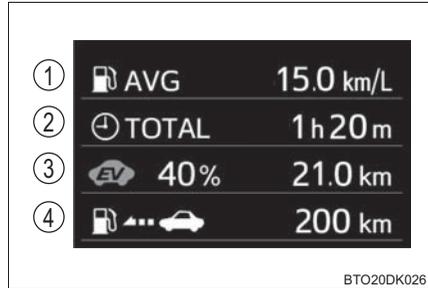
スマートエントリー&スタートシステム非装着車：

給油の際はエンジンスイッチを“LOCK”にしてください。万一、エンジンスイッチを“LOCK”にせず給油した場合、表示が更新されないことがあります。

スマートエントリー&スタートシステム装着車：

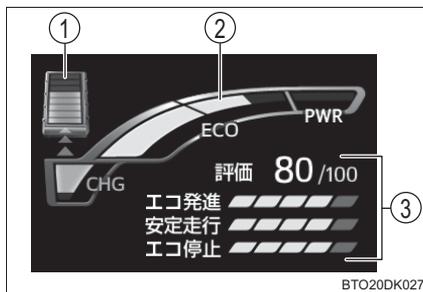
給油の際はパワースイッチを OFF にしてください。万一、パワースイッチを OFF にせず給油した場合、表示が更新されないことがあります。

※：設定により平均車速を表示することもできます。(→P. 84)



■ エコジャッジ

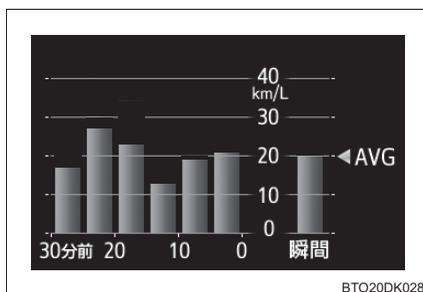
- ① 駆動用電池残量表示
- ② ハイブリッドシステムインジケータ
ハイブリッドシステムの出力や回生レベルを表示します。
(→P. 82)
- ③ エコ運転状況の表示



運転の状況を、エコ発進・安定走行・エコ停止の3パターンに分け、5段階で表示します。また、車両が停止するたびに点数を表示します。(発進するごとにリセットされ、積算は行いません)

■ 5分毎燃費

ハイブリッドシステムを始動してからの燃費履歴を5分刻みで表示します。瞬間燃費を同時に表示し、30分前までの燃費と比較することができます。



■ エコウォレット

消費したガソリン価格の表示や燃費の比較をすることができます。



① 消費金額

消費金額を表示します。

オドメーターとトリップメーターのどちらかを表示しているかによって、表示がことなります。

- オドメーター表示時：ハイブリッドシステムを始動してからの金額を表示します。
- トリップメーター表示時：トリップメーターをリセットしてからの金額を表示します。トリップメーター A・B それぞれの金額を表示します。

トリップメーターをリセットすると、金額もリセットされます。(→P. 70)

② 比較燃費

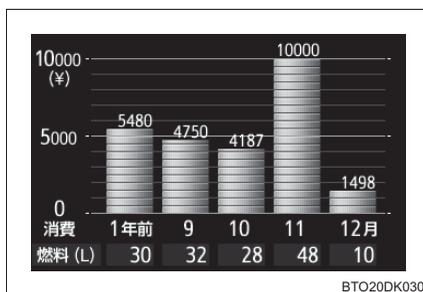
設定画面で、比較したい任意の燃費数値を入力します。(→P. 85)

■ エコウォレット履歴

エコウォレットで比較燃費を入力するとお得金額の履歴を表示し、入力しなければ消費金額の履歴を表示します。

今月、過去3か月分と1年前の同月を表示し、比較することができます。

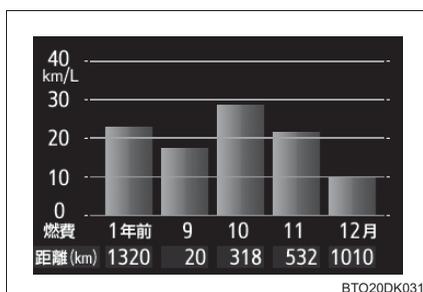
グラフに加え数字も表示します。



■ 燃費履歴

月ごとの平均燃費を表示します。

今月、過去3か月分と1年前の同月を表示し、比較することができます。



■ 燃費ランキング

過去の燃費ベスト3と現在の順位を表示します。



- オドメーター表示時：ハイブリッドシステムを始動してからの記録を表示します。
- トリップメーター表示時：トリップメーターをリセットしてからの記録を表示します。トリップメーター A・B それぞれの記録を表示します。

順位は 100 位までを表示し、以降はランク外として表示されます。

◆ 履歴の消去

エコウォレット履歴・燃費履歴・燃費ランキングを消去することができます。

- 1 消去したい履歴画面を表示している時に⊙(決定スイッチ)を押し続けると、履歴リセット画面を表示します。

- ① エコウォレット履歴
- ② 燃費履歴
- ③ 燃費ランキング

The diagram illustrates the steps to delete history for three different screens. Each screen is shown with an arrow pointing to a '履歴リセット' (History Reset) confirmation dialog.

① エコウォレット履歴 (Eco Wallet History): The screen shows a bar chart of fuel consumption (消費) in liters (L) for the months of 1 year ago, 9, 10, 11, and 12. The values are 5480, 4750, 4187, 10000, and 1498 respectively. The confirmation dialog asks: 「履歴リセット エコウォレット履歴をリセットしますか?」 (History Reset: Do you want to reset Eco Wallet History?).

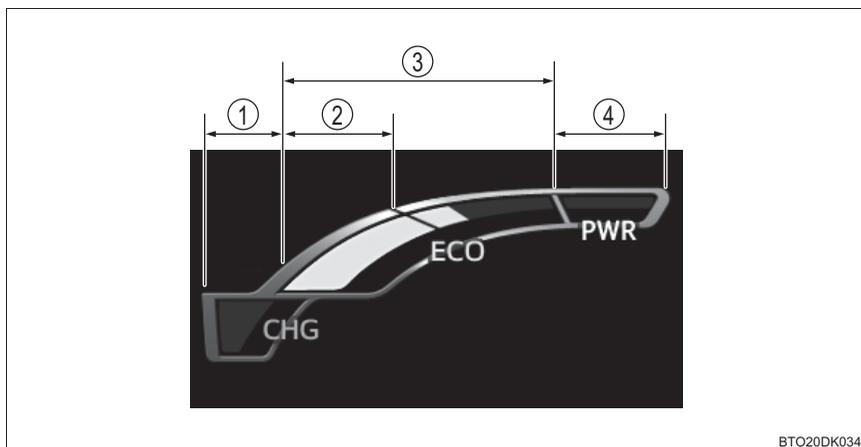
② 燃費履歴 (Fuel History): The screen shows a bar chart of fuel consumption (燃費) in km/L for the months of 1 year ago, 9, 10, 11, and 12. The values are 1320, 20, 318, 532, and 1010 respectively. The confirmation dialog asks: 「履歴リセット 燃費履歴をリセットしますか?」 (History Reset: Do you want to reset Fuel History?).

③ 燃費ランキング (Fuel Ranking): The screen shows a ranking of fuel consumption (燃費) in km/L. The top 3 are: 2nd (26.8 km/L, 2013.10.12, 81.5 km), 1st (27.2 km/L, 2013.12.19, 57.7 km), and 3rd (25.6 km/L, 2013.11.21, 105.2 km). The average (AVG) is 15.0 km/L. The confirmation dialog asks: 「履歴リセット 燃費ランキングをリセットしますか?」 (History Reset: Do you want to reset Fuel Ranking?).

BT020DK333

- 2 選択スイッチの<または、>を押して「はい」を選択し、⊙(決定スイッチ)を押すと、履歴が消去されます。

ハイブリッドシステムインジケーター



BTO20DK034

① チャージエリア

エネルギーが回生[※]されている状態を示します。回生した電力は、駆動用電池を充電します。

また、充電中は、が表示されます。

※ : ここでの「回生」の意味は、運動エネルギーを電気エネルギーに変換することです。

② ハイブリッドエコエリア

ガソリンエンジンの動力を使用しない状況を多く含む状態を示します。ガソリンエンジンは、各種の条件により自動的に停止・再始動します。

③ エコエリア

エコ運転（環境に配慮した走行）をしている状態を示します。

④ パワーエリア

全開走行など、エコ運転の範囲をこえている状態を示します。

インジケーターをエコエリアに保つことで、エコ運転が可能です。

画面の設定変更

次の内容を設定できます。必ず安全な場所へ移動し操作してください。

選択スイッチの \wedge または \vee を押してカーソルを移動し、設定する項目で \odot (決定スイッチ)を押すと、設定画面に切りかわります。

① EV 表示 (→P. 84)

EV 表示の ON / OFF 切りかえができます。

② ドライブインフォ (→P. 84)

ドライブインフォ画面の 1 行目と 2 行目の項目を「平均車速」・「平均燃費」・「走行時間」から選択できます。

③ エコウォレット (→P. 85)

ガソリン価格の設定・比較燃費の設定ができます。

④ 夜間調光 (→P. 85)

車幅灯点灯時のメーター照度を調整できます。

⑤ 日付 (→P. 86)

日付の調整ができます。

⑥ 走行結果表示 (→P. 86)

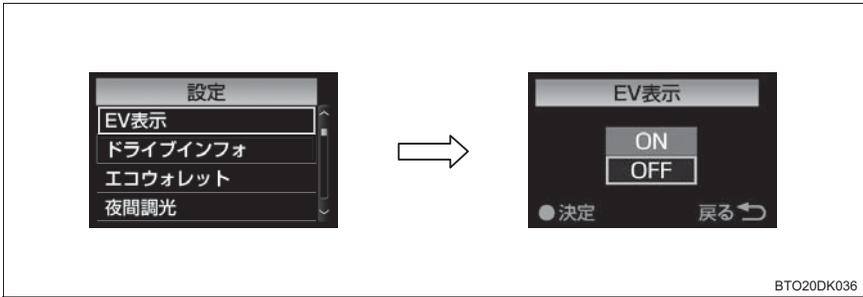
走行結果表示の ON / OFF 切りかえができます。

⑦ 初期化

→P. 89



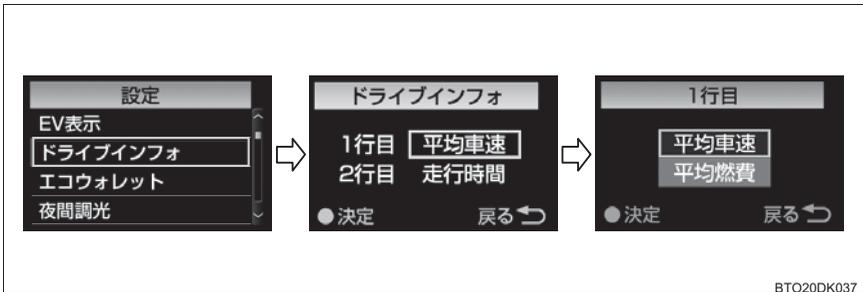
■ EV 表示



BTO20DK036

- 1 選択スイッチの \blacktriangle または、 \blacktriangledown で「EV 表示」を選択し、 \odot （決定スイッチ）を押す。
- 2 選択スイッチの \blacktriangle または、 \blacktriangledown で ON または、OFF を選択し、 \odot （決定スイッチ）を押す。

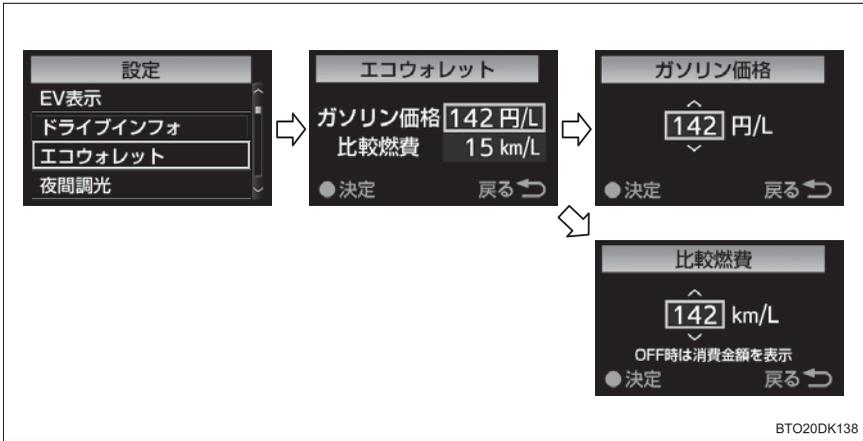
■ ドライブインフォ



BTO20DK037

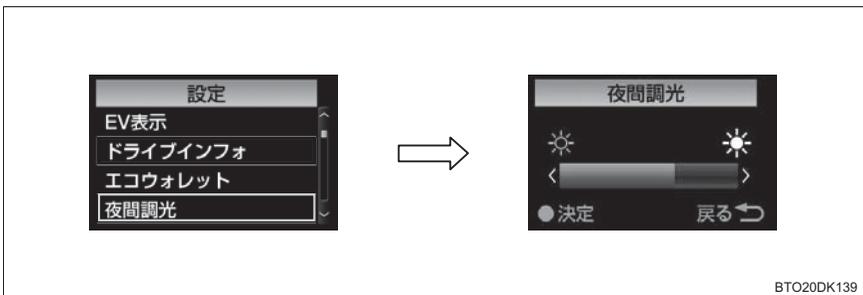
- 1 選択スイッチの \blacktriangle または、 \blacktriangledown で「ドライブインフォ」を選択し、 \odot （決定スイッチ）を押す。
- 2 選択スイッチの \blacktriangle または、 \blacktriangledown で「1 行目」または、「2 行目」を選択し、 \odot （決定スイッチ）を押す。
- 3 選択スイッチの \blacktriangle または、 \blacktriangledown で項目を選択し、 \odot （決定スイッチ）を押す

■ エコウォレット設定



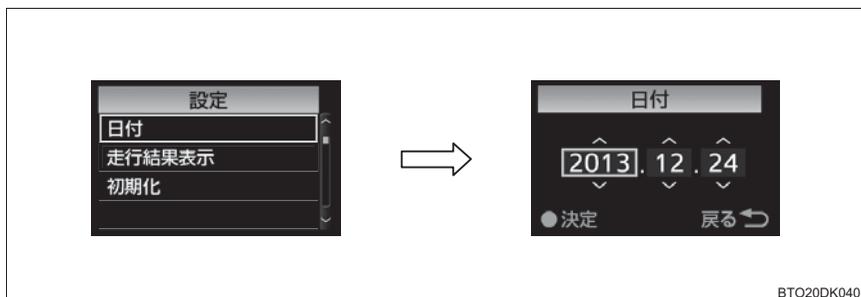
- 1 選択スイッチの \wedge または、 \vee で「エコウォレット」を選択し、 \odot （決定スイッチ）を押す。
- 2 選択スイッチの \wedge または、 \vee で「ガソリン価格」または、「比較燃費」を選択し、 \odot （決定スイッチ）を押す。
- 3 選択スイッチの \wedge （上昇）または、 \vee （下降）で数値を設定し、 \odot （決定スイッチ）を押す

■ 夜間調光



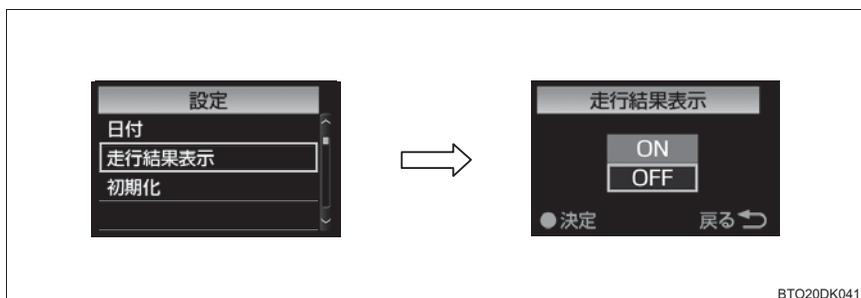
- 1 選択スイッチの \wedge または、 \vee で「夜間調光」を選択し、 \odot （決定スイッチ）を押す。
- 2 選択スイッチの \rangle （明）または、 \langle （暗）で照度を設定し、 \odot （決定スイッチ）を押す

■ 日付



- 1 選択スイッチの \wedge または、 \vee で「日付」を選択し、 \odot （決定スイッチ）を押す。
- 2 選択スイッチの \lt または、 \gt で年／月／日を選択し、 \wedge （上昇）または、 \vee （下降）で数値を設定し、 \odot （決定スイッチ）を押す

■ 走行結果表示



- 1 選択スイッチの \wedge または、 \vee で「走行結果表示」を選択し、 \odot （決定スイッチ）を押す。
- 2 選択スイッチの \wedge または、 \vee で ON または、OFF を選択し、 \odot （決定スイッチ）を押す。

今回の走行結果表示

ハイブリッドシステムを停止すると、ハイブリッドシステムを始動したときからの走行データを一覧で表示します。

ドアをロックすると画面は消えます。

今回の走行	
走行距離	100.0 km
走行時間	2 h 30 m
燃費	15.0 km/L
消費	¥ 946

BTO20DK042

知識

■ 駆動用電池の残量表示について

駆動用電池の充電量はハイブリッドシステムによって自動制御されています。そのため、回生ブレーキ機能による電気回収・ガソリンエンジンによる発電が行われても、駆動用電池の残量表示が最大（レベル 8）まで到達しないことがあります。異常ではありません。

■ 航続可能距離について

現在の燃料残量で走行できるおよその距離を表示します。表示される距離は、過去の平均燃費をもとに算出されるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。

■ エコジャッジについて

走行条件や環境によって評価点は変化します。そのため、燃費とリンクしない場合があります。

■ エコウォレットについて

- 消費金額・お得金額は目安として利用してください。
- 給油のしかた・走行条件・環境などによって、実際に給油したときの金額と画面に表示される金額に差が出る場合があります。
- 消費金額・お得金額は、エコジャッジの評価点とはリンクしない場合があります。

■補機バッテリー端子の脱着をしたとき

補機バッテリー端子の脱着を行うとき、次のデータはリセットされます。

- 時計
- 燃費ランキング（4位以下）
- 平均燃費
- 航続可能距離
- 平均車速
- EV 走行比率・EV 走行距離
- 走行時間

■液晶ディスプレイについて

ディスプレイに小さな斑点や光点が表示されることがあります。これは液晶ディスプレイ特有の現象でそのまま使用しても問題ありません。

■オープニング画面について

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車：エンジンスイッチを“ON”または、“ACC”にすると3秒間表示します。
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車：パワースイッチを ON モードまたは、アクセサリモードにすると3秒間表示します。

オープニング画面表示中に、次の操作を行うとオープニング画面は解除されます。

- ・ シフトレバーを P 以外へ操作した
- ・ ハンドルの TRIP スイッチまたは、メーター操作スイッチを操作した



■設定画面について

車両走行中は操作できません。



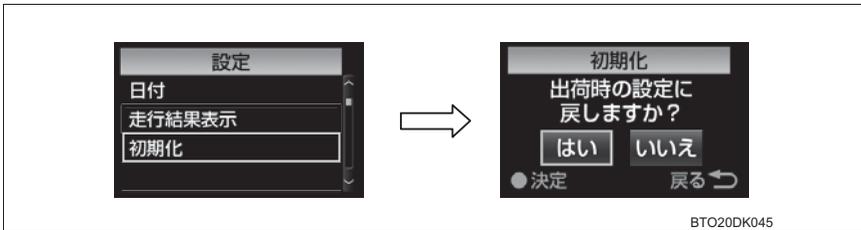
■ 給油をしたときは

給油後にエンジンスイッチ★を“ON”またはパワースイッチ★をONモードにすると、自動でガソリン価格入力画面（→P. 85）が表示されます。

■ 初期化について

設定画面から初期化を行うことで次の項目を初期（工場出荷時の設定）にもどすことができます。

- ・ EV 表示
- ・ ドライブインフォ
- ・ エコウォレット
- ・ 夜間調光
- ・ 走行可能結果表示



- 1 選択スイッチの▲または、▼で「初期化」を選択し、⊙（決定スイッチ）を押す。
- 2 選択スイッチの◀または、▶で「はい」または、「いいえ」を選択し、⊙（決定スイッチ）を押す。

⚠ 警告

■ エコジャッジについて

エコジャッジは目安として利用してください。必ず交通状況に合わせ、周囲の安全に注意して運転してください。

■ ディスプレイの設定を変更するとき

ハイブリッドシステムが作動している状態で操作を行うため、車庫内など囲まれた場所では、十分に換気をしてください。換気をしないと、排気ガスが充満し、排気ガスに含まれる一酸化炭素（CO）により、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ 低温時の画面表示について**

画面の温度が極めて低いときは、画面表示の切りかえが遅れる場合がありますので、車室内を暖めてからご使用ください。

■ ディスプレイの設定を変更するとき

補機バッテリーあがりを起こす可能性がありますので、確実にハイブリッドシステムが作動している状態で実施してください。

各部の操作**3**

- 3-1. キー
 - キー92
- 3-2. ドアの開閉、ロックのしかた
 - スマートエントリー&
スタートシステム95
 - ワイヤレスリモコン 105
 - ドア 108
 - トランク 111
- 3-3. シートの調整
 - フロントシート 114
 - ヘッドレスト 116
- 3-4. ハンドル位置・ミラー
 - ハンドル 118
 - インナーミラー 120
 - ドアミラー 122
- 3-5. ドアガラスの開閉
 - パワーウィンドウ 125

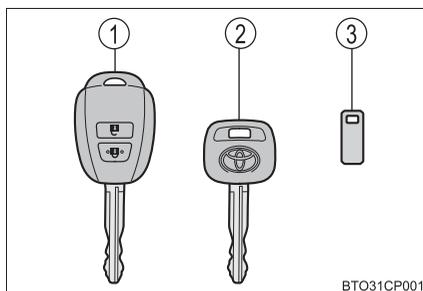
キー

キーについて

お客様へ次のキーをお渡しします。

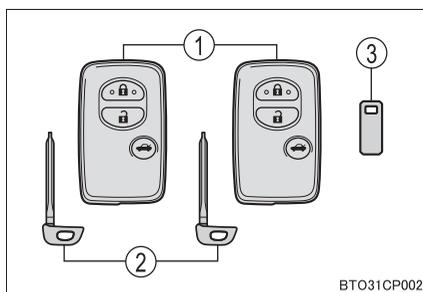
▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

- ① キー（ワイヤレス機能装着）
・ ワイヤレス機能の作動
（→P. 105）
- ② キー（ワイヤレス機能非装着）
- ③ キーナンバープレート



▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

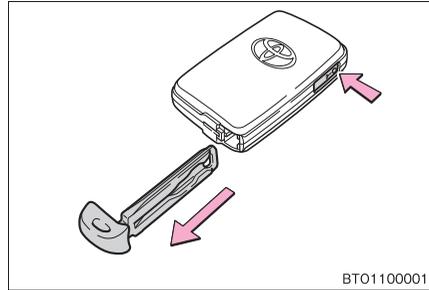
- ① 電子キー
・ スマートエントリー&スタートシステムの作動（→P. 95）
・ ワイヤレス機能の作動
（→P. 105）
- ② メカニカルキー
- ③ キーナンバープレート



メカニカルキーを使うには（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

メカニカルキーを取り出すには、解除ボタンを押してキーを取り出ししてください

使用後はもとにもどし、電子キーと一緒に携帯してください。電子キーの電池が切れたときやスマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき、メカニカルキーが必要になります。（→P. 329）



知識

■キー（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）またはメカニカルキー★を紛失したとき

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーと残りのキーまたはメカニカルキーから、トヨタ販売店でトヨタ純正品の新しいキーを作ることができます。キーナンバープレートは車の中以外の安全な場所（財布の中など）に保管してください。

■航空機に乗るとき

航空機にキーを持ち込む場合は、航空機内でキーのスイッチを押さないでください。また、かばんなどに保管する場合でも、簡単にスイッチが押されないように保管してください。スイッチが押されると電波が発信され、航空機の運行に支障をおよぼすおそれがあります。

 **注意****■ キーの故障を防ぐために**

- 落としたり、強い衝撃を与えたり、曲げたりしない
- 温度の高いところに長時間放置しない
- むらしたり超音波洗浄器などで洗ったりしない
- キーに金属製または磁気を帯びた製品を取り付けたり、近付けたりしない
- 分解しない
- 電子キー表面にシールなどを貼らない
- テレビやオーディオ・電磁調理器などの磁気を帯びた製品や、低周波治療器などの電気医療機器の近くに置かない

■ キー取り扱いの注意

ワイヤレスキー・電子キーは電波法の認証に適合しています。必ず次のことをお守りください。

- 電池交換時以外は、不用意に分解しないでください。
分解・改造したものを使用することは法律で禁止されています。
- 必ず日本国内でご使用ください。

■ 電子キーを携帯するとき

電源を入れた状態の電化製品とは10cm以上離して携帯してください。10cm以内にあると電化製品の電波と干渉し正常に機能しない場合があります。

■ スマートエントリー&スタートシステムの故障などで販売店に車両を持っていくとき

車両に付属しているすべての電子キーをお持ちください。

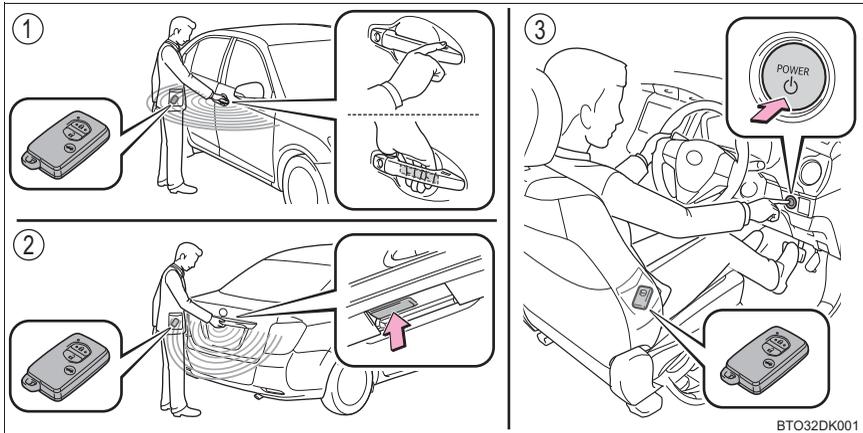
■ キー★または電子キー★を紛失したとき

キーまたは電子キーを紛失した状態で放置すると、盗難の危険性が極めて高くなります。車両に付属している残りのキーまたは電子キーをすべてお持ちのうえ、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。

スマートエントリー&スタートシステム★

機能概要

電子キーをポケットなどに携帯すると、次の操作が行えます。(必ず運転者が携帯してください)



- ① ドアを解錠・施錠する (→P. 96)
- ② トランクを解錠する (→P. 96)
- ③ ハイブリッドシステムを始動する (→P. 142)

知識

■作動の合図

ドアの施錠・解錠を、ブザーと非常点滅灯の点滅で知らせます。(施錠は 1 回、解錠は 2 回)

■解錠操作のセキュリティ機能

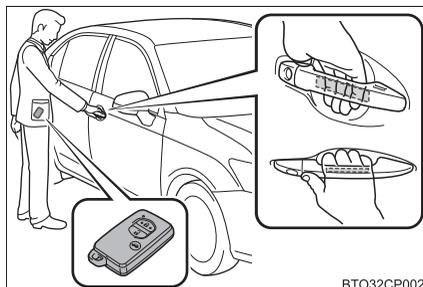
解錠操作後、約 30 秒以内にドアを開けなかったときは盗難防止のため、自動的に施錠されます。(セキュリティ機能で施錠されたとき、電子キーの位置によって室内の作動範囲内に電子キーがあると検知されると、再度解錠されることがあります)

ドアの解錠・施錠（フロント席ドアハンドルのみ）

ハンドルを握って解錠する

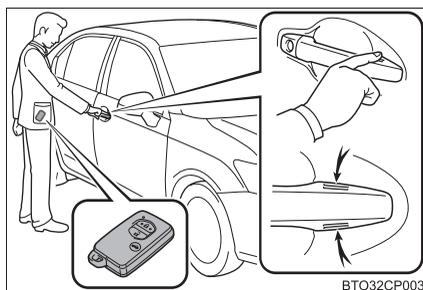
ハンドル裏面のセンサー部に確実にふれてください。

施錠操作後 3 秒間は解錠できません。



BTO32CP002

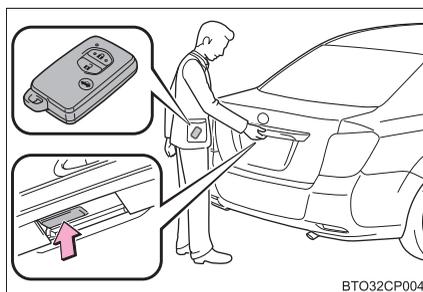
ドアハンドル上側のロックセンサー部（ハンドルのくぼみ部）にふれ施錠する



BTO32CP003

トランクを解錠する

トランクオープンスイッチを押し解錠する

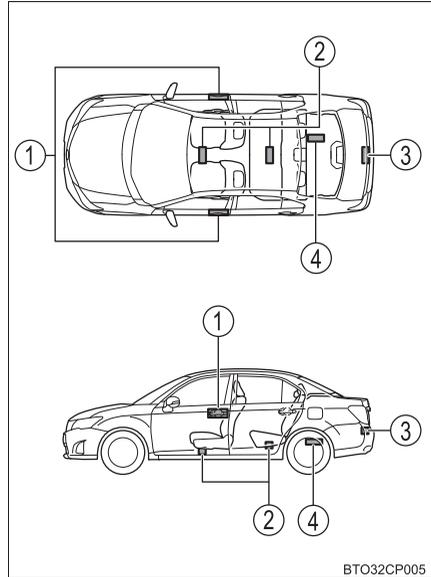


BTO32CP004

アンテナの位置と作動範囲

■ アンテナの位置

- ① 車外アンテナ
- ② 車内アンテナ
- ③ トランク外アンテナ
- ④ トランク内アンテナ



BTO32CP005

■ 作動範囲（電子キーの検知エリア）

●：ドアの施錠・解錠時

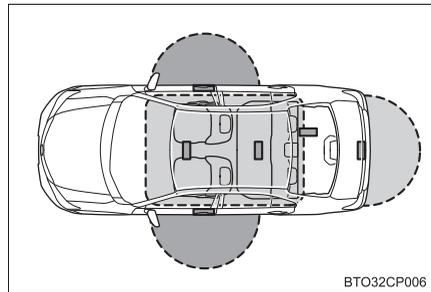
ドアハンドルから周囲約 70cm 以内で電子キーを携帯している場合に作動します。(電子キーを検知しているドアハンドルのみ作動します)

●：トランクの解錠時

トランクオープンスイッチから周囲約 70 cm 以内で電子キーを携帯している場合に作動します。

●：ハイブリッドシステム始動時 またはモード切りかえ時

車内で電子キーを携帯している場合に作動します。

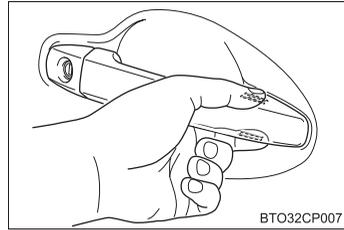


BTO32CP006

知識

■ ドアハンドル上側のロックセンサーで施錠できないとき

ドアハンドル上側のロックセンサー部にふれても施錠できないときは、上下のロックセンサー部に同時にふれてください。



■ 警告音と警告表示について

誤操作などによる予期せぬ事故や盗難を防ぐため、車内や車外で警告音が鳴ったり、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されることがあります。警告が表示されたときは、ディスプレイの表示をもとに適切に対処してください。(→P. 297)

警告音のみが鳴る場合の状況と対処方法は次の通りです。

警告音	状況	対処方法
車内から“ピー”と1回鳴る 車外から“ピー”と5秒間鳴る	車内に電子キーを置いたまま、フロントドアを開き、ロックレバーを施錠側にしてドアハンドルを引いたままドアを閉めて施錠しようとした	車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する
車外から“ピー”と5秒間鳴る	車内に電子キーを置いたまま、スマートエントリー&スタートシステムでドアを施錠しようとした	車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する
	いずれかのドアが開いているときにスマートエントリー&スタートシステムでドアを施錠しようとした	全ドアを閉めたあと、再度施錠する
	全ドアが施錠されている状態で電子キーをトランク内に置いたままトランクを閉じた	トランク内から電子キーを取り出したあと、トランクを閉じる

警告音	状況	対処方法
車内から“ピー”と鳴り続ける	シフトレバーがP以外の状態で パワースイッチを OFF にせず運転席ドアが開いた	シフトレバーをPにする
車内から“ピー、ピー”と鳴り続ける	運転席ドアが開いている状態で パワースイッチをアクセサリモードにした（アクセサリモードのとき運転席ドアを開いた）	パワースイッチを OFF にしたあと、運転席ドアを閉める

■ 節電機能

長期駐車時に電子キーの電池と車両の補機バッテリーあがりを防止するため、節電機能が働きます。

- 次の状況では、スマートエントリー&スタートシステムによる解錠に時間がかかる場合があります。
 - ・ 車の外約 2m 以内に電子キーを 10 分以上放置した
 - ・ 5 日間以上スマートエントリー&スタートシステムを使用しなかった
- 14 日間以上スマートエントリー&スタートシステムを使用しなかった場合、運転席以外での解錠ができなくなります。この場合は、運転席のドアハンドルを握る、もしくは、ワイヤレス機能、メカニカルキーで解錠してください。

■ 機能が正常に働かないおそれのある状況

スマートエントリー&スタートシステムは微弱な電波を使用しています。次のような場合は電子キーと車両間の通信をさまたげ、スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコン、イモビライザーシステムが正常に作動しない場合があります。(対処方法：→P. 329)

- 電子キーの電池が消耗しているとき
- 近くにテレビ塔や発電所・ガソリンスタンド・放送局・大型ディスプレイ・空港があるなど、強い電波やノイズの発生する場所にいるとき
- 電子キーが、次のような金属製のものに接していたり、覆われたりしているとき
 - ・ アルミ箔などの金属の貼られたカード
 - ・ アルミ箔を使用したタバコの箱
 - ・ 金属製の財布やかばん
 - ・ 小銭
 - ・ カイロ
 - ・ CD や DVD などのメディア
- 近くで他の電波式ワイヤレスリモコンを使用しているとき
- 電子キーを、次のような電波を発信する製品と同時に携帯しているとき
 - ・ 無線機や携帯電話・コードレス式電話などの無線通信機器
 - ・ 他の車の電子キーや電波式ワイヤレスリモコン
 - ・ パソコンや携帯情報端末 (PDA など)
 - ・ デジタルオーディオプレーヤー
 - ・ ポータブルゲーム機器
- リヤガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき
- 充電器など電子機器の近くにキーを置いた場合

■ご留意いただきたいこと

- 電子キーが作動範囲内（検知エリア内）にあっても、次のような場合は正しく作動しないことがあります。
 - ・ ドアの施錠・解錠時に電子キーがドアガラスやドアハンドルに近付きすぎる、または地面の近くや高い場所にある場合
 - ・ トランクの解錠時に電子キーが地面の近くや高い場所にある、またはリヤバンパー中央に近付きすぎた場合
 - ・ ハイブリッドシステム始動時またはモード切りかえ時に電子キーがインストルメントパネルやフロア上・リヤシート後方のパッケージトレイ上・ドアポケット、またはグローブボックス内などに置かれていた場合
- インストルメントパネル上面・ドアポケット付近に電子キーを置いたまま車外に出ると、電波の状況によっては車外アンテナに検知されて車外からのドアロックが可能になる場合があります、電子キーが車内に閉じ込められるおそれがあるため注意してください。
- 電子キーが作動範囲内にあれば、電子キーを携帯している人以外でも施錠・解錠できます。ただし、電子キーを検知しているドア以外では、解錠できません。
- 車外でもドアガラスに近い位置に電子キーがあるときは、ハイブリッドシステムの始動が可能になる場合があります。
- 電子キーが作動範囲内にある場合、洗車や大雨などでドアハンドルに大量の水がかかると、ドアが施錠・解錠することがあります。（解錠された場合でも、ドアの開閉操作がなければ約 30 秒後に自動的に施錠されます）
- 車両に近い位置に電子キーがあるときにワイヤレスリモコンなどで施錠を行うと、スマートエントリー&スタートシステムによる解錠ができなくなることがあります。（ワイヤレスリモコンで解錠すると復帰します）

■施錠時の留意事項

- 手袋を着けてロックセンサーにふれた場合、施錠が遅れたり、施錠されなかったりすることがあります。その場合、手袋をはずしてロックセンサーにふれてください。
- 施錠操作は、連続で2回まで有効で、3回目以降は施錠動作しません。
- キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠・解錠動作をくり返すことがあります。その場合はキーを車両から2m以上離れた場所に保管して、洗車などをしてください。(キーの盗難に注意してください)
- 車内にキーがあるときに、洗車機で洗車するなどして水をドアハンドルにかけた場合、警報がマルチインフォメーションディスプレイに表示され、車外のブザーが吹鳴することがあります。その場合は全ドアを施錠すれば警報は表示されなくなります。
- ロックセンサーの表面に氷や雪、泥が付着した場合、センサーが反応しない場合があります。反応しない場合は表面に付着した氷や雪、泥を取り除いて再度操作するか、ドアハンドル下部のロックセンサーを使って操作してください。
- ドアハンドルを操作するときに、爪がドアにあたる場合があります。ドアを傷付けたり、爪を割ったりしないよう注意してください。

■解錠時の留意事項

- 急なドアハンドル操作や、車外アンテナの作動範囲内へ急に入ってドアハンドルを操作したときは、解錠されない場合があります。その場合は、ドアハンドルを一度もとの位置にもどし、解錠されたことを確認してからドアハンドルを引いてください。
- 手袋を着けてドアハンドルを握った場合は、解錠が遅れたり、解錠されなかったりすることがあります。その場合、手袋をはずしてハンドル裏面のセンサー部にふれてください。
- キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠・解錠動作をくり返すことがあります。その場合はキーを車両から2m以上離れた場所に保管して、洗車などをしてください。(キーの盗難に注意してください)
- 作動範囲内に他の電子キーがあるときは、ドアハンドルを握ってから解錠するまでの時間が少し長くなる場合があります。
- ドアハンドルを操作するときに、爪がドアにあたる場合があります。ドアを傷付けたり、爪を割ったりしないよう注意してください。

■長期間運転しないとき

- 盗難防止のため、電子キーを車両から2m以上離しておいてください。
- あらかじめスマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることができます。詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

■システムを正しく作動させるために

- 電子キーを必ず携帯した上で作動させてください。また、車外から操作する場合は電子キーを車両に近付けすぎないようにしてください。
作動時の電子キーの位置や持ち方によっては、電子キーが正しく検知されず、システムが正しく作動しないことがあります。(誤って警報が鳴ったり、キー閉じ込み防止機能が働かないこともあります。：→P. 98)
- トランク内に電子キーを置かないでください。
電子キーの場所(応急用タイヤ★付近、トランク内側の端)、状況(金属製のかばんの中、金属製のものの付近など)、または周囲の電波環境によっては、キー閉じ込み防止機能が作動しない場合があります。(→P. 112)

■スマートエントリー&スタートシステムが正常に作動しないとき

- ドアの施錠・解錠：→P. 329
- ハイブリッドシステムの始動：→P. 330

■電池の消耗について

- 電池の標準的な寿命は1～2年です。
- 電池残量が少なくなると、ハイブリッドシステムを停止した際に車内から警告音が鳴ります。
(→P. 301)
- 電子キーは常に電波を受信しているため、使用していないあいだでも電池が消耗します。次のような状態になったときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。
 - ・スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレスリモコンが作動しない
 - ・作動範囲が狭くなった
 - ・電子キーのLEDが点灯しない
- 電池の著しい消耗を防ぐため、次のような磁気を発生する電化製品の1m以内に電子キーを保管しないでください。
 - ・TV
 - ・パソコン
 - ・携帯電話やコードレス電話機、および充電器
 - ・電気スタンド
 - ・電磁調理器

■ 電池が切れたとき

→P. 247

■ 販売店で設定可能な機能

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にするなどの変更ができます。
(カスタマイズ一覧：→P. 349)

■ 販売店でスマートエントリー&スタートシステムを非作動にしたとき

- ドアの施錠・解錠：ワイヤレス機能、またはメカニカルキーを使ってドアの施錠・解錠ができます。(→P. 105, 329)
- ハイブリッドシステムの始動・パワースイッチのモード切りかえ：→P. 330
- ハイブリッドシステムの停止：→P. 143

**警告****■ 電波がおよぼす影響について**

- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器を装着されている方は、室内アンテナ・車外アンテナ(→P. 97) から約 22cm 以内に近付かないようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、植込み型両心室ペーシングパルスジェネレータおよび植込み型除細動器以外の医療用電気機器をお使いの方は、電波による影響について医療用電気機器製造業者などに事前に確認してください。電波が医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

スマートエントリー&スタートシステムを非作動にすることもできます。
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

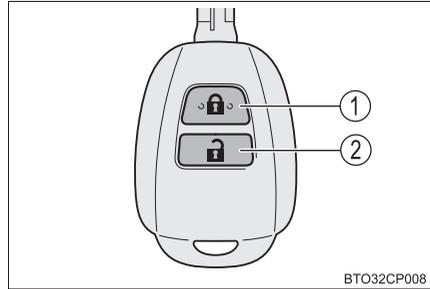
ワイヤレスリモコン

機能概要

ドアを施錠・解錠、トランクを解錠できます。

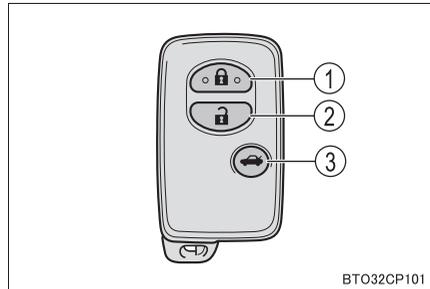
▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

- ① 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する



▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

- ① 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する
- ③ トランクを解錠する（長押し）



 知識

■ 作動の合図

ドア：

ブザー（スマートエントリー&スタートシステム装着車）と非常点滅灯の点滅で知らせます。（施錠は1回、解錠は2回）

トランク：

ブザーで知らせます。

■ 半ドア警告ブザー（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

ドアが完全に閉まっていない状態でドアを施錠しようとする時、ブザーが鳴りません。

ドアを完全に閉めてから、もう一度施錠してください。

■ 解錠操作のセキュリティ機能

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

解錠操作後、約30秒以内にドアを開けなかったときは盗難防止のため自動的に施錠されます。

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

→P. 95

■ 機能が正常に働かないおそれのある状況

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

次のような場合、ワイヤレスリモコンが正常に働かないおそれがあります。

- ワイヤレスリモコンの電池が消耗しているとき
- 近くでテレビ塔や発電所・放送局・空港など強い電波を発生する設備、電波式のオーディオ機器など電波を発生する電子機器・大型ディスプレイがあるとき
- 無線機や携帯電話・コードレス電話などの無線通信機器を携帯しているとき
- ワイヤレスリモコンが金属製のものに接したり、覆われているとき
- 近くで電波式ワイヤレスリモコンを使用しているとき
- リヤガラスに金属を含むフィルムなどが貼ってあるとき

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

→P. 100

■ ワイヤレスリモコンが正常に作動しないとき

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
ドアの施錠・解錠：→P. 108
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
ドアの施錠・解錠：→P. 329

■ 電池の消耗について

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
 - 電池の標準的な寿命は 1 ～ 2 年です。
 - ワイヤレスリモコンを使用しなくても電池は消耗します。
次のような状態になったときは、電池が消耗している可能性があります。新しい電池に交換してください。
 - ・ ワイヤレスリモコンが作動しない
 - ・ 作動範囲が狭くなった
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
→P. 103

■ 電池が切れたとき

→P. 247

■ キー登録本数の確認について

車両に登録されたキーの本数を確認することができます。詳しくはトヨタ販売店へご相談ください。

■ 販売店で設定可能な機能

ワイヤレスリモコンを非作動にするなどの変更ができます。
(カスタマイズ一覧：→P. 349)

ドア

ドアの解錠・施錠

スマートエントリー&スタートシステムやワイヤレス機能、キー、ドアロックスイッチを使って施錠・解錠できます。

◆ スマートエントリー&スタートシステム★

→P. 95

◆ ワイヤレス機能

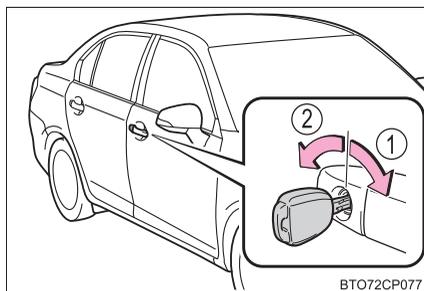
→P. 105

◆ キー

キーを操作すると、ドアが下記のように作動します。

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

- ① 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する

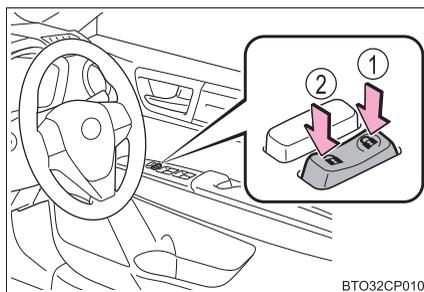


▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

メカニカルキーを使ってドアを施錠・解錠できます。(→P. 329)

◆ ドアロックスイッチ

- ① 全ドアを施錠する
- ② 全ドアを解錠する

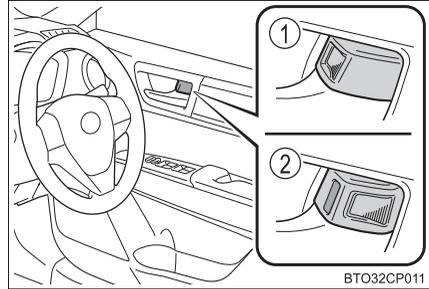


★：仕様により異なる装備やオプション装備

◆ ロックレバー

- ① ドアを施錠する
- ② ドアを解錠する

運転席ドアは、ロックレバーが施錠側になっていても、車内のドアレバーを引くと開きます。



キーを使わずに外側からフロント席を施錠するとき

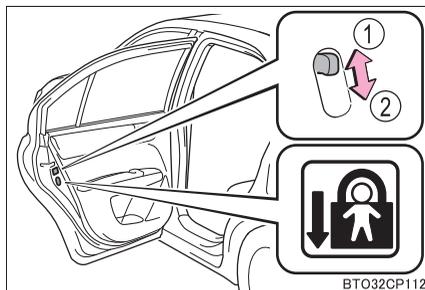
- 1 ロックレバーを施錠側にする
- 2 ドアハンドルを引いたままドアを閉める
 - ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
キーがエンジンスイッチに挿し込まれているときは施錠されません。
 - ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
パワースイッチがアクセサリモードまたは ON モードのときや、車内に電子キーが放置されているときは施錠されません。
キーが正しく検知されずに施錠される場合があります。

チャイルドプロテクター

施錠側にすると、リヤ席ドアが車内から開かなくなります。

- ① 解錠
- ② 施錠

お子さまが車内からリヤ席ドアを開けられないようにできます。両側のリヤ席ドアを施錠側にしてください。



BTO32CP112

知識

■チャイルドプロテクター使用時のドアの開け方

ドアを解錠して車外のドアハンドルを引くと開きます。万一、車内から開ける場合は、ドアガラスを下げて手を出し、車外のドアハンドルを引いてください。

警告

■事故を防ぐために

運転中は次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、不意にドアが開き、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- すべてのドアを確実に閉め、施錠する
- 走行中はドア内側のドアレバーを引かない
ドアが開き車外に放り出されるおそれがあります。
特に、運転席はロックレバーが施錠側になっていてもドアが開くため、注意してください。
- お子さまをリヤ席に乗せるときは、チャイルドプロテクターを使用して車内からドアが開かないようにする

■ドアを開閉するときの留意事項

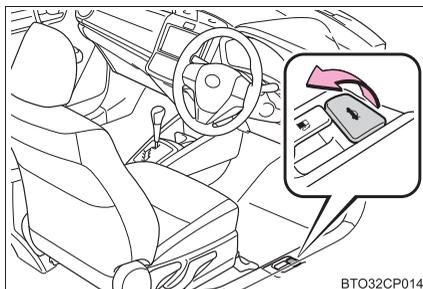
傾斜地・ドアと壁などのあいだが狭い場所・強風など、周囲の状況を確認し、予期せぬ動きにも対処できるよう、ドアハンドルを確実に保持してドアを開閉してください。

トランク

トランクオープナーやスマートエントリー&スタートシステム、キー、ワイヤレスリモコンを使って開けることができます。

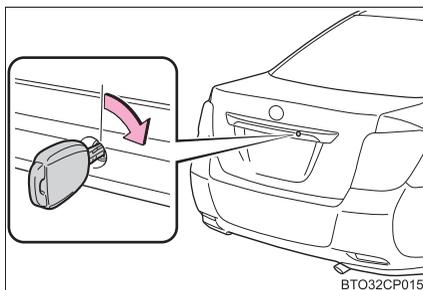
車内からトランクを開ける

レバーを引いて、トランクのロックを解除する



車外からトランクを開ける

- スマートエントリー&スタートシステム（スマートエントリー&スタートシステム装着車）
→P. 95
- ワイヤレスリモコン（スマートエントリー&スタートシステム装着車）
→P. 105
- キー（スマートエントリー&スタートシステム非装着車）
キーをまわし、トランクのロックを解除する



 知識

■ トランクランプ

トランクを開けたとき、トランクランプが点灯します。

■ トランク内キー閉じ込み防止機能について
(スマートエントリー&スタートシステム装着車)

- すべてのドアが施錠されている場合、トランク内に電子キーを置いたままトランクを閉めると、警告音が鳴ります。この場合、車外にあるトランクオープンスイッチで開けられます。
- すべてのドアが施錠されている状態で、予備のキーをトランクに入れたときも、キー閉じ込み防止機能が働き、トランクを開けることができます。盗難防止のため、車から離れるときは必ずすべての電子キーを携帯してください。
- すべてのドアが施錠されている状態でトランク内に電子キーを置いて、電子キーが置かれた場所や、周囲の電波状況によっては、トランク内の電子キーを検知できないことがあります。この場合は、キー閉じ込み防止機能が働かず、トランクを閉めたときに施錠されてしまいます。トランクを閉めるときには、必ず電子キーの所在を確認してください。
- ドアがひとつでも解錠されている場合は、キー閉じ込み防止機能は働きません。この場合は、車内のトランクオープナーでトランクを開けてください。

 警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行する前に

- 走行前にトランクが閉まっていることを確認してください。
完全に閉まっていないと走行中に突然開き、車外のものにあたったり、荷物が投げ出されたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。
- トランクの中でお子さまを遊ばせないでください。
誤って閉じ込められた場合、熱射病や窒息などを引き起こすおそれがあります。
- お子さまにはトランクの開閉操作をさせないでください。
不意にトランクリッドが開いたり、閉めるときに手・頭・首などを挟んだりするおそれがあります。

■ 走行中の留意事項

トランク内には絶対に人を乗せないでください。

急ブレーキ・急旋回をかけたときや衝突したときなどに、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠ 警告

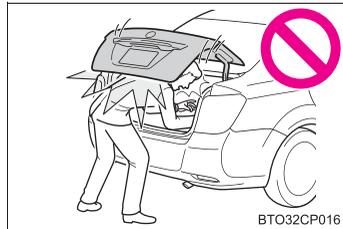
■ トランクの使用にあたって

次のことを必ずお守りください。

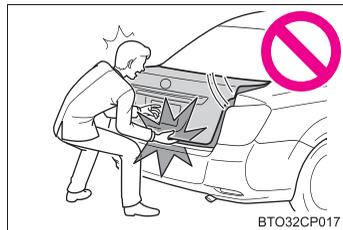
お守りいただかないと、体を挟むなどして重大な傷害につながるおそれがあり危険です。

- トランクを開ける前に、トランクリッド上の雪や氷などの重量物を取り除いてください。開いたあとに重みでトランクリッドが突然閉じるおそれがあります。
- トランクを開閉するときは、十分に周囲の安全を確かめてください。
- 人がいるときは、安全を確認し動かすことを知らせる「声かけ」をしてください。
- 強風時の開閉には十分注意してください。
トランクリッドが風にあおられ、勢いよく開いたり閉じたりするおそれがあります。

- 半開状態で使用すると、トランクリッドが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。特に傾斜地では、平坦な場所よりもトランクの開閉がしにくく、急にトランクが開いたり閉じたりするおそれがあります。必ずトランクが全開で静止していることを確認して使用してください。



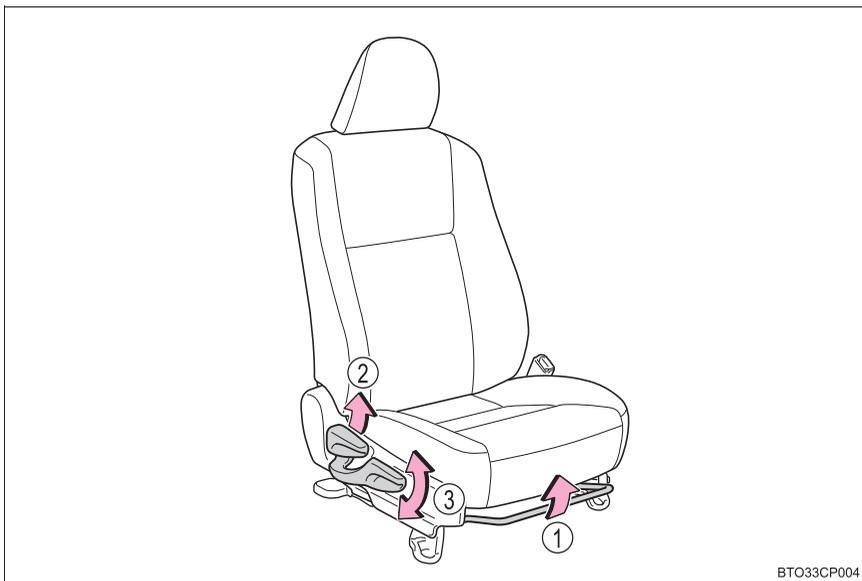
- トランクを閉めるときは、トランクリッドで指などを挟まないよう十分注意してください。
- トランクは必ず外からトランクリッド上面を軽く押して閉めてください。



- トランクリッドにトヨタ純正品以外のアクセサリ用品を取り付けしないでください。トランクリッドの重量が重くなると、開いたあとに突然閉じるおそれがあります。

フロントシート

調整のしかた



BTO33CP004

- ① 前後位置調整
- ② リクライニング調整
- ③ シート全体の上下調整
(運転席のみ)

 **警告****■ シートを調整するとき**

- 同乗者がシートにあたってけがをしないように注意してください。
- シートの下や動いている部分に手を近付けないでください。
指や手を挟み、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

■ リクライニング調整について

背もたれは必要以上に倒さないでください。

必要以上に倒しすぎると、事故のときに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けたり肩部ベルトが首にかかるなどして、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 前後調整の操作をするとき

足元のスペースを確保し足を挟まないように注意してください。

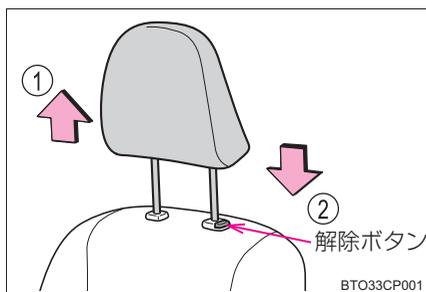
ヘッドレスト

フロント席

上下調整

- ① 上げる
- ② 下げる

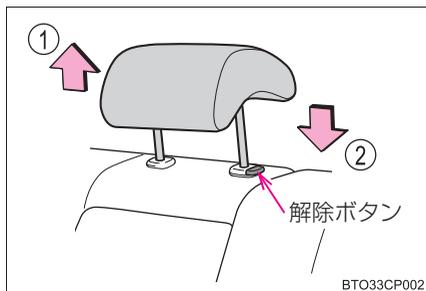
下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



リヤ中央席

- ① 上げる
- ② 下げる

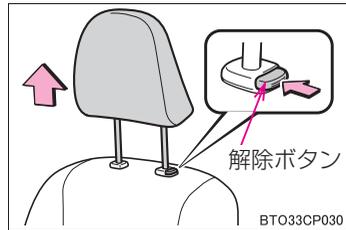
下げるときは、解除ボタンを押しながら操作します。



 知識

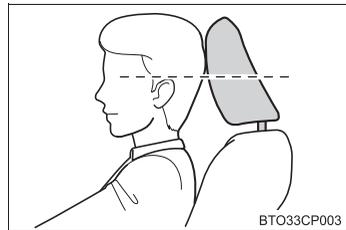
■ ヘッドレストを取りはずすとき

解除ボタンを押しながらヘッドレストを引き上げます。



■ ヘッドレストの高さについて

必ずヘッドレストの中心が両耳のいちばん上のあたりになるよう調整してください。



■ リヤ中央席について

使用するときは、常に格納位置から一段上げた位置にしてください。

 警告

■ ヘッドレストについて

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

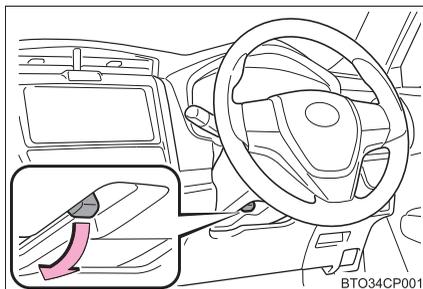
- ヘッドレストは、それぞれのシート専用のものを使用する
- ヘッドレストを必ず正しい位置に調整する
- ヘッドレストを調整したあとは、固定されていることを確認する
- ヘッドレストをはずしたまま走行しない

ハンドル

調整のしかた

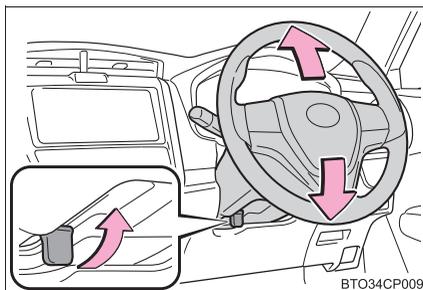
▶ チルトステアリング装着車

- 1 ハンドルを持ち、レバーを下げる



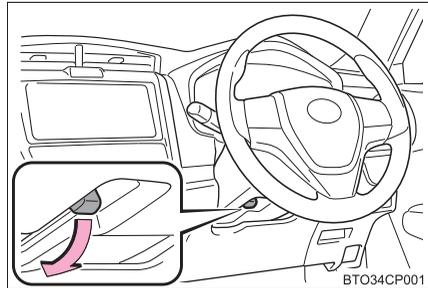
- 2 ハンドルを上下に動かし、適切な位置にする

位置が決定したら、レバーを上げてハンドルの固定してください。

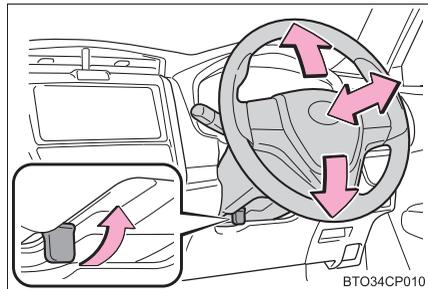


▶ チルト&テレスコピックステアリング装着車

- 1 ハンドルを持ち、レバーを下げる



- 2 ハンドルを前後・上下に動かし、適切な位置にする
位置が決定したら、レバーを上げて
ハンドルを固定してください。

**警告****■ 走行中の留意事項**

走行中はハンドル位置の調整をしないでください。
運転を誤り、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ハンドル位置を調整したあとは

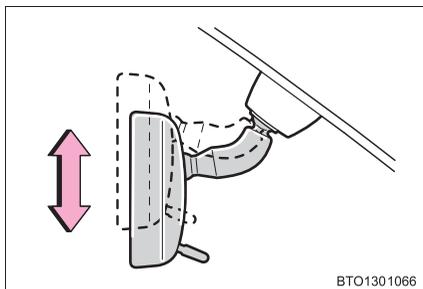
ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとハンドルの位置が突然変わり、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

インナーミラー

後方を十分に確認できるようにミラーの位置を調整することができます。

上下調整のしかた

インナーミラー本体を持って、上下方向に調整する

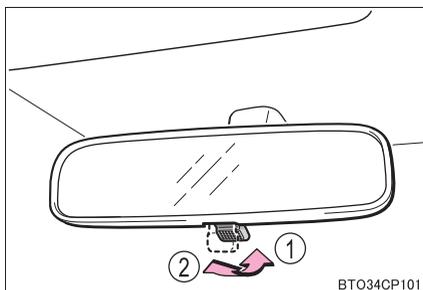


防眩機能

▶ 手動防眩ミラー装着車

レバーを操作することで、後続車のヘッドランプによる反射光を減少させます。

- ① 通常使用時
- ② 防眩時



▶ 自動防眩ミラー装着車

後続車のヘッドランプのまぶしさに応じて反射光を自動的に減少させます。

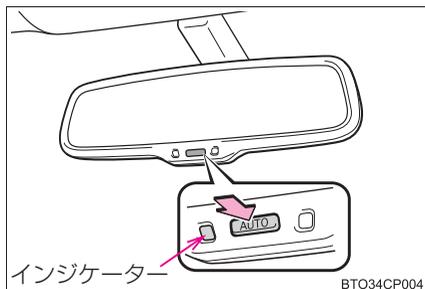
自動防眩機能の切りかえ

ON / OFF

ON のときはインジケータが点灯します。

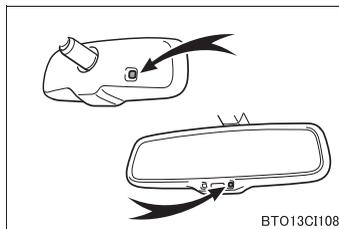
パワースイッチを ON モードにしたときは、ミラーは常に自動防眩機能が ON になっています。

ボタンを押すと OFF になりインジケータが消灯します。


 知識

■ センサーの誤作動防止

センサーの誤作動を防ぐため、センサーにふれたりセンサーを覆ったりしないでください。


 警告

運転中はミラーの調整をしないでください。

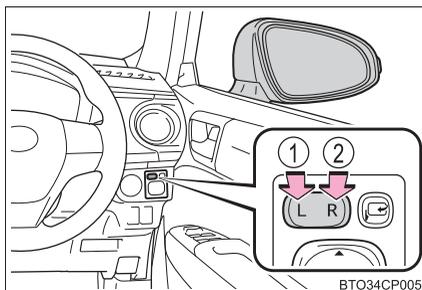
運転を誤って、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

ドアミラー

調整のしかた

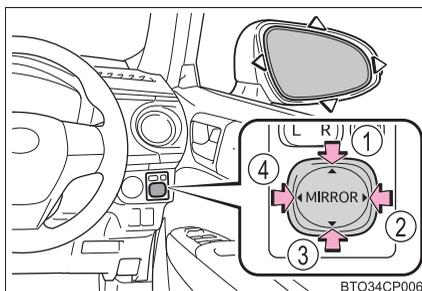
- 1 調整するミラーを選ぶには、スイッチを押す

- ① 左
- ② 右



- 2 ミラーの鏡面を調整するにはスイッチを押す

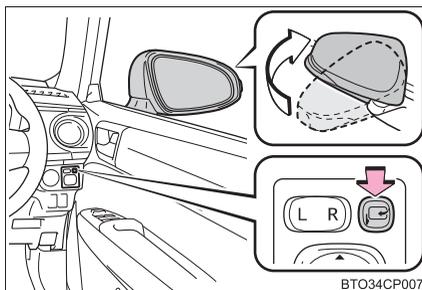
- ① 上
- ② 右
- ③ 下
- ④ 左



ドアミラーを格納する

ボタンを押す

もう一度押すと、もとの位置にもどります。



 知識

■ 鏡面調整の作動条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
パワースイッチがアクセサリモードまたはONモードのとき

■ ミラーが曇ったとき（ミラーヒーター装着車）

リヤウインドウデフォグガーを作動させると、ミラーヒーターが同時に作動し、曇りを取ることができます。（→P. 192）

■ レインクリアリングミラー★

鏡面に付着した水滴を膜状に広げる親水効果を持つコーティングを施しており、雨天時における後方視認性を向上させます。

- 鏡面に汚れなどが付着したときや、地下や屋内駐車場などの日のあたらない場所に長時間駐車したときなどは親水効果が低下しますが、晴天時に1・2日間太陽光をあてることで親水効果は徐々に回復します。
- 低下した親水効果を早く回復させたいときは回復作業（→P. 233）を行ってください。

3

各部の操作

 **警告**
■ 走行中の留意事項

走行中は次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、運転を誤って重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- ミラーの調整をしない
- ドアミラーを格納したまま走行しない
- 走行前に必ず、運転席側および助手席側のミラーをもとの位置にもどして、正しく調整する

■ ミラーが動いているとき

手をふれないでください。
手を挟んでけがや、ミラーの故障などの原因になるおそれがあります。

■ ミラーヒーター★が作動しているとき

鏡面が熱くなるのでふれないでください。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

 **注意****■ レインクリアリングミラー★の取り扱いについて**

親水効果には限りがあります。長持ちさせるためには次のことをお守りください。

- シリコン入りの撥水剤や油膜取り剤、ワックス、その他のカーメンテナンス商品を使用する場合は、鏡面に付着させないように十分注意してください。
- 砂のついた布、油膜取り剤、研磨剤など、鏡面を傷つけるものでこすらないでください。
- 鏡面が凍結したときは、温水をかけるか、ミラーヒーター★を作動させるなどして解氷してください。
鏡面の凍結部分はプラスチックの板などで削り落とさないでください。
- 撥水洗車を行ったときは、鏡面を大量の水で洗い、きれいなやわらかい布などでふき取ってください。

パワーウィンドウ

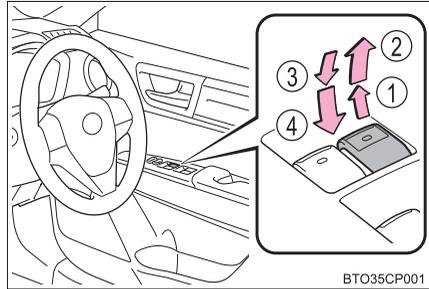
開閉のしかた

スイッチでドアガラスを開閉できます。

スイッチを操作すると、ドアガラスを次のように動かします。

- ① 閉める
- ② 自動全閉※
- ③ 開ける
- ④ 自動全開※

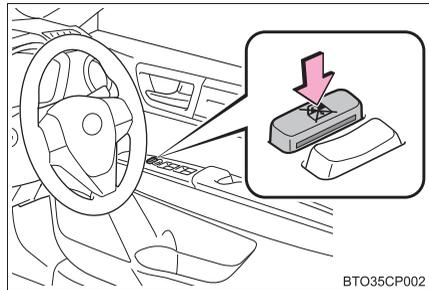
※途中で停止するときは、スイッチを反対側へ操作します。



ウィンドウロックスイッチ

スイッチを押すと、運転席以外のドアガラスが作動不可になります。

お子さまが誤ってドアガラスを開閉することを防止できます。



知識

■ 作動条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ON” のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
パワースイッチがON モードのとき

■ハイブリッドシステム停止後の作動

▶スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチを“ACC”または“LOCK”にしたあとでも、約 45 秒間はドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

▶スマートエントリー&スタートシステム装着車

パワースイッチをアクセサリモードまたは OFF にしたあとでも、約 45 秒間はドアガラスを開閉できます。ただし、そのあいだに運転席ドアを開閉すると作動しなくなります。

■挟み込み防止機能

ドアガラスを閉めているときに、窓枠とドアガラスのあいだに異物が挟まると、作動が停止し、少し開きます。

■パワーウィンドウを閉めることができないとき

挟み込み防止機能が異常に作動してしまい、ドアガラスを閉めることができないときは、閉めることができないドアのパワーウィンドウスイッチで、下記の操作を行ってください。

- 車を停止し、エンジンスイッチ★を“ON”、またはパワースイッチ★を ON モードの状態、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続けることでドアガラスを閉めることができます。
- 上記の操作を行ってもドアガラスが閉まらない場合、挟み込み防止機能の初期化を次の手順で実施してください。

- 1 パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを 6 秒間引き続ける
- 2 パワーウィンドウスイッチを「自動全開」の位置で押し続け、ドアガラスを全開にしたあと、さらにスイッチを 2 秒間押し続ける
- 3 再度、パワーウィンドウスイッチを「自動全閉」の位置で引き続け、ドアガラスを閉めたあと、さらにスイッチを 2 秒間引き続ける

ドアガラス作動途中でスイッチから手を離すと、最初からやり直しとなります。以上の操作を行っても反転して閉じ切らない場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

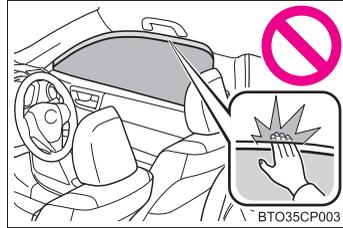
警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ドアガラスを開閉するとき

- ドアガラスを開閉するときは、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだり巻き込んだりしないようにしてください。特にお子さまへは手などを出さないよう声かけをしてください。
- お子さまには、ドアガラスの操作をさせないでください。
ドアガラスに挟まれたり巻き込まれたりするおそれがあります。

**■ 挟み込み防止機能**

- 挟み込み防止機能を故意に作動させるため、乗員の手・腕・頭・首などを挟んだりしないでください。
- 挟み込み防止機能は、ドアガラスが完全に閉まる直前に異物を挟むと作動しない場合があります。また、挟み込み防止機能は、スイッチを引き続けた状態では作動しません。指などを挟まないように注意してください。

運転

4

- 4-1. 運転にあたって**
 運転にあたって 130
 荷物を積むときの注意 137
- 4-2. 運転のしかた**
 エンジン（イグニッション）
 スイッチ
 （スマートエントリー&
 スタートシステム非装着車）
 138
 パワー（イグニッション）
 スイッチ
 （スマートエントリー&
 スタートシステム装着車）
 142
 EV ドライブモード 148
 トランスミッション 150
 方向指示レバー 152
 パーキングブレーキ 153
 ホーン（警音器） 154
- 4-3. ランプのつけ方・
ワイパーの使い方**
 ランプスイッチ 155
 オートマチックハイビーム ... 158
 ワイパー&ウォッシャー
 （フロント） 162
 ワイパー&ウォッシャー
 （リヤ） 165
- 4-4. 給油のしかた**
 給油口の開け方 167
- 4-5. 運転支援装置について**
 運転を補助する装置 171
- 4-6. 運転のアドバイス**
 ハイブリッド車運転の
 アドバイス 177
 寒冷時の運転 179

運転にあたって

安全運転を心がけて、次の手順で走行してください。

ハイブリッドシステムを始動する

→P. 138, 142

発進する

- 1 ブレーキペダルを踏んだまま、シフトレバーを D にする (→P. 150)
- 2 パーキングブレーキを解除する (→P. 153)
- 3 ブレーキペダルから徐々に足を離し、アクセルペダルをゆっくり踏み発進する

停車する

- 1 シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 必要に応じて、パーキングブレーキをかける
長時間停車する場合は、シフトレバーを P にします。(→P. 150)

駐車する

- 1 シフトレバーは D のまま、ブレーキペダルを踏む
- 2 パーキングブレーキをかける
- 3 シフトレバーを P にする (→P. 150)
坂道の途中で駐車をする場合は、必要に応じて輪止め[※]を使用してください。
[※] 輪止めはトヨタ販売店で購入することができます。
- 4 ハイブリッドシステムを停止する
 - ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチを“LOCK”にします
 - ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
パワースイッチを OFF にします
- 5 キーを携帯していることを確認し、ドアを施錠する

上り坂の発進のしかた

- 1 パーキングブレーキをしっかりかけ、シフトレバーをDにする
- 2 アクセルペダルをゆっくり踏む
- 3 車が動き出す感触を確認したら、パーキングブレーキを解除し発進する

知識

■ 上り坂発進について

ヒルスタートアシストコントロールが作動します。(→P. 171)

■ 燃費を良くする走り方

ハイブリッド車も急加速を抑えるなど、通常のガソリン車と同様の心がけが必要です。P. 177の「ハイブリッド車運転のアドバイス」を参照してください。

■ 雨の日の運転について

- 雨の日は視界が悪くなり、またガラスが曇ったり、路面がすべりやすくなったるので、慎重に走行してください。
- 雨の降りはじめは路面がよりすべりやすいため、慎重に走行してください。
- 雨の日の高速走行などでは、タイヤと路面のあいだに水膜が発生し、ハンドルやブレーキが効かなくなるおそれがあるので、スピードは控えめにしてください。

■ 走行中のエンジン回転数について

次の場合、走行中にエンジン回転数が高くなる場合があります。これは走行状況に合わせてシフトアップの制限、またはシフトダウンの実施を自動的に行うため、急加速を示すものではありません。

- 車両が上り坂、または下り坂を走行していると判断したとき
- アクセルペダルを離したとき

■ 運転標識の取り付け

磁石式の初心運転者標識や高齢運転者標識などを樹脂バンパーやアルミ部分に取り付けることはできません。

■ オーバーヒートについて

次のようなきびしい走行状況ではオーバーヒートになるおそれがあります。

- 暑い日に長い上り坂を走行する
- 高速走行直後に急減速や急停止をする

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 発進するとき

車が動き出すことによる事故を防ぐため、READY インジケーターが点灯している状態で停車しているときは、常にブレーキペダルを踏んでください。クリープ現象で車が動き出すのを防ぎます。

■ 運転するとき

- 踏み間違いを避けるため、ブレーキペダルとアクセルペダルの位置を十分把握した上で運転してください。
 - ・ アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏むと、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・ 後退するときは体をひねった姿勢となるため、ペダルの操作がしにくくなります。ペダル操作が確実にできるよう注意してください。
 - ・ 車を少し移動させるときも正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。
 - ・ ブレーキペダルは右足で操作してください。左足でのブレーキ操作は緊急時の反応が遅れるなど、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ハイブリッド車は電気モーターでの走行時にエンジン音がしないため、周囲の人が車両の接近に気が付かない場合があります。車両接近通報装置を ON にしても、周囲の騒音などが大きい場合は、車両の接近に気が付かないことがありますので、十分注意して運転してください。
- 燃えやすいものの上を走行したり、可燃物付近に車を止めたりしないでください。排気管や排気ガスは高温になり、可燃物が近くにあると火災になるおそれがあり危険です。
- 通常走行時は、走行中にハイブリッドシステムを停止しないでください。走行中にハイブリッドシステムを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、ハンドルの操作力補助がなくなり、ハンドル操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。なお、通常の方法で車両を停止することができないような緊急時は、P. 276 を参照してください。
- 急な下り坂では、エンジンブレーキを使用してスピードを下げてください。フットブレーキを連続して使いすぎると、ブレーキが過熱して正常に機能しなくなります。(→P. 150)

 **警告**

次の警告をお守りください。お守りいただかないと重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 運転するとき

- 走行中はハンドル・シート・ドアミラー・インナーミラーの調整をしないでください。
運転を誤るおそれがあります。
- すべての乗員は頭や手、その他の体の一部を車から出さないようにしてください。

■ すべりやすい路面を運転するとき

- 急ブレーキ・急加速・急ハンドルはタイヤがスリップし、車両の制御ができなくなるおそれがあります。
- 急激なアクセル操作、シフトチェンジによるエンジンプレーキやエンジン回転数の変化は、車が横すべりするなどのおそれがあります。
- 水たまり走行後はブレーキペダルを軽く踏んでブレーキが正常に働くことを確認してください。ブレーキパッドがぬれるとブレーキの効が悪くなったり、ぬれていない片方だけが効いたりしてハンドルをとられるおそれがあります。

■ シフトレバーを操作するとき

- シフトレバーを前進側のシフトポジションに入れたまま惰性で後退したり、Rに入れたまま惰性で前進することは絶対にやめてください。
思わぬ事故や故障の原因となるおそれがあります。
- 車両が動いているあいだは、シフトレバーをPに入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が前進しているあいだは、シフトレバーをRに入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 車両が後退しているあいだは、シフトレバーをDに入れないでください。
トランスミッションにダメージを与えたり、車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
- 通常走行中にシフトレバーをNにすると、ハイブリッドシステムの動力伝達が解除され、エンジンプレーキが効かなくなります。
- アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。
シフトレバーがPまたはN以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **警告****■ 継続的にブレーキ付近から警告音（キーキー音）が発生したとき**

できるだけ早くトヨタ販売店で点検を受け、ブレーキパッドを交換してください。

必要なときにパッドの交換が行われないと、ディスクローターの損傷につながる場合があります。

パッドやローターなどの部品は、役割を果たすと共に摩耗していきます。摩耗の限度をこえて走行すると故障を引き起こすばかりでなく、事故につながるおそれがあります。

■ 停車するとき

- 不必要にアクセルペダルを踏み込まないでください。
シフトレバーがPまたはN以外にあると、車が急発進して思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 車が動き出すことによる事故を防ぐため、READY インジケーターが点灯しているときは常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 坂道で停車するときは、前後に動き出して事故につながることを防ぐため、常にブレーキペダルを踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけてください。
- 停車中に空ぶかしをしないでください。
排気管が過熱し、可燃物が近くにあると火災につながるおそれがあり危険です。

■ 駐車するとき

- 炎天下では、メガネ・ライター・スプレー缶や炭酸飲料の缶などを車内に放置しないでください。
放置したまましていると、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。
 - ・ライターやスプレー缶からガスがもれたり、出火する
 - ・プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが、変形またはひび割れを起こす
 - ・炭酸飲料の缶が破裂して車内を汚したり、電気部品がショートする原因になる
- ライターを車内に放置したままにしないでください。ライターをグローブボックスなどに入れておいたり、車内に落としたりしておくと、荷物を押し込んだりシートを動かしたときにライターの操作部が誤作動し、火災につながるおそれがあり危険です。

 **警告**

- ウインドウガラスなどには吸盤を取り付けしないでください。また、インストルメントパネルやダッシュボードの上に芳香剤などの容器を置かないでください。
吸盤や容器がレンズの働きをして、車両火災につながるおそれがあり危険です。
- シルバー色などの金属蒸着フィルムを曲面ガラスに貼った場合は、ドアやウインドウを開けたまま放置しないでください。
直射日光が曲面ガラスの内側に反射し、レンズの働きをして火災につながるおそれがあり危険です。
- 車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPに入れ、ハイブリッドシステムを停止し、施錠してください。
ハイブリッド車は走行できる状態（READY インジケーターが点灯している状態）になっていても、音や振動がない場合があります。
- READY インジケーターが点灯しているとき、またはハイブリッドシステム停止直後は排気管にふれないでください。
やけどをするおそれがあります。

■ 仮眠するとき

必ずハイブリッドシステムを停止してください。

READY インジケーターが点灯した状態のまま仮眠すると、無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、事故やハイブリッドシステムの異常過熱による火災が発生するおそれがあります。さらに、風通しの悪い場所に停めると、排気ガスが車内に侵入し、重大な健康障害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ ブレーキをかけるとき

- ブレーキがぬれているときは、普段よりも注意して走行してください。
ブレーキがぬれていると、制動距離が長くなり、ブレーキのかかりに、左右の違いが出るおそれがあります。また、パーキングブレーキがしっかりとかからないおそれもあります。
- 電子制御ブレーキシステムが機能しないときは、他の車に近付いたりしないでください。また、下り坂や急カーブを避けてください。
この場合ブレーキは作動しますが、通常よりも強く踏む必要があります。また制動距離も長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。
- ブレーキシステムは二つ以上の独立したシステムで構成されており、一つの油圧システムが故障しても、残りは作動します。この場合、ブレーキペダルを通常より強く踏む必要があり、制動距離が長くなります。ただちにブレーキの修理を受けてください。

 **注意****■ 運転しているとき**

- 運転中にアクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏むと、駆動力を抑制する場合があります。
- 坂道で停車するために、アクセルペダルを使ったり、アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだりしないでください。

■ 駐車するとき

必ずシフトレバーを P にしてください。P にしておかないと、車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込んだときに急発進するおそれがあります。

■ 部品の損傷を防ぐために

- パワーステアリングモーターの損傷を防ぐため、ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けないでください。
- ディスクホイールなどの損傷を防ぐため、段差などを通過するときは、できるだけゆっくり走行してください。

■ 走行中にタイヤがパンクしたら

次のようなときはタイヤのパンクや損傷が考えられます。ハンドルをしっかりと持って徐々にブレーキをかけ、スピードを落としてください。

- ハンドルがとられる
- 異常な音や振動がある
- 車両が異常に傾く

タイヤがパンクした場合の対処法は P. 303, 313 を参照してください。

■ 冠水路走行に関する注意

大雨などで冠水した道路では、次のような重大な損傷を与えるおそれがあるため、走行しないでください。

- エンストする
- 電装品がショートする
- 水を吸い込んでのエンジン破損

万一、冠水した道路を走行し、水中に浸かってしまったときは必ずトヨタ販売店で次の点検をしてください。

- ブレーキの効き具合
- エンジンオイル・ハイブリッド用トランスミッションフルードなどの量および質の変化
- 各ベアリング・各ジョイント部などの潤滑不良

荷物を積むときの注意

安全で快適なドライブをするために、荷物を積むときは次のことをお守りください。

警告

■ 積んではいけないもの

次のようなものを積むと引火するおそれがあり危険です。

- 燃料が入った容器
- スプレー缶

■ 荷物を積むとき

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、ブレーキペダル・アクセルペダルを正しく操作できなかったり、荷物が視界をさえぎったり、荷物が乗員に衝突したりして、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- できるだけ荷物はトランクに積んでください。
- 次の場所には荷物を積まないでください。
 - ・ 運転席足元
 - ・ 助手席やリヤ席（荷物を積み重ねる場合）
 - ・ バックシートトレイ
 - ・ インストルメントパネル
 - ・ ダッシュボード
- 室内に積んだ荷物はすべてしっかりと安定させてください。

■ 荷物の重量・荷重のかけ方について

- 荷物を積み過ぎないでください。
- 荷重を不均等につけないようにしてください。

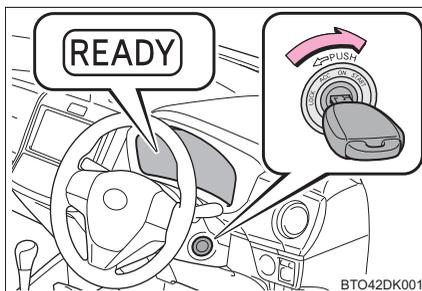
これはタイヤに負担をかけるだけでなく、ハンドル操作性やブレーキ制御の低下により思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

エンジン（イグニッション）スイッチ （スマートエントリー&スタートシステム非装着車）

ハイブリッドシステム始動のしかた

- 1 正しい運転姿勢（→P. 24）がとれるようにシートの位置を調整し、ペダルの各位置を確認する
- 2 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 3 シフトレバーがPの位置にあることを確認する
- 4 ブレーキペダルをしっかりと踏む
- 5 エンジンスイッチを“START”の位置にまわす

完全にハイブリッドシステムが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。



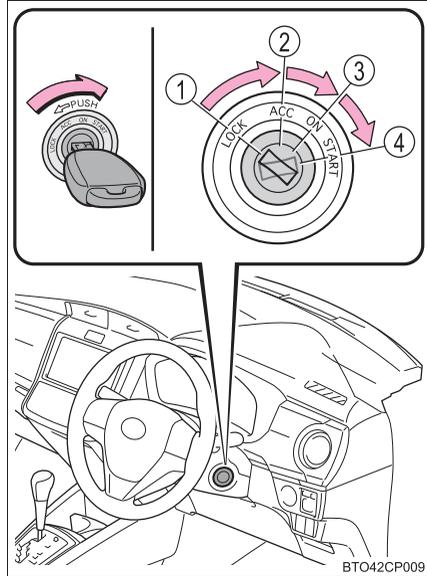
- 6 READY インジケーターが点灯したことを確認する
READY インジケーターが消灯している状態では走行できません。

ハイブリッドシステム停止のしかた

- 1 車両を停止させる
- 2 シフトレバーをPの位置にする
- 3 パーキングブレーキをかける（→P. 153）
- 4 エンジンスイッチを“ACC”または、“LOCK”の位置にまわす（→P. 139）

エンジンスイッチの位置の切りかえ

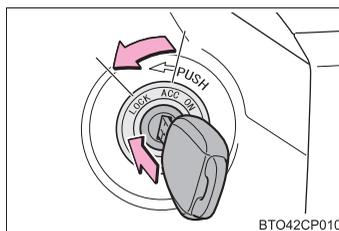
- ① “LOCK” (OFF)
 - ・ ステアリングロックがかかります。
 - ・ シフトレバーが P のとき、キーを抜き挿しすることができます。
- ② “ACC”
アクセサリソケットなどの電装品が使用できます。
- ③ “ON”
すべての電装品が使用できます。
- ④ “START”
ハイブリッドシステムが始動できます。



知識

■キーを“ACC”から“LOCK”にまわすには

- ① シフトレバーがPの位置にあることを確認する
- ② キーを押し込みながら“LOCK”までまわす



■高電圧リレーの音について

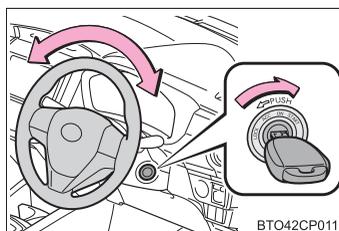
ハイブリッドシステム始動時および停止時に、車両後方から“コトン”、“カチッ”などの音が聞こえることがあります。これは高電圧リレーの音で、異常ではありません。

■外気温が低いときは

ハイブリッドシステム始動時にREADYインジケータの点滅時間が長くなる場合があります。READYインジケータが点灯すれば走行可能になりますので点灯するまでそのままお待ちください。

■ステアリングロックを解除するには

ハンドルを左右に動かしながら、エンジンスイッチをまわしてください。



■万一、READYインジケータが点灯しないときは

正しい手順で始動操作を行ってもREADYインジケータが点灯しない場合は、ただちにトヨタ販売店へご連絡ください。

■ハイブリッドシステムに異常があるときは

→P. 289

■キー抜き忘れ警告ブザー

キーが挿してあり、エンジンスイッチが“ACC”または“LOCK”のとき、運転席ドアを開けると警告ブザーがなります。

 **警告****■ ハイブリッドシステムを始動するとき**

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。

思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 走行中の警告

走行中はエンジンスイッチを“LOCK”にしないでください。

緊急時は走行中にハイブリッドシステムを切り、“ACC”にしてください。走行中にハイブリッドシステムが停止すると思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。(→P. 276)

 **注意****■ 補機バッテリーあがりを防止するために**

ハイブリッドシステム停止中は、エンジンスイッチを“ACC”または“ON”にしたまま長時間放置しないでください。

■ ハイブリッドシステムを始動するとき

もしハイブリッドシステムが始動しにくい場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

パワー（イグニッション）スイッチ （スマートエントリー&スタートシステム装着車）

電子キーを携帯して次の操作を行うことで、ハイブリッドシステムの始動またはパワースイッチのモードを切りかえることができます。

ハイブリッドシステム始動のしかた

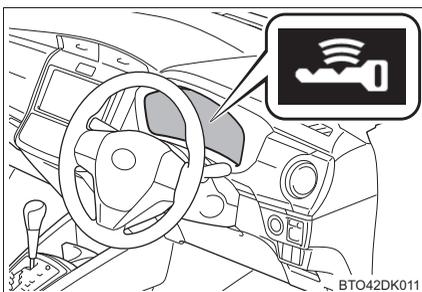
- 1 正しい運転姿勢（→P. 24）がとれるようにシートの位置を調整し、ペダルの各位置を確認する
- 2 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 3 シフトレバーがPの位置にあることを確認する

- 4 ブレーキペダルをしっかりと踏む

マルチインフォメーションディスプレイに

レイに  が表示されます。

表示されないと、ハイブリッドシステムは始動しません。

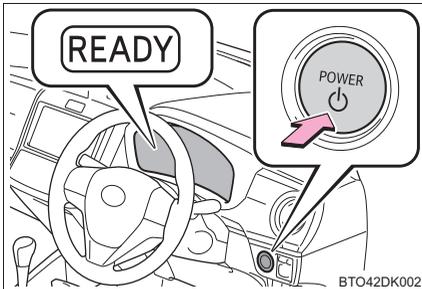


- 5 パワースイッチを押す

READY インジケーターが点灯すれば、ハイブリッドシステムは正常に始動しています。

完全にハイブリッドシステムが始動するまでブレーキペダルを踏み続けてください。

パワースイッチのどのモード（→P. 143）からでもハイブリッドシステムを始動できます。



- 6 READY インジケーターが点灯したことを確認する

READY インジケーターが消灯している状態では走行できません。

ハイブリッドシステム停止のしかた

- 1 車両を完全に停止させる
- 2 シフトレバーをPの位置にする
- 3 パーキングブレーキをかける (→P. 153)
- 4 パワースイッチを押す
- 5 ブレーキペダルから足を離した状態にして、マルチインフォメーションディスプレイの「電源 ON」の表示が消灯していることを確認する

パワースイッチのモード切りかえ

ブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押すと、モードを切りかえることができます。(スイッチを押すごとにモードが切りかわります)

① OFF ※

非常点滅灯が使用できます。

② アクセサリーモード

アクセサリソケットなどの電装品が使用できます。

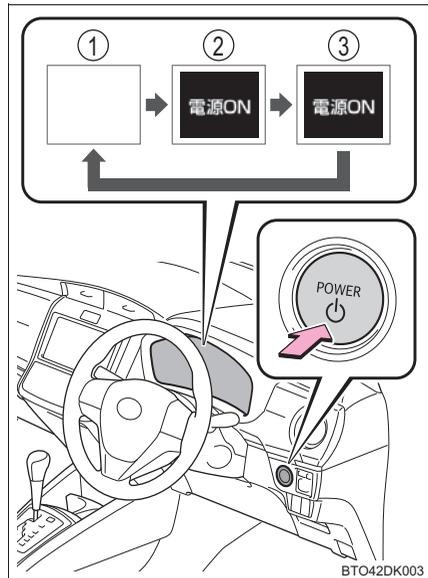
マルチインフォメーションディスプレイに「電源 ON」が表示されます。

③ ON モード

すべての電装品が使用できます。

マルチインフォメーションディスプレイに「電源 ON」が表示されます。
シフトポジション表示が表示されます。

※ シフトレバーがP以外のときはアクセサリーモードになり、OFFになりません。



シフトレバーが P 以外でハイブリッドシステムを停止したとき

シフトレバーが P 以外でハイブリッドシステムを停止させた場合、ハイブリッドシステムは停止しますが、パワースイッチのモードは OFF になりません。以下の手順で OFF にしてください。

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーを P の位置にする
- 3 マルチインフォメーションディスプレイに「電源 ON」と「電源を OFF してください」が表示されていることを確認し、パワースイッチを 1 回押す
- 4 マルチインフォメーションディスプレイの「電源 ON」と「電源を OFF してください」の表示が消灯していることを確認する

知識

■自動電源 OFF 機能

シフトレバーが P にあるとき 20 分以上アクセサリーモードか 1 時間以上 ON モード（ハイブリッドシステムが始動していない状態）にしたままにしておくと、パワースイッチが自動で OFF になります。

ただし、自動電源 OFF 機能は、補機バッテリーあがりを完全に防ぐものではありません。ハイブリッドシステムが作動していないときは、パワースイッチをアクセサリーモードまたは ON モードにしたまま長時間放置しないでください。

■高電圧リレーの音について

ハイブリッドシステム始動時および停止時に、車両後方から“コトン”、“カチッ”などの音が聞こえることがあります。これは高電圧リレーの音で、異常ではありません。

■電子キーの電池の消耗について

→P. 103

■外気温が低いときは

ハイブリッドシステム始動時にREADYインジケーターの点滅時間が長くなることがあります。READYインジケーターが点灯すれば走行可能になりますので点灯するまでそのままお待ちください。

■スマートエントリー&スタートシステムが正常に働かないおそれのある状況

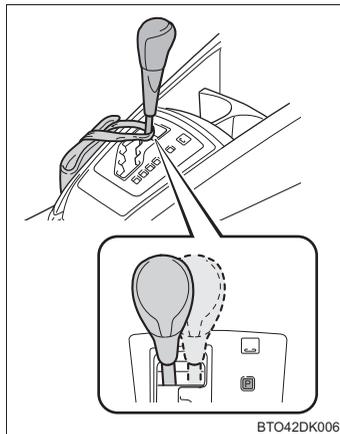
→P. 100

■ご留意いただきたいこと

→P. 101

■ハイブリッドシステム始動しないとき

- イモビライザーシステムが解除されていない可能性があります。(→P. 63)トヨタ販売店へご連絡ください。
- シフトレバーが P の位置にあるか確認してください。ハイブリッドシステムを始動するときに、シフトレバーが傾いたり、P 以外の位置にするとステアリングロック機能が作動しハイブリッドシステムを始動することができないことがあります。



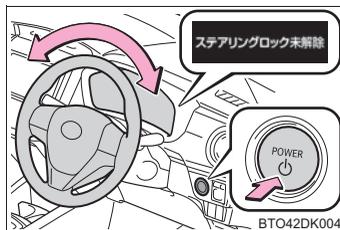
BTO42DK006

■ステアリングロックについて

パワースイッチを OFF にしたあとにドアを開閉すると、ステアリングロック機能によりハンドルが固定されます。パワースイッチを操作すると、ステアリングロックは自動で解除されます。

■ステアリングロックが解除できないとき

ステアリングロックが解除されていないときは、マルチインフォメーションディスプレイに“ステアリングロック未解除”が表示されます。シフトレバーが P の位置にあることを確認して、ハンドルを左右にまわしながら再操作してください。



BTO42DK004

■ ステアリングロックモーターのオーバーヒート防止について

短時間にハイブリッドシステムの始動・停止をくり返すと、モーターのオーバーヒート防止のために作動制限することがあります。その場合は操作を控えてください。10秒程度でもとの状態にもどります。

■ マルチインフォメーションディスプレイに「スマートエントリー&スタートシステムチェック」が表示されたときは

システムに異常があるおそれがあります。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 万一、READY インジケーターが点灯しないときは

正しい手順で始動操作を行っても READY インジケーターが点灯しない場合は、ただちにトヨタ販売店へご連絡ください。

■ ハイブリッドシステムに異常があるときは

→P. 289

■ 電子キーの電池が切れたときは

→P. 247

■ パワースイッチの操作について

- パワースイッチを操作する際は、短く確実に押してください。確実に押せてない場合は、モードの切り替えやハイブリッドシステムの始動ができない場合があります。また、確実に操作すれば押し続ける必要はありません。
- パワースイッチ OFF 後、すぐに再始動した場合は、ハイブリッドシステムが始動しない場合があります。パワースイッチ OFF 後の再始動は、数秒待ってから操作してください。

■ 販売店でスマートエントリー&スタートシステムをキャンセルしたときは

→P. 349

⚠ 警告**■ ハイブリッドシステムを始動するとき**

必ず運転席に座って行ってください。このとき決してアクセルペダルは踏まないでください。

思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **警告****■ 走行中の警告**

ハイブリッドシステムの停止などで車両滑走状態になったときは、車両が安全な状態で停止するまでドアを開けたり、ロック操作をしたりしないでください。ステアリングロック機能が作動し、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 緊急時のハイブリッドシステム停止方法

走行中にハイブリッドシステムを緊急停止したい場合には、パワースイッチを3秒以上押し続けるか、素早く3回以上連続で押してください。(→P. 276)ただし、緊急時以外は走行中にパワースイッチにふれないでください。走行中にハイブリッドシステムを停止してもハンドルやブレーキの操作は可能ですが、ハンドルの操作力補助がなくなり、ハンドル操作が困難になります。安全を確認した上で、すみやかに道路脇に停車してください。

 **注意****■ 補機バッテリーあがりを防止するために**

- ハイブリッドシステムが作動していないときは、パワースイッチをアクセサリモードまたは ON モードにしたまま長時間放置しないでください。
- ハイブリッドシステムが作動していないときに、マルチインフォメーションディスプレイの「電源 ON」の表示が消灯していないときはパワースイッチが OFF になっていません。パワースイッチを OFF にしてから車両を離れてください。
- シフトレバーが P 以外でハイブリッドシステムを停止させないでください。シフトレバーが P 以外でハイブリッドシステムを停止させた場合、パワースイッチがアクセサリモードとなるため、そのまま放置すると補機バッテリーあがりの原因となります。

■ ハイブリッドシステムを始動するとき

もしハイブリッドシステムが始動しにくい場合は、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ パワースイッチの操作について

パワースイッチ操作時に引っかかりなどの違和感があるときは、故障のおそれがあります。すみやかにトヨタ販売店にご連絡ください。

EV ドライブモード

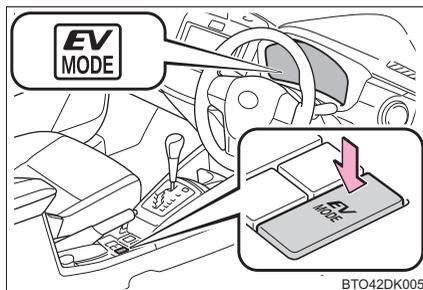
EV ドライブモードは、駆動用電池を使い電気モーターを駆動して走行するモードです。早朝、深夜の住宅街や屋内の駐車場などで、騒音や排気ガスを気にすることなく走行することができます。

通常は車両接近通報装置が ON になっているため、静かに走行したい場合は OFF にしてください。(→P. 55)

EV ドライブモードの ON / OFF を切りかえる

EV ドライブモードになると、EV ドライブモード表示灯が点灯します。

もう一度スイッチを押すと通常走行(ガソリンエンジンと電気モーターによる走行)にもどります。



BTO42DK005

□ 知識

■ ガソリンエンジンが冷えているときの EV ドライブモードの切りかえについて

ガソリンエンジンが冷えているときにハイブリッドシステムを始動した場合、しばらくすると暖機運転のためガソリンエンジンが自動的に始動し、EV ドライブモードに切りかえることができなくなります。

ハイブリッドシステム始動操作後、READY インジケーターが点灯したら、ガソリンエンジンが始動する前に EV ドライブモードスイッチを押してください。

■ EV ドライブモードの切りかえについて

次のときは EV ドライブモードに切りかわらない場合があります。EV ドライブモードに切りかわらないときはブザーが鳴ります。

- ハイブリッドシステムが高温のとき
炎天下に駐車したあとや登降坂、高速走行時など
- ハイブリッドシステムが低温のとき
約 0℃ を下まわるような低温下に長期間駐車したあとなど
- ガソリンエンジンが暖機運転中のとき
- 駆動用電池の充電量が低いとき
メーターに表示される駆動用電池の残量が少ない状態 (→P. 76)
- 車速が高いとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだときや坂道など
- フロントウインドウガラス曇り取りを使用しているとき

■ EV ドライブモードの自動解除について

EV ドライブモードで走行中、次のときは自動的に通常走行（ガソリンエンジンと電気モーターによる走行）になることがあります。EV ドライブモードが解除されるときは、ブザーが鳴り、EV ドライブモード表示灯が点滅したあと、消灯します。

- 駆動用電池の充電量が低下したとき
- 車速が高いとき
- アクセルペダルを大きく踏み込んだときや坂道など

■ EV ドライブモードの走行可能距離

EV ドライブモードの走行可能距離は、車速約 55km/h 以下で、数百 m から約 2km 程度です。（走行距離は、駆動用電池の充電量や走行状態によって異なります）

■ 燃費について

カローラアクシオハイブリッドは、通常走行（ガソリンと電気モーターによる走行）において、最も燃費が良くなるように制御されています。EV ドライブモードを多用すると、燃費が悪くなる場合があります。



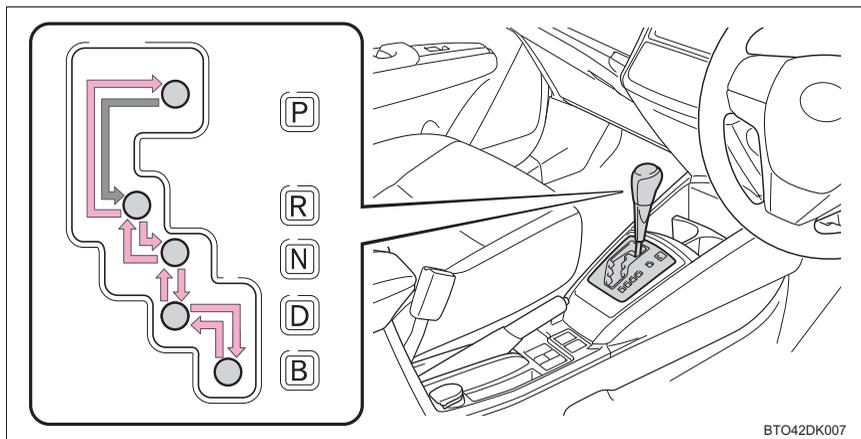
警告

■ 走行中の警告

EV ドライブモードではエンジン音がしないため、周囲の人が車両の発進や接近に気が付かない場合があります。特に車両接近通報装置を OFF にしている場合は、十分注意してください。

トランスミッション

シフトレバーの動かし方



← エンジンスイッチ★が“ON”または パワースイッチ★が ON モードの状態、ブレーキペダルを踏んだまま操作します。

Pから他ポジション、またはDからR・P、およびRからP・D・Bへ切りかえるときは、ブレーキペダルを踏み、車を完全に止めてから行ってください。

シフトポジションの使用目的

シフトポジション	目的
P	駐車またはハイブリッドシステムの始動
R	後退
N	動力が伝わらない状態
D	通常走行※
B	坂道や急な下り坂など、強いエンジンブレーキが必要なとき

※ 燃費向上や騒音の低減のために、通常は D ポジションを使用してください。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

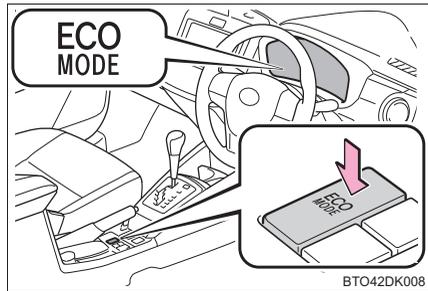
エコドライブモードの選択

通常にくらべてアクセルペダルの踏み込みに対するトルクの発生がゆるやかになり、またエアコン（暖房・冷房）の作動を抑え、燃費を向上させる走行に適しています。

スイッチを押して、エコドライブモードの ON / OFF を切りかえる

スイッチを押すと、メーター内の ECO MODE 表示灯が点灯します。

通常走行モードにもどすときは再度スイッチを押します。



知識

■ エコドライブモードのエアコン作動について

エコドライブモードは暖房・冷房の作動や風量を抑制して、燃費向上を図っています。空調の効きをより良くしたいときは、設定温度や風量を調整するか、またはエコドライブモードを解除してください。

■ リバース警告ブザー

シフトレバーをRに入れるとブザーが鳴り、Rにあることを運転者に知らせます。

■ シフトレバーをPからシフトできないとき

→P. 328

警告

■ すべりやすい路面を走行するとき

急なアクセル操作や、シフト操作を行わないでください。エンジブレーキ力の急激な変化が横すべりやスピンの原因になりますので注意してください。

注意

■ 駆動用電池の充電について

シフトレバーがNでは、ガソリンエンジンが回転していても駆動用電池は充電されないため、Nで長時間放置すると駆動用電池の残量が低下し、走行不能になるおそれがあります。

方向指示レバー

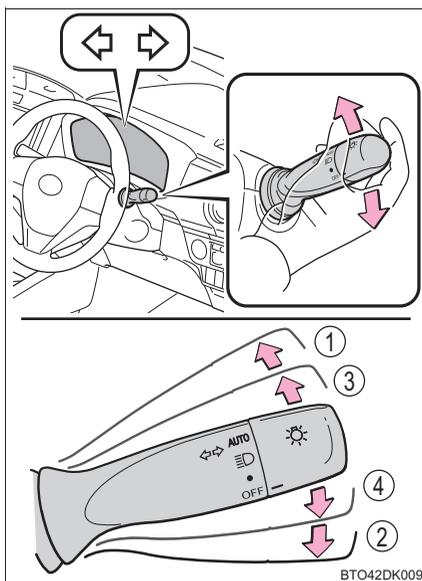
操作のしかた

- ① 左折
- ② 右折
- ③ 左側へ車線変更
(レバーを途中で保持)

レバーを離すまで左側方向指示灯が点滅します。

- ④ 右側へ車線変更
(レバーを途中で保持)

レバーを離すまで右側方向指示灯が点滅します。



BTO42DK009

知識

■ 作動条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ON” のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
パワースイッチがON モードのとき

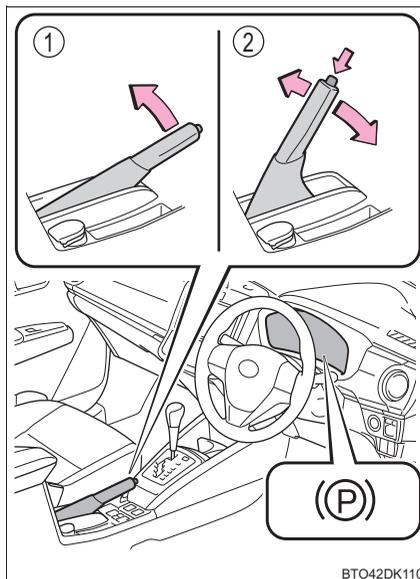
■ 表示灯の点滅が異常に速くなったとき

方向指示灯の電球が切れていないか確認してください。

パーキングブレーキ

操作のしかた

- ① パーキングブレーキをかけるには、ブレーキペダルを踏みながらパーキングブレーキをいっぱいまで引く
- ② パーキングブレーキを解除するには、レバーを少し引き上げ、ボタンを押しながら完全に下までもどす



知識

- 冬季のパーキングブレーキの使用について
→P. 180
- パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー
→P. 287

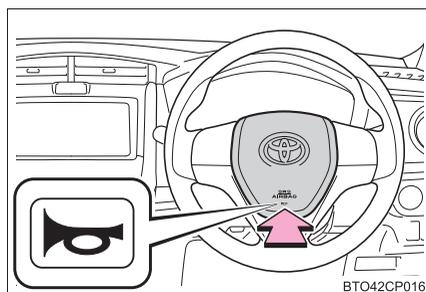
注意

■ 走行前の注意

パーキングブレーキを完全に解除してください。
パーキングブレーキをかけたまま走行すると、ブレーキ部品が過熱し、ブレーキの効きが悪くなったり、早く摩耗したりするおそれがあります。

ホーン（警音器）

ハンドルの  周辺部を押すとホーンが鳴ります。



知識

■ ハンドル位置を調整したあとは

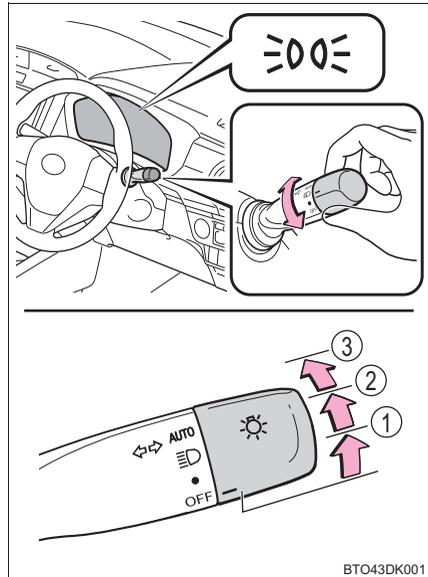
ハンドルが確実に固定されていることを確認してください。
固定が不十分だとホーンが鳴らない場合があります。（→P. 118）

ランプスイッチ

自動または手でヘッドランプなどを点灯できます。

操作のしかた

- ① ● 車幅灯・尾灯・番号灯・メーター照明を点灯
- ② ≡D 上記ランプとヘッドランプを点灯
- ③ AUTO ヘッドランプ・車幅灯などを自動点灯・消灯★
(エンジンスイッチ★が“ON”、またはパワースイッチ★がONモードのとき)



ハイビームにする

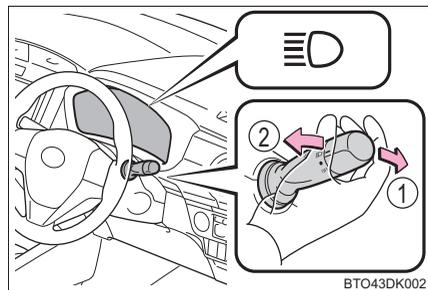
- ① ランプ点灯時ハイビームに切りかえ

オートマチックハイビーム装着車は、ランプスイッチがAUTOのときはオートマチックハイビームが作動します。(→P. 158)

レバーをもとの位置へもどすとロービームにもどります。

- ② レバーを引いているあいだ、ハイビームを点灯

ランプが消灯していても、ハイビームが点灯します。レバーを離すと、ロービームにもどる、または消灯します。

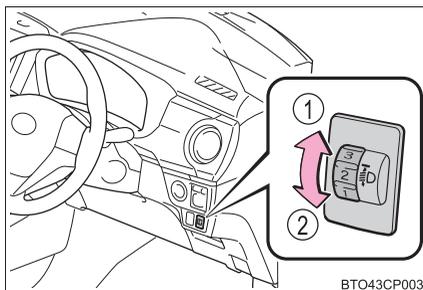


★：仕様により異なる装備やオプション装備

手動光軸調整ダイヤル（ハロゲンヘッドランプ装着車）

乗車人数や荷物の量などによる姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を調整することができます。

- ① 上向きに調整
- ② 下向きに調整



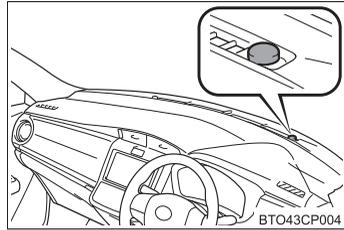
■ 目盛り設定の目安

乗員と荷物の条件		ダイヤル位置
乗員	荷物	
運転者	なし	0
運転者と助手席乗員	なし	0
全乗員	なし	2
全乗員	トランクルーム満載時	2.5
運転者	トランクルーム満載時	5

知識

■ ライトセンサー★

センサーの上にものを置いたり、センサーをふさぐようなものをウインドウガラスに貼らないでください。周囲からの光がさえぎられると、自動点灯・消灯機能が正常に働かなくなります。



■ ランプ消し忘れ防止機能（ランプ自動点灯・消灯システム装着車）

▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

エンジンスイッチを“ACC”または“LOCK”にして運転席ドアを開けるとヘッドランプと尾灯が消灯します。

再びランプを点灯する場合は、エンジンスイッチを“ON”にするか、一度ランプスイッチをOFFにもどし、再度 ● または  の位置にします。

▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車

パワースイッチをアクセサリモードまたはOFFにして運転席ドアを開けるとヘッドランプと尾灯が消灯します。

再びランプを点灯する場合は、パワースイッチをONモードにするか、一度ランプスイッチをOFFにもどし、再度 ● または  の位置にします。

■ ランプ消し忘れ警告ブザー

ヘッドランプ・尾灯が点灯している状態で運転席ドアを開けると、ランプ類の消し忘れを警告するブザーが鳴ります。

■ オートレベリングシステム（ディスチャージヘッドランプ装着車）

通行人や対向車がまぶしくないように、乗車人数・荷物の量などによる車の姿勢の変化に合わせて、ヘッドランプの光軸を自動で調整します。

■ 販売店で設定可能な機能

ライトセンサーの感度の設定などを変更できます。
（カスタマイズ一覧：→P. 349）

⚠ 注意

■ 補機バッテリーあがりを防止するために

ハイブリッドシステムを停止した状態でランプ類を長時間点灯しないでください。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

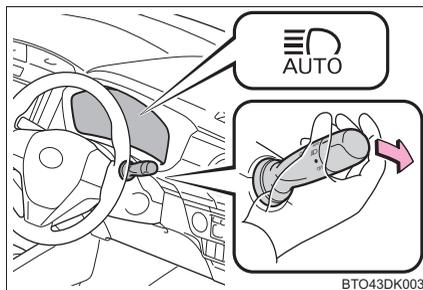
オートマチックハイビーム★

オートマチックハイビームは、インナーミラーに設置されたカメラセンサーにより対向車または先行車のライトや街路灯などの明るさを判定し、自動的にハイビームとロービームを切りかえます。

オートマチックハイビームの使い方

ランプスイッチを AUTO にし、レバーを前方へ押す

オートマチックハイビームが作動すると、オートマチックハイビーム表示灯が点灯します。



ハイビームとロービームの自動切りかえ条件

次の条件をすべて満たすと、ハイビームを点灯します。

- 車速が約 30km/h 以上
- 車両前方が暗い
- 対向車または先行車が存在しない、またはランプを点灯していない

次の条件のいずれかのときはロービームが点灯します。

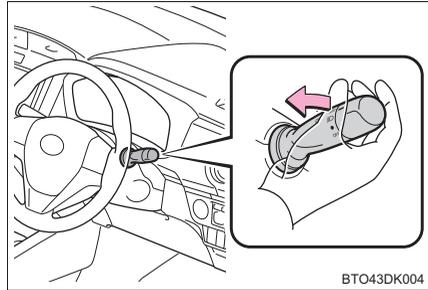
- 車速が約 25km/h 以下
- 車両前方が明るい
- 対向車または先行車がランプを点灯している

手動切りかえのしかた

■ ロービームへの切りかえ

レバーをもとの位置にもどす

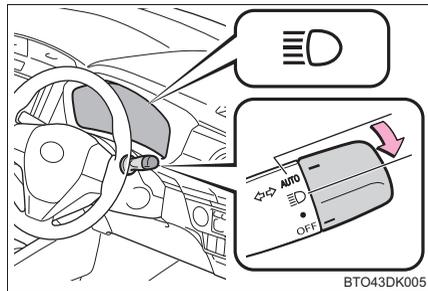
オートマチックハイビーム表示灯が
消灯します。



■ ハイビームへの切りかえ

ランプスイッチを  にする

オートマチックハイビーム表示灯が
消灯し、ハイビーム表示灯が点灯し
ます。



知識

■ 作動条件

パワースイッチが ON モードのとき

■ オートマチックハイビームについて

- 次の状況では、ハイビームが自動でロービームに切りかわらない場合があります。
 - ・ 見通しの悪いカーブで対向車と突然すれ違ったとき
 - ・ 他車が前方を横切ったとき
 - ・ 連続するカーブや中央分離帯、街路樹などで対向車や先行車が見え隠れするとき
- 対向車のフォグランプにより、ハイビームがロービームに切りかわる場合があります。
- 街路灯や信号、広告などの照明、または標識、看板などの反射物によりハイビームがロービームに切りかわる場合や、ロービームが継続する場合があります。

- 次の原因により、ハイビームとロービームの切りかえのタイミングが変化する場合があります。
 - ・ 対向車または先行車のランプの明るさ
 - ・ 対向車または先行車の動きや向き
 - ・ 対向車または先行車のランプが片側のみ点灯しているとき
 - ・ 対向車または先行車が二輪車のとき
 - ・ 道路の状態（勾配やカーブ、路面状況など）
 - ・ 乗車人数や荷物の量
- オートマチックハイビームは車両前方にあるランプの明るさなどで周囲の状況を認識します。従って、ハイビームとロービームが運転者の感覚に合わず切りかわる場合があります。
- 自転車などの軽車両は検知しない場合があります。
- 次の状況では、周囲の明るさが正確に検知されず、ハイビームが対向車や先行車の迷惑になる場合や、ロービームが継続する場合があります。このような場合は、手動でハイビームとロービームを切りかえてください。
 - ・ 悪天候時（霧、雪、砂嵐、大雨など）
 - ・ フロントウィンドウガラスが汚れているときや、曇っているとき
 - ・ フロントウィンドウガラスにひび割れや破損があるとき
 - ・ インナーミラーやカメラセンサーが変形しているときや、汚れているとき
 - ・ 周囲にヘッドランプや尾灯などに似た光があるとき
 - ・ 対向車または先行車のランプが無灯火のときや、ランプに汚れや変色があったり光軸がずれているとき
 - ・ 急激な明るさの変化が連続するとき
 - ・ 起伏や段差が多い道路を走行しているとき
 - ・ カーブが多い道路を走行しているとき
 - ・ 車両前方に標識やミラーのように光を強く反射するものがあるとき
 - ・ コンテナなど、先行車両の後部が光を強く反射するとき
 - ・ 自車のヘッドランプが破損または汚れているとき
 - ・ パンクやけん引などにより車両が傾いているとき
 - ・ マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されているとき

■ マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されたとき

システムに異常があるおそれがあります。トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ カスタマイズ機能

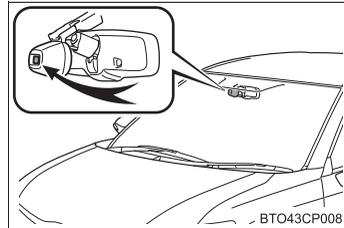
オートマチックハイビームを非作動にすることができます。
(カスタマイズ一覧：→P. 349)

警告**■安全にお使いいただくために**

オートマチックハイビームを過信しないでください。運転者は常に自らの責任で周囲の状況を把握し、安全運転を心がけ、必要に応じて手でハイビームとロービームを切りかえてください。

注意**■オートマチックハイビームを正しく作動させるために**

オートマチックハイビームを正しく作動させるために次のことをお守りください。



- カメラセンサーのレンズにふれない
- インナーミラーやカメラセンサーに強い衝撃を与えない
- カメラセンサーを分解しない
- インナーミラーやカメラセンサーに液体をかけない
- カメラセンサーの近くのフロントウィンドウガラスにステッカーを貼らない
- ダッシュボードの上にものを置かない
- インナーミラーやカメラセンサー周囲にアクセサリーを取り付けない
- 荷物を積み過ぎない
- 車両を改造しない
- トヨタ純正品以外のフロントウィンドウガラスに交換しない

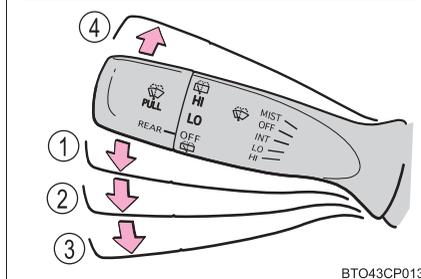
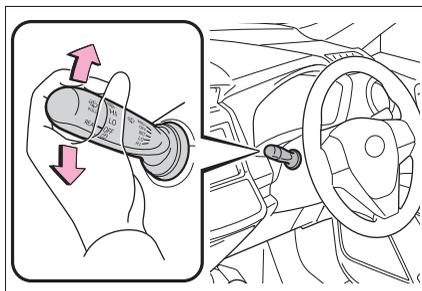
ワイパー & ウォッシャー（フロント）

操作のしかた

▶ 間欠ワイパー

次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。

- ① 間欠作動（INT）
- ② 低速作動（LO）
- ③ 高速作動（HI）
- ④ 一時作動（MIST）



BTO43CP013

- ⑤ ウォッシャー液を出す
ワイパーが連動して作動します。

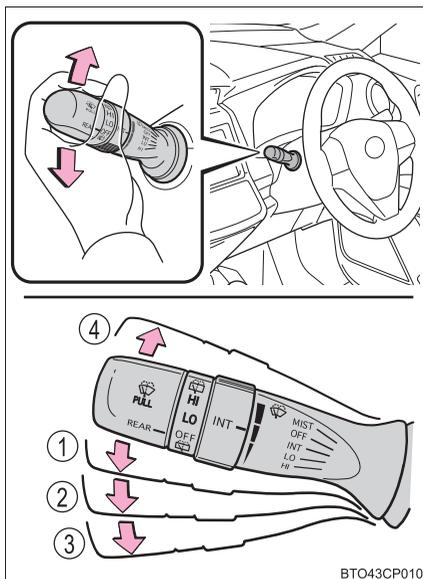


BTO43CP014

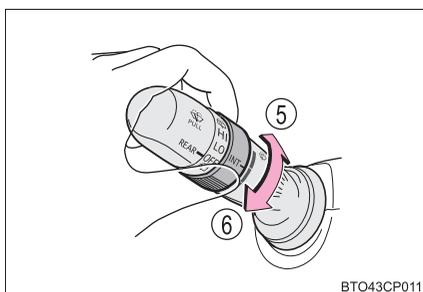
▶ 間欠時間調整式ワイパー

“INT” を選択しているとき、間欠作動の時間を調整することができます。次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。ワイパーの間欠時間も調整できます。

- ① 間欠作動 (INT)
- ② 低速作動 (LO)
- ③ 高速作動 (HI)
- ④ 一時作動 (MIST)



- ⑤ 間欠ワイパーの作動頻度 (減)
- ⑥ 間欠ワイパーの作動頻度 (増)



- ⑦ ウォッシャー液を出す
ワイパーが連動して作動します。



 知識

■ 作動条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ON” のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
パワースイッチが ON モードのとき

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

 警告

■ ウォッシャー使用時の警告

寒冷時はフロントウインドウガラスが温まるまでウォッシャー液を使用しないでください。ウォッシャー液がフロントウインドウガラスに凍り付き、視界不良を起こして思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意

■ フロントウインドウガラスが乾いているとき

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ ノズルがつまったとき

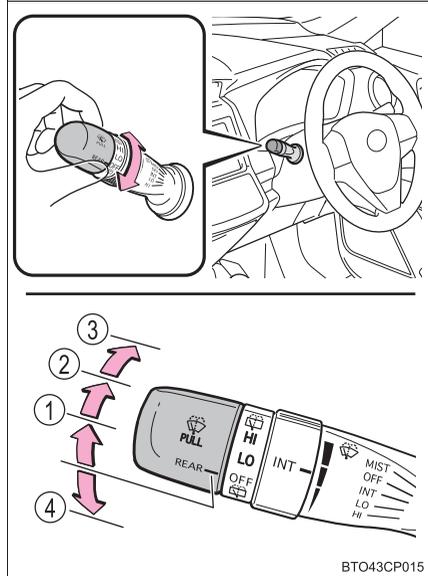
ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。
ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

ワイパー&ウォッシャー (リヤ) ★

操作のしかた

次のようにレバーを操作して、ワイパーの作動を選択します。

- ① 間欠作動 (LO)
- ② 通常作動 (HI)
- ③ ウォッシャー液を出す
ワイパーが連動して作動します。
- ④ ウォッシャー液を出す
ワイパーが連動して作動します。



知識

■ 作動条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ON” のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
パワースイッチが ON モードのとき

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャー液量が不足していないのにウォッシャー液が出ないときは、ノズルのつまりを点検してください。

 **注意****■ リヤウィンドウガラスが乾いているとき**

ワイパーを使わないでください。
ガラスを傷付けるおそれがあります。

■ ウォッシャー液が出ないとき

ウォッシャースイッチを操作し続けしないでください。
ポンプが故障するおそれがあります。

■ ノズルがつまったとき

ノズルがつまったときはトヨタ販売店へご連絡ください。
ピンなどで取り除かないでください。
ノズルが損傷するおそれがあります。

給油口の開け方

給油する前に

- ドアとドアガラスを閉めて、エンジンスイッチ★を“LOCK”またはパワースイッチ★をOFFにしてください。
- 燃料の種類を確認してください。

知識

■ 燃料の種類

無鉛レギュラーガソリン

■ エタノール混合燃料について

エタノール混合燃料（エタノールの混合率 3%以下、含酸素化合物の含酸素率 1.3%以下）も使用することができます。

 **警告****■ 給油するときは**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと火災を引き起こすなど、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 給油前にボデーなどの金属部分にふれて体の静電気を除去してください。除去したあとは給油が完了するまで、車内にもどったり、他の人やものにふれないでください。また、給油口に静電気を除去していない人を近付けないでください。

静電気を帯電した人が給油口に近付くと、放電による火花で燃料に引火するおそれがあります。

- キャップはツマミ部分を持ち、ゆっくりと開けてください。また、キャップをゆるめたときに、“シュー”という音がする場合は、その音が止まるまでキャップを保持してください。

すぐに開けると、気温が高いときなどに、給油口から燃料が噴き出るおそれがあります。

- 気化した燃料を吸わないようにしてください。
燃料の成分には、有害物質を含んでいるものもあります。

- 喫煙しないでください。

- ふきこぼれを防ぐため次の点に注意してください。

- ・ 給油口にノズルを確実に挿入する
- ・ 継ぎ足し給油をしない

- 正常に給油できない場合は、スタンドの係員を呼んで指示に従ってください。

 **注意****■ 給油するとき**

指定のガソリンを使用してください。

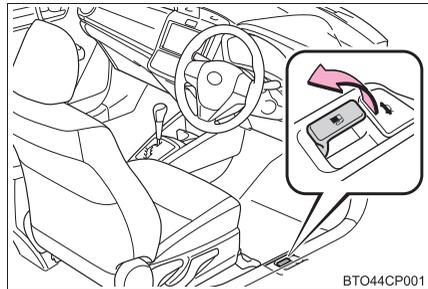
指定以外のガソリンや他の燃料（粗悪ガソリン・軽油・灯油・高濃度アルコール含有燃料）を使用したり、燃料をこぼしたりしないでください。

次のような状態になるおそれがあります。

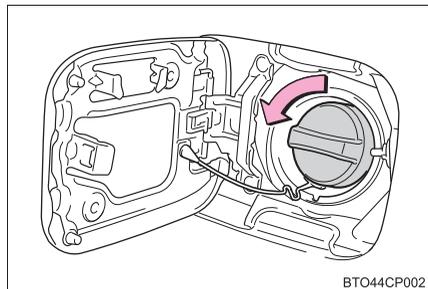
- ガソリンエンジンの始動性が悪くなる
- ガソリンエンジンからの異音や振動など（ノッキング）が発生する
- ガソリンエンジンの出力が低下する
- 排気制御システムが正常に機能しない
- 燃料系部品が損傷する
- 塗装が損傷する

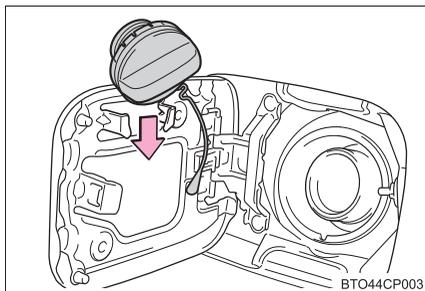
給油口の開け方

- 1 オープナーを上げて、給油口を開ける



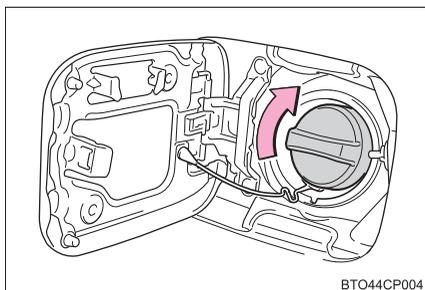
- 2 キャップをゆっくりまわして開ける



3 キャップをホルダーにはめ込む**給油口を閉める**

キャップを“カチッ”と音がするまでまわして閉める

手を離すと、キャップが逆方向に少しもどります。

**警告****■キャップが正常に閉まらないとき**

必ずトヨタ販売店へご連絡ください。

正常に閉まらないキャップをそのまま使用したり、純正品以外のキャップを使用すると、火災などを引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

運転を補助する装置

走行の安全性や運転性能を高めるため、走行状況に応じて次の装置が自動で作動します。ただし、これらのシステムは補助的なものなので、過信せずに運転には十分に注意してください。

◆ ABS（アンチロックブレーキシステム）

急ブレーキ時やすべりやすい路面でのブレーキ時にタイヤのロックを防ぎ、スリップを抑制します。

◆ ブレーキアシスト

急ブレーキ時などに、より大きなブレーキ力を発生させます。

◆ VSC（ビークルスタビリティコントロール）

急なハンドル操作や、すべりやすい路面で旋回するときに横すべりを抑え、車両の姿勢維持に寄与します。

◆ TRC（トラクションコントロール）

すべりやすい路面での発進時や加速時にタイヤの空転を抑え、駆動力の確保に貢献します。

◆ EPS（エレクトリックパワーステアリング）

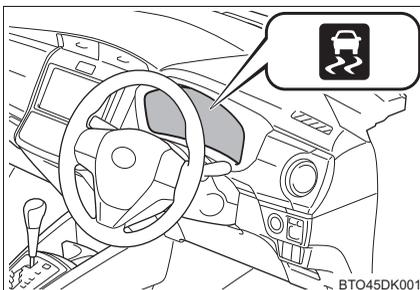
電気式モーターを利用して、ハンドル操作を補助します。

◆ ヒルスタートアシストコントロール

上り坂やすべりやすい丘面で発進するときに、ブレーキペダルから足を離しても一時的に制動力を保持し、発進操作を補助します。

VSC・TRC・ABS が作動しているとき

TRC・VSC・ABS が作動しているときは、スリップ表示灯が点滅します。



TRC を停止するには

ぬかるみや新雪などから脱出するときに、TRC が作動していると、アクセルペダルを踏み込んでもハイブリッドシステムの出力が上がらず、脱出が困難な場合があります。このようなときに  を押すことにより、脱出しやすくなる場合があります。

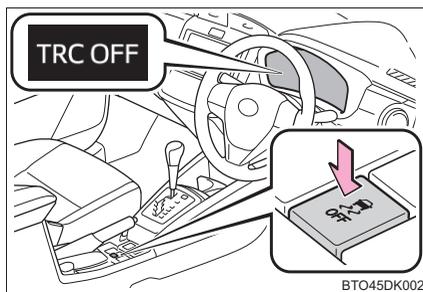
■ TRC を停止するには

TRC を停止するには  を押す

マルチインフォメーションディスプレイに「TRC OFF」と表示されます。

もう一度  を押すと、システ

ム作動可能状態にもどります。

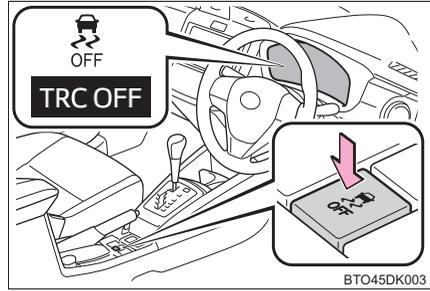


■ TRC と VSC を停止するには

TRC と VSC を停止するには、停車時に  を押し、3 秒以上保持する

VSC OFF 表示灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに「TRC OFF」と表示されます。

もう一度  を押し、システム作動可能状態にもどります。



 知識

-  を押さなくてもマルチインフォメーションディスプレイに「TRC OFF」

が表示されたとき

TRC および、ヒルスタートアシストコントロールが作動できない状態になっています。トヨタ販売店にご相談ください。

- **ABS・ブレーキアシスト・VSC・TRC・ヒルスタートアシストコントロールの作動音と振動**

- ハイブリッドシステム始動時や発進直後、ブレーキペダルをくり返し踏んだときに、エンジンルームから作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
- 上記のシステムが作動すると、次のような現象が発生することがありますが、異常ではありません。

- ・ 車体やハンドルに振動を感じる
- ・ 車両停止後もモーター音が聞こえる
- ・ ABS の作動時に、ブレーキペダルが小刻みに動く
- ・ ABS の作動終了後、ブレーキペダルが少し奥に入る

- **EPS モーターの作動音**

ハンドル操作を行ったとき、モーターの音（“ウィーン” という音）が聞こえることがありますが、異常ではありません。

- **TRC や VSC の自動復帰について**

TRC や VSC を作動停止にしたあと、次のときは作動可能状態にもどります。

- エンジンスイッチ★を“LOCK”、または パワースイッチ★を OFF にしたとき
- (TRC のみを作動停止にしている場合) 車速が高くなったとき
ただし、TRC と VSC の作動を停止している場合は、車速による自動復帰はありません。

- **EPS の効果が下がる時**

停車中か極低速走行中に長時間ハンドルをまわし続けると、EPS システムのオーバーヒートを避けるため、EPS の効果が下がりハンドル操作が重く感じられるようになります。

その場合は、ハンドル操作を控えるか、停車し、ハイブリッドシステムを停止してください。10 分程度でもとの状態にもどります。

■ヒルスタートアシストコントロールの作動条件

次のときシステムが作動します。

- シフトレバーの位置が P または N 以外（前進または後退での上り坂発進時）
- 車両停止状態
- アクセルを踏んでいない
- パーキングブレーキがかかっていない

■ヒルスタートアシストコントロールの自動解除

次のいずれかのときシステムが解除されます。

- シフトレバーを P または N の位置にした
- アクセルを踏んだ
- パーキングブレーキをかけた
- ブレーキペダルから足を離して約 2 秒経過した

⚠ 警告

■ ABS の効果を発揮できないとき

- タイヤのグリップ性能の限界をこえたとき（雪に覆われた路面を過剰に摩耗したタイヤで走行するときなど）
- 雨でぬれた路面やすべりやすい路面での高速走行時に、ハイドロプレーニング現象が発生したとき

■ ABS が作動することで、制動距離が通常よりも長くなる可能性があるとき

ABS は制動距離を短くする装置ではありません。特に次の状況では、常に速度を控えめにして前車と安全な車間距離をとってください。

- 泥・砂利の道路や積雪路を走行しているとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- 道路のつなぎ目など、段差をこえたとき
- 凹凸のある路面や石だたみなどの悪路を走行しているとき

■ TRC の効果を発揮できないとき

すべりやすい路面では、TRC が作動していても、車両の方向安定性や駆動力が得られないことがあります。車両の方向安定性や駆動力を失うような状況では、特に慎重に運転してください。

■ ヒルスタートアシストコントロールの効果を発揮できないとき

ヒルスタートアシストコントロールを過信しないでください。急勾配の坂や、凍った路面ではヒルスタートアシストコントロールが効かないことがあります。

 **警告****■ スリップ表示灯が点滅しているときは**

VSC・TRC・ABS が作動中であることを知らせています。常に安全運転を心がけてください。無謀な運転は思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。表示灯が点滅したら特に慎重に運転してください。

■ TRC や VSC を OFF にするとき

TRC や VSC は駆動力や車両の方向安定性を確保しようとするシステムです。そのため、必要なとき以外は TRC、VSC を作動停止状態にしないでください。TRC や VSC を作動停止状態にしたときは、路面状況に応じた速度で、特に慎重な運転を心がけてください。

■ タイヤを交換するとき

4 輪とも指定されたサイズで、同じメーカー・銘柄・トレッドパターン（溝模様）のタイヤを使用し、推奨された空気圧にしてください。（→P. 347）
異なったタイヤを装着すると、ABS・TRC・VSC が正常に作動しません。タイヤ、またはホイールを交換するときは、トヨタ販売店に相談してください。

■ タイヤとサスペンションの取り扱い

問題があるタイヤを使用したり、サスペンションを改造したりすると、運転を補助するシステムに悪影響をおよぼし、システムの故障につながるおそれがあります。

ハイブリッド車運転のアドバイス

環境に配慮した経済的な運転のためには、次のことを心がけてください。

◆ エコドライブモードの利用

エコドライブモードを使用すると、通常にくらべてアクセルペダルの踏み込みに対するトルクの発生がゆるやかになります。また、エアコン（暖房／冷房）の作動を抑え、燃費向上につながります。（→P. 151）

◆ ハイブリッドシステムインジケータの利用

マルチインフォメーションディスプレイ内のハイブリッドシステムインジケータの表示をエコエリアの範囲に保つことで環境に配慮した走行が可能です。（→P. 82）

◆ 減速時のブレーキ操作

減速時は、早めに、ゆるやかなブレーキ操作を行きましょう。
減速時に発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

◆ 渋滞

加速・減速のくり返しや、長い信号待ちは燃費を悪化させます。お出かけ前に交通情報を確認するなどして、なるべく渋滞を回避するようにしましょう。また、渋滞の際は、ブレーキペダルをゆるめて微前進し、アクセルペダルをあまり踏まないようにしましょう。余分なガソリン消費を抑えることができます。

◆ 高速道路での運転

速度を抑え、一定速度で走行しましょう。また、料金所手前では早めにアクセルペダルをもどし、ゆるやかなブレーキ操作を行きましょう。減速時に発生する電気エネルギーをより多く回収することができます。

◆ エアコンの ON / OFF

必要時以外は OFF にしましょう。余分なガソリン消費を抑えることができます。

夏季：

外気温が高いときは、内気循環モードに設定しましょう。エアコンへの負荷が減り燃費向上につながります。

冬季：

ガソリンエンジン・車室内が暖まるまで、ガソリンエンジンが自動停止しないので、燃料を消費します。また、過剰な暖房を避けると、燃費向上につながります。

◆ タイヤ空気圧の点検

タイヤ空気圧はこまめに点検しましょう。タイヤ空気圧が適切でないと、燃費の悪化につながります。

また、冬用タイヤは転がり抵抗が大きいいため、乾燥した路面では燃費の悪化につながります。季節、道路状況に応じて適切なタイミングでタイヤを交換しましょう。

◆ 荷物

重い荷物が積まれていると、燃費が悪化します。不要な荷物は、積んだままにせずに降ろしましょう。また、大型ルーフキャリアの装着も重い荷物と同様に燃費の悪化につながります。

◆ 走行前の暖機運転

ガソリンエンジンが冷えているときは、ガソリンエンジンの始動／停止を自動的に行いますので、暖機運転は必要ありません。

なお、短距離走行のくり返しは、暖機運転のためのガソリンエンジン始動がひんぱんに行われることとなりますので、燃費の悪化につながります。

寒冷時の運転

寒冷時に備えて、準備や点検など正しく処置していただいた上で適切に運転してください。

冬を迎える準備

- 次のものはそれぞれ外気温に適したものをお使いください。
 - ・ エンジンオイル
 - ・ 冷却水
 - ・ ウォッシャー液
- 補機バッテリーの点検を受けてください。
- 冬用タイヤ（4 輪）やタイヤチェーン（前部タイヤ用）を使用してください。

タイヤは 4 輪とも指定サイズで同一銘柄のものを、タイヤチェーンはタイヤサイズに合ったものを使用してください。
(タイヤについて：→P. 244)

運転する前に

状況に応じて次のことを行ってください。

- ドアやワイパーが凍結したときは無理に開けたり動かしたりせず、ぬるま湯をかけるなどして氷を解かし、すぐに水分を十分にふき取ってください。
- フロントウインドウガラス前の外気取り入れ口に雪が積もっているときは、エアコンのファンを正常に作動させるために、雪を取り除いてください。
- 外装ランプ、車両の屋根、タイヤの周辺やブレーキ装置に雪や氷が付いているときは、取り除いてください。
- 乗車する前に靴底に付いた雪をよく落としてください。

運転するとき

ゆっくりスタートし、車間距離を十分にとって控えめな速度で走行してください。

駐車するとき

パーキングブレーキをかけると、ブレーキ装置が凍結して解除できなくなるおそれがあります。パーキングブレーキはかけずに、シフトレバーをPに入れて駐車し、輪止め[※]をしてください。

[※] 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。

知識

■ タイヤチェーンについて

取り付け・取りはずし・取り扱い方法については次の指示に従ってください。

- 安全に作業できる場所で行う
- 前2輪に取り付ける
- タイヤチェーンに付属の取扱説明書に従う
- 取り付け後約0.5～1.0km 走行したら締め直しを行う

■ 寒冷地用ワイパーブレードについて

- 降雪期に使用する寒冷地用ワイパーブレードは、雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムで覆ってあります。トヨタ販売店で各車指定のブレードをお求めください。
- 高速走行時は、通常のワイパーブレードよりガラスがふき取りにくくなる場合があります。その場合には速度を落としてください。

 **警告****■ 冬用タイヤ装着時の警告**

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、車両のコントロールが不能となり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡事故につながるおそれがあります。

- 指定サイズのタイヤを使用する
- 空気圧を推奨値に調整する
- 装着する冬用タイヤの最高許容速度や制限速度をこえる速度で走行しない
- 冬用タイヤを装着する際は、必ず 4 輪とも装着する

■ タイヤチェーン装着時の警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、安全に車を運転することができずに、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 装着したチェーンに定められた制限速度、もしくは 30km/h のどちらか低いほうをこえる速度で走行しない
- 路面の凹凸や穴を避ける
- 急加速、急ハンドル、急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避ける
- カーブの入り口手前で十分減速して、車のコントロールを失うのを防ぐ

■ 駐車時の警告

パーキングブレーキをかけずに駐車するときは、必ず輪止めをしてください。輪止めをしないと、車が動き思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

 **注意****■ タイヤチェーンの使用について**

トヨタ純正タイヤチェーンのご使用をおすすめします。

トヨタ純正品以外のタイヤチェーンの中には、使用すると車体にあたり、走行のさまたげとなるおそれがあるものもあります。

詳しくはトヨタ販売店にご相談ください。

■ フロントウィンドウガラスに付いた氷を除去するとき

たたいて割らないでください。

ウィンドウガラスの内側（車内側）が割れるおそれがあります。

室内装備・機能

5

5-1. エアコンとデフォグガーの
使い方

オートエアコン	184
リヤウインドウデフォグガー （曇り取り）	192
フロントワイパーデアイサー	193

5-2. オーディオの使い方

オーディオの種類	194
ラジオの使い方	196
CD プレーヤーの使い方	198
MP3 / WMA ディスクの聞き方	203
快適に聞くために	209
ステアリングスイッチでの操作	211

5-3. 室内灯のつけ方

室内灯一覧	214
・パーソナルランプ	215
・ルームランプ	215

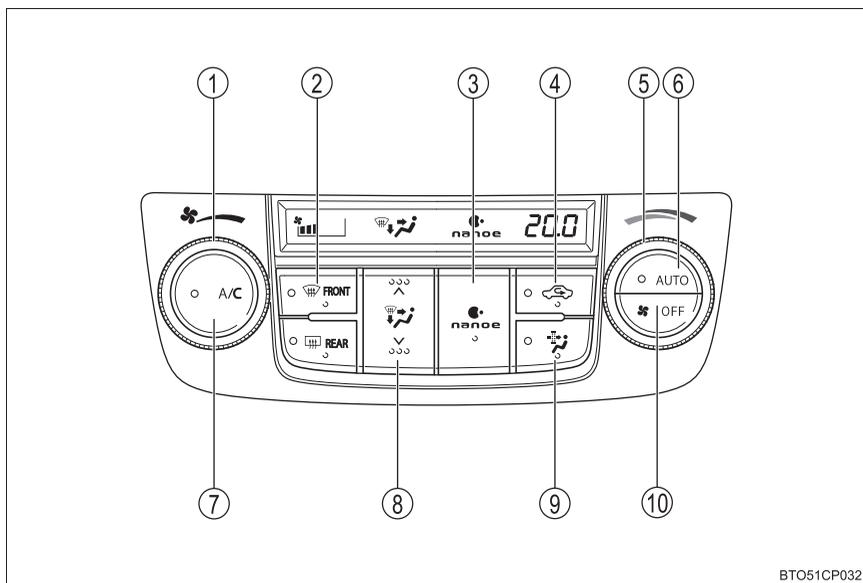
5-4. 収納装備

収納装備一覧	217
・グローブボックス	218
・助手席アッパーボックス ..	218
・コンソールボックス	219
・カップホルダー	221
・ボトルホルダー	222
・引き出し式 コインホルダー	223

5-5. その他の室内装備の使い方

サンバイザー / バニティミラー	224
時計	225
アクセサリースOCKET	226
シートヒーター （フロントシート）	227
リヤアームレスト	229
アシストグリップ	230

オートエアコン



BTO51CP032

- | | |
|--------------------|--------------|
| ① 風量調節ダイヤル | ⑥ オート設定 |
| ② フロントウィンドウガラス曇り取り | ⑦ エアコンのオン／オフ |
| ③ 「ナノイー」 | ⑧ 吹き出し口切りかえ |
| ④ 外気導入・内気循環切りかえ | ⑨ 花粉除去 |
| ⑤ 温度調節ダイヤル | ⑩ 送風停止 |

オートエアコンを使うには

- 1  を押す

吹き出し口と風量が自動で調整されます。

- 2 温度設定を変更するには温度調節ダイヤルを右(暖)か左(冷)へまわす

- 3  を押す

ボタンを押すたびに冷房・除湿機能の ON・OFF が切りかわります。

お好みの設定で使うとき

- 1 風量を調節するには、風量調節ダイヤルを右（増）か左（減）へまわす

送風を止めるときは  を押します。

- 2 温度設定を変更するには温度調節ダイヤルを右（暖）か左（冷）へまわす



が押されていない場合は、送風または暖房で使用できます。

- 3 吹き出し口を切りかえるには  の“Λ”または“V”を押す

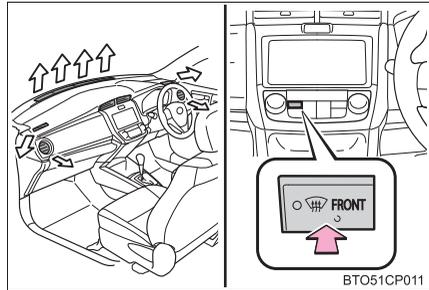
押すたびに吹き出し口が切りかわります。

フロントウィンドウガラスの曇りを取るには

 を押す

除湿機能が作動し、風量が増えます。内気循環にしている場合は、外気導入にしてください。（自動的に切りかわる場合もあります）

風量を強くし、設定温度を上げると、より早く曇りを取ることができます。

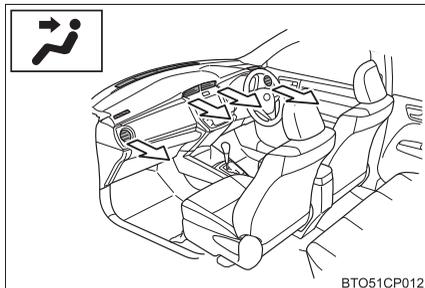


曇りが取れたら再度  を押すと前

のモードにもどります。

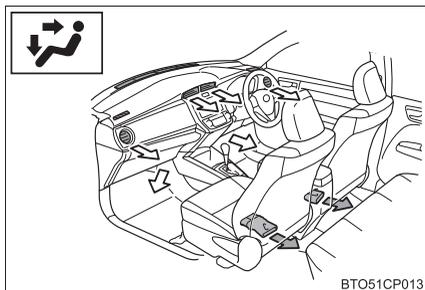
吹き出し口と送風について

上半身に送風する



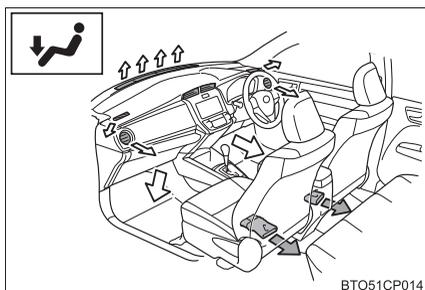
上半身と足元に送風する

←：寒冷地仕様車のみ



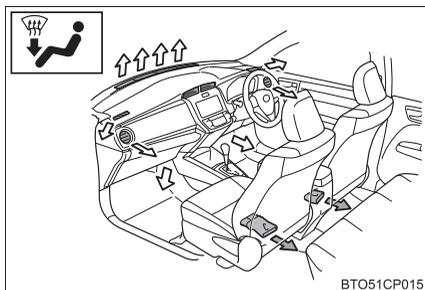
足元に送風する

←：寒冷地仕様車のみ



足元に送風・ガラスの曇りを取る

←：寒冷地仕様車のみ



外気導入・内気循環を切りかえるには

を押す

ボタンを押すたびに外気導入・内気循環に切りかわります。

内気循環を選択しているときは、の表示灯が点灯します。

花粉除去機能を使うには

を押す

内気循環に切りかわり、上半身に送風して花粉を除去します。通常約 3 分後に

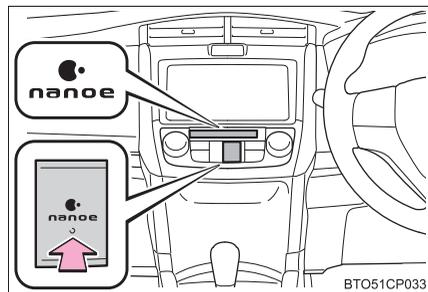
を押す前のモードにもどります。

途中で止めるときは、再度 を押すと前のモードにもどります。

「ナノイー」を使うには

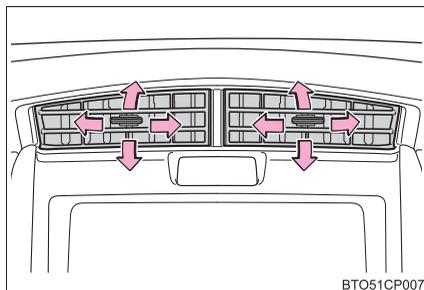
スイッチを押す

エアコン送風時に「ナノイー」が作動し、表示部に「nanoe」が表示されます。
 (「ナノイー」について：→P. 190)

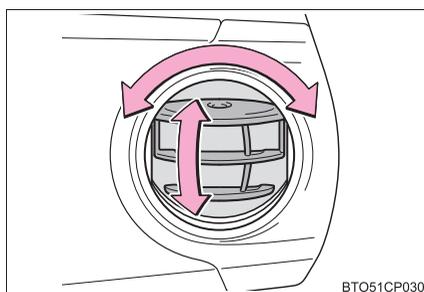


風向き調整と吹き出し口の開閉**■ 中央吹き出し口**

風向き調整

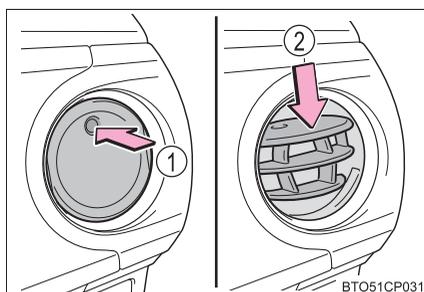
**■ 左右吹き出し口**

風向き調整



吹き出し口の開閉

- ① 開ける
- ② 閉じる

**知識****■ オート設定の作動について**

風量は温度設定と外気の状態により自動で調整されるため、を押した直後、温風や冷風の準備ができるまでしばらく送風が停止する場合があります。

■ ガラスの曇りについて

- 車室内の湿度が高いときはガラスが曇りやすくなります。その場合は、を ON にすると、吹き出し口から除湿された風が出るため、効果的に曇りを取ることができます。
- を ON から OFF にすると、ガラスが曇りやすくなります。
- 内気循環を使うとガラスが曇る場合があります。

■ 外気導入・内気循環について

トンネルや渋滞などで、汚れた外気を車内に入れたくないときや、外気温度が高いときに冷房効果を高めたい場合は、内気循環にすると効果的です。

■ 外気温度が0℃近くまで下がったとき

を押しても除湿効果が働かない場合があります。

■ 花粉除去モードについて

- 外気温が低いときは、フロントウインドウガラスの曇りを防止するために次のような作動をする場合があります。
 - ・ 内気循環に切りかわらない
 - ・ 除湿機能が作動する
 - ・ 約1分後に作動が停止する
- 雨天時はガラスが曇るため、を押してください
- 湿度が非常に高いときに使うとガラスが曇る場合があります。
- 花粉除去モードが OFF のときも花粉はフィルターで取り除かれています。

■「ナノイー」※¹について

エアコンには「ナノイー」技術が搭載されています。この技術は運転席側の吹き出し口を通じて、水に包まれた肌や髪にやさしい弱酸性の「ナノイー」を放出し、室内を爽やかな空気で満たします※²。

●「ナノイー」の作動中、次の条件で効果を発揮します。次の条件以外では、効果が十分に得られない場合があります。

- ・吹き出し口が 、または  のとき
- ・運転席側の吹き出し口が開いているとき

●「ナノイー」作動時は、微量のオゾンが発生し、かすかに臭うことがありますが、森林など、自然界に存在する程度の量なので、人体に影響はありません。

●作動中、かすかに作動音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

※¹ 「nanoe」、「ナノイー」および「nanoe」マークは、パナソニック株式会社の商標です。

※² 温湿度環境、風量・風向きによっては「ナノイー」の効果が十分に得られない場合があります。

■エアコンの臭いについて

●エアコン使用中に、車室内外のさまざまな臭いがエアコン装置内に取り込まれて混ざり合うことにより、吹き出し口からの風に臭いがすることがあります。

●エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、駐車時は外気導入にしておくことをおすすめします。

●エアコン始動時に発生する臭いを抑えるために、オート設定での使用時にはエアコン始動直後、しばらく送風が停止する場合があります。

■エアコンフィルターについて

→P. 268

■エコドライブモード

→P. 151

 **警告****■ フロントウインドウガラスの曇りを防止するために**

外気の湿度が高いときにエアコンを低い設定温度で作動させているときは、



を押さないでください。外気とガラスの温度差でガラスの外側が曇り、視界をさまたげる場合があります。

■ 「ナノイー」について

このシステムは、高電圧の部品を含むため、分解・修理はしないでください。修理が必要な場合は、トヨタ販売店に問い合せください。

 **注意****■ 補機バッテリーあがりを防ぐために**

ハイブリッドシステム停止中は、必要以上にエアコンを使用しないでください。

■ 「ナノイー」の損傷を防ぐために

運転席の吹き出し口の近くでスプレーを使用したり、吹き出し口にものをはめ込んだり貼ったりしないでください。システムが正常に働かなくなるおそれがあります。

リヤウインドウデフォグラー（曇り取り）

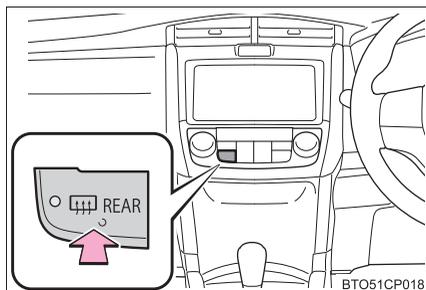
リヤウインドウの曇りを取るときにお使いください

オン/オフ

押すごとにオン/オフが切りかわり、作動中は表示灯が点灯します。

リヤウインドウデフォグラーは自動的にオフになります。

作動時間は外気温度や走行状態によって変わります。



知識

■ 作動条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ON” のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
パワースイッチが ON モードのとき

■ ミラーヒーターについて（ミラーヒーター装着車）

リヤウインドウデフォグラーをオンにするとミラーヒーターも同時に作動します。

警告

■ ミラーヒーター作動中の警告（ミラーヒーター装着車）

ドアミラー表面が熱くなります。やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

注意

■ 補機バッテリーあがりを防ぐために

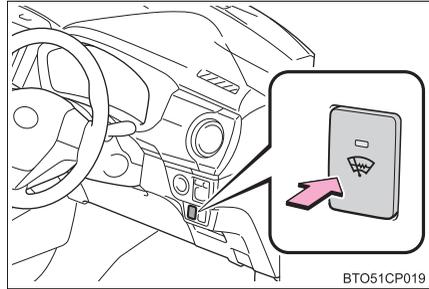
連続して長時間使用すると、補機バッテリーあがりの原因となります。

フロントワイパーデアイサー★

フロントウィンドウガラスとワイパーブレードの凍結を防ぐためにお使いください

オン/オフ

フロントワイパーデアイサーは約 15 分で自動的にオフになります。



知識

■ 作動条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ON” のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
パワースイッチが ON モードのとき

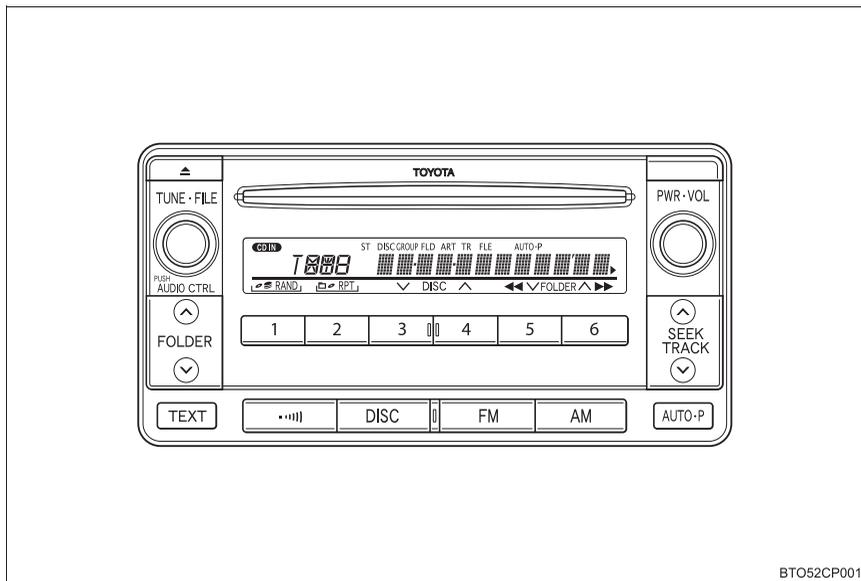
警告

■ 作動中の警告

フロントウィンドウガラス下部および運転席側フロントピラー横の表面が熱くなっており、やけどをするおそれがあるのでふれないでください。

オーディオの種類

▶ CD プレーヤー、AM/FM ラジオ装着車



BTO52CP001

タイトル	参照ページ
ラジオの使い方	P. 196
CD プレーヤーの使い方	P. 198
MP3 / WMA ディスクの聞き方	P. 203
快適に聞かために	P. 209
ステアリングスイッチでの操作	P. 211

知識

■携帯電話の使用

オーディオを聞いているときに、車内または車の近くで携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーから雑音が聞こえることがあります。

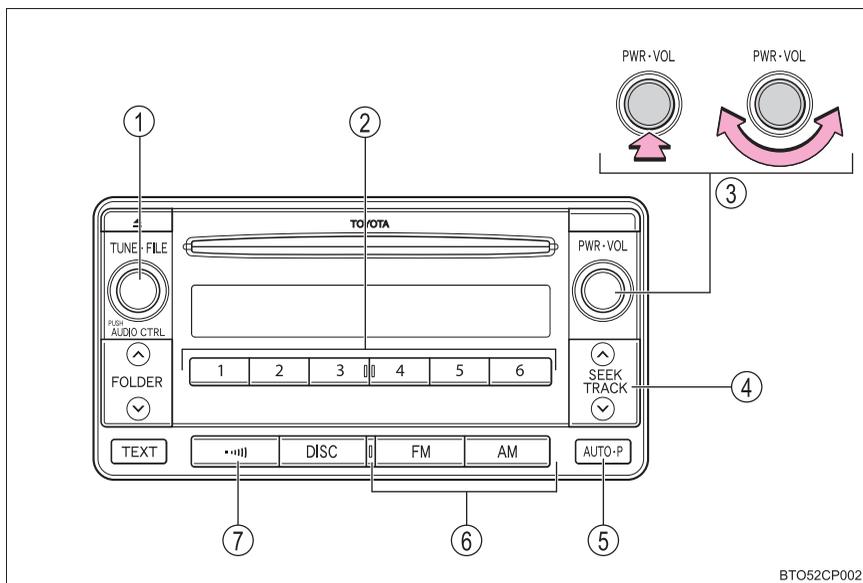
 **注意****■ 補機バッテリーあがりを防ぐために**

ハイブリッドシステム停止中にオーディオを長時間使用しないでください。

■ オーディオの取り扱いについて

オーディオに飲み物などをこぼさないように注意してください。

ラジオの使い方



BTO52CP002

- ① 周波数の調整
- ⑤ 放送局の自動設定
- ② 選局
- ⑥ AM / FM の切りかえ
- ③ 電源のオン／オフ、音量の調整
- ⑦ 交通情報
- ④ 周波数の探索

放送局を記憶

■ 手動設定

- 1  をまわして、または  の“^”（高い周波数）または“v”（低い周波数）を押して、お好みの放送局を探す

- 2 記憶させたいスイッチ 1 ~ 6 を“ピッ”と音が鳴るまで押す

■ 自動設定

- AUTO-P を“ピッ”と音が鳴るまで押す

受信感度の良い順に 6 局まで記憶されます。記憶が終了すると“ピッピッ”と音が鳴ります。

交通情報を受信する

を押す

もう一度押すと解除されます。

知識

■ について

- 新車時は、1620kHz にセットしてあります。
- AM ラジオモードのとき  を“ピッ”と音が鳴るまで押し続けると、その周波数を  に記憶させることができます。ただし、補機バッテリーとの接続が断たれたときは、1620kHz にもどります。

-  を押して、ラジオを受信しているときは、 ・  ・  ~
 ・  を操作しても、周波数は切りかわりません。

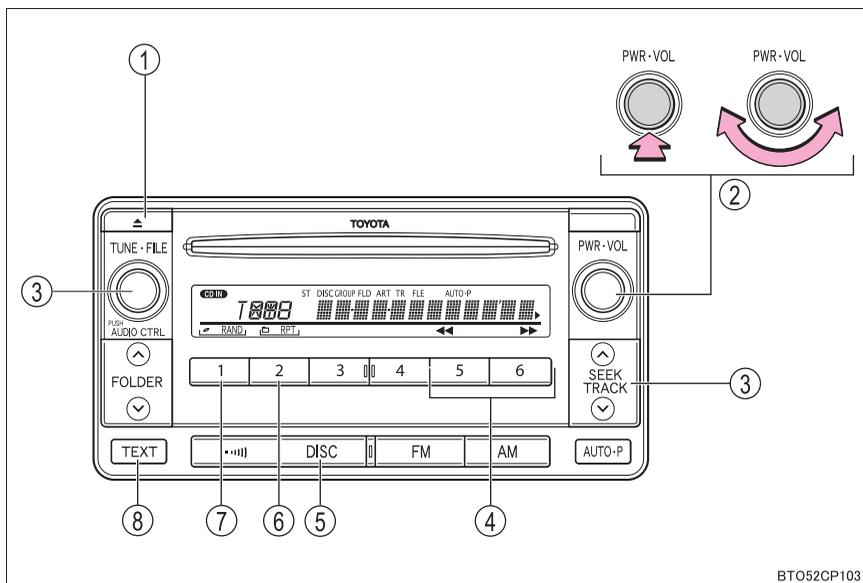
■ 補機バッテリーとの接続が断たれたときは

 ~  に設定されていた放送局が消去されます。

■ 受信感度について

- アンテナの位置がそのときどきでかわるため、電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信感度を保つことが難しい場合があります。
-  を使っているとき、自動選局や自動記憶ができないことがあります。

CD プレーヤーの使い方



BTO52CP103

- | | |
|------------------|-----------|
| ① CD の取り出し | ⑤ 再生 |
| ② 電源のオン/オフ、音量の調整 | ⑥ リpeat再生 |
| ③ 選曲 | ⑦ ランダム再生 |
| ④ 早もどし/早送り | ⑧ 表示の切りかえ |

CD を挿入する

CD を 1 枚、挿入する

CD を取り出す

 を押して CD を取り出す

曲を選ぶ



をまわして、または  の “^” (次曲) または “v” (前曲)

を押して聞きたい曲の番号を表示させる

早もどし、早送りする

早もどし、早送りするには、 (早もどし) または (早送り) を押し続ける

リピート (RPT) 再生する

(RPT) を押す

ランダム (RAND) 再生する

(RAND) を押す

表示を切りかえる

を押す

押すごとに、次のように表示が切りかわります。

曲順および経過時間 → CD タイトル → 曲名

```

graph TD
    A[曲順および経過時間] --> B[CD タイトル]
    B --> C[曲名]
    C --> A
  
```

知識

■ 表示について

ディスプレイに一度に表示できるのは 12 文字までです。

CD タイトル、または曲名が 13 文字以上の場合、 を長押しすることにより、13 文字目以降を表示できます。

表示できるのは最大で 24 文字です。

をもう一度長押しする、または約 6 秒以上操作をしないまま放置すると、もとの 12 文字目までの表示にもどります。

記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されないことがあります。

■ ランダム再生、リピート再生の解除

もう一度 (RAND) または (RPT) を押します。

■ エラー表示

“ERROR”：ディスクが汚れているときや、裏表逆などで読み取りができないとき、もしくはプレイヤー内部に異常があるときに表示されます。

■再生可能な CD

次のマークの付いたディスクが再生できます。
記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、劣化により再生できないことがあります。



コピープロテクト機能付 CD などは再生できません。

■CD プレーヤーの保護機能

プレーヤー内部を保護するため、使用中に異常が生じたときは自動的に再生を停止します。

■CDをプレーヤー内部に、またはプレーヤーから飛び出した状態のまま長時間放置すると

CD が傷付き使用できなくなるおそれがあります。

■レンズクリーナー

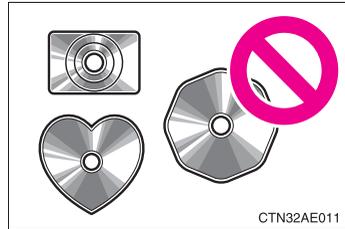
レンズクリーナーを使用しないでください。使用すると、プレーヤーが故障するおそれがあります。

 注意

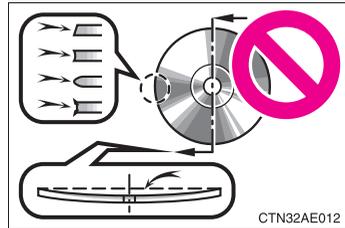
■ 使用できない CD、アダプター

次のような CD、8cm CD アダプター、Dual Disc を使用しないでください。使用すると、プレーヤーが故障したり、CD の出し入れができなくなるおそれがあります。

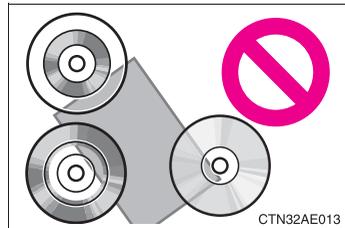
- 直径 12cm の円形以外の CD



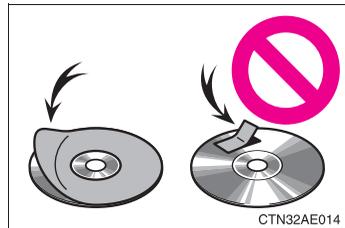
- 低品質または変形している CD



- 記録部分が透明または半透明の CD



- セロハンテープ、シール、CD-R 用ラベルなどを貼った CD や、はがしたあとのある CD



 注意

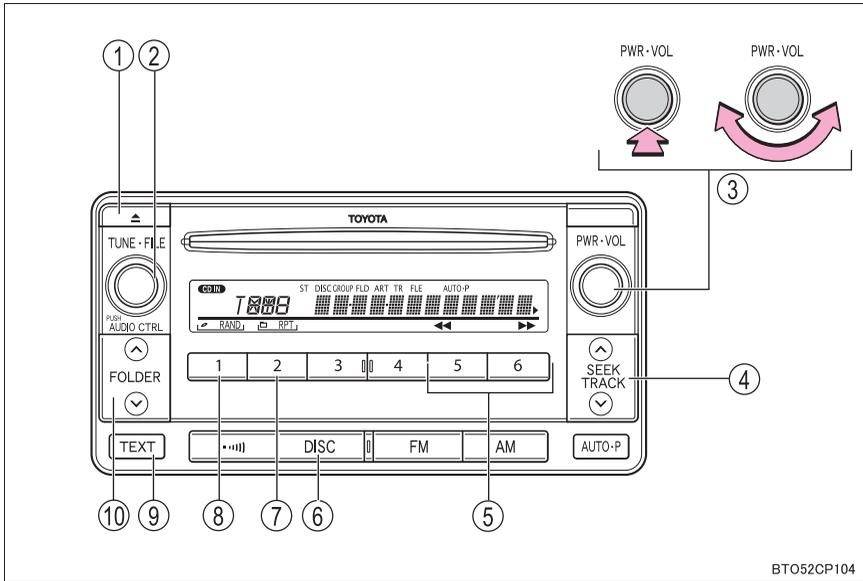
■ CD プレーヤーの取り扱いについて

次のことをご守りいただかないと、CD が聞けなくなったり、CD プレーヤーが正常に働かなくなるおそれがあります。

- CD 挿入口に CD 以外のものを入れない
- CD プレーヤーにオイルを塗ったりしない
- CD は直射日光を避けて保管する
- CD プレーヤーを分解しない
- 一度に 2 枚以上の CD を挿入しない



MP3 / WMA ディスクの聞き方



BT052CP104

- | | |
|------------------|-----------|
| ① CDの取り出し | ⑥ 再生 |
| ② ファイルの選択 | ⑦ リPEAT再生 |
| ③ 電源のオン/オフ、音量の調整 | ⑧ ランダム再生 |
| ④ ファイルの選択 | ⑨ 表示の切りかえ |
| ⑤ 早もどし/早送り | ⑩ フォルダの選択 |

MP3 / WMA ディスクを挿入する、または取り出す

→P. 198

早もどし、早送りする

→P. 199

フォルダを選ぶ・最初のフォルダにもどる



の“∧”（次フォルダ）または“∨”（前フォルダ）を押して聞きたいフォルダを選ぶ

最初のフォルダにもどるには“∧”を“ピツ”と音が鳴るまで押します。

ファイルを選択する



をまわして、または  の “Λ” (次ファイル) または “V” (前ファイル) を押して聞きたいファイルを探す

リピート (RPT) 再生する

■ ファイルをくり返して再生する

(RPT) を押す

■ フォルダをくり返して再生する

(RPT) を押す “ピッ” と音がするまで押す

ランダム (RAND) 再生する

■ 特定のフォルダの中から無作為にファイルを再生する

(RAND) を押す

■ ディスクの中から無作為にすべてのファイルを再生する

(RAND) を押す “ピッ” と音がするまで押す

表示を切りかえる

を押す

押すごとに、次のように表示が切りかわります。

⇒ フォルダ番号・ファイル番号・経過時間 → フォルダタイトル → ファイル名 → ディスクタイトル (MP3 のみ) → 曲名 → アーティスト名

 知識

■ 表示について

ディスプレイに一度に表示できるのは 12 文字までです。

CD タイトル、または曲名が 13 文字以上の場合、 を長押しすることにより、13 文字目以降を表示できます。

表示できるのは最大で 24 文字です。

 をもう一度長押しする、または約 6 秒以上操作をしないまま放置すると、もとの 12 文字目までの表示にもどります。

記録されている内容によっては、正しく表示されなかったり、表示自体されないことがあります。

■ ランダム再生、リピート再生の解除

もう一度  (RAND) または  (RPT) を押します。

■ エラー表示

“ERROR”：ディスクが汚れているときや、裏表逆などで読み取りができないとき、もしくはプレイヤー内部に異常があるときに表示されます。

“NO MUSIC”：ディスク内に MP3/WMA ファイルが収録されていないときに表示されます。

■ 再生可能な CD

以下のマークの付いたディスクが再生できます。

記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、劣化により再生できないことがあります。



■ CD プレーヤー保護機能

プレーヤー内部を保護するため、使用中に異常が生じたときは自動的に再生を停止します。

■ CD をプレーヤー内部に、またはプレーヤーから飛び出した状態のままで長時間放置すると

CD が傷付き使用できなくなるおそれがあります。

■ レンズクリーナー

レンズクリーナーを使用しないでください。使用すると、プレーヤーが故障するおそれがあります。

■MP3 / WMA ファイルについて

MP3 (MPEG Audio LAYER3) は、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

MP3 を使用すれば、もとのファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media Audio) は、Microsoft Corporation の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

使用できる MP3/WMA ファイルの規格やそれを記憶したメディア、フォーマットには制限があります。

●再生可能な MP3 ファイルの規格について

- ・ 対応規格
MP3 (MPEG1 LAYER3、MPEG2 LSF LAYER3)
- ・ 対応サンプリング周波数
MPEG1 LAYER3 : 32、44.1、48 (kHz)
MPEG2 LSF LAYER3 : 16、22.05、24 (kHz)
- ・ 対応ビットレート
MPEG1 LAYER3 : 64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 (kbps)
MPEG2 LSF LAYER3 : 64、80、96、112、128、144、160 (kbps)
※ VBR に対応しています。
- ・ 対応チャンネルモード : ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

●再生可能な WMA ファイルの規格について

- ・ 対応規格
WMA Ver.7、8、9
- ・ 対応サンプリング周波数
32、44.1、48 (kHz)
- ・ 対応ビットレート
Ver.7、8 : CBR48、64、80、96、128、160、192 (kbps)
Ver.9 : CBR48、64、80、96、128、160、192、256、320 (kbps)
※ 2ch 再生のみ対応しています。

●使用できるメディアについて

MP3/WMA ファイルの再生に使用できるメディアは CD-R および CD-RW です。

CD-R、CD-RW の状態によっては再生できないことがあります。また、ディスクに傷や指紋を付けた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。

- 使用できるディスクのフォーマットについて
使用できるメディアのフォーマットは下記のとおりです。
 - ・ ディスクフォーマット： CD- ROM Mode1 および Mode2、CD- ROM XA、Mode2 Form1 および Form2
 - ・ ファイルフォーマット： IS 09660 レベル 1、レベル 2 (Romeo, Joliet)上記フォーマット以外で書き込まれた MP3/WMA ファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されないことがあります。

規格ならびに制限事項は次の通りです。

- ・ 最大ディレクトリ階層： 8 階層
- ・ 最大フォルダ名／ファイル名文字数： 半角 32 文字（全角文字で記録された情報をこのオーディオで表示することはできません）
- ・ 最大フォルダ数： 192（ルート含む）
- ・ ディスク内最大ファイル数： 255
- ファイル名について
MP3/WMA と認識し再生するファイルは、MP3/WMA の拡張子 ".MP3" または ".wma" が付いたものだけです。
- マルチセッションについて
マルチセッションに対応しており、MP3/WMA ファイルを追加したディスクの再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。
- ID3 タグ /WMA タグについて
MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを記録することができます。ID3 Ver.1.0、1.1、ID3 Ver.2.2、2.3 のタグに対応しています。（文字数は ID3 Ver.1.0、1.1 に準拠します）
WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を記録することができます。
- MP3/WMA の再生について
MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると、最初の MP3/WMA ファイルを再生します。
ディスク内のチェックを早く終わらせるために、MP3/WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
音楽データと MP3、または WMA 形式のデータが混在しているディスクは再生できません。
- 拡張子について
MP3/WMA 以外のファイルに ".MP3" または ".wma" の拡張子が付いていると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損することがあります。

●再生について

- ・安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1 kHz のサンプリング周波数を推奨します。
- ・CD-R、CD-RW はディスクの特性により再生できないことがあります。
- ・MP3/WMA は市場にフリーウェアなど多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質が劣化したり再生開始時にノイズが発生したりするおそれがあります。また、再生できないことがあります。
- ・ディスクに MP3/WMA 以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できないことがあります。Microsoft、Windows、Windows Media は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標および商標です。

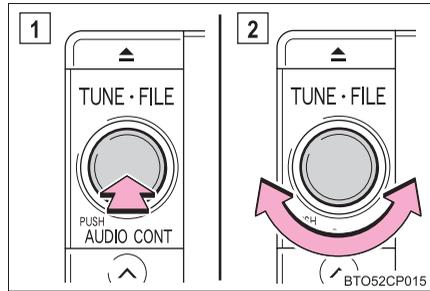
 **注意**

■使用できないCD、アダプター (→P. 201)

■CD プレーヤーの取り扱いについて (→P. 202)

快適に聞くために

- 1 ダイヤルを押してモードを表示させる
- 2 ダイヤルをまわして以下の設定を変更する
 - ・ 音質と音量バランス (→P. 210)
最適な音質と音量バランスで聞くために設定を変更することができます。
 - ・ オートマッチサウンドレベライザ ON・OFF (→P. 210)



設定を変更するには

■ 音質モードの切りかえ



を押すごとに次のように切りかわります。

FAD→BAS→TRE→BAL→ASL



■ 音質の調整



をまわして音質のレベルを調整します。

音質モード	表示	レベル	左にまわす	右にまわす
前後音量 バランス	FAD	F7 ~ R7	うしろ側大	前側大
低音※	BAS	-5 ~ 5	弱	強
高音※	TRE	-5 ~ 5		
左右音量 バランス	BAL	L7 ~ R7	左側大	右側大
音量補正	ASL	OFF	右へまわす	
		LOW	OFF ⇄ LOW ⇄ MID ⇄ HIGH	
		MID		
		HIGH		

※ 音質レベルは、ラジオまたは CD プレーヤーそれぞれで調整できます。

□ 知識

■ SRS Labs, Inc. の登録商標

本製品は AM ラジオモードを除き、SRS Labs, Inc. の SRS FOCUS[®]、SRS TruBass[®]の技術を使用しています。FOCUS、TruBass、SRS と  記号は、SRS Labs, Inc. の商標です。FOCUS、TruBass 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。



BTO52CP016

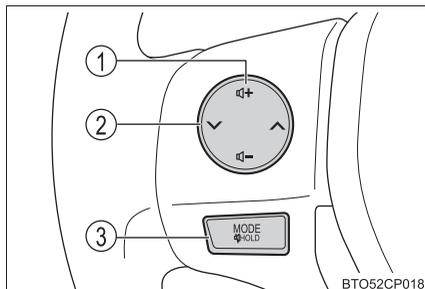
ステアリングスイッチでの操作★

ハンドル左側にあるスイッチで、オーディオを操作することができます

モードの切りかえや CD、ラジオなどの操作については、装着されたオーディオにより異なる場合や、操作できない場合があります。

● 販売店オプションのナビゲーションシステムや、オーディオの操作方法は、各取扱書をご覧ください。

- ① 音量を調整する
- ② 現在のオーディオモードにより機能がかわります。
 - ・ 周波数の探索（ラジオ使用時）
 - ・ 選曲（CD 再生時）
 - ・ ファイル／フォルダの選択（MP3 / WMA 再生時）
- ③ 電源を入れる、モードの切りかえ



電源を入れる

 を押す

電源が ON のときは、スイッチを“ピッ”と音がするまで押し続けると電源が OFF になります。

モードを切りかえる

オーディオの電源が ON のとき、 を押すごとに、次の順にモードが切りかわります。

AM→FM→CD ※ →AM

※ CD はディスクが挿入されていないときは選択できません。

音量を調整する

音量を大きくするには  の“+”側を、小さくするときには“-”側を押す

スイッチを押し続けると、音量を連続して調整できます。

放送局を選択するには

1  を押して、AM または FM を選択する

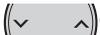
2  の“^”側、または“v”側を押す

スイッチを押すごとに、記憶されている周波数を選択します。

“ピツ”と音がするまで押し続けると、自動で受信可能な周波数を選択します。

CD の操作

1  を押して、CD を選択する

2  の“^”側、または“v”側を押して、希望の曲を選択する

MP3 / WMA の操作

■ ファイルを選択するには

- 1  を押して、CD (MP3 / WMA) を選択する
- 2  の “^” 側、または “V” 側を押して、希望のファイルを選択する

■ フォルダを選択するには

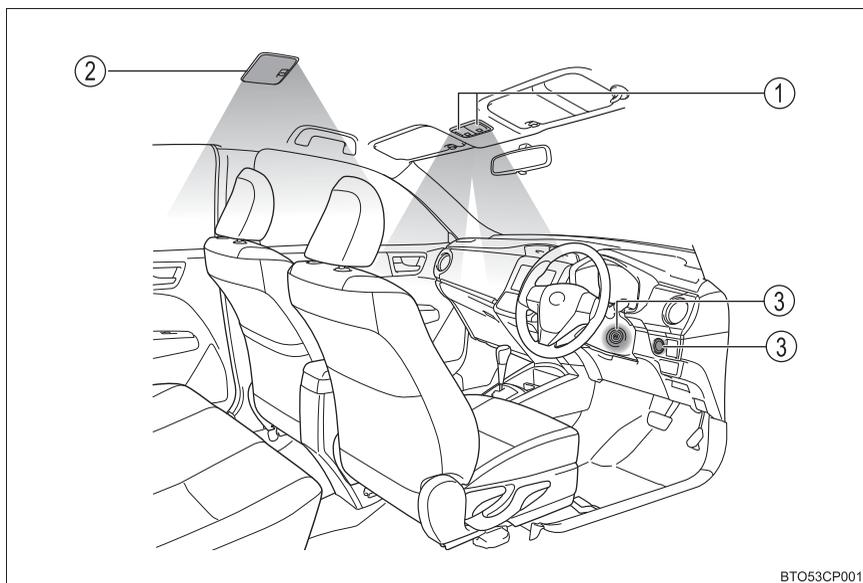
- 1  を押して、CD (MP3 / WMA) を選択する
- 2  の “^” 側、または “V” 側を “ピッ” と音がするまで押し続けて、希望のファイルを選択する

警告

■ 事故を防ぐために

運転中にオーディオスイッチを操作するときは、十分注意してください。

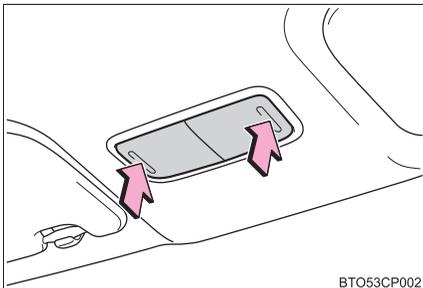
室内灯一覧



- ① パーソナルランプ
(→P. 215)
- ② ルームランプ (→P. 215)
- ③ エンジンスイッチ照明
(スマートエントリー&スタートシステム非装着車)
 パワースイッチ照明
(スマートエントリー&スタートシステム装着車)

パーソナルランプ

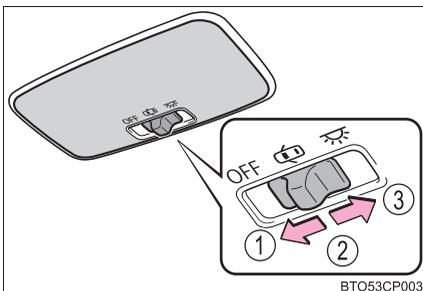
ランプを点灯・消灯する



BTO53CP002

ルームランプ

- ① OFF
- ② ドアポジション（ドア連動）
- ③ ON（点灯）



BTO53CP003

 知識■ **イルミネーテッドエントリーシステム**▶ **スマートエントリー&スタートシステム非装着車**

ルームランプのスイッチがドアポジションのとき、ドアの施錠／解錠・ドアの開閉・エンジンスイッチの位置により、各部の照明が自動的に点灯・消灯します。

▶ **スマートエントリー&スタートシステム装着車**

ルームランプのスイッチがドアポジションのとき、電子キーの検知・ドアの施錠／解錠・ドアの開閉・パワースイッチの状態により、各部の照明が自動的に点灯・消灯します。

■ **補機バッテリーあがりを防ぐために**

エンジンスイッチ★が“LOCK”またはパワースイッチ★が OFF の場合、室内灯が点灯したままのときは、約 20 分後に自動消灯します。

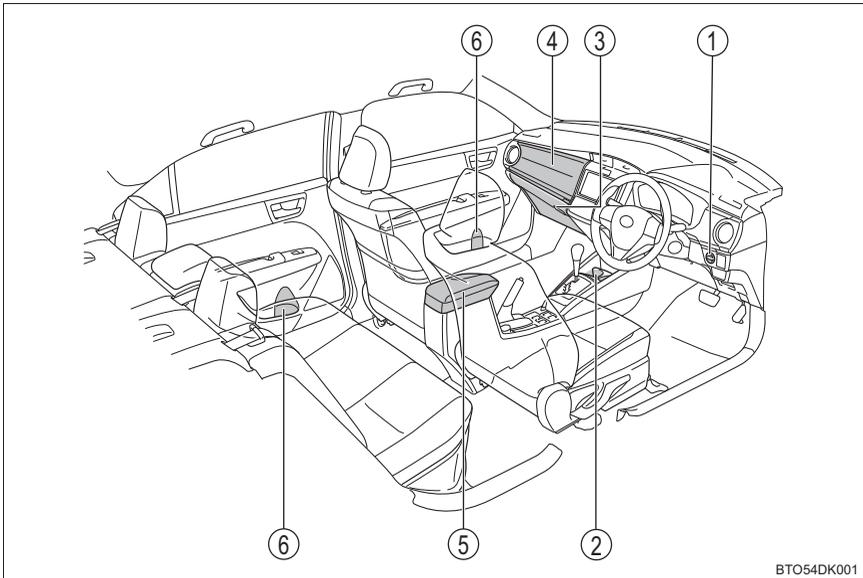
■ **販売店で設定可能な機能**

室内灯の消灯までの時間などの設定を変更できます。
(カスタマイズ一覧：→P. 349)

 **注意**■ **補機バッテリーあがりを防止するために**

ハイブリッドシステムが停止した状態で、長時間ランプを点灯しないでください。

収納装備一覧



- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| ① 引き出し式コインホルダー★
(→P. 223) | ④ 助手席アッパーボックス
(→P. 218) |
| ② カップホルダー (→P. 221) | ⑤ コンソールボックス
(→P. 219) |
| ③ グローブボックス (→P. 218) | ⑥ ボトルホルダー
(→P. 222) |

⚠ 警告

■ 収納装備に放置してはいけないもの

メガネ・ライターやスプレー缶を収納装備内に放置したままにしないでください。

放置したままですと、次のようなことが起こるおそれがあり危険です。

- 室温が高くなったときの熱や、他の収納物との接触などにより、メガネが変形やひび割れを起こす
- 室温が高くなったときにライターやスプレー缶が爆発したり、他の収納物との接触でライターが着火したりスプレー缶のガスがもれるなどして火災につながる

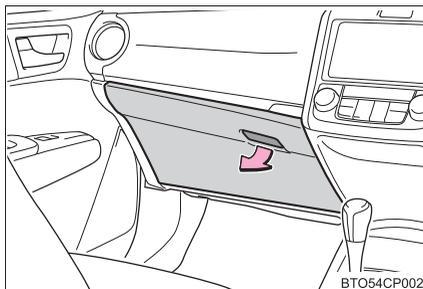
警告**■ 収納装備を使わないときや走行中の留意事項**

フタを必ず閉じてください。

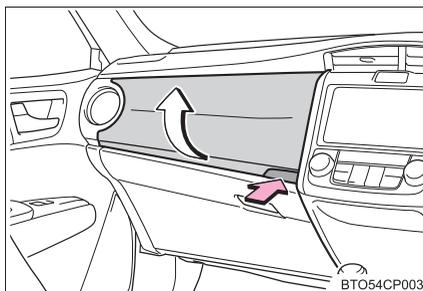
急ブレーキ時などに、開いたフタに体があたったり、収納していたものが飛び出したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

グローブボックス

レバーを引いて開ける

**助手席アッパーボックス**

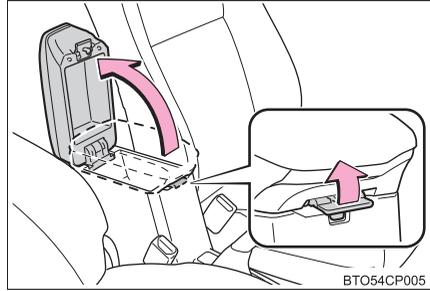
ボタンを押して開ける



コンソールボックス

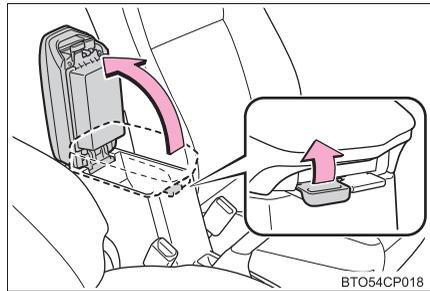
▶ コンソールボックス（スライド機能非装着車）

レバーを引いてフタを持ち上げる



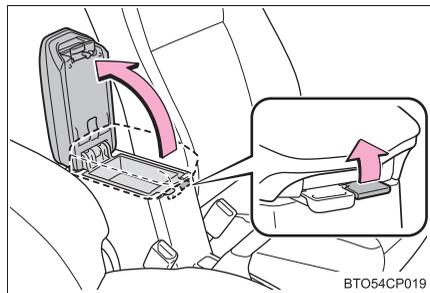
▶ コンソールボックス（スライド機能装着車）

運転席側のレバーを引いてフタを持ち上げる



▶ 上段ボックス（スライド機能装着車）

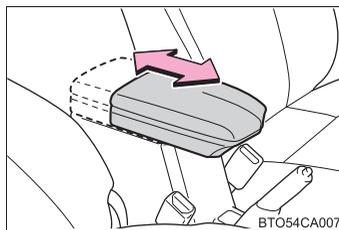
助手席側のレバーを引いてフタを持ち上げる



 知識

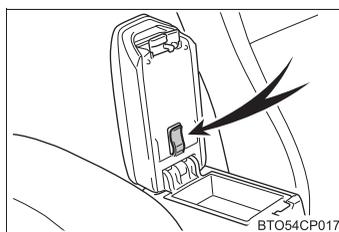
■ コンソールボックスのフタについて (スライド機能装着車)

フタを前後にスライドさせることができません。

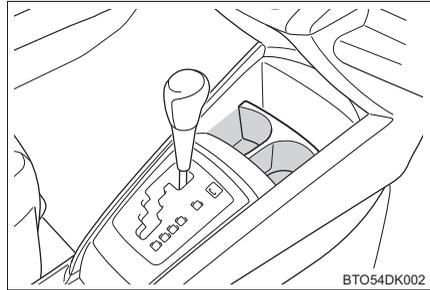


■ カードホルダーについて (スライド機能装着車)

上段ボックスのフタにカードホルダーがあります



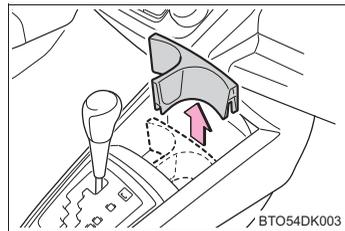
カップホルダー



知識

■ 仕切りの取りはずし

カップホルダー内を清掃するために、仕切りを取りはずすことができます。

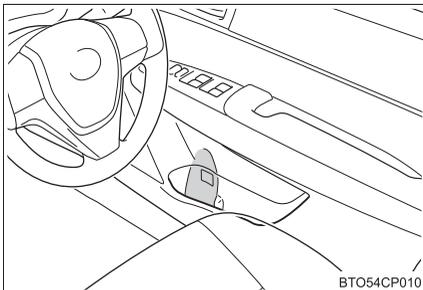


警告

■ 収納してはいけないもの

カップホルダーにはカップや缶以外のものを置かないでください。急ブレーキや事故により落ちてけがをするおそれがあります。やけどを防ぐために温かい飲み物にはフタを閉めておいてください。

ボトルホルダー



知識

■ ボトルホルダーについて

- ペットボトルのフタを必ず閉めてから収納してください。
- ペットボトルの大きさ、形によっては収納できないことがあります。

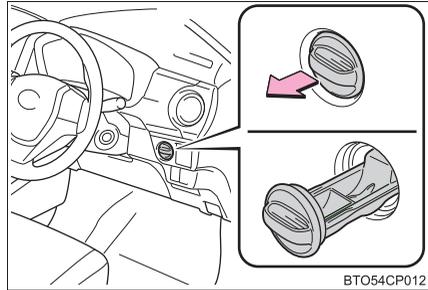
注意

■ 収納してはいけないもの

ボトルホルダーには、ジュースなどが入っている紙コップやガラス製のコップなどを収納しないでください。ジュースなどがこぼれたり、ガラス製品が割れたりするおそれがあります。

引き出し式コインホルダー (スマートエントリー&スタートシステム非装着車)

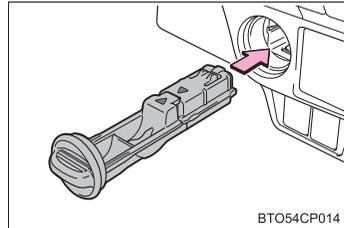
ツマミを引いて開ける



知識

■引き出し式コインホルダーについて

強く引くと取りはずすことができます。清掃などで取りはずし、もとにもどすときは、マークを上にして入れてください。

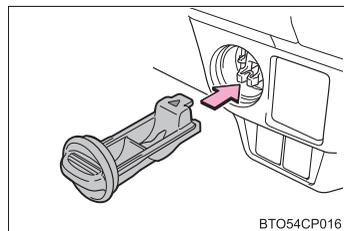


⚠ 注意

■引き出し式コインホルダーについて

コインホルダーを引き出した状態で、上下左右に強い力を加わえないでください。強い力が加わると分離してはズれるようになっていきます。

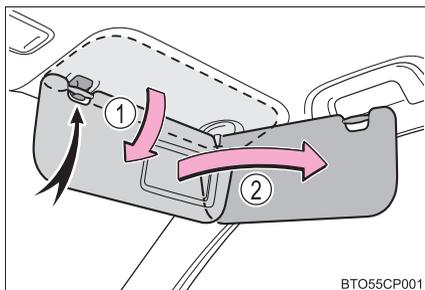
はずれてしまったときは、マークを上にして“カチッ”と音がするまで強く押し込んでください。



サンバイザー／バニティミラー

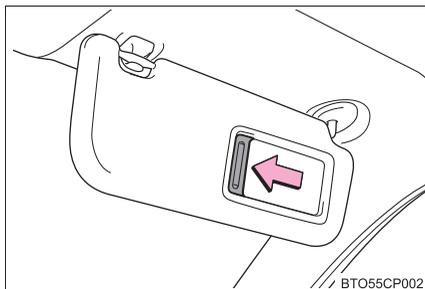
サンバイザー

- ① 前方をさえぎるには、バイザーを下ろす
- ② 側方をさえぎるには、バイザーを下ろした状態でフックからはずし、横へまわす



バニティミラー★

カバーをスライドして開ける



時計

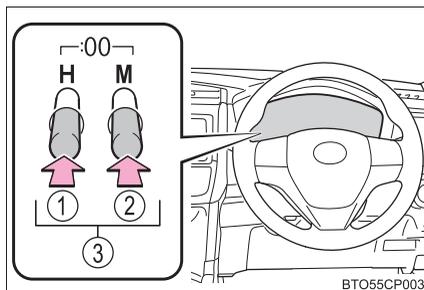
ボタンを押して時刻を調整することができます。

- ① “時” を調整する
- ② “分” を調整する
- ③ “分” を 00 にする*

クロックセットボタンを同時に 1 秒以上押します。

* (例) 1:00 ~ 1:29 → 1:00

1:30 ~ 1:59 → 2:00



知識

■時刻が表示されるとき

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ON” のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
パワースイッチが ON モードのとき

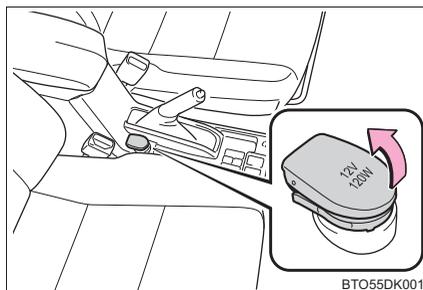
■補機バッテリー端子の脱着をしたときは

補機バッテリー端子の脱着を行うと、時計のデータはリセットされます。

アクセサリースOCKET

12V 10A 未満の電気製品を使うときの電源としてお使いください。

フタを開けて使用する



知識

■ 使用条件

- ▶ スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチが“ACC”または“ON”のとき
- ▶ スマートエントリー&スタートシステム装着車
パワースイッチがアクセサリモードまたはONモードのとき

⚠ 注意

■ ショートや故障を防ぐために

アクセサリースOCKETに異物が入ったり、飲料水などがかかたりしないように、使用しないときは、フタを閉めておいてください。

■ ヒューズが切れるのを防ぐために

12V 10A をこえないようにしてください。

■ 補機バッテリーあがりを防止するために

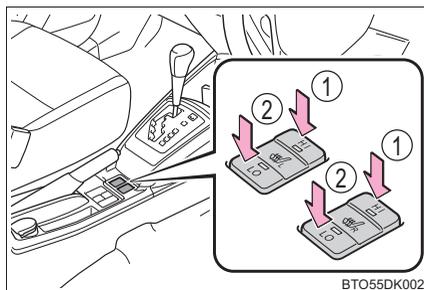
ハイブリッドシステムが停止した状態で、アクセサリースOCKETを長時間使用しないでください。

シートヒーター（フロントシート）★

シートを暖めることができます。

- ① HI（強）
- ② LO（弱）

シートヒーターが作動しているときは、表示灯が点灯します。



知識

■ 作動条件

エンジンスイッチ★が“ON”のとき、またはパワースイッチ★がONモードのとき

■ シートヒーターについて

- HI（強）にすると、シートの背部分と背もたれ全体、およびクッション部を暖めます。
- LO（弱）にすると、シートの背部分と背もたれ中央部のみを暖めます。

警告

■ やけどについて

- 低温やけどを負うおそれがあるため、次の方は特にご注意ください。
 - ・ 乳幼児・お子さま・お年寄り・病人・体の不自由な方
 - ・ 皮膚の弱い方
 - ・ 疲労の激しい方
 - ・ 深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬・風邪薬など）を服用された方
- シートヒーターに毛布・クッションなどを使用しないでください。
シートヒーターの使用により保温性が高まり、異常加熱の原因になります。
- シートヒーターを必要以上に使用しないでください。
低温やけどを負ったり、シートヒーターの異常加熱の原因になるおそれがあります。

 **注意****■ シートヒーターの故障を防ぐために**

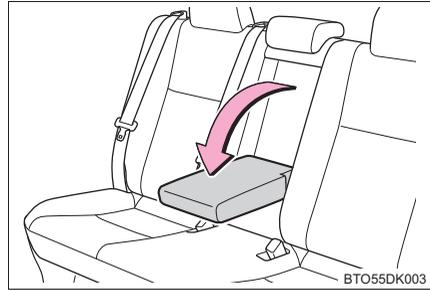
凹凸のある重量物をシートの上に置いたり、針金や針などの鋭利なものを突き刺したりしないでください。

■ 補機バッテリーあがりを防ぐために

ハイブリッドシステムが停止しているときは、シートヒーターを使用しないでください。

リヤアームレスト★

手前に倒して使用します。

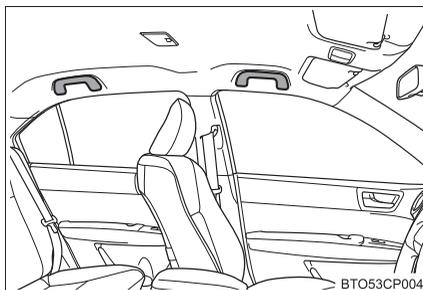


⚠ 注意

- アームレストの破損を防ぐために
過度の負荷をかけないでください。

アシストグリップ

天井に取り付けられているアシストグリップは、走行中にシートに座っている状態で体を支えるときにお使いください。



⚠ 警告

■アシストグリップについて

アシストグリップは、乗降時やシートから立ち上がる時などに使用しないでください。

⚠ 注意

■破損を防ぐために

アシストグリップに重いものをかけたり、過度の負荷をかけないでください。

お手入れのしかた

6

6-1. お手入れのしかた

外装の手入れ.....	232
内装の手入れ.....	235

6-2. 簡単な点検・部品交換

ボンネット.....	238
ガレージジャッキ.....	241
ウォッシャー液の補給.....	243
タイヤについて.....	244
キーの電池交換.....	247
ヒューズの点検・交換.....	250
電球（バルブ）の交換.....	257
エアコンフィルターの交換 ...	268

外装の手入れ

お手入れは、次の項目を実施してください。

- 水を十分かけながら車体・足まわり・下まわりの順番に上から下へ汚れを洗い落とす
- 車体はスポンジやセーム皮のようなやわらかいもので洗う
- 汚れがひどいときはカーシャンプーを使用し、水で十分洗い流す
- 水をふき取る
- 水のはじきが悪くなったときは、ワックスがけを行う

ボデーの表面の汚れを落としても水が玉状にならないときは、車体の温度が冷えているときにワックスをかける（およそ体温以下を目安としてください）

なお、ボデーコート・ホイールコート・ガラスコートなど、トヨタケミカル商品を施工された場合は、お手入れ方法が異なります。

詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

知識

■ 自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納し、車両前側から洗車してください。また、走行前は必ずドアミラーを復帰状態にもどしてください。
- ブラシで車体に傷が付き、塗装を損なうことがあります。

■ 高圧洗浄機を使うとき

- 室内に水が入るおそれがあるため、ノズルの先端をドアガラスやドア枠付近に近付けすぎないでください。
- 洗車の前に給油口が確実に閉まっていることを確認してください。
- 駆動系部品（トランスミッションなど）のベアリングやオイルシール部品に近付けすぎないでください。
近付けすぎると、水圧が高いため、内部への水入りやグリス流出により、性能が劣化するおそれがあります。

■ 洗車などで車に水をかけたとき (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

電子キーを携帯して洗車などで水をドアハンドルにかけた場合、施錠・解錠動作をくり返すことがあります。その場合は電子キーを車両から 2m 以上離れた場所に保管して、洗車などをしてください。(電子キーの盗難に注意してください)

■ アルミホイール★

- 中性洗剤を使用し、早めに汚れを落としてください。研磨剤の入った洗剤や硬いブラシは塗装を傷めますので使用しないでください。
- 夏場の長距離走行後などでホイールが熱いときは、洗剤は使用しないでください。
- 洗剤を使用したあとは早めに十分洗い流してください。

■ バンパーについて

研磨剤入りの洗剤でこすらないようにしてください。

■ フロントドアガラスの撥水コーティング★について

- 撥水効果を長持ちさせるため、次のことに注意してください。
 - ・ フロントドアガラス表面の泥などの汚れを落とす
 - ・ 汚れは早めにやわらかい湿った布などで清掃する
 - ・ コンパウンド (磨き粉) が入ったガラスクリーナーやワックスを使用しない
 - ・ 金属製の道具で霜取りをしない
- 水滴のはじきが悪くなったときは補修することができます。
詳しくはトヨタ販売店にお問い合わせください。

■ レインクリアリングミラー★の親水効果回復作業について

鏡面の親水効果は、太陽光をあてることにより徐々に回復します。(→P. 123) が、速く回復させたいときは次の作業を行ってください。

- 1 鏡面に水をかけ、泥汚れなどを洗い流す
- 2 水を含ませたきれいなやわらかい布などで汚れを落とす
- 3 ガラスクリーナーか中性洗剤で洗浄後、十分な水で洗剤を洗い流す
- 4 きれいなやわらかい布などで鏡面についた水をふき取る
- 5 屋外に車両を駐車し、鏡面に太陽光を 5 時間程度あてる
(汚れの量や種類により、回復時間は異なります)

 **警告****■ 洗車をするとき**

エンジンルーム内に水をかけないでください。
電気部品などに水がかかると、車両火災につながるおそれがあり危険です。

■ 排気管について

排気管は排気ガスにより高温になります。洗車などでふれる場合は、十分に排気管が冷めてからにしてください。やけどをするおそれがあります。

 **注意****■ 塗装の劣化や車体・部品（ホイールなど）の腐食を防ぐために**

- 次のような場合は、ただちに洗車してください。
 - ・ 海岸地帯を走行したあと
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したあと
 - ・ コールタール・花粉・樹液・鳥のふん・虫の死がいなどが付着したとき
 - ・ ばい煙・油煙・粉じん・鉄粉・化学物質などの降下が多い場所を走行したあと
 - ・ ほこり・泥などで激しく汚れたとき
 - ・ 塗装にベンジンやガソリンなどの有機溶剤が付着したとき
- 塗装に傷が付いた場合は、早めに補修してください。
- ホイール保管時は、腐食を防ぐために汚れを落とし、湿気の少ない場所へ保管してください。

■ ランプの清掃

- 注意して洗ってください。有機溶剤や硬いブラシは使用しないでください。ランプを損傷させるおそれがあります。
- ランプにワックスがけを行わないでください。レンズを損傷するおそれがあります。

内装の手入れ

お手入れは、次の要領で実施してください。

室内の手入れ

掃除機などでほこりを取り除き、水またはぬるま湯を含ませた布でふき取る

本革部分の手入れ

- 掃除機などでほこりや砂を取り除く
- うすめた洗剤をやわらかい布に含ませ、汚れをふき取る
ウール用の中性洗剤を約5%の水溶液までうすめたものを使用してください。
- 真水をひたした布を固くしぼり、表面に残った洗剤をふき取る
- 乾いたやわらかい布で表面の水分をふき取り、風通しのよい日陰で乾燥させる

合成皮革部分の手入れ

- 掃除機をかけて、大まかな汚れを取る
- スポンジややわらかい布を使用して合成皮革部分に刺激の少ない洗剤を付ける
- 数分間洗剤につけておいてから汚れを落とし、固くしぼったきれいな布で洗剤をふき取る

 知識

■ 本革部分のお手入れの目安

品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。

■ カーペットの洗浄

カーペットは常に乾いた状態を保つことをおすすめします。洗浄には、市販の泡タイプクリーナーがご利用になれます。

スポンジまたはブラシを使用して泡をカーペットに広げ、円を描くように塗り込んでください。直接水をかけたりせず、ふき取ってから乾燥させてください。

■ シートベルト

刺激の少ない洗剤とぬるま湯で、布やスポンジを使って洗ってください。シートベルトのすり切れ・ほつれ・傷などを定期的に点検してください。

 警告

■ 車両への水の浸入

- 床・トランク内・駆動用電池冷却用吸入口など、車内に水をかけたり液体をこぼしたりしないでください。

駆動用電池や電気部品などに水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあります。

- SRSエアバッグの構成部品や電気配線をぬらさないでください。(→P. 30)
電気の不具合により、SRSエアバッグが作動したり、正常に機能しなくなり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 内装の手入れをするときは（特にインストルメントパネル）

艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルがフロントウィンドウガラスへ映り込み、運転者の視界をさまたげ思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ 清掃するとき使用する溶剤について**

- 変色・しみ・塗装はがれの原因になるため、次の溶剤は使用しないでください。
 - ・ シート以外の部分：ベンジン・ガソリンなどの有機溶剤や酸性またはアルカリ性の溶剤・染色剤・漂白剤
 - ・ シート部分：シンナー・ベンジン・アルコール、その他のアルカリ性や酸性の溶剤
- 艶出しワックスや艶出しクリーナーを使用しないでください。インストルメントパネルやその他内装の塗装のはがれ・溶解・変形の原因になるおそれがあります。

■ 革の傷みを避けるために

皮革の表面の劣化や損傷を避けるために、次のことをお守りください。

- 革に付着したほこりや砂はすぐに取り除く
- 直射日光に長時間さらさないようにする
特に夏場は日陰で車を保管する
- ビニール製・プラスチック製・ワックス含有のものは、車内が高温になると革に張り付くおそれがあるため、革張りの上に置かない

■ 床に水がかかると

水で洗わないでください。

オーディオやフロアカーペット下にある電気部品に水がかかると、車の故障の原因となったり、ボデーが錆びるおそれがあります。

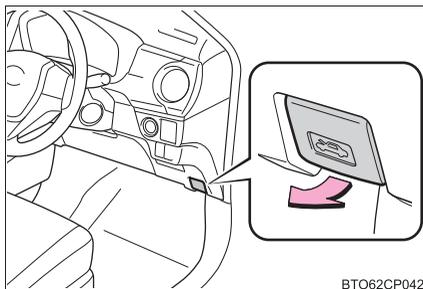
■ リヤウインドウガラスの内側を掃除するときは

- 熱線やアンテナを損傷するおそれがあるため、ガラスクリーナーなどを使わず、熱線やアンテナにそって水またはぬるま湯を含ませた布で軽くふいてください。
- 熱線やアンテナを引っかいたり、損傷させないように気を付けてください。

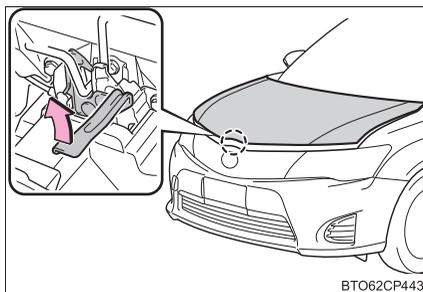
ボンネット

室内からロックを解除して、ボンネットを開けます。

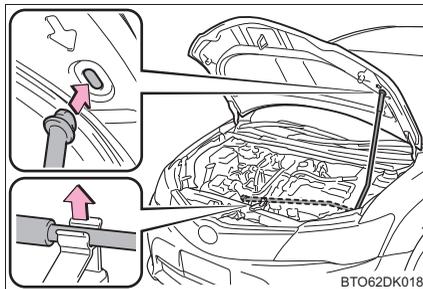
- 1 ボンネット解除レバーを引く
ボンネットが少し浮き上がります。



- 2 レバーを引き上げて、ボンネットを開ける



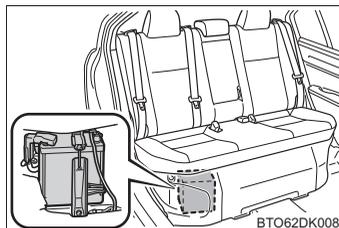
- 3 ボンネットステーをステー穴に挿し込む



知識

■補機バッテリーについて

- この車両の補機バッテリーはリヤシート下（右側）のカバー内にあり、エンジンルームには搭載されていません。（補機バッテリーはバッテリー液の補充が必要ないタイプのため、バッテリー液量などの点検は不要です）
- 補機バッテリーがあがってしまったときは、エンジンルーム内にある救援用端子を使用して、処置を行います。（→P. 331）



■補機バッテリー端子をはずすときは

- 補機バッテリー端子をはずすと、コンピューターに記憶されている情報が消去されます。補機バッテリー端子をはずすときは、トヨタ販売店にご相談ください。
- 必ず一端子を先にはずしてください。

警告

■走行前の確認

ボンネットがしっかりロックされていることを確認してください。ロックせずに走行すると、走行中にボンネットが突然開いて、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■修理・車検・整備点検をする場合は

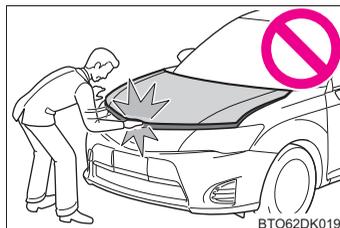
整備モードに切りかえる必要がありますので、必ずトヨタ販売店にご相談ください。高電圧システムを使用しているため、取り扱いを誤ると、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■エンジンルーム点検後の確認

エンジンルーム内に工具や布を置き忘れていないことを確認してください。点検や清掃に使用した工具や布などをエンジンルーム内に置き忘れてしまうと、故障の原因になったり、また、エンジンルーム内は高温になるため車両火災につながるおそれがあり危険です。

警告**■ ボンネットを閉めるとき**

手などを挟まないように注意してください。
重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

**■ 補機バッテリー端子を脱着するときは**

必ず-端子を先にはずしてください。+端子を先にはずすと、+端子が周辺の金属部分にふれた場合、火花が発生し火災につながるおそれがある他、感電し重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■ 補機バッテリーの交換について

交換する際はカローラアクシオハイブリッド専用品を使用してください。専用品以外を使用すると、ガス（水素）が室内に侵入したり、引火して爆発するおそれがあり危険です。

補機バッテリーの交換については、トヨタ販売店にご相談ください。

注意**■ ボンネットへの損傷を防ぐために**

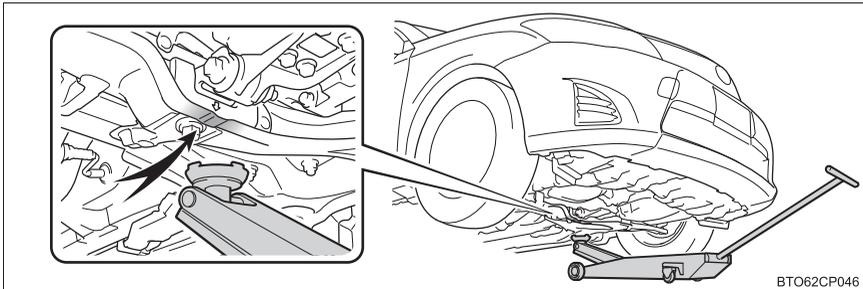
ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さないでください。
ボンネットがへこむおそれがあります。

ガレージジャッキ

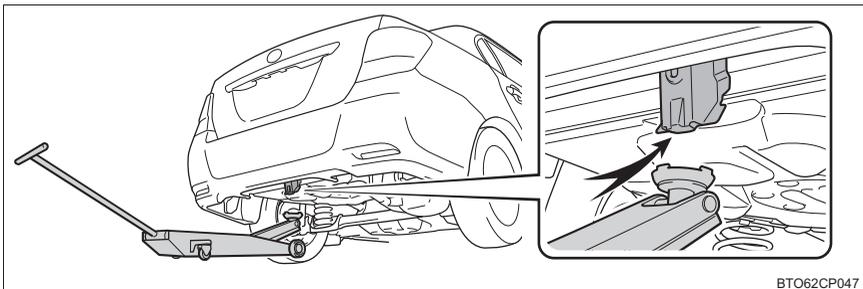
ガレージジャッキを使用して車両を持ち上げるときは、正しい位置にガレージジャッキをセットしてください。

正しい位置にセットしないと、車両が損傷したり、けがをするおそれがあります。

◆ フロント側



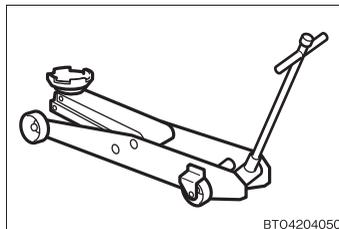
◆ リヤ側



警告**■ 車両を持ち上げるとき**

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- 図のようなガレージジャッキを使用して車両を持ち上げる

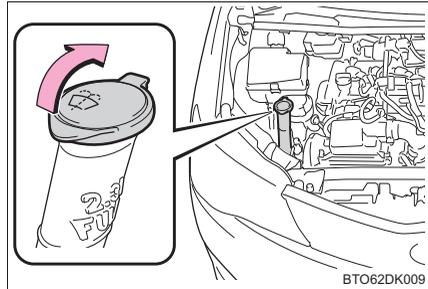


- ガレージジャッキを使用するときは、必ずガレージジャッキ付属の取扱説明書を十分に確認の上、使用する
- 車に搭載されているジャッキを使用しない
車両が落下するおそれがあります。
- ガレージジャッキのみで支えられた車両の下に体の一部を入れたり、もぐり込んだりしない
- ガレージジャッキおよび、自動車用ジャッキスタンドをしっかりとした傾きのない平坦な床面で使用する
- 車両がジャッキアップされた状態でハイブリッドシステムを始動しない
- 平らで硬い地面に停車させ、しっかりとパーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにする
- ガレージジャッキは、必ずジャッキポイントに正しくセットする
ガレージジャッキを正しくセットせずに車両を持ち上げると、車両が損傷します。また、車両がガレージジャッキから落下するおそれがあります。
- 車内に乗員がいるときは車両を持ち上げない
- 車両を持ち上げるときは、ガレージジャッキの上下にものを置かない

ウォッシャー液の補給

補充のしかた

ウォッシャー液が不足しているときは、ウォッシャー液を補給してください。



⚠ 警告

■ ウォッシャー液を補給するとき

ハイブリッドシステムが熱いときやハイブリッドシステムが始動しているときは、ウォッシャー液を補給しないでください。ウォッシャー液にはアルコール成分が含まれているため、ハイブリッドシステムなどにかかると出火するおそれがあり危険です。

⚠ 注意

■ ウォッシャー液について

ウォッシャー液のかわりに、せっけん水やエンジン不凍液などを入れないでください。塗装にしみが付くおそれがあります。

■ ウォッシャー液のうすめ方

必要に応じて水でうすめてください。水とウォッシャー液の割合は、ウォッシャー液の容器に表示してある凍結温度を参考にしてください。

タイヤについて

タイヤの点検は、法律で義務付けられています。日常点検として必ずタイヤを点検してください。

タイヤの摩耗を均等にし寿命をのばすために、タイヤローテーション(タイヤ位置交換)を5,000kmごとに行ってください。

タイヤの点検項目

タイヤは次の項目を点検してください。

点検方法は別冊「メンテナンスノート」を参照してください。

- タイヤ空気圧

空気圧の点検は、タイヤが冷えているときに行ってください。

- タイヤの亀裂・損傷の有無

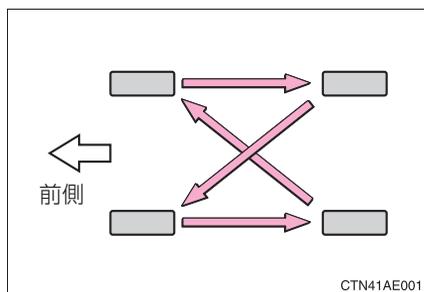
- タイヤの溝の深さ

- タイヤの異常摩耗(極端にタイヤの片側のみが摩耗していたり、摩耗程度が他のタイヤと著しく異なるなど)の有無

タイヤローテーションのしかた

図で示すようにタイヤのローテーションを行う

タイヤの摩耗状態を均一にし、寿命をのばすために、トヨタ定期点検ごとのタイヤローテーションをおすすめします。



知識

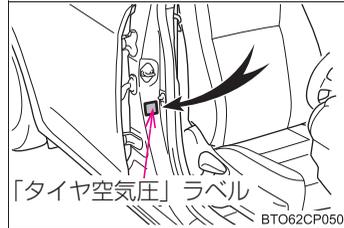
■ タイヤ空気圧の数値

タイヤサイズ	空気圧※ kPa (kg/cm ²)	
	前輪	後輪
175/65R15 84H	230 (2.3)	

応急用タイヤ★：420kPa (4.2kg/cm²) ※

タイヤの指定空気圧は、運転席側のタイヤ空気圧ラベルで確認することができます。

※ タイヤが冷えているときの空気圧



■ タイヤ関連の部品を交換するとき

タイヤ・ディスクホイール・ホイール取り付けナットを交換するときは、トヨタ販売店にご相談ください。

警告

■ 点検・交換時の警告

必ず次のことをお守りください。

お守りいただかないと、駆動系部品の損傷や不安定な操縦特性により、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

- タイヤはすべて同一メーカー・同一銘柄・同一トレッドパターンで、摩耗差のないタイヤを使用する
- メーカー指定サイズ以外のタイヤやホイールを使用しない
- ラジアルタイヤ・バイアスベルテッドタイヤ・バイアスプライタイヤを混在使用しない
- サマータイヤ・オールシーズンタイヤ・冬用タイヤを混在使用しない

警告

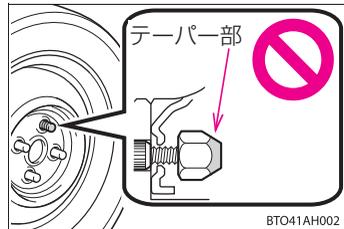
■異常があるタイヤの使用禁止

異常があるタイヤをそのまま装着していると、走行時にハンドルをとられたり、異常な振動を感じることがあります。また、次のような事態になり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

- 破裂などの修理できない損傷を与える
- 車両が横すべりする
- 車両の本来の性能（燃費・車両の安定性・制動距離など）が発揮されない

■タイヤ交換時の注意

- 必ずナットのテーパ部を内側にして取り付けてください。テーパ部を外側にして取り付けると、ホイールが破損しはずれてしまい、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。



- ねじ部にオイルやグリースをぬらないでください。ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。また、ナットがゆるみホイールが落下して、重大な事故につながるおそれがあります。オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき取ってください。

注意

■走行中に空気もれが起こったら

走行を続けしないでください。
タイヤまたはホイールが損傷することがあります。

■悪路走行に対する注意

段差や凹凸のある路上を走行するときは注意してください。
タイヤの空気が抜けて、タイヤのクッション作用が低下します。また、タイヤ・ホイール・車体などの部品も損傷するおそれがあります。

キーの電池交換

電池が消耗しているときは、新しい電池に交換してください。

用意するもの

- マイナスドライバー
- 小さいマイナスドライバー
- リチウム電池
 - ・ CR2016 (スマートエントリー&スタートシステム非装着車)
 - ・ CR1632 (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

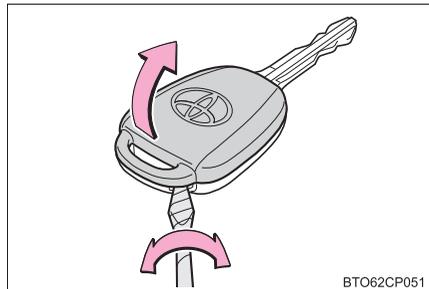
電池交換のしかた

■ スマートエントリー&スタートシステム非装着車

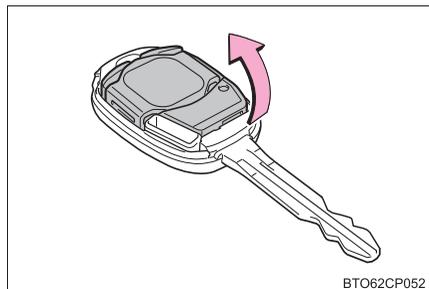
1 カバーをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。

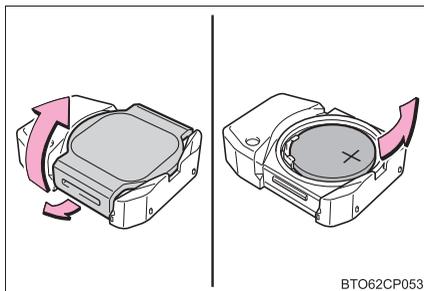
ボタン側を下向きにしてカバーをはずしてください。上向きにするとボタンがはずれるおそれがあります。



2 モジュールを取りはずす



- 3 モジュールカバーをはずし消耗した電池を取り出す
新しい電池は、+極を上にして取り付けます。

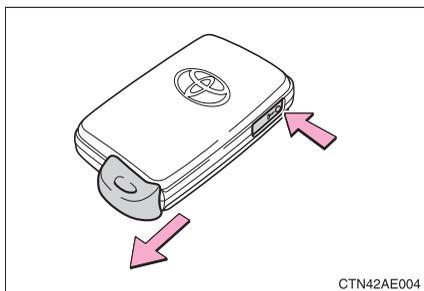


BTO62CP053

- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

■ スマートエントリー&スタートシステム装着車

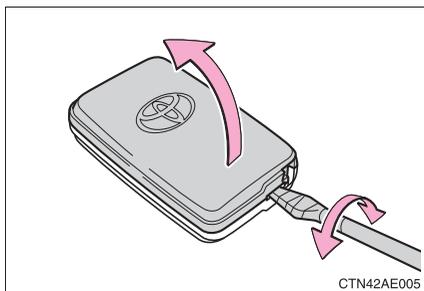
- 1 メカニカルキーを抜く



CTN42AE004

- 2 カバーをはずす

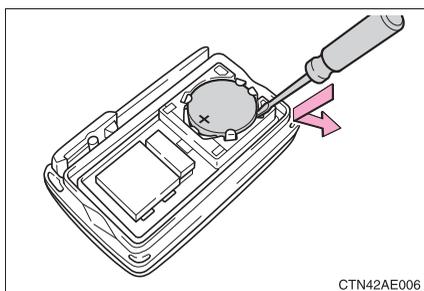
傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。



CTN42AE005

- 3 消耗した電池を取り出す

新しい電池は、+極を上にして取り付けます。



CTN42AE006

- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

 知識

■ リチウム電池の入手

電池はトヨタ販売店・時計店およびカメラ店などで購入できます。

- スマートエントリー&スタートシステム非装着車：CR2016
- スマートエントリー&スタートシステム装着車：CR1632

■ 電子キーの電池が消耗していると

次のような状態になります。

- スマートエントリー&スタートシステム・ワイヤレス機能が作動しない
- 作動距離が短くなる

 警告

■ 取りはずした電池と部品について

お子さまにさわらせないでください。

部品が小さいため、誤って飲み込むと、のどなどにつまらせ重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 注意

■ 交換後、正常に機能させるために

次のことを必ずお守りください。

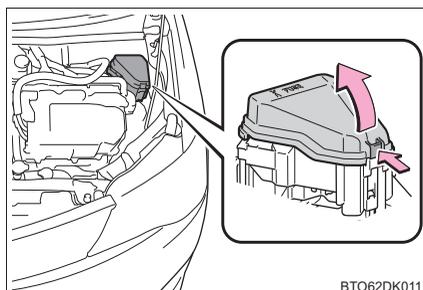
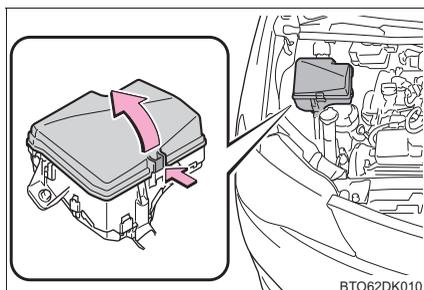
- めれた手で電池を交換しない
錆の原因になります。
- 電池以外の部品に、ふれたり動かしたりしない
- 電極を曲げない

ヒューズの点検・交換

ランプがつかないときや電気系統の装置が働かないときは、ヒューズ切れが考えられます。ヒューズの点検を行ってください。

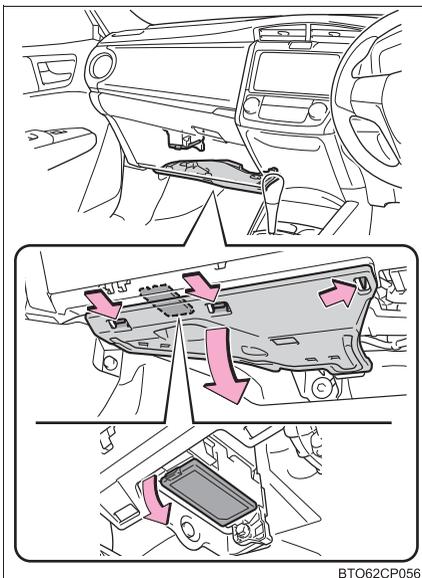
- 1 エンジンスイッチ★を“LOCK”、または パワースイッチ★を OFF にする
- 2 故障の状況から、点検すべきヒューズを「ヒューズの配置と負荷」(→P. 252) で確認する
- 3 ヒューズボックスを開ける
 - ▶ エンジンルーム (A)
 - ツメを押しながら、カバーを持ち上げる

- ▶ エンジンルーム (B)
- ツメを押しながら、カバーを持ち上げる



▶ 助手席足元

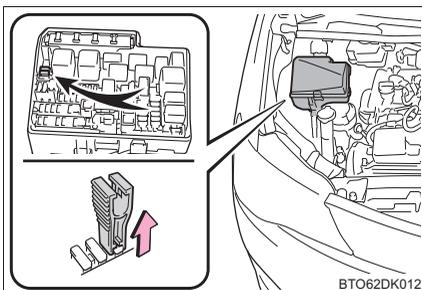
足元のカバー★を取りはずし、ヒューズボックスのカバーを取りはずす



BTO62CP056

4 ヒューズを引き抜く

ヒューズはずしでヒューズを引き抜くことができます。

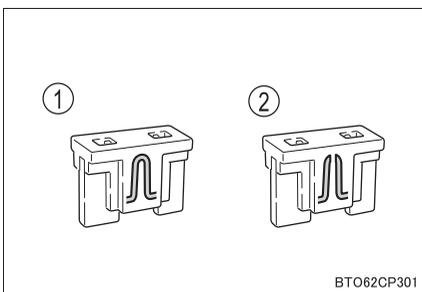


BTO62DK012

5 ヒューズが切れていないか点検する

- ① 正常
- ② ヒューズ切れ

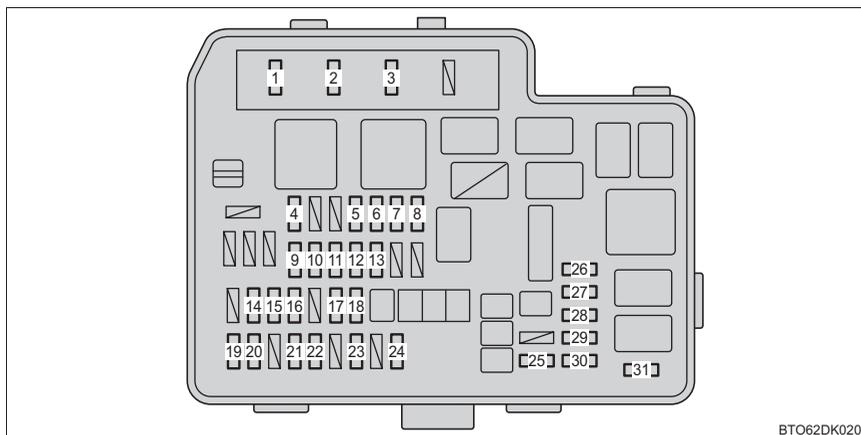
ヒューズボックスの表示に従い、規定容量のヒューズに交換します。



BTO62CP301

ヒューズの配置と負荷

■ エンジンルーム (A)



BTO62DK020

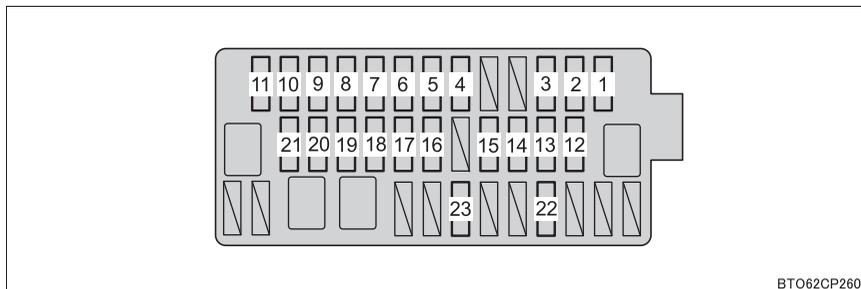
ヒューズ名称		アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
1	EFI-MAIN	20A	EFI NO.2、EFI システム
2	HORN	10A	ホーン
3	IG2	30A	IG2 NO.2、メーター、IGN
4	EFI NO.2	10A	EFI システム
5	H-LP RH LO	10A ※1	ヘッドランプ右側 (ロービーム)、メーター
		15A ※2	
6	H-LP LH LO	10A ※1	ヘッドランプ左側 (ロービーム)、メーター
		15A ※2	
7	H-LP RH-HI	10A	ヘッドランプ右側 (ハイビーム)
8	H-LP LH-HI	10A	ヘッドランプ左側 (ハイビーム)
9	IG2 NO.2	10A	ステアリングスイッチ、EFI システム、スタートシステム、スマートエントリー&スタートシステム、エアバッグシステム
10	DOME	15A	オーディオシステム、VDR、ボデー ECU、室内灯
11	ECU-B NO.1	7.5A	ボデー ECU、スマートエントリー&スタートシステム
12	METER	7.5A	メーター

	ヒューズ名称	アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
13	IGN	15A	EFI システム
14	HAZ	10A	方向指示灯／非常点滅灯
15	ETCS	10A	EFI システム
16	ABS NO.1	20A	ブレーキシステム
17	ENG W/PMP	30A	EFI システム
18	H-LP-MAIN2	7.5A	ヘッドランプメインリレー
19	ECU-B NO.2	7.5A	エアコンシステム、メーター、スタートシステム、スマートエントリー&スタートシステム、パワードアロックシステム
20	AM2	7.5A	スタートシステム
21	STRG LOCK	20A	スタートシステム、スマートエントリー&スタートシステム、ステアリングロック
22	ABS NO.2	10A	ブレーキシステム
23	IGCT-MAIN	30A	IGCT NO.2、IGCT NO.3、IGCT NO.4、PCU、BATT FAN
24	D/C CUT	30A	DOME、ECU-B NO.1
25	DEICER	20A	フロントワイパーデアイサー
26	BATT FAN	10A	駆動用電池冷却ファン
27	IGCT NO.2	10A	ハイブリッドシステム
28	IGCT NO.4	10A	ハイブリッドシステム
29	PCU	10A	ハイブリッドシステム
30	IGCT NO.3	10A	ハイブリッドシステム
31	MIR HTR	10A	ミラーヒーター

※1：ハロゲンヘッドランプ装着車

※2：ディスチャージヘッドランプ装着車

■ 助手席足元



BT062CP260

	ヒューズ名称	アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
1	WIPER RR	15A	リヤワイパー
2	WIPER	20A	フロントワイパー
3	WASHER	15A	ウォッシャー
4	GAUGE	10A	後退灯、シフトロックシステム、オーディオ、VDR、車両接近通報装置
5	HTR-IG	7.5A	オートエアコン、フロントワイパーデアイサー
6	ECU-IG NO.2	5A	電動パワーステアリング
7	ECU-IG NO.1	5A	メインボデー ECU、VSC システム
8	DOOR F/L	20A	パワーウインドウ
9	DOOR R/R	20A	パワーウインドウ
10	PANEL	5A	メーター照明、スイッチ照明、ステアリングスイッチ
11	TAIL NO.2	10A	車幅灯、尾灯、番号灯、手動光軸調整ダイヤル、EFI システム
12	FOG FR	15A	未使用
13	AM1	7.5A	エンジンスイッチ
14	STOP	7.5A	スタートシステム、シフトロックコントロールシステム、車両接近通報装置、制動灯
15	FOG RR	7.5A	未使用
16	OBD	7.5A	ダイアグノーシスコネクタ
17	D/L	25A	ドアロック

ヒューズ名称		アンペア数	ヒューズの受け持つ主な装置名称
18	ACC	5A	メインボデー ECU、電動ドアミラー、シフトロックシステム
19	P/OUTLET	15A	アクセサリソケット
20	DOOR F/R	20A	パワーウィンドウ
21	DOOR R/L	20A	パワーウィンドウ
22	S-HTR	10A ※ ¹	未使用
		20A ※ ²	シートヒーター
23	4WD	7.5A	未使用

※¹ : シートヒーター非装着車

※² : シートヒーター装着車

知識

■ ヒューズを交換したあとは

- 交換してもランプ類が点灯しないときは、電球を交換してください。
(→P. 257)
- 交換しても再度ヒューズが切れる場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 補機バッテリーからの回路に過剰な負荷がかかると

配線が損傷を受ける前にヒューズが切れるように設計されています。

■ 電球 (バルブ) を交換するとき

この車両に指定されているトヨタ純正品のご使用をおすすめします。一部の電球は過電流を防止する専用回路に接続されているため、この車両指定のトヨタ純正品以外は使用できない場合があります。

警告

■ 車の故障や、車両火災を防ぐために

次のことをお守りください。

お守りいただかないと、車の故障や火災、けがをするおそれがあります。

- 規定容量以外のヒューズ、またはヒューズ以外のものを使用しないでください。
- 必ずトヨタ純正ヒューズか同等品を使用してください。
- ヒューズやヒューズボックスを改造しないでください。

 **警告****■ パワーコントロールユニット近くのヒューズボックスについて**

高電圧部位・高電圧の配線が近くにあるため、絶対に点検・交換を行わないでください。

取り扱いを誤ると感電し、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

 **注意****■ ヒューズを交換する前に**

ヒューズが切れた原因が電気の過剰負荷だと判明したときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

電球（バルブ）の交換

次に記載する電球は、ご自身で交換できます。電球交換の難易度は電球によって異なります。部品が破損するおそれがあるので、トヨタ販売店で交換することをおすすめします。

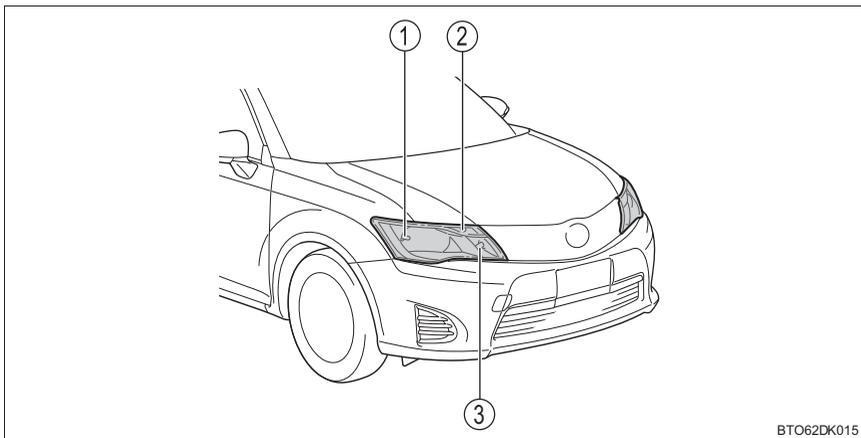
電球の用意

切れた電球の W（ワット）数を確認してください。（→P. 347）

バルブ位置

■ フロント

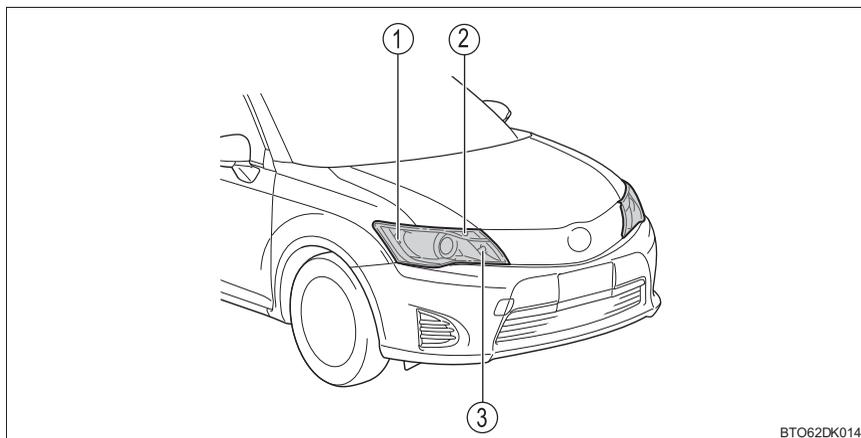
- ▶ ハロゲンヘッドランプ装着車



- ① ヘッドランプ
- ② 車幅灯
- ③ フロント方向指示灯／非常点滅灯

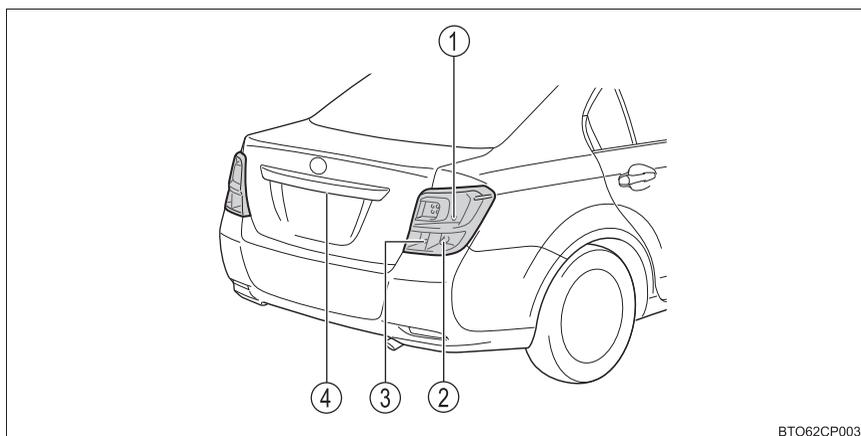
BTO62DK015

▶ ディスチャージヘッドランプ装着車



- ① ヘッドランプハイビーム
- ② 車幅灯
- ③ フロント方向指示灯／非常点滅灯

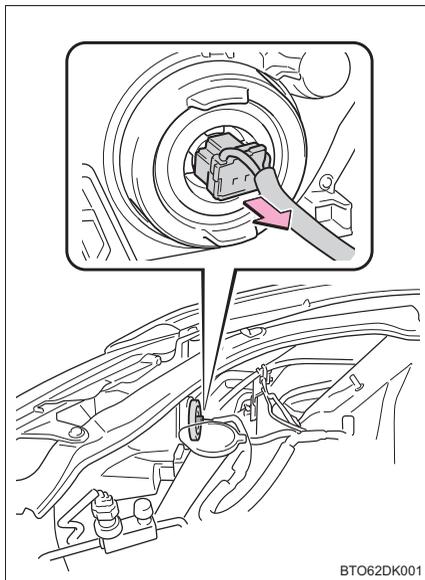
■ リヤ



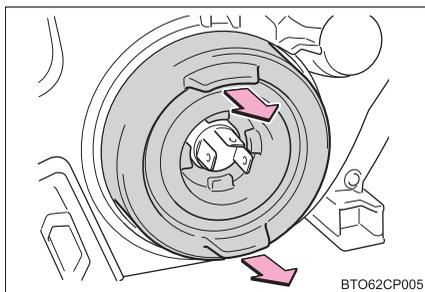
- ① 尾灯
- ② リヤ方向指示灯／非常点滅灯
- ③ 後退灯
- ④ 番号灯

電球交換のしかた**■ ヘッドランプ (ハロゲンヘッドランプ装着車)**

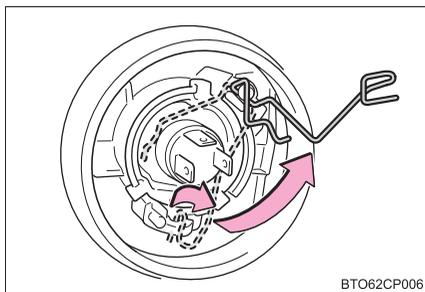
- 1 ボンネットを開けて、コネクターを取りはずす

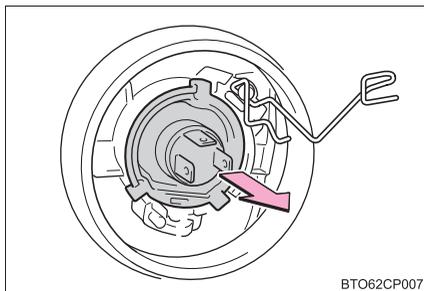


- 2 ゴムカバーを取りはずす



- 3 留め金をはずす

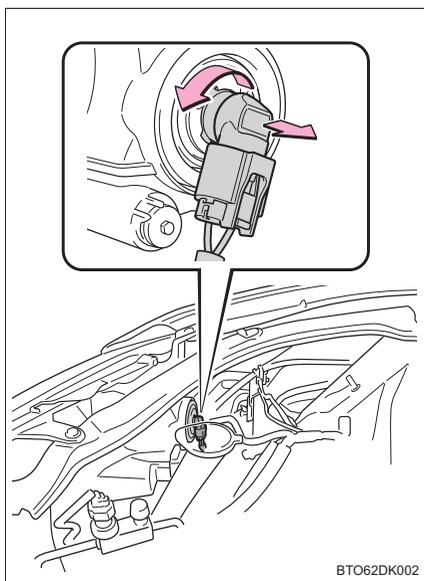


4 電球を取りはずす

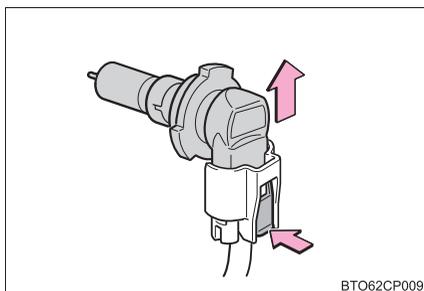
BTO62CP007

5 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

■ ヘッドランプハイビーム（ディスチャージヘッドランプ装着車）

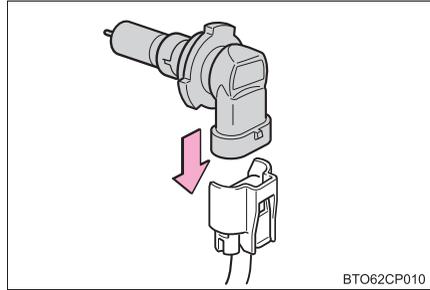
1 ボンネットを開けて、ソケットをまわして取りはずす

BTO62DK002

2 コネクタのツメを押し、電球を取りはずす

BTO62CP009

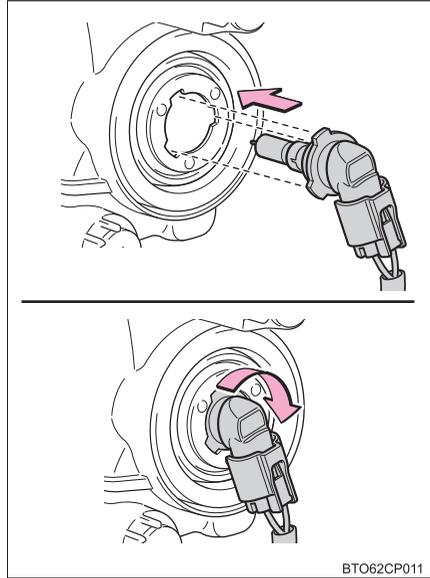
- 3 電球を交換し、コネクタを取り付ける



- 4 ソケットをまわして固定する

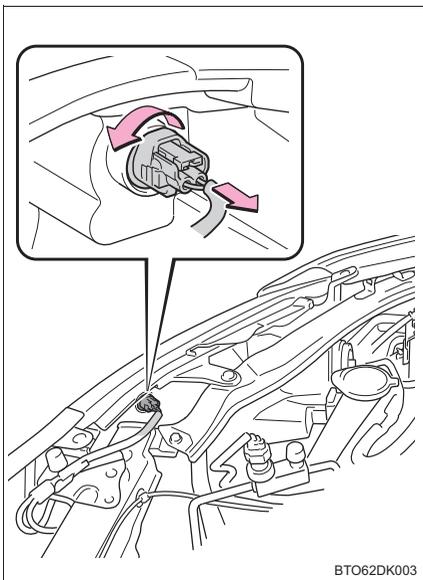
取り付け部と電球のツメ（3ヶ所）をあわせて挿し込みます。

ソケットを取り付けたあとは、いったんヘッドランプを点灯させ、バルブの取り付け部からランプの光がもれていないことを目視確認してください。

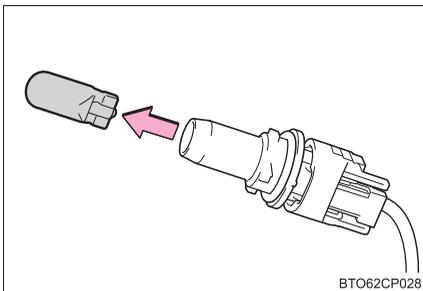


■ 車幅灯

- 1 ボンネットを開けて、ソケットをまわして取りはずす



- 2 電球を取りはずす

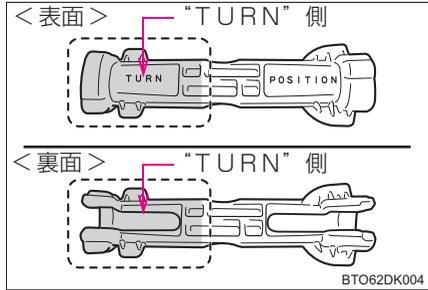


- 3 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

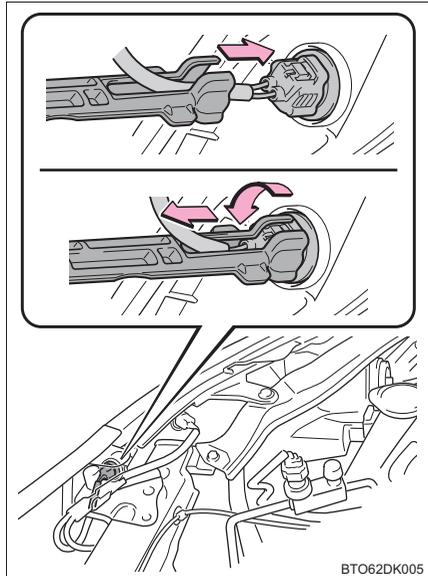
■ フロント方向指示灯／非常点滅灯

- 1 トランクルーム内から右図のバルブ交換ツール(→P. 304, 314)を取り出す

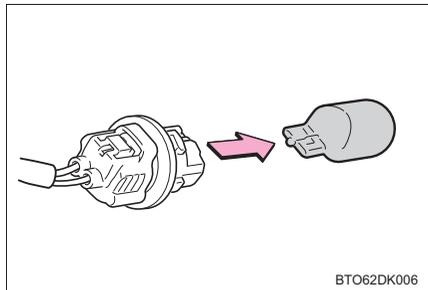
フロント方向指示灯／非常点滅灯の交換にはバルブ交換ツールの“TURN”側を使用します。



- 2 バルブ交換ツールの“TURN”側をフロント方向指示灯／非常点滅灯のソケットにはめ込み、矢印の方向にまわす



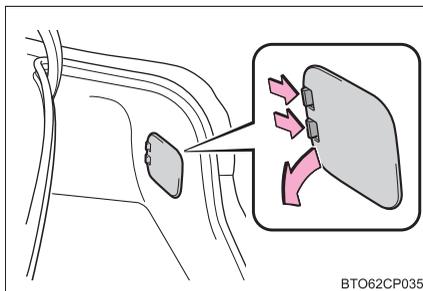
- 3 ソケットを取りはずしたあと、電球を取りはずす



- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

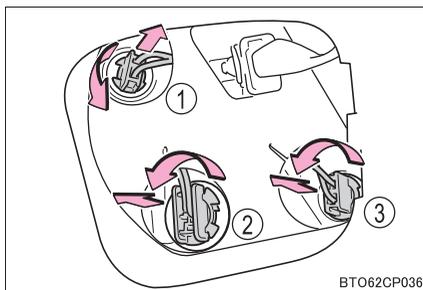
■ 尾灯、リヤ方向指示灯／非常点滅灯、後退灯

- 1 トランクを開けて、カバーを取りはずす



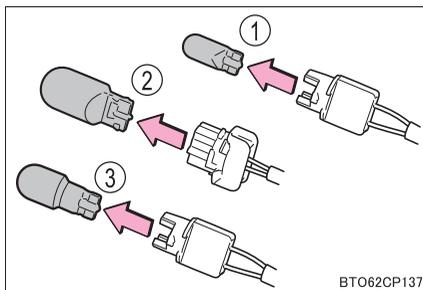
- 2 ソケットをまわして取りはずす

- ① 尾灯
- ② リヤ方向指示灯／非常点滅灯
- ③ 後退灯



- 3 電球を取りはずす

- ① 尾灯
- ② リヤ方向指示灯／非常点滅灯
- ③ 後退灯



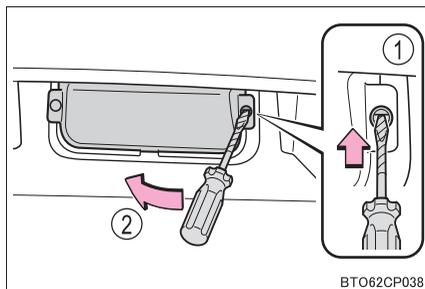
- 4 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

■ 番号灯

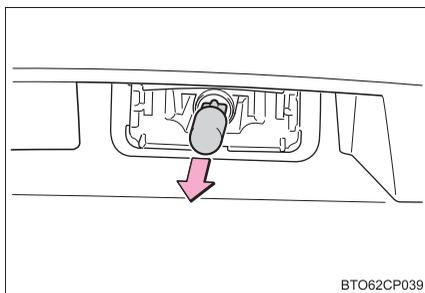
- 1 小さいドライバーなどの先端に、ビニールテープを巻く
傷が付くのを防ぐために保護してください。

- 2 レンズを取りはずす

- ① 小さいドライバーなどをレンズ横の穴に挿し込みます
- ② 図のように取りはずします



- 3 電球を取りはずす



- 4 電球を取り付ける

- 5 レンズを取り付ける

取りはずしたレンズの向きと同じ方向に取り付けます。

■ 次の電球を交換するには

次のランプが切れたときは、トヨタ販売店で交換してください。

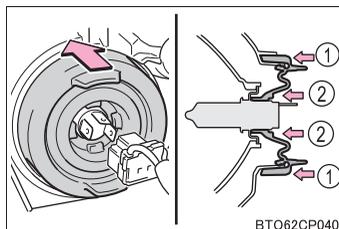
- ヘッドランプロービーム（ディスチャージヘッドランプ装着車）
- サイド方向指示灯／非常点滅灯
- 制動灯
- ハイマウントストップランプ

知識

■ ハロゲンヘッドランプ装着車のゴムカバーを取り付けるときは

確実にはめ込まれていることを確認してください

- ① ゴムカバーの外周をしっかりとはめ込む
- ② ゴムカバー内周（電球まわり）を全周にわたり電球の金属部分が確認できるまで押し込む



■ ディスチャージヘッドランプの作動（ディスチャージヘッドランプ装着車）

作動電圧範囲をはずれると、ランプが消灯したり、点灯しなくなります。電圧が正常にもどると再点灯します。

■ LED ランプについて

制動灯、ハイマウントストップランプは、数個の LED で構成されています。もし LED がひとつでも点灯しないときは、トヨタ販売店で交換してください。

■ レンズ内の水滴と曇り

レンズ内の一時的な曇りは、機能上問題ありません。ただし、次のようなときは、トヨタ販売店にご相談ください。

- レンズ内側に大粒の水滴が付いている
- ランプ内に水がたまっている

■ サイド方向指示灯／非常点滅灯について

電球とレンズ是一对のため、電球を取りはずすことができません。交換が必要なときはトヨタ販売店で交換してください。

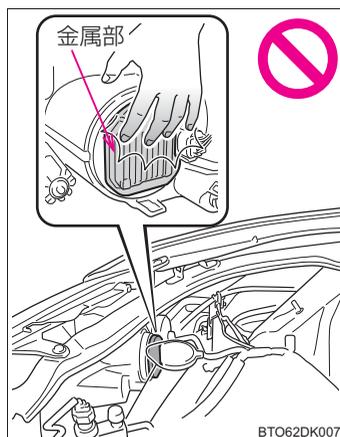
■ 電球（バルブ）を交換するとき

→P. 255

警告

■電球を交換するとき

- ランプは消灯してください。消灯直後は高温になっているため、交換しないでください。やけどをすることがあります。
- 電球のガラス部を素手でふれないでください。
やむを得ずガラス部を持つ場合は、電球に油脂や水分を付着させないために、乾いた清潔な布などを介して持ってください。
また、電球を傷付けたり、落下させたりすると球切れや破裂することがあります。
- 電球や電球を固定するための部品はしっかり取り付けてください。取り付けが不十分な場合、発熱や発火、またはヘッドランプ内部への浸水による故障や、レンズ内に曇りが発生することがあります。
- ディスチャージヘッドランプ装着車：
ヘッドランプの点灯中および消灯直後はヘッドランプ裏の金属部が高温となっているため、さわらないでください。
やけどをすることがあります。



■ディスチャージヘッドランプ★について

- 交換するとき（電球交換含む）は、必ずトヨタ販売店にご相談ください。
- 点灯中は、高電圧ソケットにふれないでください。
瞬間的に3万ボルトの電圧が発生するため、感電により重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 電球・ソケット・電気回路、および構成部品を、修理または分解しないでください。
感電により重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■お車の故障や火災を防ぐために

電球が正しい位置にしっかりと取り付けられていることを確認してください。

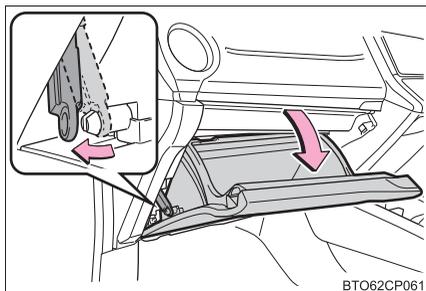
★：仕様により異なる装備やオプション装備

エアコンフィルターの交換

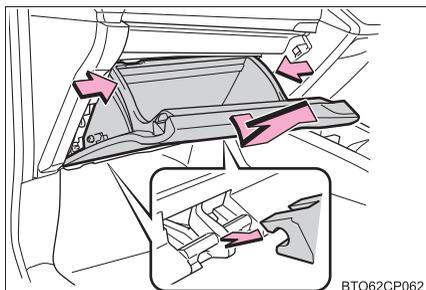
エアコンを快適にお使いいただくために、エアコンフィルターを定期的に交換してください。

交換のしかた

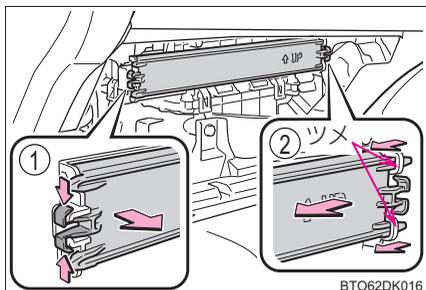
- 1 エンジンスイッチ★を“LOCK”、または パワースイッチ★を OFF にする
- 2 グローブボックスを開き、ダンパーステーのピンをはずす



- 3 グローブボックス側面を内側に押し、上部のツメを片側ずつはずし、下部のツメをはずして取りはずす

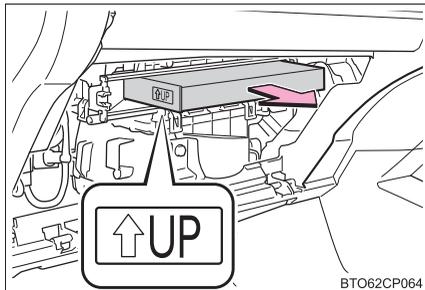


- 4 フィルターカバーを取りはずす
 - ① フィルターカバーの固定を解除する
 - ② フィルターカバーを矢印の方向にずらし、ツメからフィルターカバーを抜く



★：仕様により異なる装備やオプション装備

- 5 フィルターを取りはずし、新しいフィルターと交換する
「↑ UP」マークの矢印が上を向くように取り付けます。



- 6 取り付けるときは、取りはずしたときと逆の手順で取り付ける

知識

■ エアコンフィルターの交換について

エアコンフィルターは次の時期を目安に交換してください。

20,000km[10,000km*]ごと

※大都市や寒冷地など、交通量や粉じんの多い地区

■ エアコンの風量が減少したときは

フィルターの目詰まりが考えられますので、フィルターを交換してください。

注意

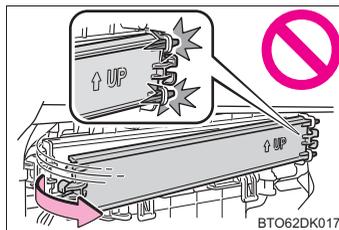
■ エアコンを使用するときの注意

- フィルターを装着せずにエアコンを使用すると、故障の原因になることがあります。必ずフィルターを装着してください。
- フィルターは交換するタイプです。水洗いやエアブローによる清掃はしないでください。

■ 破損を防ぐために

フィルターカバーの固定を解除するときに、フィルターカバーを矢印の方向に動かす際は、ツメに無理な力が加わらないよう注意してください。

ツメが破損するおそれがあります。



万一の場合には

7

7-1. まず初めに

故障したときは.....	272
非常点滅灯 (ハザードランプ)	273
発炎筒	274
車両を緊急停止するには	276

7-2. 緊急時の対処法

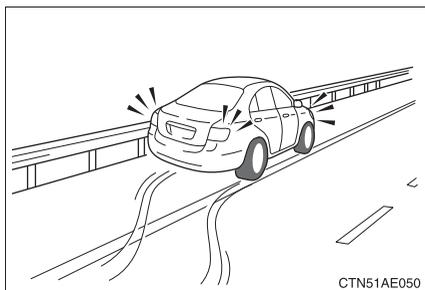
けん引について	278
警告灯がついたときは	285
警告メッセージが 表示されたときは	289
パンクしたときは (応急用タイヤ装着車)	303
パンクしたときは (タイヤパンク応急 修理キット装着車)	313
ハイブリッドシステムが 始動しないときは	326
シフトレバーが シフトできないときは	328
電子キーが正常に働かないときは (スマートエントリー&スタート システム装着車)	329
補機バッテリーが あがったときは	331
オーバーヒートしたときは ...	336
スタックしたときは	340

故障したときは

故障のときはすみやかに次の指示に従ってください。

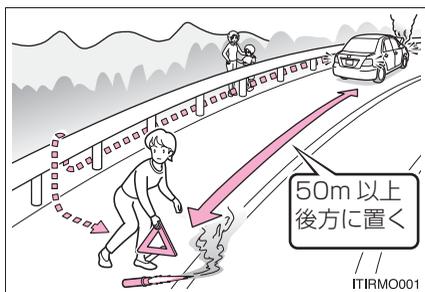
非常点滅灯（→P. 273）を点滅させながら、車を路肩に寄せ停車する。

非常点滅灯は、故障などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるため使用します。



高速道路や自動車専用道路では、次のことに従う

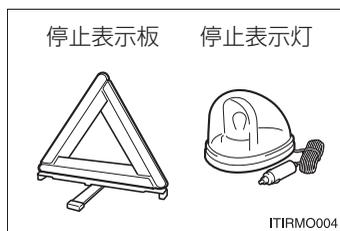
- 同乗者を避難させる
- 車両の50m以上後方に発炎筒（→P. 274）と停止表示板を置くか、停止表示灯を使用する
 - ・ 見通しが悪い場合はさらに後方に置いてください。
 - ・ 発炎筒は、燃料もれの際やトンネル内では使用しないでください。
- その後、ガードレールの外側などに避難する



知識

■ 停止表示板・停止表示灯について

- 高速道路や自動車専用道路でやむを得ず駐車する場合は、停止表示板または停止表示灯の表示が、法律で義務付けられています。
- 停止表示板・停止表示灯のご購入については、トヨタ販売店にお問い合わせください。

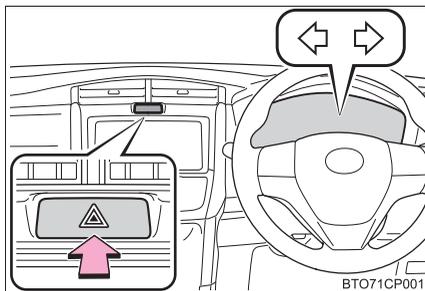


非常点滅灯（ハザードランプ）

事故などでやむを得ず路上駐車する場合、他車に知らせるために使用してください。

スイッチを押す

すべての方向指示灯が点滅します。
もう一度押すと消灯します。



知識

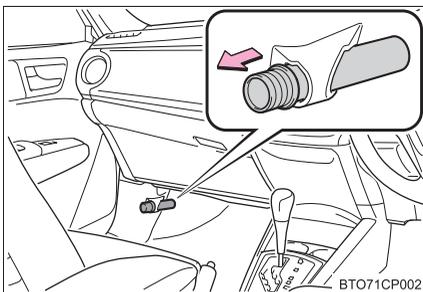
■ 非常点滅灯について

ハイブリッドシステム停止中に非常点滅灯を長時間使用すると、補機バッテリーがあがるおそれがあります。

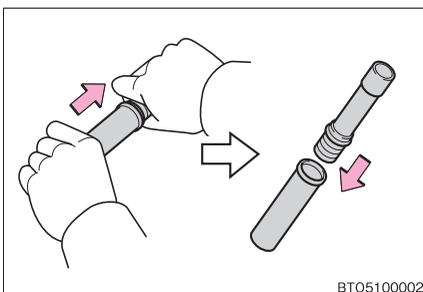
発炎筒

高速道路や踏切などでの故障・事故時に非常信号用として使用します。
 (トンネル内や可燃物の近くでは使用しないでください)
 発炎時間は約5分です。非常点滅灯と併用してください。

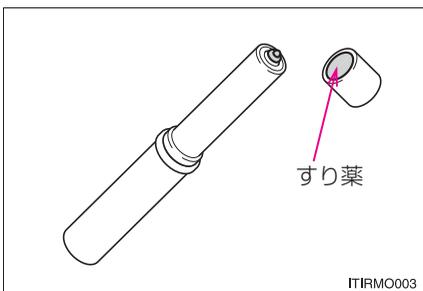
- 1 助手席足元の発炎筒を取り出す



- 2 本体をまわしながら抜き、本体を逆さにして挿し込む



- 3 先端のフタを取り、すり薬で発炎筒の先端をこすり、着火させる
 必ず車外で使用してください。
 着火させる際は、筒先を顔や体に向けて
 ないでください。



 知識

■ 発炎筒の有効期限

本体に表示してある有効期限が切れる前に、トヨタ販売店でお求めください。有効期限が切れると、着火しなかったり、炎が小さくなる場合があります。

 警告

■ 発炎筒を使用してはいけない場所

次の場所では、発炎筒を使用しないでください。
煙で視界が悪くなったり、引火するおそれがあるため危険です。

- トンネル内
- ガソリンなど可燃物の近く

■ 発炎筒の取り扱いについて

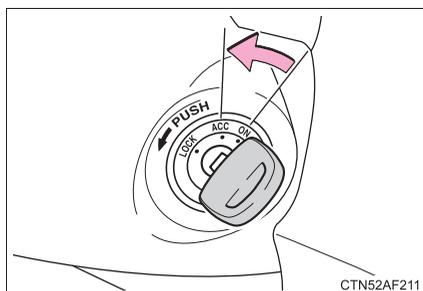
次のことを必ずお守りください。
お守りいただかないと、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- 使用中は、発炎筒を顔や体に向けたり、近付けたりしない
- 発炎筒は、お子さまにさせない

車両を緊急停止するには

万一、車が止まらなくなったときの非常時のみ、次の手順で車両を停止させてください。

- 1 ブレーキペダルを両足でしっかりと踏み続ける
ブレーキペダルをくり返し踏まないでください。通常より強い力が必要となり、制動距離も長くなります。
- 2 シフトレバーをNに入れる
▶ シフトレバーがNに入った場合
- 3 減速後、車を安全な道路脇に停める
- 4 ハイブリッドシステムを停止する
▶ シフトレバーがNに入らない場合
- 3 ブレーキペダルを両足で踏み続け、可能な限り減速させる
- 4 スマートエントリー&スタートシステム非装着車：エンジンスイッチを“ACC”にして、ハイブリッドシステムを停止する



スマートエントリー&スタートシステム装着車：パワースイッチを3秒以上押し続けるか、素早く3回以上連続で押してハイブリッドシステムを停止する



- 5 車を安全な道路脇に停める

 **警告****■ 走行中にやむを得ずハイブリッドシステムを停止するときは**

- ハンドル操作が重くなるため、車のコントロールがしにくくなり危険です。ハイブリッドシステムを停止する前に、十分に減速するようにしてください。
- スマートエントリー&スタートシステム非装着車：キーを抜くとハンドルがロックされるため、キーは絶対に抜かないでください。

けん引について

けん引は、できるだけトヨタ販売店または専門業者にご依頼ください。その場合は、レッカー車または、車両運搬車を使用することをおすすめします。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらう場合は、車両積載車までの移動など、できるだけ短距離にとどめてください。

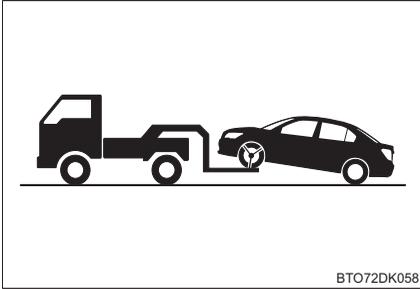
けん引の前に販売店への連絡が必要な状況

次の場合は、駆動系の故障が考えられるため、トヨタ販売店へご連絡ください。

- マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージ（→P. 289）が表示され、車が動かない
- 異常な音がする

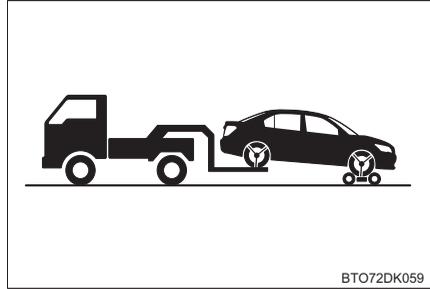
レッカー車でけん引するとき

▶ 前向きにけん引するとき



パーキングブレーキを解除する

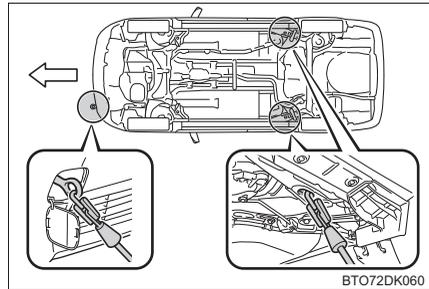
▶ うしろ向きにけん引するとき



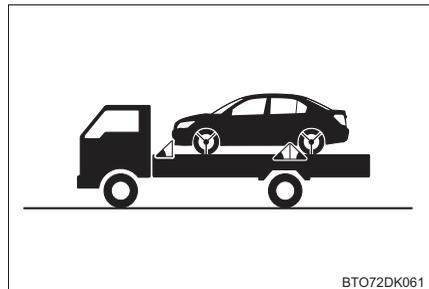
台車を使用して後輪を持ち上げる

車両運搬車を使用するときは

車両運搬車で輸送されているときは、図の場所にフックを取り付ける



鎖やケーブルなどを使用して車両を固縛する場合は図に黒く示す角度が45°になるように固縛する

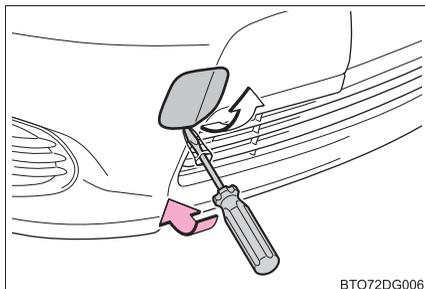


けん引されるとき

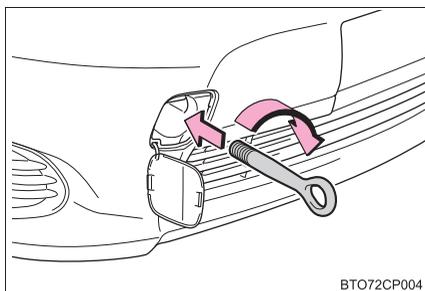
1 けん引フックを取り出す (→P. 304, 314)

2 マイナスドライバーを使ってフタをはずす

傷が付くのを防ぐため、マイナスドライバーの先端に布などを巻いて保護してください。

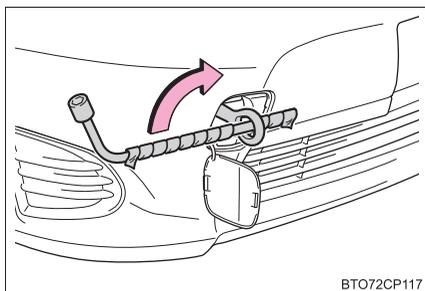


3 けん引フックを穴に挿し込んでまわし、軽く締める



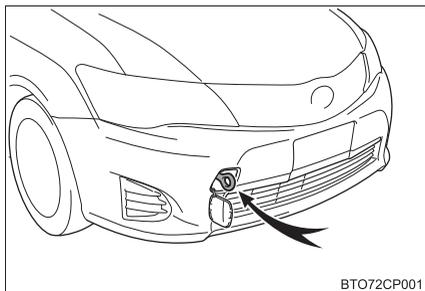
4 ホイールナットレンチや金属の固い棒などを使い確実に取り付ける

バンパーに傷が付くのを防ぐため、ホイールナットレンチや金属の固い棒などの先端に布などを巻いて保護してください。

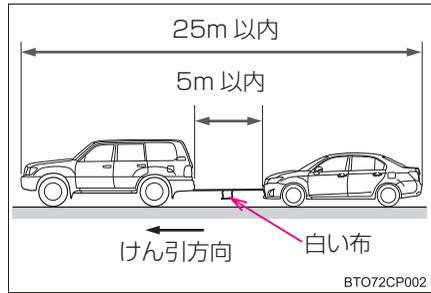


5 車体に傷が付かないようにロープをけん引フックにかける

車体に傷が付かないように注意してください。また、前進方向でけん引してください。



- 6 ロープの中央に白い布を付ける
 布の大きさ：
 0.3m 平方 (30cm × 30cm) 以上



- 7 運転者はけん引される車両に乗り、ハイブリッドシステムを始動する
 ハイブリッドシステムが始動しないときは、エンジンスイッチ★を“ON”、または
 パワースイッチ★をONモードにしてください。
- 8 けん引される車両のシフトレバーをNにしてから、パーキングブレーキを解除する
 けん引中は、ロープがたるまないよう、減速時なども前の車の速度に合わせてください。
 シフトレバーがシフトできないときは：→P. 328

知識

■けん引フックの使用目的

けん引フックはけん引されるときに使うものであり、他車をけん引するためのものではありません。

■けん引されるときに

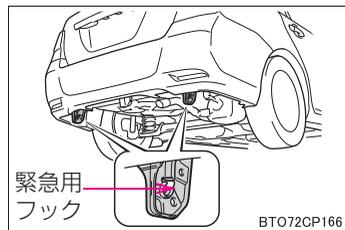
ハイブリッドシステムが停止しているとブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が通常より重くなったりします。

■ホイールナットレンチについて

トランク内に搭載されています。(→P. 304, 314)

■緊急用フックについて

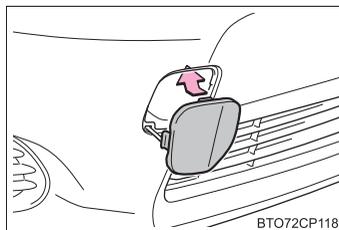
雪の吹きだまりなどでスタックして走行できなくなったとき、やむを得ず他車に引っ張り出してもらうために使用することができます。他車をけん引することはできません。



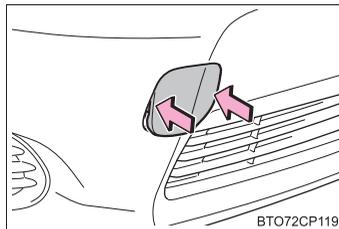
★：仕様により異なる装備やオプション装備

■ フタを取り付けるときは

- 1 バンパーの下からフタを挿し込む



- 2 フタを押し込み、左右のツメをはめる



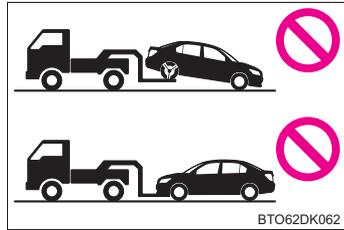
警告

次のことを必ずお守りください。

お守りいただかないと、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

けん引されるとき

必ず前輪を持ち上げるか、4輪とも持ち上げた状態で運搬してください。前輪が地面に着いた状態でけん引すると、駆動系部品が破損するおそれがあります。

**けん引中の運転について**

- ロープによるけん引を行うときは、けん引フックやロープに過剰な負荷をかける急発進などを避けてください。
けん引フックやロープが破損し、その破片が周囲の人などにあたり、重大な傷害を与えるおそれがあります。
- エンジンスイッチ★を“LOCK”またはパワースイッチ★をOFFにしないでください。
ハンドルがロックされ、ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。

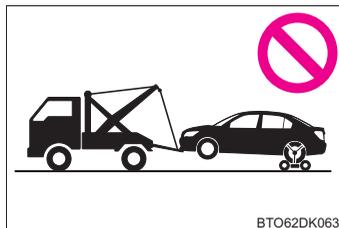
けん引フックを車両に取り付けるとき

指定の位置にしっかりと取り付けてください。

指定の位置にしっかりと取り付けていないと、けん引時にフックがはずれるおそれがあります。

⚠ 注意**■ レッカー車でけん引するとき**

車両の損傷を防ぐために図のようなレッカー車ではけん引しないでください。

**■ 車両運搬車に車を固縛するとき**

ケーブル等を過度に締め付けすぎないでください。車両の損傷につながるおそれがあります。

■ 駆動系部品の損傷を防ぐために

- ロープでけん引されるときは次のことを必ずお守りください。
 - ・ ワイヤロープは使用しない
 - ・ 速度は 5km/h 以下、距離は車両運搬車までの移動など、できるだけ短距離にとどめる
 - ・ 前進方向でけん引する
 - ・ サスペンション部などにロープをかけない
- この車両で他車やボート（トレーラー）などをけん引しないでください。

■ 長い下り坂でけん引するときは

レッカー車で前輪を持ち上げるか、4 輪とも持ち上げた状態でけん引してください。レッカー車でけん引しないと、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります

■ 緊急用フックについて

次のことを必ずお守りください。お守りいただかないと、装置の変形や車両の損傷などにつながる恐れがあります。

- やむを得ない場合以外は使用しないでください。
- 緊急用フックで他車をけん引しないでください。

警告灯がついたときは

警告灯が点灯または点滅したままの場合は、落ち着いて次のように対処してください。なお、点灯・点滅しても、その後消灯すれば異常ではありません。ただし、同じ現象が再度発生した場合は、トヨタ販売店で点検を受けてください。

ただちに停車してください。走行を続けると危険です。

次の警告はブレーキの故障のおそれがあることを意味します。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。

警告灯	警告灯名・警告内容
 (赤色)	ブレーキ警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・ ブレーキ液の不足 ・ ブレーキ系統の異常

ただちに点検を受けてください。

次の警告は、放置するとシステムが正しく働かず、思わぬ危険や故障を招くおそれがあることを意味します。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

警告灯	警告灯名・警告内容
	エンジン警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・ ハイブリッドシステムの異常 ・ エンジン電子制御システムの異常 ・ 電子制御スロットルの異常
	SRS エアバッグ／プリテンショナー警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・ SRS エアバッグシステムの異常 ・ プリテンショナー付きシートベルトシステムの異常
	ABS & ブレーキアシスト警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・ ABS の異常 ・ ブレーキアシストの異常
	パワーステアリング警告灯（警告ブザー） EPS（エレクトリックパワーステアリング）の異常
	スリップ表示灯 <ul style="list-style-type: none"> ・ VSC システムの異常 ・ TRC システムの異常 ・ ヒルスタートアシストコントロールシステムの異常 VSC・TRC・ABS の作動時には、点滅します。（→P. 172）
 (黄色)	電子制御ブレーキ警告灯 <ul style="list-style-type: none"> ・ 電子制御ブレーキシステムの異常 ・ 回生ブレーキシステムの異常

ただちに処置してください。

次の警告はそれぞれの対処方法に従って処置し、警告灯が消灯するのを確認してください。

警告灯	警告灯名・警告内容	対処方法
	燃料残量警告灯 燃料の残量が約 5L 以下になった	燃料を補給する
	シートベルト非着用警告灯 (警告ブザー※ ¹) 運転席・助手席シートベルトの非着用	シートベルトを着用する
	パーキングブレーキ未解除警告灯 (警告ブザー※ ²) パーキングブレーキがかかっているとき	パーキングブレーキを解除する
	マスターウォーニング システムの異常時にブザーと共に点灯・点滅し、マルチインフォメーションディスプレイ上に警告メッセージを表示します。	→P. 289

- ※¹ 運転席・助手席シートベルト非着用警告ブザー：
運転席・助手席シートベルト非着用のまま車速が約 20km/h 以上になると警告ブザーが 1 回鳴ります。その後も運転席・助手席シートベルトを非着用のまま 30 秒を経過すると、30 秒間断続的に鳴り、さらにブザーの音が変わり 90 秒間鳴ります。
- ※² パーキングブレーキ未解除走行時警告ブザー：
パーキングブレーキをかけたまま、車速が 5km/h 以上になると警告ブザーが鳴ります。
警告ブザーが鳴ったときは、パーキングブレーキを解除してください。

 知識

■ シートベルト非着用警告灯の乗員検知センサーの作動について

- 助手席に乗員がいなくても、シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅することがあります。
- 助手席に座布団などを敷くと、センサーが乗員を検知せず警告灯が作動しないことがあります。

■ パワーステアリング警告灯／警告ブザーについて

補機バッテリーの充電が不十分な場合、または一時的に電圧が下がった場合に警告灯が点灯し、警告ブザーが鳴ることがあります。

 警告

■ パワーステアリング警告灯が点灯したとき

ハンドル操作が非常に重くなることがあります。
ハンドル操作が通常より重いときは、ハンドルをしっかりと持ち、通常より強く操作してください。

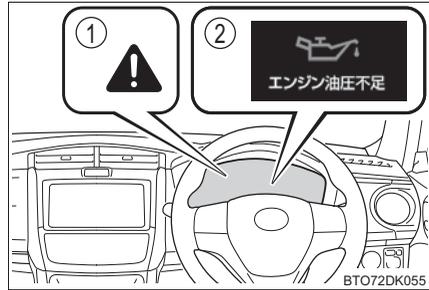
警告メッセージが表示されたときは

マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示された場合は、落ち着いて次のように対処してください。

① マスターワーニング

マルチインフォメーションディスプレイに警告メッセージが表示されているとき、点灯・点滅します。

② マルチインフォメーションディスプレイ

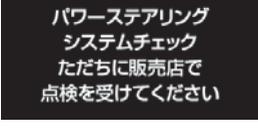


処置後に再度メッセージが表示されたときは、トヨタ販売店へご連絡ください。

ただちに停車してください。

警告ブザーと共に警告メッセージが表示されます。次の警告は、お車への損傷や思わぬ危険を招くおそれがあることを意味します。ただちに安全な場所に停車し、トヨタ販売店へ連絡してください。

警告メッセージ	警告内容
<p>ハイブリッドシステムチェック 安全な場所に停車してください</p> 	<p>ハイブリッドシステムの異常 警告メッセージの表示に合わせて警告ブザーがなります。</p>

警告メッセージ	警告内容
 <p>エンジン冷却水高温</p> 	<p>エンジン冷却水高温異常 警告ブザーが鳴ります。 →P. 336</p>
 <p>ハイブリッドシステム過熱 出力制限中です</p> 	<p>ハイブリッドシステムの過熱 負荷の高い走行状況（例えば、長い上り坂を走行）のときにメッセージが表示される場合があります。 警告ブザーが鳴ります。 →P. 336</p>
 <p>エンジン油圧不足</p> 	<p>エンジンオイル圧力の異常 エンジンオイルの圧力が異常に低いと、警告ブザーと共に表示されます。</p>
 <p>パワーステアリングシステムチェック ただちに販売店で点検を受けてください</p>  	<p>パワーステアリングシステムの異常 警告ブザーが鳴ります。</p>
 	<p>充電システムの異常</p>

ただちに点検を受けてください。

警告ブザーと共に警告メッセージが表示されます。次の警告は、放置すると、システムが正しく働かず、思わぬ危険や故障を招くおそれがあることを意味します。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

警告メッセージ	警告内容
<p>ヘッドライトシステムチェック</p> 	<p>AHB（オートマチックハイビーム）★の異常 警告ブザーが鳴ります。</p>
<p>ヘッドライト レベリング システムチェック</p> 	<p>ヘッドランプオートレベリングシステム★の異常 警告ブザーが鳴ります。</p>
<p>スマートエントリー& スタートシステムチェック</p>  (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> ・スマートエントリー&スタートシステムの異常 ・ステアリングロックシステムの異常 <p>警告ブザーが鳴ります。</p>
<p>ハイブリッド 배터리 冷却性能低下 販売店で 点検して下さい</p>	<p>駆動用電池の冷却性能が低下</p>

★：仕様により異なる装備やオプション装備

ただちに処置してください。

警告ブザーと共に警告メッセージが表示されます。次の警告はそれぞれの対処方法に従って処置し、警告メッセージが消灯するのを確認してください。

警告メッセージ	警告内容	対処方法
 	<p>各ドア、トランクが確実に閉まっていない</p> <p>開いているドア、トランクが表示されます。各ドア、トランクが確実に閉まっていない状態のまま、車速が5km/h をこえたときには  が点滅し、警告ブザーが鳴ります。</p>	各ドア、トランクを閉める
<p>パーキングブレーキを解除して下さい</p> 	<p>パーキングブレーキが解除されていない</p> <p>パーキングブレーキをかけたまま、車速が5km/h をこえたときには  が点滅します。</p>	パーキングブレーキを解除する
<p>ライトが点灯しています</p>  (点滅)	<p>ヘッドランプ、尾灯が点灯している状態で、運転席ドアを開けた</p> <p>警告ブザーが鳴ります。</p>	ヘッドランプ、尾灯を消灯する
<p>駆動用電池充電量低下 Nレンジ以外で充電します</p>  (点滅)	<p>駆動用電池の残量が低下</p> <p>警告ブザーが鳴ります。</p>	シフトレバーがNの状態では充電できないため、長時間停車するときはシフトレバーをPに入れる

警告メッセージ	警告内容	対処方法
<p data-bbox="157 161 417 288"> 駆動用電池保護モード Pレンジで再始動して下さい </p> <div data-bbox="157 304 249 368">  (点滅) </div>	<p data-bbox="437 185 706 344"> 長時間シフトレバーが N になっているため駆動用 電池の残量が低下 警告ブザーが鳴りま ず。 </p>	<p data-bbox="725 217 997 312"> 車両を動かす場合は、ハ イブリッドシステムを再 始動する </p>
<p data-bbox="157 400 417 528"> Nレンジです </p> <div data-bbox="157 544 249 608">  (点滅) </div>	<p data-bbox="437 424 706 584"> シフトレバーが N のと き、アクセルペダルを踏 んだ 警告ブザーが鳴りま ず。 </p>	<p data-bbox="725 456 997 552"> アクセルペダルから足を 離し、シフトレバーをD、 BまたはRに入れる </p>
<p data-bbox="157 639 417 767"> 駐車時はPレンジに 入れて下さい </p> <div data-bbox="157 783 249 847">  (点滅) </div>	<p data-bbox="437 663 706 823"> シフトレバーが N・D・ Bで、運転席ドアを開け た 警告ブザーが鳴りま ず。 </p>	<p data-bbox="725 727 997 759"> シフトレバーをPにする </p>
<p data-bbox="157 879 417 1007"> ガソリン残量が 少なくなりました </p> <div data-bbox="157 975 417 1007">  - km </div> <div data-bbox="157 1023 249 1086">  </div>	<p data-bbox="437 951 706 1015"> 燃料の残量が約 5L 以下 になった </p>	<p data-bbox="725 967 997 999"> 燃料を補給する </p>

警告メッセージ	警告内容	対処方法
EVモードに現在 切りかえできません	EV ドライブモードに切りかえできない状況※ EV ドライブモードを使用できない理由（暖気中／電池充電中／EV 速度域超過／アクセル踏み過ぎ）の表示がでる場合があります（→P. 148）	EV ドライブモードが使用できる状況になってから使用する
EVモードに 現在切替えできません 暖気中		
EVモードに 現在切替えできません 電池充電不足		
EVモードに 現在切替えできません EV速度域超過		
EVモードに 現在切替えできません アクセル踏み過ぎ		

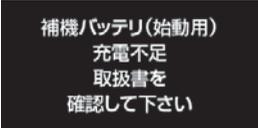
※ EV ドライブモードの作動条件については、P. 148 を参照してください。

警告メッセージ	警告内容	対処方法
<div data-bbox="157 161 415 288">EVモードが解除されました</div> <div data-bbox="157 312 415 440">EVモードが解除されました 電池充電不足</div> <div data-bbox="157 464 415 592">EVモードが解除されました EV速度域超過</div> <div data-bbox="157 616 415 743">EVモードが解除されました アクセル踏み過ぎ</div> <div data-bbox="157 767 247 823">  (点滅) </div>	<p data-bbox="437 352 703 408">EV ドライブモードが自動解除された[※]</p> <p data-bbox="460 416 703 632">EV ドライブモードを使用できない理由（電池充電不足／EV 速度域超過／アクセル踏み過ぎ）の表示がでる場合があります（→P. 148）</p>	<p data-bbox="729 480 916 504">しばらく走行する</p>

※ EV ドライブモードの作動条件については、P. 148 を参照してください。

ただちに処置してください。

ハイブリッドシステム始動操作を行ったとき、次の警告が表示された場合は、警告メッセージの指示状態に従ってそれぞれ処置してください。

警告メッセージ	警告内容	対処方法
	補機バッテリーが充電不足	数秒後[※]に表示が消えたときは 約 15 分以上、ハイブリッドシステムは作動した状態を保持し、補機バッテリーを充電してください。
		表示が消えないときは 「補機バッテリーがあがったときは」 (→P. 331)の手順でハイブリッドシステムを始動してください。

※ 約 6 秒間表示されます。

注意

■「補機バッテリー(始動用) 充電不足 取扱書を 確認して下さい」がひんばんに表示されるときは

補機バッテリーが劣化している可能性があります。その状態で放置しておく、補機バッテリーあがりを起こすおそれがあるため、トヨタ販売店で補機バッテリーの点検を受けてください。

ただちに処置してください。★

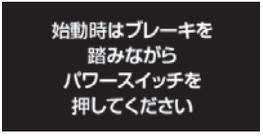
それぞれの対処方法に従って処置し、警告メッセージが消灯するのを確認してください。

車内警告ブザー	車外警告ブザー	警告メッセージ	警告内容	対処方法
1回	なし		電子キーを携帯していないか、電子キーが正常に作動しない状態でハイブリッドシステムを始動しようとした	電子キーを携帯してハイブリッドシステムを始動する
1回	3回		パワースイッチが OFF 以外の状態で運転席以外のドアが開閉され同乗者が電子キーを持ち出した	電子キーを車内にもどす
			シフトレバーがPの状態でパワースイッチを OFF にせずにキーを持ち出したまま運転席ドアが開閉された	パワースイッチを OFF にするまたは電子キーを車内にもどす

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容	対処方法
1回	連続音 (5秒間)	<p>キーが見つかりません</p> <p>電源をOFFして下さい</p> <p>(交互に表示)</p> <p> (点滅)</p>	シフトレバーがPの状態でパワースイッチをOFFにせずに、電子キーを外に持ち出してドアを施錠しようとした	パワースイッチをOFFにしたあと、再度施錠する
9回	なし	<p>キーが見つかりません</p> <p> (点滅)</p>	正規の電子キーが車室内に無い状態で走行をはじめた	車室内に電子キーがあるか確認する
連続音	なし	<p>Pレンジに入れて下さい</p> <p> (点滅)</p>	シフトレバーがP以外の状態で、パワースイッチをOFFにせずに運転席ドアが開いた	シフトレバーをPにする

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容	対処方法
連続音	連続音	<div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;">Pレンジに入れて下さい</div> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;">キーが見つかりません</div> <p style="text-align: center;">(交互に表示)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">  (点滅) </div>	シフトレバーがP以外の状態でパワースイッチをOFFにせずにキーを持ち出したまま運転席ドアが開閉された	<ul style="list-style-type: none"> ・シフトレバーをPにする ・電子キーを車内に入れる
1回	連続音 (約5秒間)	<div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;">車室内に キーがあります</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">  (点滅) </div>	<p>車内に電子キーを置いたまま、スマートエントリー&スタートシステムでドアを施錠しようとした</p> <p>車内に電子キーを置いたまま、フロントドアを開き、ロックレバーを施錠側にししてドアハンドルを引いたままドアを閉めて施錠しようとした</p>	車内から電子キーを取り出したあと、再度施錠する

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容	対処方法
1回	なし	<p>ブレーキを踏みながら キーでパワースイッチに 触れて下さい</p>  (点滅)	<ul style="list-style-type: none"> ・メカニカルキーで解錠してパワースイッチを押した際、車室内でキーを検出できなかった ・パワースイッチを押したとき車室内でキーを検出できないことが2回連続で続いた 	ブレーキを踏みながら電子キーでパワースイッチにふれる
1回	なし	<p>始動時は Pレンジに 入れて下さい</p>  (点滅)	ハイブリッドシステム始動不可能なシフトレバー位置でハイブリッドシステムを始動しようとしている	シフトレバーをPにしてからハイブリッドシステムを始動させる
なし	なし	<p>バッテリー保護の為 自動電源OFFしました</p>	自動電源 OFF機能が作動した	次回ハイブリッドシステム始動時に約5分間ハイブリッドシステムが作動した状態を保持し、補機バッテリーを充電する。

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容	対処方法
1回	なし	 <p>キーバッテリー残りわずか</p> 	電子キーの電池残量が少ない	新しい電池と交換する (→P. 247)
1回	なし	 <p>始動時はブレーキを踏みながら パワースイッチを押ししてください</p>  (点滅)	パワースイッチが OFF の状態で運転席のドアを開閉してからハイブリッドシステムを始動せずにパワースイッチをアクセサリモードに2回した	ブレーキを踏んでパワースイッチを押す
			電子キーが正常に働かないときのハイブリッドシステムの始動の方法で (→P. 330) パワースイッチに電子キーをふれた	ブザーが鳴ってから10秒以内にパワースイッチを押す
1回	なし	 <p>ステアリングロック未解除</p>  (点滅)	パワースイッチを押してから約3秒以内にステアリングロックが解除できなかった	ブレーキを踏んでハンドルを左右にまわしながらパワースイッチを押す

車内 警告 ブザー	車外 警告 ブザー	警告メッセージ	警告内容	対処方法
1回	なし	  (点滅)	シフトレバーがP以外の状態でパワースイッチをOFFにした	シフトレバーをPにする
1回	なし	  (点滅)	シフトレバーがP以外でパワースイッチをOFFにしたあとシフトレバーをPにした	パワースイッチをOFFにする

知識

■ 警告ブザーについて

状況によっては、外部の騒音やオーディオの音などにより、ブザー音が聞こえない場合があります。

パンクしたときは（応急用タイヤ装着車）

パンクしたタイヤを、備え付けの応急用タイヤと交換してください。
（タイヤについての詳しい説明は P. 244 を参照してください）

警告

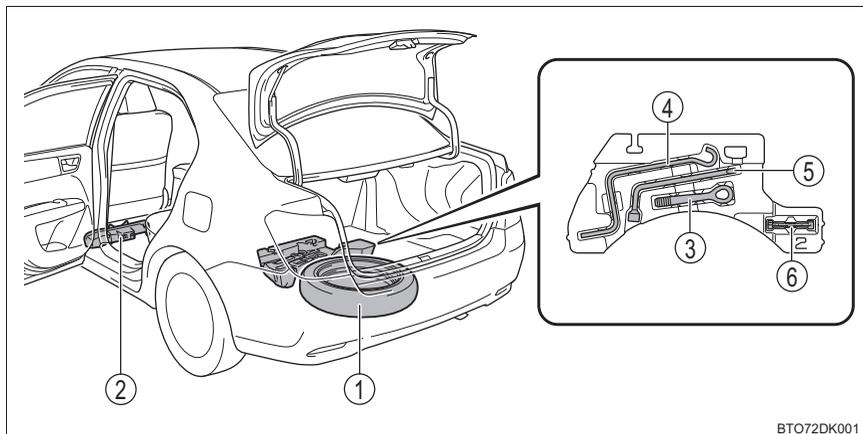
■ タイヤがパンクしたときは

パンクしたまま走行しないでください。
短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

ジャッキで車体を持ち上げる前に

- 地面が固く平らな場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトレバーをPに入れる
- ハイブリッドシステムを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

工具とジャッキの位置



BTO72DK001

- ① 応急用タイヤ
- ② ジャッキ
- ③ けん引フック
- ④ ジャッキハンドル
- ⑤ ホイールナットレンチ
- ⑥ バルブ交換ツール

 **警告****■ ジャッキの使用について**

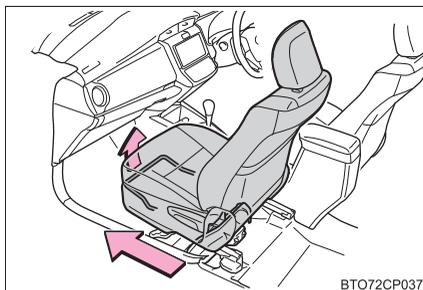
次のことをお守りください。

ジャッキの取り扱いを誤ると、車が落下して重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

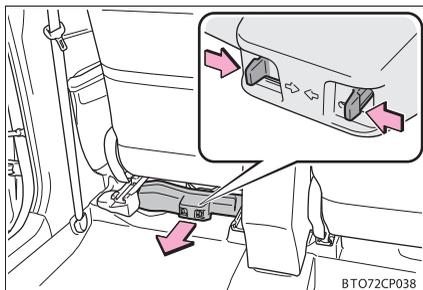
- ジャッキはタイヤ交換・タイヤチェーン取り付け・取りはずし以外の目的で使用しない
- 備え付けのジャッキは、お客様の車にしか使うことができないため、他の車に使ったり他の車のジャッキをお客様の車に使用したりしない
- ジャッキはジャッキセット位置に正しくかける
- ジャッキで支えられている車の下に体を入れない
- 車がジャッキで支えられている状態で、ハイブリッドシステムを始動したり車を走らせない
- 車内に人を乗せたまま車を持ち上げない
- 車を持ち上げるときは、ジャッキの上または下にものを置かない
- 車を持ち上げるときは、タイヤ交換できる高さ以上に上げない
- 車の下にもぐり込んで作業する場合は、ジャッキスタンドを使用する
- 車を下げるときは、周囲に人がいないことを確認し、人がいるときは声をかけてから下げる

ジャッキの取り出し方

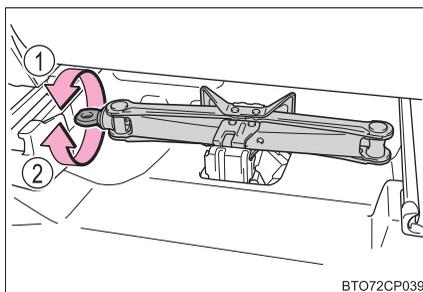
- 1 助手席シートをいちばん前に移動する



- 2 ノブを内側につまみ、手前に引いて、カバーを取りはずす

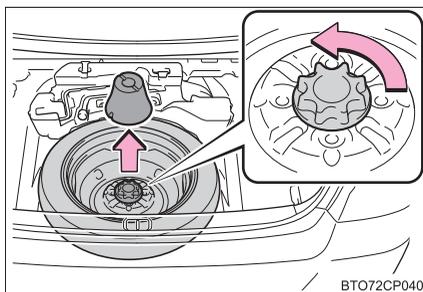


- 3 ジャッキをゆるめて取りはずす
 - ① 締まる
 - ② ゆるむ



応急用タイヤの取り出し方

- 1 ラゲージマットを取りはずす
- 2 留め具をはずし、スペアタイヤを取り出す



警告

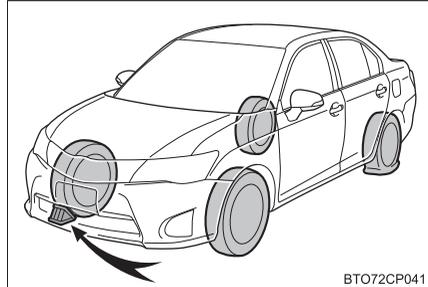
■ 応急用タイヤを収納するとき

ボデーと応急用タイヤとのあいだに、指などを挟まないように注意してください。

パンクしたタイヤの交換

1 輪止め※をする

※ 輪止めは、トヨタ販売店で購入することができます。



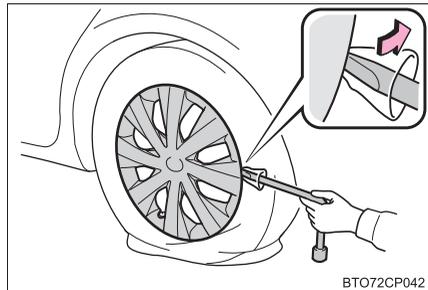
BTO72CP041

パンクしたタイヤ		輪止めの位置
前輪	左側	右側後輪うしろ
	右側	左側後輪うしろ
後輪	左側	右側前輪前
	右側	左側前輪前

2 ホイールキャップをはずす*

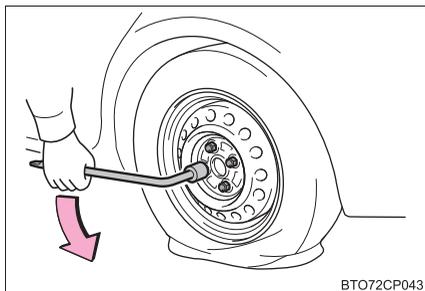
* : スチールホイールのみ

傷が付くのを防ぐため、ホイールナットレンチの先端に布などを巻いて保護してください。

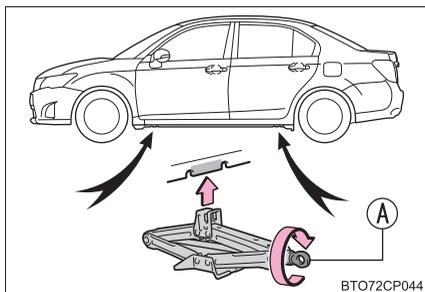


BTO72CP042

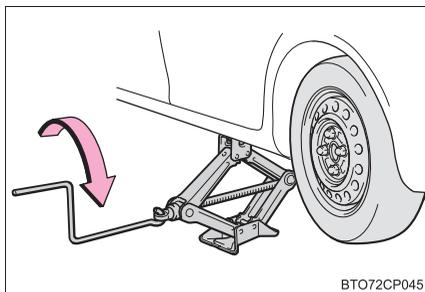
- 3 ナットを少し（約 1 回転）ゆるめる



- 4 ジャッキの A 部を手でまわして、ジャッキ溝をジャッキセット位置にしっかりかける

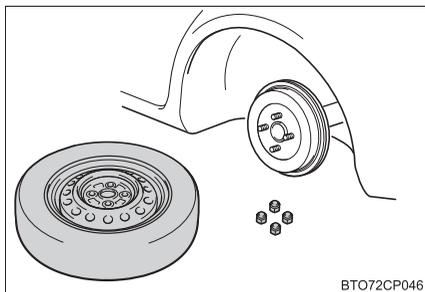


- 5 タイヤが地面から少し離れるまで、車体を上げる



- 6 ナットすべてを取りはずし、タイヤを取りはずす

タイヤを直接地面に置くときは、ホイールの表面に傷が付かないよう表面を上に出します。



警告

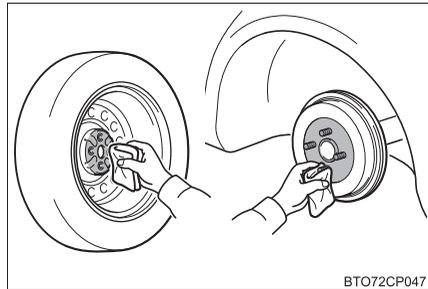
■ タイヤ交換について

- 走行直後、ディスクホイールやブレーキまわりなどにはふれない
走行直後のディスクホイールやブレーキまわりは高温になっているためタイヤ交換などで手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- 次のことをお守りいただかないとナットがゆるみ、ホイールがはずれ落ち、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
 - ・ ねじ部にオイルやグリースを塗らない
ナットを締めるときに必要以上に締め付けられ、ボルトが破損したり、ディスクホイールが損傷するおそれがあります。またナットがゆるみホイールが落下するおそれがあります。オイルやグリースがねじ部に付いている場合はふき取ってください。
 - ・ ホイールの交換後は、すぐに $103\text{N}\cdot\text{m}$ ($1050\text{kgf}\cdot\text{cm}$) の力でナットを締める
 - ・ タイヤの取り付けには、使用しているホイール専用のナットを使用する
 - ・ ボルトやナットのねじ部や、ホイールのボルト穴につぶれや亀裂などの異常がある場合は、トヨタ販売店で点検を受ける

応急用タイヤの取り付け

1 ホイール接触面の汚れをふき取る

ホイール接触面が汚れていると、走行中にナットがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。

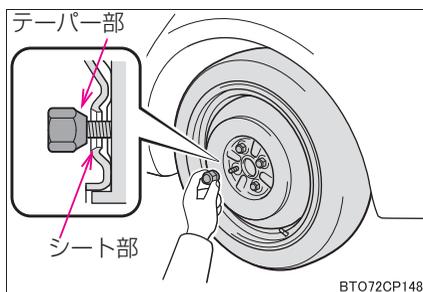


BT072CP047

- 2 応急用タイヤを取り付け、タイヤががたつかない程度まで手でナットを仮締めする

スチールホイールからスチールホイールにかえるとき（応急用タイヤを含む）：

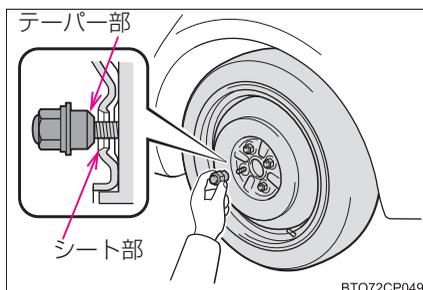
ナットのテーパ部がホイールのシート部に軽くあたるまでまわす



BTO72CP148

アルミホイールから応急用タイヤにかえるとき：

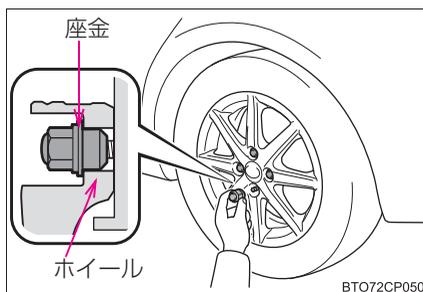
ナットのテーパ部がホイールのシート部に軽くあたるまでまわす



BTO72CP049

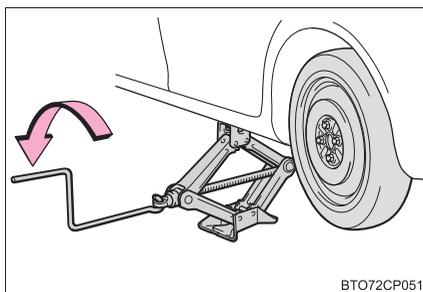
アルミホイールからアルミホイールにかえるとき：

ナットの座金がホイールにあたるまでまわす



BTO72CP050

- 3 車体を下げる

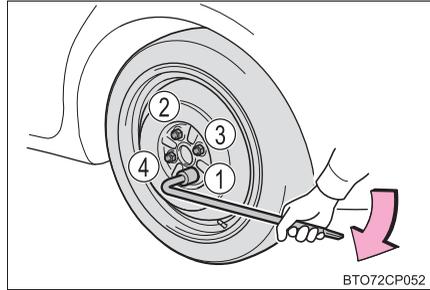


BTO72CP051

- 4 図の番号順でナットを 2、3 度
しっかり締め付ける

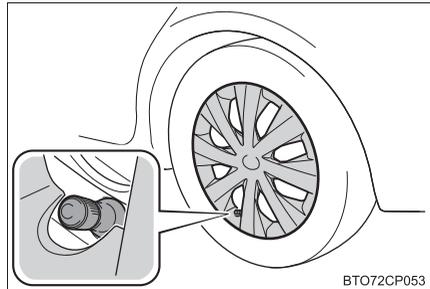
締め付けトルク：

103N・m (1050kgf・cm)



- 5 ホイールキャップを取り付ける*
タイヤのバルブ（空気口）に切り欠きを
合わせてホイールキャップを確実に
取り付ける。

*：スチールホイールのみ（応急用タイ
ヤに取り付けることはできません）



- 6 すべての工具・ジャッキ・パンクしたタイヤを収納する

知識

■ 応急用タイヤについて

- タイヤの側面に TEMPORARY USE ONLY と書かれています。応急用にのみ使用してください。
- 空気圧を必ず点検してください。（→P. 347）

■ 応急用タイヤを装着しているとき

標準タイヤ装着時にくらべ車高が低くなっています。

■ 雪道・凍結路で前輪がパンクしたとき

- 1 後輪を応急用タイヤに交換する
- 2 パンクした前輪をはずした後輪に交換する
- 3 タイヤチェーンを前輪に装着する

 **警告****■ 応急用タイヤを使用するとき**

- お客様の車専用になっているため、他の車には使用しないでください。
- 同時に 2 つ以上の応急用タイヤを使用しないでください。
- できるだけ早く通常のタイヤと交換してください。
- 急加速、急ハンドル、急ブレーキやシフト操作による急激なエンジンブレーキの使用は避けてください。

■ 応急用タイヤを装着しているとき

正確な車両速度が検出できない場合があり、次のシステムが正常に作動しなくなるおそれがあります。

- ・ ABS
- ・ ブレーキアシスト
- ・ TRC
- ・ VSC
- ・ EPS
- ・ オートマチックハイビーム★

■ 応急用タイヤ使用時の速度制限

応急用タイヤを装着しているときは、100km/h 以上の速度で走行しないでください。

応急用タイヤは、高速走行に適していないため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

 **注意****■ タイヤチェーンの装着について**

応急用タイヤには、タイヤチェーンを装着しないでください。

タイヤチェーンが車体にあたり、車を損傷したり走行に悪影響をおよぼしたりするおそれがあります。

パンクしたときは（タイヤパンク応急修理キット装着車）

タイヤパンク応急修理キット装着車には、スペアタイヤが搭載されていません。

タイヤがパンクしたときは、タイヤパンク応急修理キットで応急修理することができます。釘やネジなどが刺さった程度の軽度なパンクを応急修理できます。（パンク補修液 1 本につき、応急修理できるタイヤは 1 本です）

タイヤパンク応急修理キットで応急修理したタイヤの修理・交換については、トヨタ販売店にご相談ください。

警告

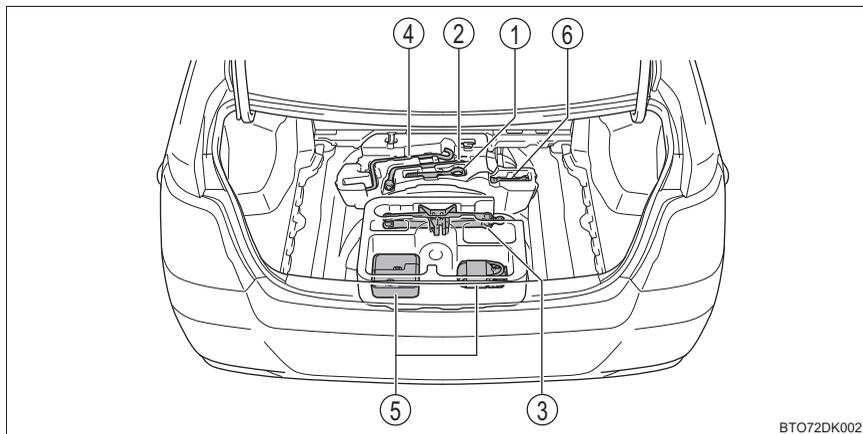
■ パンクしたままの走行について

タイヤがパンクした状態で走行を続けしないでください。
短い距離でも、タイヤとホイールが修理できないほど損傷したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

応急修理する前に

- 地面が固く平らな場所に移動する
- パーキングブレーキをかける
- シフトレバーをPに入れる
- ハイブリッドシステムを停止する
- 非常点滅灯を点滅させる

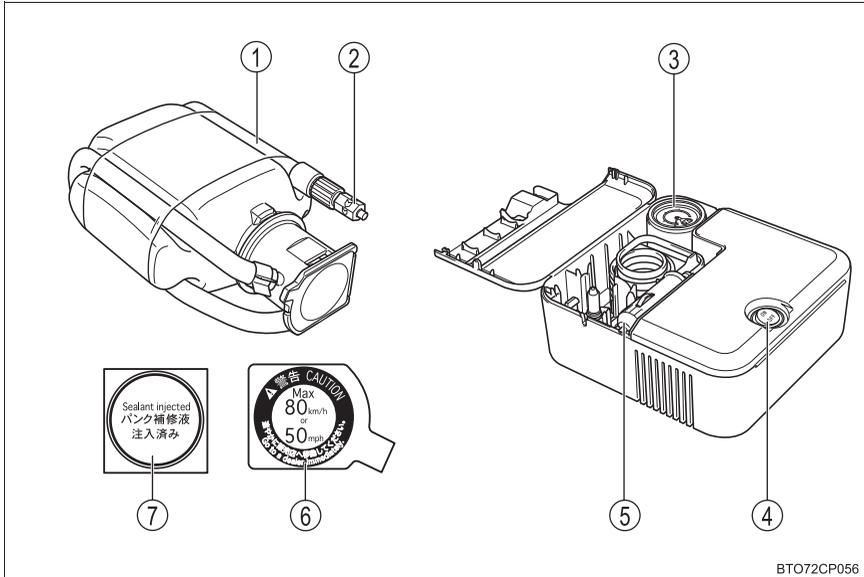
タイヤパンク応急修理キット・工具の搭載位置



- | | |
|--------------|-----------------|
| ① けん引フック | ④ ジャッキハンドル |
| ② ホイールナットレンチ | ⑤ タイヤパンク応急修理キット |
| ③ ジャッキ※ | ⑥ バルブ交換ツール |

※ジャッキの使い方 (→P. 308)

タイヤパンク応急修理キットの内容／各部の名称

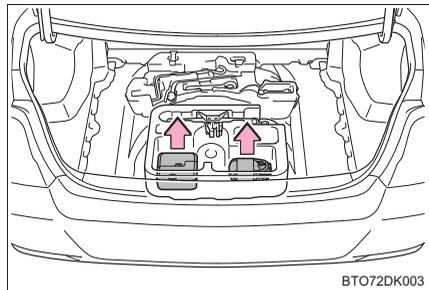


BTO72CP056

- | | |
|-------------|----------------|
| ① ホース | ⑤ 電源プラグ |
| ② 空気逃がしキャップ | ⑥ 速度制限ラベル |
| ③ 空気圧計 | ⑦ パンク補修液注入済ラベル |
| ④ スイッチ | |

応急修理キットの取り出し方

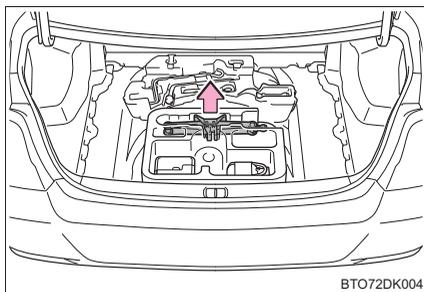
- 1 ラゲージマットを取りはずす
- 2 応急修理キットを取り出す



BTO72DK003

ジャッキの取り出し方

- 1 ラゲージマットを取りはずす
- 2 ジャッキを取り出す

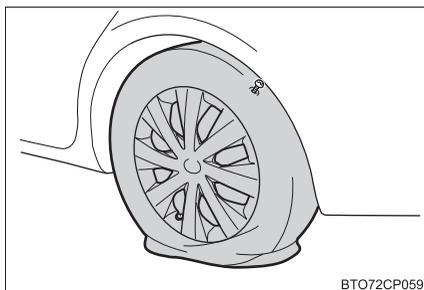


応急修理する前に

タイヤの損傷程度を確認してください。

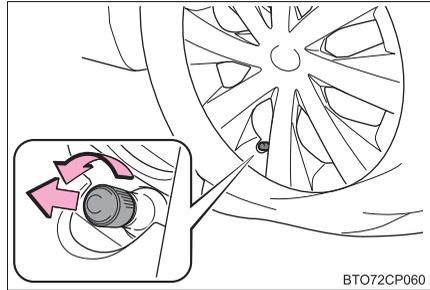
釘やネジなどが刺さっている場合のみ、タイヤを応急修理してください。

- ・ タイヤに刺さっている釘やネジなどは抜かないでください。抜いてしまうと穴が大きくなりすぎ、応急修理ができなくなることがあります。
- ・ パンク補修液がもれないようにするため、パンク箇所が分かっている場合は、パンク箇所が上になるように車両を移動してください。



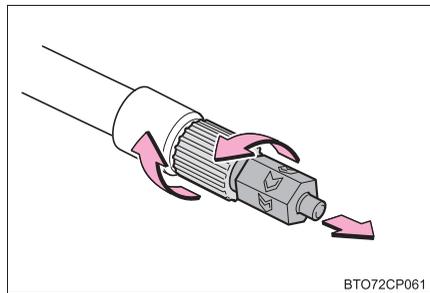
応急修理するとき

- 1 応急修理キットを取り出す
- 2 パンクしたタイヤのバルブから、バルブキャップを取りはずす

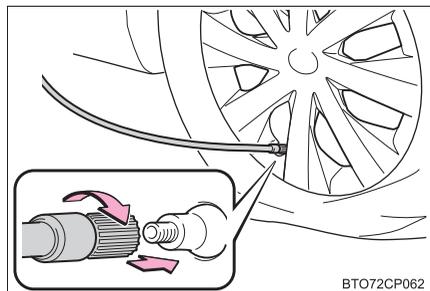


- 3 ボトルの保護フィルムをはがし
ホースをのばす
ボトルのホースから空気逃がし
キャップを取りはずす

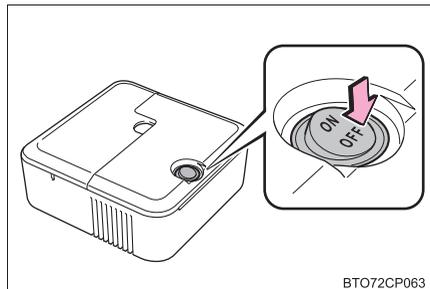
ボトルに同封されているパンク補修液
注入済みラベルは指定の位置へ貼り付
けます。(9へ) 空気逃がしキャップは
再度使用するため、なくさないように
保管してください。



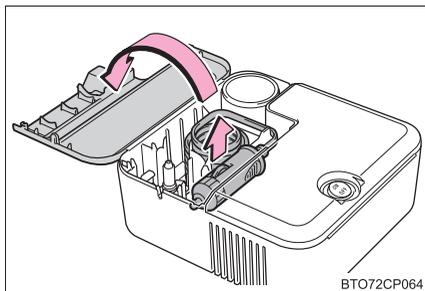
- 4 ボトルのホースをパンクしたタイ
ヤのバルブに接続する
ホース先端を時計まわりにまわして、
しっかりと最後までねじ込みます。



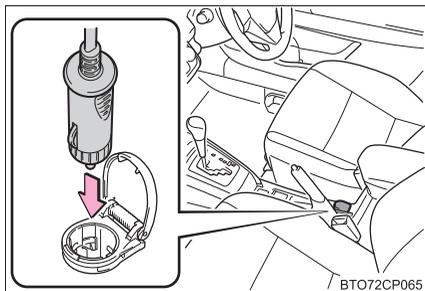
- 5 コンプレッサーのスイッチが
“OFF”であることを確認する



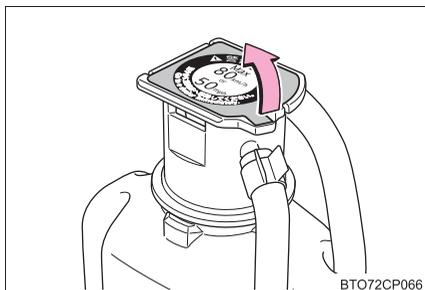
- 6 コンプレッサーの電源プラグをはずす



- 7 コンプレッサーの電源プラグをアクセサリソケットに挿し込む (→P. 226)



- 8 速度制限ラベルをはがす



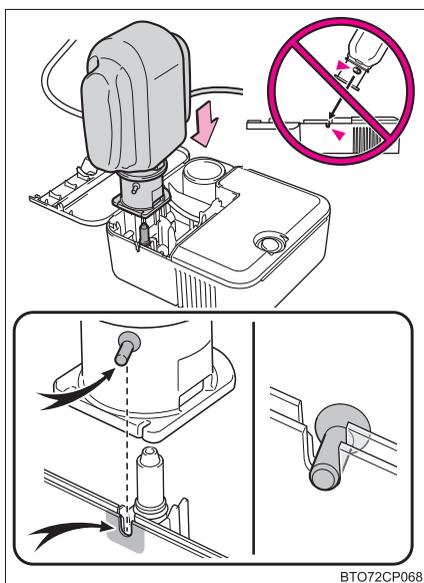
9 付属のラベル 2 枚を図のようにそれぞれ貼り付ける

ホイールの汚れや水分を十分にふき取ってからラベルを貼り付けてください。ラベルを貼り付けることができない場合は、トヨタ販売店にてタイヤを修理・交換するときにパンク補修液注入済みであることを必ずお伝えください。

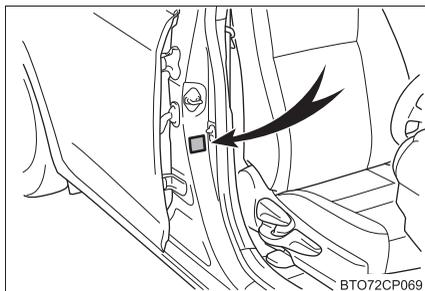


10 ボトルをコンプレッサーに接続する

右の図のように、ボトルをまっすぐコンプレッサーに挿入・接続し、ボトルの突起がケースの溝にしっかり合っているか確認してください。

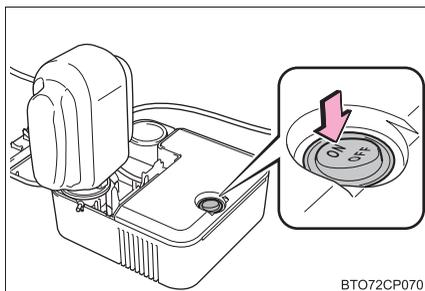


- 11** タイヤの指定空気圧を確認する
 運転席側の空気圧ラベルで確認することができます。(→P. 347)



BTO72CP069

- 12** ハイブリッドシステムを始動する
13 コンプレッサーのスイッチを ON にし、パンク補修液と空気を充填する



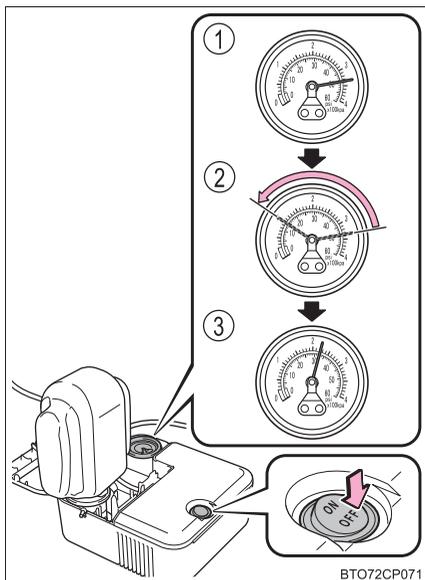
BTO72CP070

- 14** 空気圧が指定空気圧になるまで充填する

- ① スイッチ“ON”直後は、パンク補修液を注入するため、一時的に空気圧計が上昇する
- ② 1分程度(低温の場合は5分程度)で実際の空気圧表示になる
- ③ 指定空気圧になるまで充填する

空気圧は、コンプレッサーのスイッチを“OFF”にして確認してください。空気の入れすぎに注意して、指定空気圧になるまで充填・確認をくり返してください。

35分以上充填しても指定空気圧にならない場合は、応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。
 空気を入れすぎたときは、指定空気圧になるまで空気を抜いてください。(→P. 347)



BTO72CP071

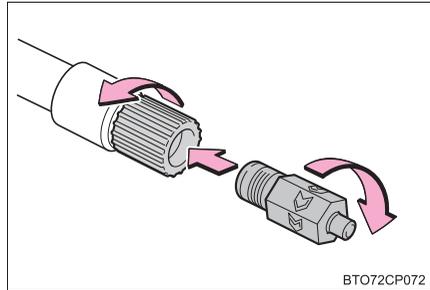
- 15 コンプレッサーのスイッチが“OFF”であることを確認した上で、アクセサリースOCKETから電源プラグを抜き、バルブからボトルのホースを取りはずす

ホースを取りはずすときにパンク補修液が漏れる可能性があります。

- 16 バルブキャップを応急修理したタイヤのバルブに取り付ける

- 17 ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付ける

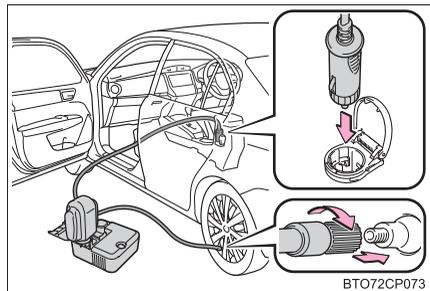
空気逃がしキャップを取り付けないとパンク補修液が漏れ、お車が汚れる可能性があります。



- 18 いったん、ボトルとコンプレッサーを接続したままトランク内に収納する

- 19 タイヤ内のパンク補修液を均等に広げるために、ただちに約5km、安全に走行する（速度80km/h以下）

- 20 走行後、ボトルのホースから空気逃がしキャップを取りはずし、再度応急修理キットを接続する

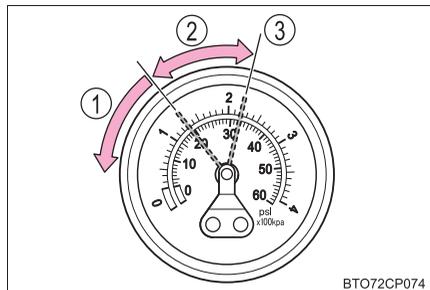


- 21 コンプレッサーのスイッチを約5秒間“ON”にし、“OFF”にして空気圧を確認する

- ① 空気圧が130kPa未満の場合：応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

- ② 空気圧が130kPa以上、指定空気圧未満の場合：22へ

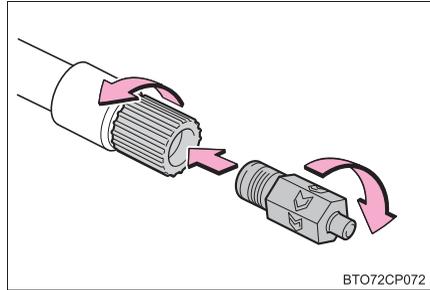
- ③ 空気圧が指定空気圧（→P.347）の場合：23へ



22 コンプレッサーのスイッチを“ON”にして指定空気圧まで空気を充填し、再度、約 5km 走行後にあらためて 20 から実施する

23 ボトルのホース先端に空気逃がしキャップを取り付ける

空気逃がしキャップを取り付けないとパンク補修液がもれ、お車が汚れる可能性があります。



24 ボトルとコンプレッサーを接続したままトランク内に収納する

25 急ブレーキ、急加速。急ハンドルを避け、慎重に 80km/h 以下で運転してトヨタ販売店へ行きます。

タイヤの修理・交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。

知識

■ 応急修理キットで修理できないパンク

次の場合は、応急修理キットでは応急修理できません。トヨタ販売店にご連絡ください。

- タイヤ空気圧が不十分な状態で走行してタイヤが損傷しているとき
- タイヤ側面など、接地面以外に穴や損傷があるとき
- タイヤがホイールから明らかにはずれているとき
- タイヤに 4mm 以上の切り傷や刺し傷があるとき
- ホイールが破損しているとき
- 2 本以上のタイヤがパンクしているとき
- 1 本のタイヤに 2ヶ所以上の切り傷や刺し傷があるとき

■ 応急修理後のタイヤのバルブについて

応急修理キットを使用したときは、タイヤのバルブを新品に交換してください。

■ 応急修理キットの点検について

パンク補修液の有効期限の確認は定期的に行ってください。

有効期限はボトルに表示されています。

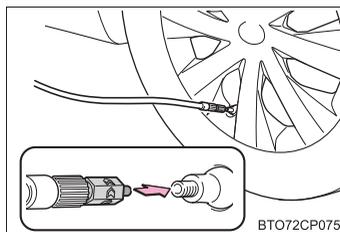
有効期限が切れたパンク修理液は使用しないでください。応急修理キットによる修理が正常にできない場合があります。

■ 応急修理キットについて

- 応急修理キットは自動車タイヤの空気充填用です。
- パンク補修液には有効期限があります。有効期限は容器に表示されています。有効期限が切れる前に交換してください。交換については、トヨタ販売店にご相談ください。
- パンク補修液ボトル1本でタイヤ1本を1回応急修理できます。使用したパンク補修液の交換は、トヨタ販売店にご相談ください。コンプレッサーは、くり返し使用できます。
- 外気温度が -30°C ～ 60°C のときに使用できます。
- 応急修理キット搭載車両の装着タイヤ専用です。指定タイヤサイズ以外のタイヤや、他の用途には使用しないでください。
- パンク補修液が衣服に付着すると、シミになる場合があります。
- パンク補修液がホイールやボデーに付着した場合、放置すると取れなくなるおそれがあります。ぬれた布などですみやかにふき取ってください。
- 応急修理キット作動中は、大きな音が出ますが故障ではありません。
- タイヤ空気圧の点検や調整には使用しないでください。

■ 空気を入れすぎてしまったとき

- 1 タイヤからホースを取りはずす
- 2 ホース先端に空気逃がしキャップをかぶせ、キャップの突起部をタイヤのバルブに押しあてて空気を抜く



- 3 ホースから空気逃がしキャップを取りはずし、ホースを再接続する
- 4 応急修理キットのスイッチを“ON”にして数秒間経過後、スイッチを“OFF”にして空気圧計を確認する
指定空気圧より低いときは、再度、応急修理キットのスイッチを“ON”にし、指定空気圧になるまで空気を充填してください。

 **警告****■ 応急修理キットについて**

- 応急修理キットは指定の位置に収納してください。
急ブレーキ時などに応急修理キットが飛び出したりして破損したり、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 応急修理キットはお客様の車専用です。他の車には使わないでください。他の車に使うと思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- 指定タイヤサイズ以外のタイヤや他の用途には使用しないでください。パンク修理が完全に行われず、思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。

■ パンク補修液について

- 誤って飲み込むと健康に害があります。その場合はできるだけたくさん水を飲み、ただちに医師の診察を受けてください。
- もし目に入ったり、皮膚に付着したりした場合には、水でよく洗い流してください。それでも異常を感じたときは、医師の診察を受けてください。

■ パンクしたタイヤを応急修理するとき

- 車両を安全で平坦な場所に停止させてください。
- 走行直後、ホイールやブレーキまわりなどにはふれないでください
走行直後のホイールやブレーキまわりは高温になっている可能性があるため手や足などがふれると、やけどをするおそれがあります。
- タイヤを車両に取り付けた状態で、バルブとホースをしっかりと接続してください。
- 接続が不十分な場合、空気がもれたり、パンク補修液が飛散したりするおそれがあります。
- 充填中にホースがはずれると、圧力でホースが急に動くおそれがあり危険です。
- 充填後、ホースを取りはずすときや空気を抜くときにパンク補修液が飛散する場合があります。
- 作業手順に従って応急修理を行ってください。
手順どおりに行わないとパンク補修液が噴出する場合があります。
- 破裂の危険があるので、応急修理キットの作動中は補修中のタイヤから離れてください。タイヤに亀裂や変形が発生している場合、ただちにキットのスイッチを“OFF”にし、修理を中止してください。
- 応急修理キットは、長時間作動させると過熱する可能性があります。40分以上連続で作動させないでください。

 **警告**

- 応急修理キットの作動中は、部分的に熱くなります。使用中、または使用後の取り扱いには注意してください。
- 速度制限シールは指定位置以外に貼らないでください。ハンドルのパッド部分などの SRS エアバッグ展開部に貼ると、SRS エアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。

■ 補修液を均等に広げるための運転について

- 低速で慎重に運転してください。特にカーブや旋回時には注意してください。
- 車がまっすぐ走行しなかったり、ハンドルをとられたりする場合は、停車し、次のことを確認してください。
 - ・ タイヤを確認してください。タイヤがホイールからはずれている可能性があります。
 - ・ 空気圧を確認してください。130kPa 未満の場合は、タイヤが大きなダメージを受けている可能性があります。

 **注意****■ 応急修理をするとき**

- タイヤに刺さった釘やネジを取り除かずに応急修理を行ってください。取り除いてしまうと、応急修理キットでは応急修理ができなくなる場合があります。
- 応急修理キットに防水機能はありません。降雨時などは、水がかからないようにして使用してください。
- 砂地などの砂ぼこりの多い場所に直接置いて使用しないでください。砂ぼこりなどを吸い込むと、故障の原因になります。

■ 応急修理キットについて

- 応急修理キットは DC12V 専用です。他の電源での使用はできません。
- 応急修理キットにガソリンがかかると、劣化するおそれがあります。ガソリンがかからないようにしてください。
- 応急修理キットは砂埃や水を避けて収納してください。
- 応急修理キットは指定の位置に収納し、お子さまが誤って手をふれないようご注意ください。
- 分解・改造などは絶対にしないでください。また、圧力計などに衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

ハイブリッドシステムが始動できないときは

ハイブリッドシステムが始動できない原因は状況によって異なります。次のことをご確認いただき、適切に対処してください。

正しいハイブリッドシステムの始動方法 (→P. 138, 142) に従っても始動できない

次の原因が考えられます。

- 電子キー★が正常に働いていない可能性があります。(→P. 329)
- 燃料が入っていない可能性があります。
給油してください。
- イモビライザーシステム★に異常がある可能性があります。
(→P. 63)
- ステアリングロックシステムに異常がある可能性があります。
- スマートエントリー&スタートシステム装着車：電子キーの電池切れやヒューズ切れなど、電気系統異常の可能性があります。異常の種類によっては、ハイブリッドシステムを一時的な処置で始動することができます。(→P. 327)

室内灯・ヘッドランプが暗い／ホーンの音が小さい、または鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- 補機バッテリーあがりの可能性があります。(→P. 331)
- 補機バッテリーのターミナルがゆるんでいる可能性があります。

室内灯・ヘッドランプが点灯しない／ホーンが鳴らない場合

次の原因が考えられます。

- 補機バッテリーのターミナルがはずれている可能性があります。
 - 補機バッテリーあがりの可能性があります。(→P. 331)
- 対処の方法がわからないとき、あるいは対処をしてもハイブリッドシステムが始動しないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

緊急始動機能（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

通常のハイブリッドシステム始動操作でハイブリッドシステムが始動しないときは、次の手順でハイブリッドシステムが始動する場合があります。

緊急時以外は、この方法で始動させないでください。

- 1 パーキングブレーキがかかっていることを確認する
- 2 シフトレバーがPの位置にあることを確認する
- 3 パワースイッチをアクセサリモードにする
- 4 ブレーキペダルをしっかりと踏んでパワースイッチを約15秒以上押し続ける

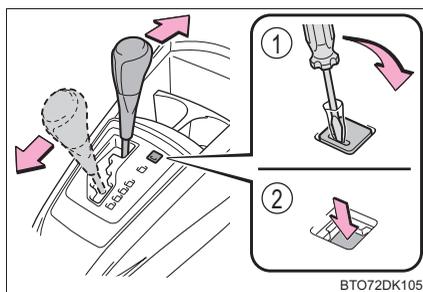
上記の方法でハイブリッドシステムが始動しても、システムの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

シフトレバーがシフトできないときは

ブレーキペダルを踏んだ状態でシフトレバーがシフトできない場合、シフトロックシステム（シフトレバーの誤操作を防ぐ装置）などの故障が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。ただし一時的な処置として、次の方法でシフトレバーをシフトすることができます。

- 1 パーキングブレーキをかける
- 2 エンジンスイッチ★を“ACC”、または パワースイッチ★をアクセサリモードにする
- 3 ブレーキペダルを踏む
- 4 シフトロック解除ボタンを押す
 - ① マイナスドライバーなどを
使ってカバーを取りはずす
 - ② シフトロック解除ボタンを押す

ボタンを押しているあいだは、レバーをシフトできます。



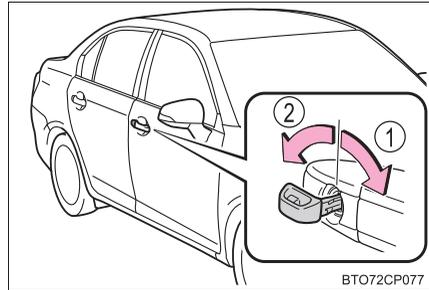
電子キーが正常に働かないときは (スマートエントリー&スタートシステム装着車)

電子キーと車両間の通信がさまたげられたり (→P. 100)、電子キーの電池が切れたときは、スマートエントリー&スタートシステムとワイヤレスリモコンが使用できなくなります。このような場合、次の手順でドアを開けたり、ハイブリッドシステムを始動したりすることができます。

ドアの施錠・解錠

メカニカルキー (→P. 93) を使って次の操作ができます。

- ① 全ドア施錠
- ② 全ドア解錠

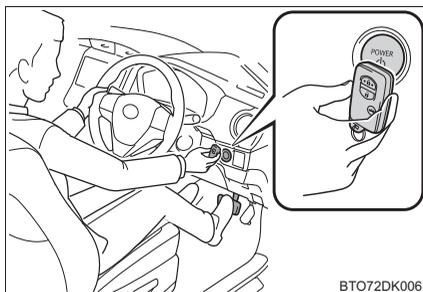


ハイブリッドシステム始動の方法

1 シフトレバーがPの状態ブレーキペダルをしっかりと踏む

2 電子キーのトヨタエンブレム面で、パワースイッチにふれる

電子キーを認識するとブザーが鳴り、ONモードへ切りかわります。カスタマイズ機能でスマートエントリー&スタートシステムをキャンセルしたときは、アクセサリモードへ切りかわります。



BTO72DK006

3 ブレーキペダルをしっかりと踏み込んで、マルチインフォメーションディスプレイに  が表示されていることを確認する

4 パワースイッチを押す

処置をしても作動しないときは、トヨタ販売店にご連絡ください。

知識

■ハイブリッドシステムの停止方法

通常のハイブリッドシステムの停止方法と同様に、シフトレバーをPにしてパワースイッチを押します。

■電池交換について

ここで説明しているハイブリッドシステムの始動方法は一時的な処置です。電池が切れたときは、ただちに電池の交換をおすすめします。(→P. 247)

■モードの切りかえ

ハイブリッドシステム始動の手順3で、ブレーキペダルから足を離してパワースイッチを押すと、ハイブリッドシステムが始動せず、スイッチを押すごとにモードが切りかわります。(→P. 143)

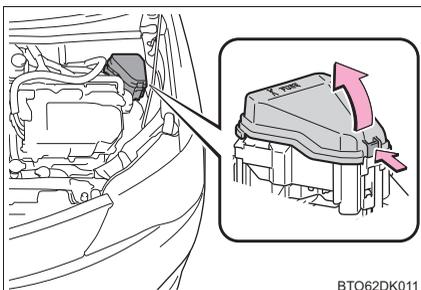
補機バッテリーがあがったときは

補機バッテリーがあがった場合、次の手順でハイブリッドシステムを始動することができます。

ブースターケーブルと 12V のバッテリー付き救援車があれば、次の手順に従って、ハイブリッドシステムを始動させることができます。

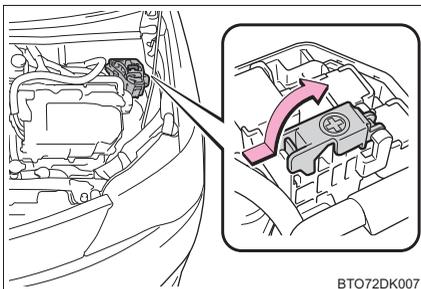
- 1 ボンネットを開け、ヒューズボックスのカバーをはずす

ツメを押しながら、カバーを持ち上げます。

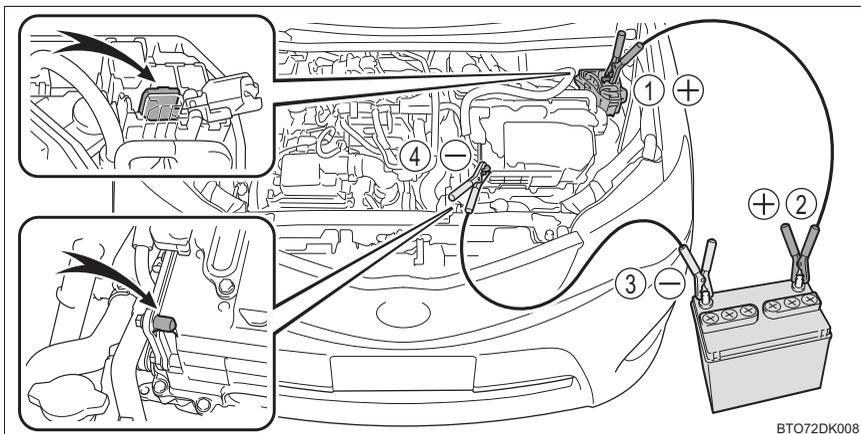


- 2 ヒューズボックス内の救援用端子カバーを開ける

ツメを押しながら、カバーを持ち上げます。



3 ブースターケーブルを次の順につなぐ



- ① 赤色のブースターケーブルを自車の救援用端子につなぐ
 - ② 赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリーの+端子につなぐ
 - ③ 黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリーの-端子につなぐ
 - ④ 黒色のブースターケーブルのもう一方の端を、未塗装の金属部（図に示すような固定された部分）につなぐ
- 4 救援車のエンジンをかけ、回転数を少し高めにして、約5分間自車の補機バッテリーを充電する
 - 5 スマートエントリー&スタートシステム装着車はパワースイッチがOFFの状態ですずれかのドアを開閉する
 - 6 救援車のエンジン回転を維持したまま、エンジンスイッチ★をいったんON、またはパワースイッチ★をいったんONモードにしてからハイブリッドシステムを始動する
 - 7 READY インジケーターが点灯することを確認する
点灯しない場合はトヨタ販売店にご連絡ください。
 - 8 ハイブリッドシステムが始動したら、ブースターケーブルをつないだときと逆の順ではずす
 - 9 救援用端子カバーを閉じ、ヒューズボックスのカバーをもとどおりに取り付ける
ヒューズボックスのカバーは、奥にあるツメ（2ヶ所）を先に引っかけてから取り付けてください。

ハイブリッドシステムが始動しても、早めにトヨタ販売店で点検を受けてください

★：仕様により異なる装備やオプション装備

 知識**■ 補機バッテリーあがり時の始動について**

この車両は、押しがけによる始動はできません。

■ 補機バッテリーあがりを防ぐために

- ハイブリッドシステムが停止しているときは、ランプやオーディオの電源を切ってください。
- 渋滞などで長時間止まっているときは、不必要な電装品の電源を切ってください。

■ 補機バッテリーがあがったときの留意事項（スマートエントリー&スタートシステム装着車）

- 補機バッテリーがあがった直後はスマートエントリー&スタートシステムによるドアの解錠ができない場合があります。解錠できなかった場合は、ワイヤレスリモコン、またはメカニカルキーで解錠・施錠をしてください。
- 補機バッテリーがあがったあとの、最初のハイブリッドシステム始動はできないことがあります。2回目以降のハイブリッドシステム始動は正常に動作しますので、問題ではありません。
- 車両は常に パワースイッチの状態を記憶しています。補機バッテリーあがり時、補機バッテリー脱着後は、車両は補機バッテリーがあがる前の状態に復帰します。補機バッテリーを脱着する際は、パワースイッチを OFF にしてから行ってください。
補機バッテリーあがり前の パワースイッチの状態が不明の場合、補機バッテリー接続時は特に注意してください。

■ 補機バッテリーがあがってしまった場合は

コンピューターに記憶されている情報が消去されます。バッテリーがあがったときはトヨタ販売店で点検を受けてください。

■ 補機バッテリーの充電について

補機バッテリーの電力は、車両を使用していないあいだも、一部の電装品による消費や自然放電のために、少しずつ消費されています。そのため、車両を長期間放置すると、補機バッテリーがあがってハイブリッドシステムを始動できなくなるおそれがあります。（補機バッテリーはハイブリッドシステムの作動中に自動で充電されます）

 **警告****■ 補機バッテリーの引火または爆発を防ぐために**

補機バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険ですので、火や火花が発生しないよう、次のことをお守りください。

- ブースターケーブルは正しい端子以外に接続しない
- +端子に接続したブースターケーブルの先を付近のブラケットや未塗装の金属部に接触させない
- ブースターケーブルは+側と-側の端子を絶対に接触させない
- 補機バッテリー付近では、喫煙したりマッチやライターなどで火を起こさない

■ 補機バッテリーあがりの処置をしたあとは

早めにトヨタ販売店で補機バッテリーの点検を受けてください。
補機バッテリーが劣化している場合、そのまま使い続けると補機バッテリーから異臭ガスが発生し、乗員に健康障害をおよぼすおそれがあり危険です。

■ 補機バッテリーの交換について

→P. 240

■ 補機バッテリーの取り扱いについて

補機バッテリー内には有毒で腐食性のある酸性の電解液が入っており、また関連部品には鉛または鉛の混合物を含んでいるので、取り扱いに関し、次のことを必ずお守りください。

- 補機バッテリーを取り扱うときは保護メガネを着用し、液（酸）が皮膚・衣服・車体に付着しないようにする
- 必要以上、顔や頭などを補機バッテリーに近付けない
- 誤ってバッテリー液が体に付着したり目に入ったたりした場合、ただちに大量の水で洗い、すぐに医師の診察を受ける
また、医師の診察を受けるまで、水を含ませたスポンジや布を患部にあてておく
- 誤ってバッテリー液を飲み込んだ場合、多量の水を飲んで、すぐに医師の診察を受ける
- 補機バッテリーの支柱・ターミナル・その他の関連部品の取り扱い後は手を洗う
- お子さまを補機バッテリーに近付けない

 **注意****■ ブースターケーブルの取り扱いについて**

ブースターケーブルを接続したり、取りはずすときは、冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分注意してください。

■ 救援用端子について

この車の救援用端子は、他の車から応急的に補機バッテリーを充電するためのものです。

この救援用端子を使用して、他の車のバッテリーあがりを救援することはできません。

オーバーヒートしたときは

次のような場合は、オーバーヒートの可能性があります。

- マルチインフォメーションディスプレイに「エンジン冷却水高温」が表示されたり、ハイブリッドシステムの出力が低下する（スピードが出ないなど）
- マルチインフォメーションディスプレイに「ハイブリッドシステム過熱 出力制限中です」が表示される
- エンジンルームから蒸気が出る

対処方法

- マルチインフォメーションディスプレイに「エンジン冷却水高温」が表示されたとき

1 安全な場所に停車し、エアコンをオフにしてから、ハイブリッドシステムを停止する

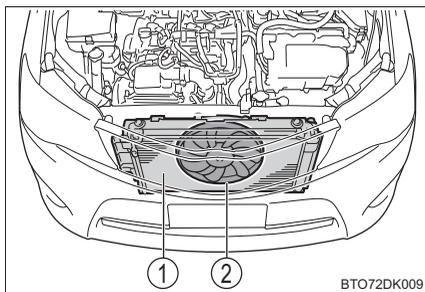
2 蒸気が出ている場合：
蒸気が出なくなったことを確認してから、注意してボンネットを開ける

蒸気が出ていない場合：
注意してボンネットを開ける

3 ハイブリッドシステムが十分に冷えてから、ラジエーターコア部（放熱部）やホースなどからの冷却水もれを点検する

- ① ラジエーター
- ② ファン

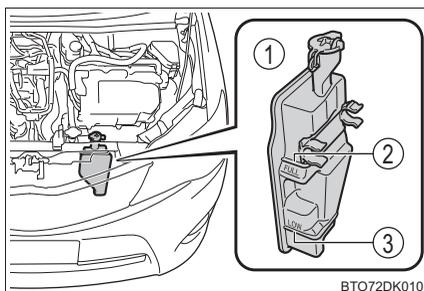
多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。



BTO72DK009

- 4 冷却水の量がリザーバータンクの“FULL”（上限）と“LOW”（下限）のあいだにあるかを点検する

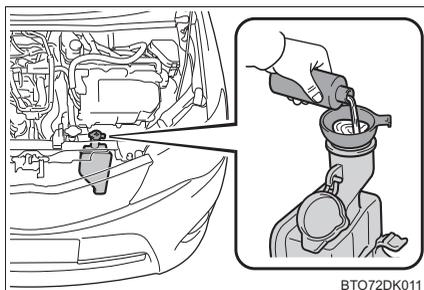
- ① リザーバータンク
- ② “FULL”（上限）
- ③ “LOW”（下限）



BTO72DK010

- 5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する（→P. 346）

冷却水がない場合は、応急処置として水を補給してください。



BTO72DK011

- 6 ハイブリッドシステムを始動し、エアコンを作動させてラジエーター冷却用のファンが作動しているか、およびラジエーターコアやホースなどから冷却水もれがないことを再度確認する

ハイブリッドシステムが冷えた状態での始動直後は、エアコンをオンにすることでファンが作動します。ファンの音や風で確認してください。わかりにくいときは、エアコンのオン・オフをくり返してください。

（ただし、氷点下となる寒冷時はファンが作動しないことがあります）

- 7 ファンが作動していない場合：
すぐにハイブリッドシステムを停止し、トヨタ販売店に連絡する
- ファンが作動している場合：
最寄りのトヨタ販売店で点検を受ける

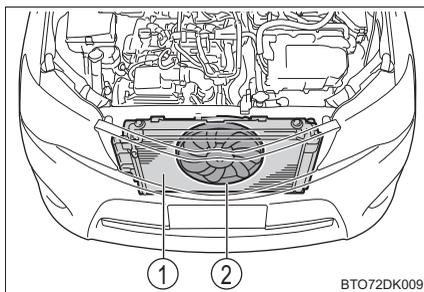
■ マルチインフォメーションディスプレイに「ハイブリッドシステム過熱 出力制限中です」が表示されたとき

- 1 安全な場所に停車する
- 2 ハイブリッドシステムを停止し、注意してボンネットを開ける

- 3 ハイブリッドシステムが十分に冷えてから、ラジエーターコア部（放熱部）やホースなどからの冷却水もれを点検する

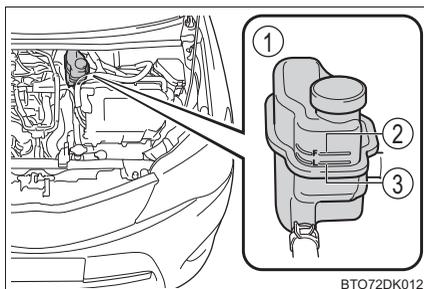
- ① ラジエーター
- ② ファン

多量の冷却水もれがある場合は、ただちにトヨタ販売店に連絡してください。



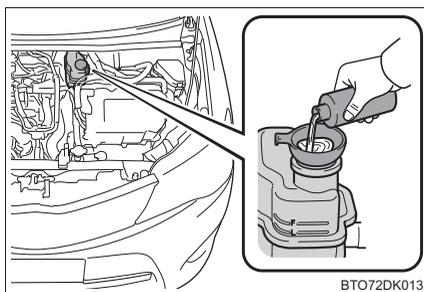
- 4 冷却水の量がリザーバータンクの“F”（上限）と“L”（下限）のあいだにあるかを点検する

- ① リザーバータンク
- ② “F”（上限）
- ③ “L”（下限）



- 5 冷却水が不足している場合は、冷却水を補給する（→P. 346）

冷却水がない場合は、応急処置として水を補給してください。



- 6 ハイブリッドシステムを始動し、マルチインフォメーションディスプレイを確認する

表示が消えない場合：

ハイブリッドシステムを停止してトヨタ販売店に連絡する

表示が消えている場合：

最寄りのトヨタ販売店で点検を受ける

 **警告****■ エンジンルーム点検中の事故やけがをふせぐために**

- エンジンルームから蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハイブリッドシステムの停止後は、READY インジケーターが消灯していることを確認してください。ハイブリッドシステムが作動していると、ガソリンエンジンが自動的に動き出したり、ガソリンエンジンが停止していても、冷却ファンが急にまわり出すことがあります。ベルトやファンなどの回転部分にふれたり、近付いたりすると、手や着衣（特にネクタイ・スカーフ・マフラーなど）が巻き込まれたりして、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- ハイブリッドシステムおよびラジエーターが熱いうちは、冷却水リザーバータンクのキャップを開けないでください。
高温の蒸気や冷却水が圧力によって噴き出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

 **注意****■ 冷却水を入れるとき**

ハイブリッドシステムが十分に冷えてからゆっくり入れてください。
ハイブリッドシステムが熱いときに急に冷たい冷却水を入れると、ハイブリッドシステムが損傷するおそれがあります。

■ 冷却システムの故障を防ぐために

次のことをお守りください

- 異物（砂やほこりなど）を冷却水に混入させない
- 冷却水用添加剤を使用しない

スタックしたときは

ぬかるみや砂地・雪道などでタイヤが空転したり埋まり込んで動けなくなったときは次の方法で脱出してください。

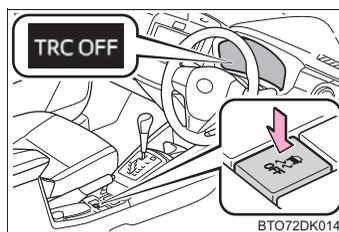
- 1 パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPにしてハイブリッドシステムを停止する
- 2 前輪周辺の土や雪などを取り除く
- 3 前輪の下に木や石などをあてがう
- 4 ハイブリッドシステムを再始動する
- 5 シフトレバーをDまたはRに入れ、パーキングブレーキを解除して注意しながらアクセルペダルを踏む

知識

■脱出しにくいとき



を押し、TRCをOFFにしてください。



警告

■脱出するとき

前進と後退をくり返してスタックから脱出する場合、他の車・ものまたは人との衝突を避けるため周囲に何も無いことを確認してください。スタックから脱出するとき、車が前方または後方に飛び出すおそれがありますので、特に注意してください。

■シフトレバーを操作するとき

アクセルペダルを踏み込んだまま操作しないように気を付けてください。車が急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

 **注意****■ トランスミッションやその他の部品への損傷を避けるために**

- 前輪が空転するのを避け、必要以上にアクセルペダルを踏まないでください。
- 上記の方法で脱出できなかった場合、けん引による救援が必要です。

車両情報

8

8-1. 仕様一覧

メンテナンスデータ
(指定燃料・オイル量など) .344

8-2. カスタマイズ機能

ユーザーカスタマイズ
機能一覧.....349

メンテナンスデータ（指定燃料・オイル量など）

使用するオイルや液類の品質により、お車の寿命は著しく左右されます。お車には、最も適した弊社純正オイル・液類（以下、「指定銘柄」といいます）のご使用をおすすめします。

指定銘柄以外を使用される場合は、指定銘柄に相当する品質のものをご使用ください。

燃料

指定燃料	容量 [L]（参考値）
無鉛レギュラーガソリン	36

エンジンオイル

指定銘柄	容量 [L]（参考値※ ¹ ）	
	オイルのみ交換	オイルとオイルフィルター交換
トヨタキャッスルモーターオイル SN 0W-20※ ² —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 0W-20 トヨタキャッスルモーターオイル SN 5W-20 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-20 トヨタキャッスルモーターオイル SN 5W-30 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30 トヨタキャッスルモーターオイル SN 10W-30 —API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 10W-30	3.4	3.7

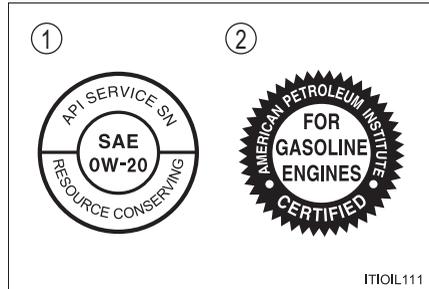
※¹ エンジンオイルの容量は交換する際の目安です。オイル量の確認は、エンジンの暖機後にハイブリッドシステムを停止し、5分以上経過してからレベルゲージで行ってください。

※² 0W-20 は上記表の指定銘柄の中では、最も省燃費性に優れたオイルです。

■ 指定エンジンオイル

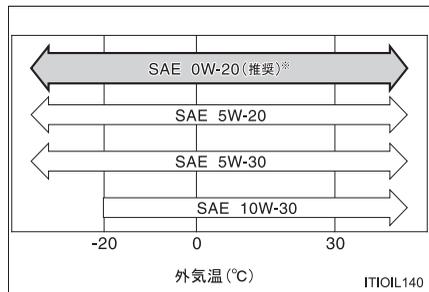
API 規格 SN/RC、SM/EC か、ILSAC 規格合格油をおすすめします。
 なお、ILSAC 規格合格油の缶には ILSAC CERTIFICATION (イル
 サックサーティフィケーション) マークが付いています。

- ① API マーク
- ② ILSAC CERTIFICATION
マーク



■ エンジンオイル推奨粘度

下記表に基づき、外気温に適した粘度のものをご使用ください。



※ 0W-20 は新車時に充填されており、上記図に示す中では、最も省燃費性に優れるオイルです。

オイル粘度について (例として 0W-20 で説明します) :

- ・ 0W-20 の 0W は、低温時のエンジン始動特性を示しています。W の前の数値が小さいほど冬場や寒冷時のエンジン始動が容易になります。
- ・ 0W-20 の 20 は、高温時の粘度特性を示しています。粘度の高い (数値が大きい) オイルは、高速または重負荷走行に適しています。

ラジエーター

指定銘柄	容量 [L] (参考値)	
	ガソリンエンジン	インバーター
トヨタ純正スーパーロングライフクーラント	寒冷地仕様車 5.3	1.6
凍結保証温度 濃度 30% - 12°C 濃度 50% - 35°C	寒冷地仕様車を除く 4.5	

トランスミッション

指定銘柄	容量 [L] (参考値*)
トヨタ純正オートフルード WS	3.3

* 交換が必要な際はトヨタ販売店にご相談ください。

ブレーキ

■ ブレーキフルード

指定銘柄
トヨタ純正ブレーキフルード 2500H-A

■ ブレーキペダル

項目	基準値 [mm]
遊び	1 ~ 6
踏み込んだときの床板とのすき間*	70

* ハイブリッドシステムが作動している状態で 294N (30kgf) の踏力をかけたときの床板とのすき間の最小値

■ パーキングブレーキ

項目	基準値 (回数)
引きしろ 操作力 200N (20.4kgf) のときのノッチ*数	8 ~ 11

* ノッチとは、パーキングブレーキをかけるときの節度 (“カチッ”) という音のことです

ウォッシャータンク

容量 [L] (参考値)
2.3

タイヤ・ホイール

タイヤサイズ		ホイール サイズ	タイヤが冷えている ときの空気圧 kPa (kg/cm ²)	
			前輪	後輪
標準タイヤ	175/65R15 84H	15 × 5J	230 (2.3)	
応急用タイヤ★	T125/70D16 96M	16 × 4T	420 (4.2)	

電球 (バルブ)

電球		W (ワット) 数
車外	ヘッドランプ ハロゲンヘッドランプ装着車 (バルブタイプ: H4)	60/55
	ディスチャージヘッドランプ装着車 ハイビーム (バルブタイプ: HB3)	60
	ロービーム (ディスチャージヘッドランプ: D4S)	35
	車幅灯	5
	フロント方向指示灯/非常点滅灯	21
	サイド方向指示灯/非常点滅灯	5
	リヤ方向指示灯/非常点滅灯	21
	尾灯	5
車内	後退灯	16
	番号灯	5
	パーソナルランプ	8
	ルームランプ	8
	トランクランプ	3.8

※ 表に記載のないランプはLEDを採用しています。

★: 仕様により異なる装備やオプション装備

車両仕様

名称	型式	エンジン	電動機型式	駆動方式
カローラ アクシオ ハイブリッド	NKE165	1NZ-FXE (1.5L ガソリン)	1LM	FF (前輪駆動)

ユーザーカスタマイズ機能一覧

お車には、設定を変更することが可能な数多くの装備が付いています。
トヨタ販売店で作動などをご希望の設定に変更することができます。

項目	機能の内容	初期設定	変更後
スマートエントリー& スタートシステム★ (→P. 95)	スマートエントリー& スタートシステムの作 動	あり	なし
	作動の合図 (ブザー)	あり	なし
	作動の合図 (非常点滅灯)	あり	なし
	解錠後、ドアを開けな かったときの自動施錠 までの時間	30 秒	60 秒
			120 秒
	半ドア警告ブザー	あり	なし
連続してできる施錠操 作の回数	2 回	無制限	
ワイヤレスドアロック (→P. 105) (スマートエントリー &スタートシステム 装着車)	ワイヤレス機能	あり	なし
	作動の合図 (ブザー)	あり	なし
	作動の合図 (ブザー音量)	レベル7	レベル0～7
	作動の合図 (非常点滅灯)	あり	なし
	解錠後、ドアを開けな かったときの自動施錠 までの時間	30 秒	60 秒
			120 秒
	半ドア警告ブザー	あり	なし
	トランク解錠時の操作	1 回押し続 ける (短)	1 回押し
2 回押し			
1 回押し続け る (長)			
禁止			

★：仕様により異なる装備やオプション装備

項目	機能の内容	初期設定	変更後
ワイヤレスドアロック (→P. 105) (スマートエントリー &スタートシステム 非装着車)	ワイヤレス機能	あり	なし
	作動の合図 (非常点滅 灯)	あり	なし
	解錠後、ドアを開けな かったときの自動施錠 までの時間	30 秒	60 秒 120 秒
ランプ自動点灯・消灯 システム★ (→P. 157, 160)	ライトセンサーの感度	レベル 3	レベル 1 ~ 5
	暗さを検知してからラ ンプを点灯するまでの 時間	標準	長め
	オートマチックハイ ビーム	作動	非作動
イルミネーション (→P. 216)	消灯までの時間	15 秒	7.5 秒 30 秒
	解錠後の作動	あり	なし
	エンジンスイッチ★ “LOCK” 後の作動	あり	なし
	パワースイッチ★OFF 後の作動	あり	なし
車両接近通報装置 (→P. 57)	音量調整	レベル 1	レベル 2
			レベル 3

知識

■ 車両カスタマイズについて

解錠後、ドアを開けなかったときの自動施錠が作動したときの合図は、「作動の合図 (非常点滅灯)」・「作動の合図音量 (ブザー音量調整)」の設定に依存します。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

さくいん

こんなときは (症状別さくいん).....	352
車から音が鳴ったときは (音さくいん)	356
アルファベット順さくいん.....	357
五十音順さくいん	358

こんなときは（症状別さくいん）

お困りの際は、トヨタ販売店にご連絡いただく前にまず次のことを確認してください。

施錠／解錠／ドアの開閉ができない



キーをなくした

- キーまたはメカニカルキーをなくした場合、トヨタ販売店でトヨタ純正の新しいキーまたはメカニカルキーを作ることができます。（→P. 93）
- キーまたは電子キーをなくすと盗難の危険性が極めて高くなるため、ただちにトヨタ販売店にご相談ください。（→P. 94）



施錠・解錠できない

- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？（→P. 247）
- スマートエントリー&スタートシステム装着車
パワースイッチがONモードになっていませんか？
施錠するときはパワースイッチをOFFにしてください（→P. 143）
- スマートエントリー&スタートシステム装着車
電子キーを車内に置き忘れていませんか？
施錠するときは、電子キーを携帯していることを確認してください。
- 電波状況により、機能が正常に働いていない可能性があります。
（→P. 100, 106）



リヤドアが開かない

- チャイルドプロテクターがかかっていますか？
- チャイルドプロテクターがかかっていると車内からは開きません。
いったん車外から開けて、チャイルドプロテクターを解除してください。
（→P. 110）

故障かな？と思ったら



ハイブリッドシステムが始動しない （スマートエントリー&スタートシステム非装着車）

- シフトレバーは P になっていますか？（→P. 138）
- ステアリングロックされていませんか？（→P. 140）
- 補機バッテリーがあがっていませんか？（→P. 331）



ハイブリッドシステムが始動しない （スマートエントリー&スタートシステム装着車）

- ブレーキペダルをしっかりと踏みながらパワースイッチ押していますか？（→P. 142）
- シフトレバーは P になっていますか？（→P. 145）
- キーが車内の検知される場所にありますか？（→P. 97）
- ステアリングロックされていませんか？（→P. 145）
- キーの電池が消耗、または電池が切れていませんか？
このときは、一時的な方法でハイブリッドシステムを始動することができます。（→P. 330）
- 補機バッテリーがあがっていませんか？（→P. 331）



ブレーキペダルを踏んでいてもシフトレバーが P から動かない

- スマートエントリー&スタートシステム非装着車
エンジンスイッチの位置が“ON”になっていますか？
エンジンスイッチの位置が“ON”でブレーキを踏んでも解除できないときは（→P. 328）を参照してください。
- スマートエントリー&スタートシステム装着車
パワースイッチは ON モードになっていますか？
パワースイッチが ON モードでブレーキを踏んでも解除できないときは（→P. 328）を参照してください。



ハイブリッドシステムを停止したあとにハンドルがまわせなくなった

- スマートエントリー&スタートシステム非装着車
盗難防止のため、キーをエンジンスイッチから抜くとロックされます。
(→P. 139)
 - スマートエントリー&スタートシステム装着車
盗難防止のため、自動的にロックされます。(→P. 145)
-



パワーウィンドウスイッチを操作してもドアガラスが開閉しない

- ウィンドウロックスイッチが押されていませんか？
ウィンドウロックスイッチが押されていると、運転席以外のパワーウィンドウは操作できなくなります。(→P. 125)
-



パワースイッチが自動的に OFF になった（スマートエントリー & スタートシステム装着車）

- 一定時間アクセサリモードまたは ON モード（ハイブリッドシステムが作動していない状態）にしておくと、自動電源 OFF 機能が作動します。
(→P. 144)
-



警告音が鳴りだした

- 警告音が鳴りだしたときは、「車から音が鳴ったときは（音さくいん）」
(→P. 356) をご確認ください。
-



警告灯や警告メッセージが表示されたとき

- 警告灯や警告メッセージが表示されたときは、P. 285, 289 をご確認ください。
-

トラブルが発生した



タイヤがパンクした

- 応急用タイヤ装着車
車を安全な場所に停め、パンクしたタイヤを応急用タイヤに交換してください。（→P. 303）
 - タイヤパンク応急修理キット装着車
車を安全な場所に停め、タイヤパンク応急修理キットでパンクしたタイヤを応急修理してください。（→P. 313）
-



立ち往生した

- むかるみ・砂地・雪道などで動けなくなったときの脱出方法を試してください。（→P. 340）
-

車から音が鳴ったときは（音さくいん）

次の状況のとき、車の状況や誤操作などをお知らせするために警告音が鳴ります。

車に乗るときとき／降りるとき

状況	原因	詳細
ドアを開閉したとき	電子キー★を車内に置き忘れている	P. 98 P. 299
	エンジンスイッチ★にキーが挿してある	P. 140
	シフトポジションがP以外になっている	P. 298
	車幅灯・ヘッドランプが点灯している	P. 157
トランクを閉めたとき	電子キー★をトランク内に置き忘れている	P. 112
ハイブリッドシステムを停止したとき	電子キー★の電池残量が少なくなっている	P. 301
施錠しようとしたとき	いずれかのドアが確実に閉まっていない	P. 98
	電子キー★を車内に置き忘れている	P. 299
	シフトポジションがP以外になっている	

走行しているとき

状況	原因	詳細
走り出したとき	いずれかのドア・トランクが確実に閉まっていない	P. 292
	パーキングブレーキが解除されていない	P. 287
	運転席・助手席のシートベルトを着用していない*	P. 287
ブレーキペダルを踏んだとき（きしみやひっかき音）	ブレーキパッドが摩耗しているおそれがある	P. 134

* 助手席に荷物を置いている場合にもブザーが鳴ることがあります。

★：仕様により異なる装備やオプション装備

アルファベット順さくいん

A/C	
(エアコン).....	184
ABS	
(アンチロックブレーキシステム).....	171, 286
ACC	
(アクセサリ).....	139
AHB	
(オートマチックハイビーム).....	158, 291
EDR	
(イベントデータレコーダー).....	8
EPS	
(電動リックパワーステアリング).....	171
EV	
(電動リックビークル).....	148
FF	
(フロントエンジンフロントドライブ).....	348
ILSAC CERTIFICATION	
(イルサックサーティフィケーション).....	345
ISOFIX	
(アイソフィックス/イソフィックス).....	39, 47
SRS	
(サブリメンタルレストレイントシステム).....	30, 286
TRC	
(トラクションコントロール).....	171
VSC	
(ビークルスタビリティコントロール).....	171

五十音順さくいん

あ

アースポイント (補機バッテリーあがりの処置)	331
アームレスト (リヤアームレスト)	229
アウターミラー (ドアミラー) ...	122
操作	122
レインクリアリング ミラー	123, 233
アクセサリースocket	226
アクセサリモード	143
アシストグリップ	230
アンチロックブレーキシステム (ABS)	171
アンテナ (スマートエントリー& スタートシステム)	97

い

EV ドライブモード	148
イグニッションスイッチ (エンジンスイッチ)	138, 142
位置交換 (タイヤローテーション)	244
イベントデータレコーダー (EDR)	8
イモビライザーシステム	63
イルミネーテッドエントリー システム	216
インジケーター (表示灯)	68
インナーミラー	120

う

ウインカー (方向指示灯)	152
電球 (バルブ) の交換	257
方向指示レバー	152
ワット数	347

ウインドウ	125
ウオッシュャー	162, 165
パワーウインドウ	125
リヤウインドウ デフォッガー	192
ウインドウロックスイッチ	125
ウォーニングランプ (警告灯) ...	285
ウオッシュャー	162, 165
液の補給	243
スイッチ	162, 165
タンク容量	347
冬の前の準備・点検	179
動けなくなったときは (スタック)	340
運転	130
運転を補助する装置	171
寒冷時の運転	179
正しい運転姿勢	24
手順	130

え

エアコン	184
オートエアコン	184
フィルターの交換	268
エアバッグ	30
SRS エアバッグ警告灯	286
作動条件	35
配置	30
エネルギーモニター	76
エレクトリックパワーステアリング (EPS)	171
機能	171
パワーステアリング警告灯 ...	286

エンジン

エンジン警告灯	286
エンジンスイッチ	138, 142
ハイブリッドシステムの 始動方法	138, 142
オーバーヒート	336
ボンネット	238
エンジンオイル	344
警告メッセージ	289
冬の前の準備・点検	179
メンテナンスデータ	344
油圧警告表示	290
エンジンスイッチ	138, 142
エンジンフード (ボンネット) ...	238
開け方	238
エンジンルーム	
エンジンルームから 蒸気が出ている	336

お

オーディオ	194
MP3 / WMA	203
CD プレーヤー	198
オーディオ	194
ステアリングスイッチ	211
調整	209
ラジオ	196
オートエアコン	184
オートマチックハイビーム	158
オートレベリングシステム (ヘッドランプ)	157
オーバーヒート	336
オープナー	
給油口	169
トランク	111
ボンネット	238
オイル (エンジンオイル)	344

応急用タイヤ	303
空気圧	347
交換方法	303
お子さまを乗せるとき	38
ウインドウロックスイッチ ...	125
お子さまの安全のために	38
子供専用シート	39
シートベルトの着用	27
チャイルドシートの取り付け ...	47
チャイルドプロテクター	110
オドメーター	69
表示の切りかえ	70

か

カーテンシールドエアバッグ	30
カーペット	235
洗淨	236
フロアマットの取り付け方	22
外気温度表示	69
回生ブレーキ	55
外装の電球 (バルブ)	257
交換要領	257
ワット数	347
カスタマイズ機能	349
型式	348
カップホルダー	221
ガラスの曇り止め (リヤウインドウデフォグガー)	192
ガレージジャッキ	241
冠水路走行	136
寒冷時の運転	179

き

キー	92
ハイブリッドシステムが	
始動できない	326
キーナンバープレート	92
キーの構成	92
キーレスエントリー	95, 105
キーをなくした	93, 94
正常に働かない	329
施錠・解錠ができない	329
電子キー	92
電池が切れた	247, 329
メカニカルキー	92
ワイヤレスリモコン	105
キーレスエントリー	95, 105
スマートエントリー&	
スタートシステム	95
ワイヤレスドアロック	105
救援用端子	335
給油	167
給油のしかた	169
緊急時シートベルト固定機構	27

緊急時の対処

ハイブリッドシステムが	
始動できない	326
オーバーヒートした	336
キーの電池が切れた	247, 329
警告灯がついた	285
警告メッセージが	
表示された	289
けん引	278
故障したときは	272
シフトレバーが	
シフトできない	328
車両を緊急停止する	276
スタックした	340
電子キーが正常に働かない	329
発炎筒	274
補機バッテリーがあがった	331
パンクした	303, 313

<

空気圧 (タイヤ)	347
メンテナンスデータ	347
区間距離計	
(トリップメーター)	69
表示の切りかえ	70
曇り取り	192
フロントウインドウ	
ガラス	185, 193
ミラーヒーター	192
リヤウインドウ	
デフォッガー	192
クラクション (ホーン)	154
クリアランスランプ (車幅灯)	155
スイッチ	155
電球 (バルブ) の交換	257
ワット数	347

クリップ	
フロアマット	22
グローブボックス	218

け

警告器（ホーン）	154
計器類（メーター）	69
外気温表示	69
クロックセットボタン	225
照度調整	85
スピードメーター	69
タコメーター	69
時計表示	69
トリップインフォメーション ..	70
燃料計	69
マルチインフォメーション	
ディスプレイ	72
警告灯	67
ABS & ブレーキアシスト	286
SRS エアバッグ	286
エンジン	286
シートベルト非着用	287
スリップ表示灯	286
燃料残量	287
パワーステアリング	286
パーキングブレーキ未解除	287
ブレーキ	285, 286
マスターウォーニング	287
警告ブザー	
シートベルト非着用	287
パーキングブレーキ	
未解除走行時	287
パワーステアリング	286
半ドア	106
半ドア走行時	292
ランプ消し忘れ	157
リバーズ	151

警告メッセージ	289
化粧ミラー（パニティミラー）	224
けん引	278
けん引のしかた	278
フック	280

こ

コインホルダー	223
交換	
エアコンフィルター	268
キーの電池	247
タイヤ	303
電球（バルブ）	257
ヒューズ	250
工具（ツール）	304, 314
光軸調整ダイヤル	156
航続可能距離	77
後退灯（バックアップランプ）	
電球（バルブ）の交換	257
ワット数	347
高電圧部位	58
子供専用シート	39
選択方法	39
取り付け方	47
コンソールボックス	219
コンライト	
（自動点灯・消灯装置）	155

さ

サイドエアバッグ	30
サイド方向指示灯	152
電球（バルブ）の交換	266
方向指示レバー	152
ワット数	347

サイドミラー（ドアミラー）.....	122
操作	122
レインクリアリングミラー	123, 233
坂道発進補助機能.....	171
サービスプラグ.....	58
サンバイザー	224

し

シート	114
子供専用シート	39
正しい運転姿勢	24
調整	114
手入れ.....	235
フロントシート	114
ヘッドレスト.....	116
シートヒーター.....	227
シートベルト	26
お子さまの着用	27
緊急時シートベルト固定機構	27
シートベルト非着用警告灯	287
正しく着用するには	26
着け方・はずし方	26
手入れ.....	236
妊娠中の方の着用	28
シートベルトプリテンショナー	26
機能	26
プリテンショナー警告灯.....	286
室内灯（インテリアランプ）.....	214
操作	215
ワット数.....	347
始動のしかた	138, 142
シフトポジション.....	150

シフトレバー	150
シフトレンジの切りかえ	150
シフトロックシステム （解除ボタン）.....	328
操作	150
リバース警告ブザー	151
シフトレバーがシフト できないときは	328
締め付けトルク（ホイール）.....	311
ジャッキ	
ガレージジャッキ.....	241
車載ジャッキ	304, 314
ジャッキハンドル	304, 314
車幅灯.....	155
スイッチ	155
電球（バルブ）の交換	257
ワット数	347
車両型式.....	348
車両仕様（スペック）	344
車両接近通報装置	55
車両データの記録	7
車両を緊急停止するには.....	276
手動光軸調整ダイヤル.....	156
ジュニアシート	40
瞬間燃費.....	74, 78
助手席アッパーボックス.....	218
仕様（車両仕様）	344

す

スイッチ

EV ドライブモード.....	148
イグニッション.....	138, 142
ウインドウロック.....	125
ウォッシャー.....	162, 165
エコドライブモード.....	151
エンジンスイッチ.....	138, 142
オーディオ.....	194
オートマチックハイビーム....	158
シートヒーター.....	227
車両接近通報装置.....	55
ドアミラー.....	122
ドアロック.....	108
パワーウインドウ.....	125
非常点滅灯 （ハザードランプ）.....	273
VSC OFF.....	172
フロントワイパー デアイサー.....	193
ランプ.....	155
リヤウインドウ デフォグガー.....	192
ワイパー.....	162, 165
スタック.....	340
ステアリングホイール （ハンドル）.....	118
位置調整.....	118
ステアリングロック.....	140, 145
解除できないとき.....	140, 145
警告メッセージ.....	145
ストップランプ（制動灯） 電球（バルブ）の交換.....	266
スノータイヤ（冬用タイヤ）.....	179
スピードメーター.....	69

スペアタイヤ（応急用タイヤ）....	303
空気圧.....	347
交換方法.....	303
スペック（車両仕様）.....	344
スマートエントリー& スタートシステム.....	95
アンテナの位置.....	97
ハイブリッドシステムの 始動.....	142
カスタマイズ機能.....	349
警告ブザー.....	98
警告メッセージ.....	289
作動範囲.....	97
正常に働かないとき.....	329
節電機能.....	100
電波がおよぼす影響について	104
ドアの解錠・施錠.....	96
トランクの解錠.....	96
スマールランプ（車幅灯）.....	155
スイッチ.....	155
電球（バルブ）の交換.....	257
ワット数.....	347

せ

清掃.....	232, 235
アルミホイール.....	233
外装.....	232
シートベルト.....	236
内装.....	235
制動灯 電球（バルブ）の交換.....	266
積算距離計 （オドメーター）.....	69
表示の切りかえ.....	70
セキュリティインジケーター.....	63

センサー

- インナーミラー 121
- オートマチックハイビーム 161
- ライトセンサー 157

洗車 232

前照灯 (ヘッドランプ) 155

- 警告メッセージ 289
- 手動光軸調整ダイヤル 156
- 電球 (バルブ) の交換 257
- ライトセンサー 157
- ランプ消し忘れ警告ブザー 157
- ランプ消し忘れ防止機能 157
- ランプスイッチ 155
- ワット数 347

そ

速度計

- (スピードメーター) 69

た

ターンシグナルランプ

- (方向指示灯) 152
- 電球 (バルブ) の交換 257
- 方向指示レバー 152
- ワット数 347

タイヤ 244

- 応急用タイヤ 303
- 空気圧 347
- 交換 303
- 締め付けトルク 311
- 点検 244
- パンクしたときは 303, 313
- ホイールサイズ 347
- ローテーション
(位置交換) 244

タイヤが空まわりする

- (スタックした) 340

タイヤチェーン 180

ち

チェーン (タイヤチェーン)

- 180

チャイルドシート 39

- ISOFIX バーでの取り付け 49
- シートベルトでの固定 48
- 選択方法 39

チャイルドプロテクター 110

駐車ブレーキ

- (パーキングブレーキ) 153
- 操作 153
- パーキングブレーキ未解除
警告灯 287
- 未解除走行時警告ブザー 287
- メンテナンスデータ 346

つ

ツール (工具) 304, 314

て

DC/DC コンバーター 58

ディスプレイ

- エネルギーモニター 76
- 警告メッセージ 289
- トリップ

インフォメーション 70

ディスチャージヘッドランプ

- オートレベリングシステム 157
- スイッチ 155
- 電球 (バルブ) の交換 266
- ワット数 347

手入れ	232, 235
アルミホイール	233
外装	232
シートベルト	236
内装	235
テールランプ (尾灯)	155
スイッチ	155
電球 (バルブ) の交換	257
ワット数	347
デフォッガー (リヤウインドウデフォッガー)	192
電球 (バルブ) 交換要領 (外装バルブ)	257
ワット数	347
点検基準値 (メンテナンスデータ)	344
電子キー	92
作動範囲	97
正常に働かないとき	329
節電機能	100
電池が切れた	247, 329
電池交換	247
電池交換 (キー)	247

と

ドア	108
警告メッセージ	289
スマートエントリー& スタートシステム	95
チャイルドプロテクター	110
ドアガラス	125
ドアロックスイッチ	125
半ドア走行時警告ブザー	292
ロックレバー	109
ワイヤレスリモコン	105

ドアミラー	122
操作	122
レインクリアリングミラー	123, 233
盗難防止装置 イモビライザー システム	63
時計	225
トップデザーアンカー	47
ドライブインフォメーション	73
トラクションコントロール (TRC)	171
トランク	111
オープナー	111
キー閉じ込み防止機能	112
警告メッセージ	289
トランクリンプ	112
ワット数	347
トランスミッション	150
操作	150
メンテナンスデータ	346
トリップインフォメーション	69
トリップメーター	69
表示の切りかえ	70

な

内装 収納装備	217
手入れ	235
ナノイー	187

に	
荷物	
積むときの注意	137
トランク	111
ぬ	
ぬかるみにはまった (スタック)	340
ね	
燃費	
瞬間燃費	74,78
燃費画面	74
平均燃費	74,78
燃料	344
給油	167
種類	344
燃料残量警告灯	287
容量	344
燃料計	69
は	
パーキングブレーキ	153
警告メッセージ	289
操作	153
パーキングブレーキ未解除	
警告灯	287
未解除走行時警告ブザー	287
メンテナンスデータ	344
パーソナルランプ	215
ワット数	347
排気ガス	53
ハイビーム (ヘッドランプ)	155
オートマチックハイビーム	158
スイッチ	155
電球 (バルブ) の交換	257
ワット数	347

ハイブリッドシステム

インジケーター	82
オーバーヒート	336
始動できないときは	326
始動方法	138, 142
ハイブリッド	
システムの注意	58
ハイブリッド	
システムの特徴	54
ハイブリッド車運転の	
アドバイス	177
ハイマウントストップランプ	
電球 (バルブ) の交換	266
ハザードランプ (非常点滅灯)	273
スイッチ	273
電球 (バルブ) の交換	257
ワット数	347
挟み込み防止機能	
パワーウィンドウ	126
発炎筒	274
バックアップランプ (後退灯)	
電球 (バルブ) の交換	257
ワット数	347
バッテリーがあがった	331
バニティ (化粧用) ミラー	224
バルブ (電球)	
交換要領 (外装バルブ)	257
ワット数	347
パワーウィンドウ	125
ウィンドウロックスイッチ	125
閉めることができないときは	126
操作	125
挟み込み防止機能	126
パワーステアリング	171
パワーステアリング警告灯	286

パンクした

- 応急用タイヤ装着車 303
- タイヤパンク応急修理キット
装着車 313

番号灯

- (ライセンスプレートランプ) 155
- スイッチ 155
- 電球 (バルブ) の交換 257
- ワット数 347

ハンドル

- (ステアリングホイール) 118
- 位置調整 118

ひ

ビークルスタビリティ

- コントロール (VSC) 171

ヒーター

- オートエアコン 184
- シートヒーター 227

引き出し式コインホルダー 223

非常点滅灯 (ハザードランプ) ... 273

- スイッチ 273
- 電球 (バルブ) の交換 257
- ワット数 347

尾灯 (テールランプ) 155

- 電球 (バルブ) の交換 257
- ランプスイッチ 155
- ワット数 347

ヒューズ 250

表示灯 68

日よけ (サンバイザー) 224

ヒルスタート

- アシストコントロール 171

ふ

ブースターケーブルの

- つなぎ方 331

ブザー

- シートベルト非着用 287
- パーキングブレーキ
未解除走行時 287
- パワーステアリング 286
- 半ドア走行時 292
- リバース 151

フック

- けん引フック 278
- フロアマット固定フック 22

フューエルメーター

- (燃料計) 69

冬の前の準備 (寒冷時の運転) ... 179

冬用タイヤ 179

ブレーキ

- 回生ブレーキ 55
- 警告メッセージ 292
- パーキングブレーキ 153
- ブレーキ警告灯 285, 286
- メンテナンスデータ 346

ブレーキアシスト 171

- ABS & ブレーキアシスト
警告灯 286
- 機能 171

ブレーキ付近からキーキー音が

- 聞こえる 134

ブレーキフルード 346

フロアマット 22

フロントシート.....	114
シートヒーター.....	227
正しい運転姿勢.....	24
調整.....	114
手入れ.....	235
ヘッドレスト.....	116
フロントパーソナルランプ.....	215
ワット数.....	347
フロント方向指示灯.....	152
電球（バルブ）の交換.....	257
方向指示レバー.....	152
ワット数.....	347
フロントワイパーデアイサー.....	193

へ

平均燃費.....	77
ヘッドランプ.....	155
警告メッセージ.....	289
手動光軸調整ダイヤル.....	156
電球（バルブ）の交換.....	257
ライトセンサー.....	157
ランプ消し忘れ警告ブザー.....	157
ランプ消し忘れ防止機能.....	157
ランプスイッチ.....	155
ワット数.....	347
ヘッドランプオートレベリング	
システム.....	157
警告メッセージ.....	291
ヘッドレスト.....	116
ベビーシート.....	40

ほ

ホイール	
交換（タイヤ）.....	303
メンテナンスデータ.....	347

方向指示灯.....	152
電球（バルブ）の交換.....	257
方向指示レバー.....	152
ワット数.....	347
補機バッテリー	
補機バッテリーが	
あがったときは.....	331
補機バッテリーについて.....	239
ホーン（警音器）.....	154
保証.....	9
ボトルホルダー.....	222
ボンネット.....	238
開け方.....	238

ま

マスターウォーニング.....	287
マルチインフォメーション	
ディスプレイ.....	72
警告メッセージ.....	289
トリップインフォメーション.....	70

み

ミラー	
インナーミラー.....	120
ドアミラー.....	122
バニティミラー.....	224

め

メーター（計器類）.....	69
警告灯.....	67
照度調整.....	85
表示灯.....	68
マルチインフォメーション	
ディスプレイ.....	72
メーター.....	69
メカニカルキー.....	92
メンテナンスデータ.....	344

ゆ

ユーザーカスタマイズ機能	349
雪道ですべて動けない （スタックした）.....	340
油脂類	344

ら

ライセンスプレートランプ （番号灯）	155
スイッチ	155
電球（バルブ）の交換.....	257
ワット数.....	347
ラゲージルーム（トランク）	111
ラジエーター	
オーバーヒート	336
メンテナンスデータ	346
ランプ	
室内灯.....	214
電球（バルブ）の交換.....	257
パーソナルランプ	215
非常点滅灯 （ハザードランプ）.....	273
ヘッドランプ（前照灯）.....	155
方向指示灯（ターンシグナル ランプ/ウインカー）.....	152
ライトセンサー	157
ランプ消し忘れ警告ブザー	157
ランプ消し忘れ防止機能.....	157
ルームランプ	215
ワット数.....	347
ランプ消し忘れ防止機能	157

り

リヤアームレスト.....	229
リヤウインドウデフォグガー スイッチ	192

リヤ方向指示灯	152
電球（バルブ）の交換	257
方向指示レバー	152
ワット数	347
リヤワイパー	165

る

ルームミラー （インナーミラー）.....	120
ルームランプ（室内灯）.....	214
ワット数	347

れ

冷却水.....	346
警告メッセージ	289
冬の前の準備	179
メンテナンスデータ	346
冷却装置（ラジエーター）	
オーバーヒート.....	336
メンテナンスデータ	346
レインクリアリングミラー	
機能.....	123
お手入れ （親水効果の回復）.....	233
レバー	
給油口	169
シフト	150
トランク	111
方向指示	152
ボンネット解除.....	238
ロック（ドア）.....	109

ろ

ロック

ウインドウロック	125
シフトロック	328
スマートエントリー& スタートシステム.....	95
チャイルドプロテクター.....	110
ドア	109
ワイヤレスリモコン	105

わ

ワイパー&

ウォッシャー.....	162, 165
ワイパーブレード (寒冷地用).....	180
ワイヤレスリモコン	105
作動の合図.....	106
操作	105
電池の交換.....	247
半ドア警告ブザー	106
ワックス	232
ワット数	347

ガソリンスタンドでの情報

給油や交換などの際に必要な項目をまとめてあります。

ボンネットフック

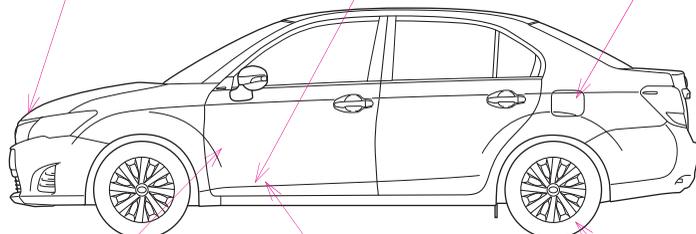
P. 238

トランクオープナー

P. 111

給油口

P. 169



ボンネット解除レバー

P. 238

給油口オープナー

P. 169

タイヤ空気圧

P. 347

燃料の容量 (参考値)	36L	
燃料の種類	無鉛レギュラーガソリン	P. 344
タイヤが冷えているときの空気圧		P. 347
エンジンオイル容量 (参考値)	オイルのみ交換時 : 3.4L オイルとフィルター交換時 : 3.7L	
エンジンオイルの種類	トヨタキヤッスルモーターオイル ・ SN 0W-20 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 0W-20) ・ SN 5W-20 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-20) ・ SN 5W-30 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 5W-30) ・ SN 10W-30 (API SN/RC, ILSAC GF-5, SAE 10W-30)	

お問い合わせ、ご相談は
下記へお願いいたします。

トヨタ自動車株式会社 お客様相談センター
全国共通・フリーコール

 **0800-700-7700**

オープン時間 365日 9:00～18:00

所在地 〒450 - 8711 名古屋市中村区名駅4丁目7番1号

「個人情報保護方針」については、
<http://www.toyota.co.jp/>にて掲載しております。

トヨタ自動車株式会社
<http://toyota.jp>



M 12G31
01999-12G31
NAB-2014年 2月20日
2013年 8月 6日 初版
2014年 2月27日 4版
カロ-ラアキシオハイブリッド